

Clavinova®

CLP-280/270

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

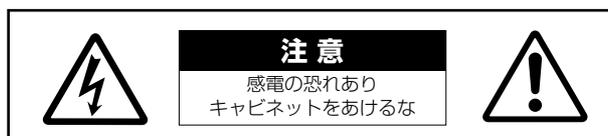
以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	---

 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	--

■ 本体に表示されている注意マークについて

本体には、次の注意マークが付いています。



これは、以下の内容の注意を喚起するものです。

「感電防止のため、パネルやキャビネットを外さないでください。この製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。」

警告

電源 / 電源コード



電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

必ず実行



電源コード/プラグは、必ず付属のものを使用する。
他の電源コード/プラグを使用すると、発熱や感電の原因になります。

必ず実行



電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

禁止

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

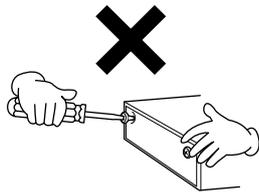
分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

禁止

感電や火災、けが、または故障の原因になります。



水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。
感電や火災、または故障の原因になります。

禁止



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

禁止

火に注意



本体の上でろうそくなど火気のあるものを置かない。
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

禁止

異常に気づいたら



電源コード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常におい煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

必ず実行

注意

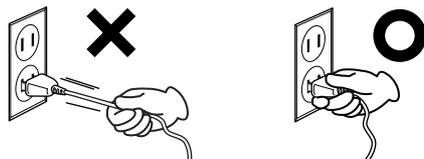
電源 / 電源コード



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

必ず実行

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



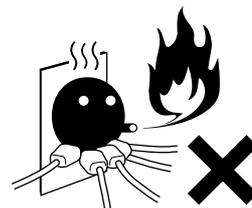
長期間使用しないとときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。

必ず実行



たこ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

禁止



組み立て



必ず実行

組み立てる前に、必ず本書の組み立て方の説明をよくお読みください。

手順どおりに正しく組み立てないと、楽器が破損したりお客様がけがをしたりする原因になります。

設置



禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しない。

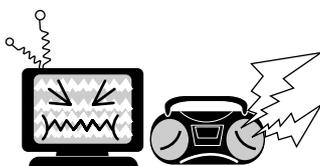
本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。

楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



禁止

不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

本体を壁につけない。

換気が十分でないと、本体内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。壁から3cm以上離してください。

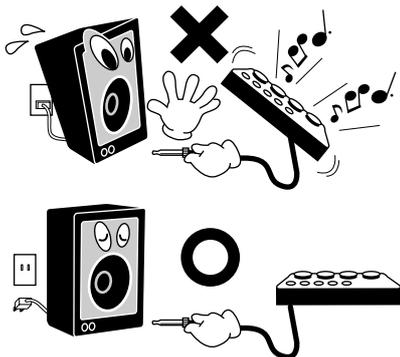
接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。

感電または機器の損傷の原因になることがあります。



手入れ



必ず実行

（艶出し仕上げのモデルの場合）本体のほこりや汚れは、柔らかい布で軽く拭き取る。

強く拭くと、ほこりの粒子で本体の表面に傷がつく場合があります。



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。

本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布、もしくは水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。

使用時の注意



禁止

キーカバーで指などをはさまないように注意する。また、キーカバーや本体のすき間に手や指を入れない。

お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

キーカバーやパネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。

入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。

本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。



禁止

（艶出し仕上げのモデルの場合）本体の表面に金属、陶器、その他硬い物を当てない。

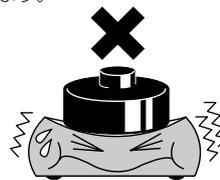
表面にひびが入ったり、剥がれたりする場合があります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。聴覚障害の原因になります。



イス



不安定な場所に置かない。
イスが転倒して、お客様や他の方々がけがをする原因になります。

禁止



イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない。
このイスは楽器演奏用です。イスを遊び道具や踏み台にすると、イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。

禁止



イスには二人以上ですわらない。
イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。

禁止



イスにすわったままでイスの高さを調節しない。
イスにすわったままイスの高さを調節すると、高低調節機構に無理な力が加わり、高低調節機構がこわれたりお客様がけがをしたりする原因になります。

禁止



イスのネジを定期的に締め直す。
イスを長期間使用すると、イスのネジがゆるむことがあります。ネジがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。

必ず実行



イスの脚で床やたたみを傷つけないよう注意する。
イスの脚でフローリングの床やたたみを傷つけることがあります。イスの下にマットを敷くなどして、床やたたみを保護されることをおすすめします。

必ず実行



イスを手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。
変色/変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布、または水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。

禁止

データの保存

作成したデータの保存とバックアップ



カレントメモリーのデータ(39ページ) 電源を切ると消えてしまいます。保存しておきたいデータは、楽器本体(42ページ)やUSB記憶装置/コンピューターなどの外部機器に保存してください。

必ず実行

また、楽器本体に保存したデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、USB記憶装置やコンピューターなどの外部機器に保存してください。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

* この製品は、JIS C 61000-3-2 に適合しています。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このたびは、ヤマハクラビノーバCLP-280/270を
お買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。
CLP-280/270の優れた機能を十分に生かして
演奏をお楽しみいただくため、本書をお読みください。
また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに
大切に保管してください。

取扱説明書(本書)について

取扱説明書(本書)は、「準備編」、「基本編」、「詳細設定編」、「付録」の4部構成になっています。

準備編

最初にお読みください。

9ページの「目的別目次」、14ページの「各部の名前と機能」では、ご自身に合ったクラビノーバの使い方と、その説明ページを見つかることができます。

基本編

クラビノーバの基本的な機能の使い方と操作を詳しく説明しています。

実際にクラビノーバの操作をしながらご覧ください。疑問やわからない用語が出てきたら、87ページの「操作や機能についての疑問がわいたら」、141ページの「用語集」、143ページの「索引」をご利用ください。

詳細設定編

クラビノーバを、さらに便利に使いこなすための細かい設定を説明しています。

必要に応じてご覧ください。

付録

パネル音色のご紹介などの資料を掲載しています。

表記上の決まり

[].....パネル上にあるボタン類を示します。たとえば、マスターボリュームのダイヤルは、文章中で
マスターボリューム
[MASTER VOLUME]ダイヤルと表記します。

[].....パネル中央の画面中の表示を示します。

*この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

*本文中では、CLP-280/270を「クラビノーバ」または「CLP」と表記することがあります。

この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、MIDIデータなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。この製品には、XGフォーマット以外の音楽/サウンドデータを扱う機能があります。その際、元のデータをこの製品に最適化して動作させるため、オリジナルデータ(音楽/サウンドデータ)制作者の意図どおりには再生されない場合があります。ご了承のうえ、ご使用ください。

- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することは禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- スマートメディアは株式会社東芝の商標です。
- 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

付属品(お確かめください)

- 保証書
- ピアノで弾く名曲50選(楽譜集)
- 高低自在イス
- ヘッドフォン
- 取扱説明書(本書)
- 取扱説明書別冊「インストールガイド」
- アクセサリー CD-ROM

調律について

クラビノーバでは、調律は必要ありません。

お引っ越しの際は

通常の荷物と一緒に運びいただけます。組み立てた状態でも、組み立てる前の部品に分解した状態でも問題ありませんが、本体は立てかけたりせず、必ず水平に置いてお運びください。また、大きな振動、衝撃を与えないでください。組み立てた状態でお運びいただいた場合は、設置の際、各部のネジのゆるみを確認し、ゆるんでいる場合は締め直してください。

クラビノーバを移動したあとでiAFC機能(72ページ)の効果を最適にするために、以下のことを行なってください。

- クラビノーバの背面を壁から10cm以上離してください。
- iAFCの自動調整を行なってください(73ページ)。

目次

準備編

取扱説明書(本書)について.....	6
付属品(お確かめください).....	7
目的別目次.....	9
ご使用前の準備.....	11
キーカバーについて.....	11
譜面立てについて.....	11
譜面止めについて.....	11
電源を入れる.....	12
画面の明るさを調整する.....	12
音量(ボリューム)を調節する.....	13
ヘッドフォンを使う.....	13
iAFCの自動調整をする.....	13

基本編

各部の名前と機能.....	14
この楽器の基本的な操作.....	16
デモ曲を聞く.....	18
ピアノ50曲(プリセットソング)を聞く.....	20
ピアノ50曲を再生する.....	20
ピアノ50曲の片手練習をする.....	21
ピアノ50曲の繰り返し練習をする.....	22
音色を楽しむ.....	24
音色を選ぶ.....	24
ペダルを使う.....	25
音に変化を付ける(ブリリアンス/リバーブ/コーラス).....	26
2つの音色を混ぜて弾く(デュアル).....	27
鍵域を左右に分けて別々の2つの音色で弾く(スプリット).....	28
メトロノームを使う.....	30
演奏を録音(記録)する.....	31
録音の方法.....	31
録音パートを指定せずに録音する.....	32
録音パートを指定して多重録音する.....	35
そのほかの録音方法とテクニック.....	36
曲を削除するなどのファイル操作をする [FILE/SONG SETTING].....	39
ファイル画面の基本操作.....	41
録音した曲を保存する「Save」.....	42
保存用メモリーやUSB記憶装置の曲を削除する 「Delete」.....	43
曲名を変更する「Rename」.....	43
曲をコピーする「Copy」.....	44
曲を移動する「Move」.....	45
USB記憶装置にフォルダーを作る「MakeDir」.....	45
USB記憶装置をフォーマットする「Format」.....	46
メディアを挿入したとき曲を自動呼び出しする 「SongAutoOpen」.....	46
表示文字の種類を切り替える「CharacterCode」.....	47
録音した曲や市販のミュージックデータを再生する...48	
再生する.....	48
各パートの再生をオン/オフする.....	50
再生できる曲データの種類.....	50

他の機器と接続する.....	51
端子について.....	51
USB記憶装置を接続する.....	53
コンピューターと接続する.....	55

詳細設定編

詳細設定について.....	57
設定項目の一覧表.....	57
詳細設定の操作.....	60
曲の録音/再生に関する詳細設定 [FILE/SONG SETTING].....	62
メトロノームに関する詳細設定 METRONOME [SETTING].....	65
音色に関する詳細設定 [VOICE SETTING].....	66
iAFCに関する詳細設定 [iAFC SETTING].....	72
その他の詳細設定 [FUNCTION].....	74
メッセージ一覧.....	83
操作や機能についての疑問がわいたら.....	87

付録

困ったときは.....	89
データの互換性について.....	91
別売ミュージックデータのご紹介.....	93
基本設定一覧.....	94
パネル音色のご紹介.....	97
2つの音色の組み合わせ例(デュアルとスプリット)....	99
XG音色一覧.....	100
XGドラムキット一覧.....	104
XGエフェクトタイプ一覧.....	106
エフェクトパラメーター一覧.....	108
エフェクトデータアサインテーブル.....	118
MIDIデータフォーマット.....	120
MIDIインプリメンテーションチャート.....	133
CLP-280/270仕様.....	134
CLP-280/270の組み立て方.....	135
フロッピーディスクの取り扱いについて.....	139
フロッピーディスクドライブ(別売)の取り付け方....	140
用語集.....	141
索引.....	143

目的別目次

目的に応じた説明ページを見つけるのにご利用ください

聞く

- どんな曲が聞けるのか知りたい.....「デモ曲を聞く」(18ページ)
.....「ピアノ50曲(プリセットソング)を聞く」(20ページ)
- 音色ごとのデモ曲が聞きたい.....「デモ曲を聞く」(18ページ)
- 「ピアノで弾く名曲50選」の曲が聞きたい.....「ピアノ50曲(プリセットソング)を聞く」(20ページ)
- 録音した演奏が聞きたい.....「録音した曲や市販のミュージックデータを再生する」(48ページ)
- USB記憶装置に入っている曲が聞きたい.....「USB記憶装置を接続する」(53ページ)
.....「録音した曲や市販のミュージックデータを再生する」(48ページ)

弾く

- 3種類のペダルを使い分けて弾きたい.....「ペダルを使う」(25ページ)
- 一人一人のキーに合った伴奏をしたい.....「キー(調)を変える [TRANPOSE]」(74ページ)

音を変える

- どんな音に変えられるのか知りたい.....「パネル音色のご紹介」(97ページ)
- 2つの音色を組み合わせたい.....「2つの音色を混ぜて弾く(デュアル)」(27ページ)
- 右手と左手を違う音で弾きたい.....「鍵域を左右に分けて別々の2つの音色で弾く(スプリット)」(28ページ)
- 明るく鋭い音や柔らかくまろやかな音にしたい.....「音に変化を付ける [BRILLIANCE]」(26ページ)
- コンサートホールで弾いているような音にしたい.....「音に変化を付ける [REVERB]」(26ページ)
- 広がり感を付けた音にしたい.....「音に変化を付ける [CHORUS]」(27ページ)
- 奥ゆき感のある音を出したい.....「iAFCに関する詳細設定 [iAFC SETTING]」(72ページ)

練習する

- 右手または左手パートの音を消して練習したい.....「ピアノ50曲の片手練習をする」(21ページ)
- 正確なテンポで練習したい.....「メトロノームを使う」(30ページ)
- 自分で録音した曲を使って練習したい.....「演奏を録音(記録)する」(31ページ)
.....「各パートの再生をON/OFFする」(50ページ)

録音する

- 演奏を録音したい.....「演奏を録音(記録)する」(31ページ)
- 録音した曲を削除、コピーなどしたい.....「曲を削除するなどのファイル操作をする [FILE/SONG SETTING]」(39ページ)

設定する

- 曲の録音/再生について細かく設定したい.....「曲の録音/再生に関する詳細設定 [FILE/SONG SETTING]」(62ページ)
- メトロノームについて細かく設定したい.....「メトロノームに関する詳細設定 METRONOME [SETTING]」(65ページ)
- 音色について細かく設定したい.....「音色に関する詳細設定 [VOICE SETTING]」(66ページ)
- 楽器全体について細かく設定したい.....「その他の詳細設定 [FUNCTION]」(74ページ)

他の機器と接続して使う

- MIDIって何? 「MIDIについて」 (51ページ)
- MIDIの設定をしたい 「MIDI送信チャンネルの設定」 ~ 「MIDI送信するデータの種類の設定」 (80~81ページ)
- 演奏を録音したい 「端子について」 AUX OUT [L][R]端子 (52ページ)
- もっと大きな音を出したい 「端子について」 AUX OUT [L][R]端子 (52ページ)
- 他の機器の音をクラビノーバから流したい 「端子について」 AUX IN [L/L+R][R]端子 (52ページ)
- USB記憶装置を接続したい 「USB記憶装置を接続する」 (53ページ)
- パソコンとつなぎたい 「コンピューターと接続する」 (55ページ)

買う

- クラビノーバで使えるミュージックデータを知りたい 「別売ミュージックデータのご紹介」 (93ページ)

組み立てる

- クラビノーバの組み立て・解体をしたい 「CLP-280/270の組み立て方」 (135ページ)

こんなときには

- クラビノーバで何ができるのか知りたい 「目的別目次」 (9ページ)
- 基本画面に戻りたい 「この楽器の基本的な操作」 [EXIT]ボタン (17ページ)
- クラビノーバを基本設定に戻したい 「基本設定に戻す [FactorySet]」 (82ページ)
- わからないメッセージが表示されたら 「メッセージ一覧」 (83ページ)
- 操作や機能について疑問がわいたら 「操作や機能についての疑問がわいたら」 (87ページ)
- クラビノーバが故障かな?と思ったら 「困ったときは」 (89ページ)
- わからない用語が出てきたら 「用語集」 (141ページ)

ご使用前の準備

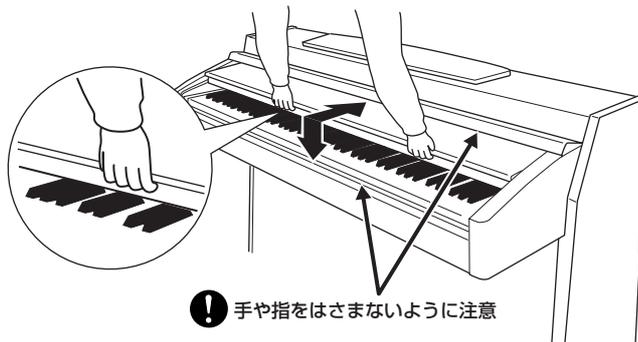
キーカバーについて

開けるとき

少し持ち上げて、奥へ押し込みます。

閉めるとき

手前に引いて、静かに降ろします。



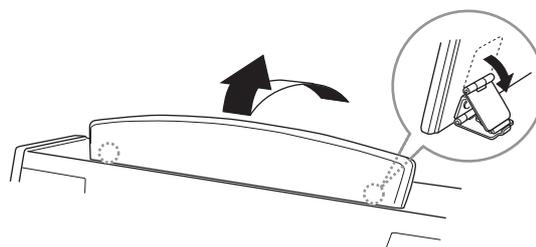
❗ 手や指をはさまないように注意

- ❗ キーカバーを開閉するときは、両手で静かに行ない、途中で手を離さないでください。また、ご自分や周りの方、特にお子様などが、キーカバーの縁と本体の間に手や指をはさまないようにご注意ください。
- ⊘ キーカバーを開けると、キーカバーの上に金属や紙片などを置かないでください。本体の内部に落ちて取り出せなくなり、感電、ショート、発火や故障などの原因になります。
- ❗ USB [TO DEVICE]端子Aに別売のUSB記憶装置を接続している場合は、キーカバーを閉める前に外してください。USB記憶装置を接続したままキーカバーを閉じると、記憶装置がキーカバーに当たって破損するおそれがあります。

譜面立てについて

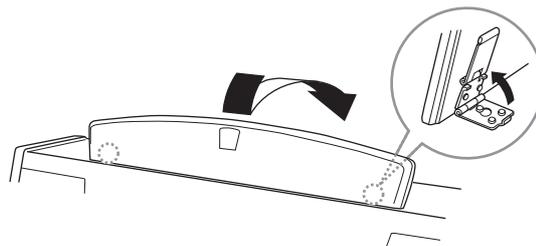
立てるとき

1. 譜面立てを、止まるまで手前に起こします。
2. 譜面立て裏にある左右2つの金具を下ろします。
3. 金具が固定される位置まで、譜面立てを戻します。



倒すとき

1. 譜面立てを、止まるまで手前に起こします。
2. 譜面立て裏にある左右2つの金具を上げます。
3. 譜面立てに手を添えて、ゆっくり戻します。

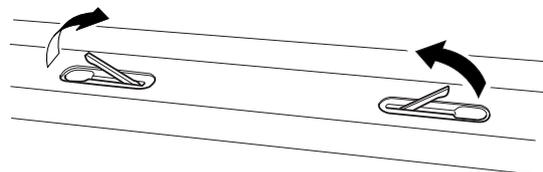


- ⊘ 譜面立ては、金具が固定されない位置で使用または放置しないでください。また、譜面立てを倒すときは、途中で手を離さないでください。

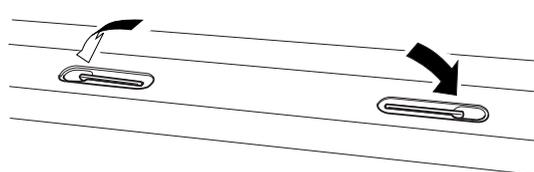
譜面止めについて

譜面立てに置いた楽譜のページを止めることができます。

上げるとき



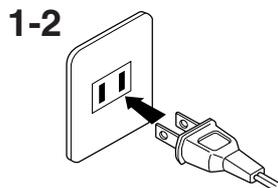
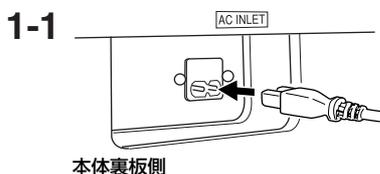
下げるとき



電源を入れる

1. 電源コードを接続する

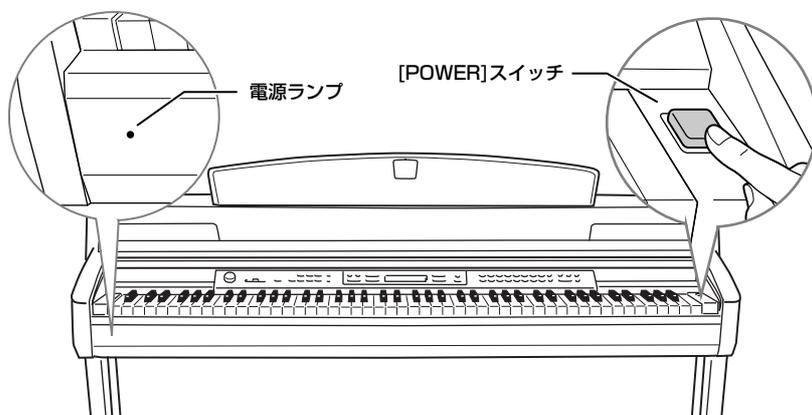
最初に本体側のプラグを差し込み、次にコンセント側(家庭用AC100V)のプラグを差し込みます。



2. 電源を入れる

本体パネル右の[POWER]スイッチを押すと、電源が入ります。

本体パネル中央の画面に表示が現れます。また、クラビノーバ前面左の電源ランプが点灯します。

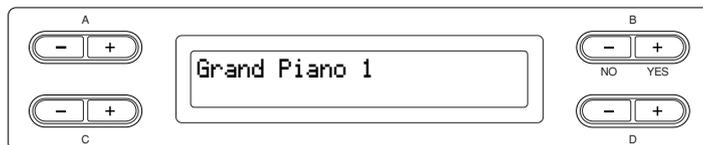


POWER(パワー) = 電源

電源ランプについて

クラビノーバのご使用后、電源を切り忘れてキーカバーを閉めてしまった場合、電源ランプの点灯が、電源が入ったままであることを知らせてくれます。

電源を入れたときは音色名が表示されます。

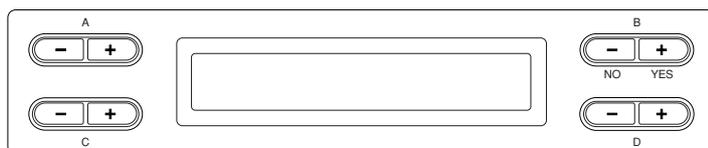


電源を切るときは、もう一度[POWER]スイッチを押します。

画面の表示が消え、クラビノーバ前面左の電源ランプも消灯します。

画面の明るさを調整する

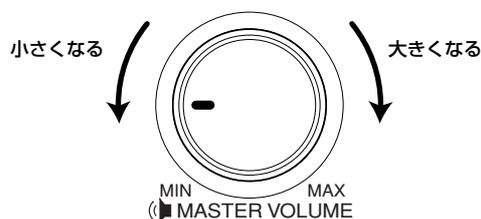
本体パネル中央の画面の右横にある[CONTRAST]つまみを回して、画面の明るさを調整します。



CONTRAST(コントラスト)
=明暗

音量(ボリューム)を調節する

本体パネル左の[MASTER VOLUME]ダイヤルで調節します。実際に鍵盤を弾いて音を出しながら、音量を調節してください。



MASTER VOLUME (マスターボリューム)=全体の音量

[MASTER VOLUME]ダイヤルで、PHONES(フォーンズ)の出力レベルやAUX INからの入力レベル、「AuxOutLevel」がVariableの場合(79ページ)はAUX OUTの出力レベルも調整できます。

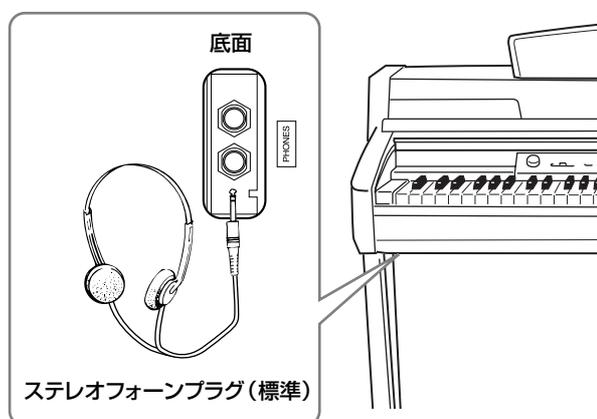
⊘ 大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

ヘッドフォンを使う

ヘッドフォンを[PHONES]端子に接続して使います。[PHONES]端子は2つありますので、ヘッドフォンを2本接続して2人で演奏を楽しむこともできます。1本だけ接続する場合は、どちらの端子をご使用いただいても構いません。

⊘ 大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

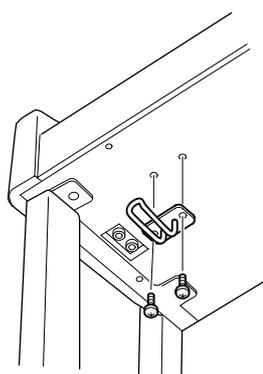
別売ヘッドフォン
YAMAHAヘッドフォン HPE-160



ヘッドフォンハンガー

CLP-280/270には、取り付け式のヘッドフォンハンガーが同梱されています。ヘッドフォンハンガーを取り付けると、クラビノーバにヘッドフォンを掛けることができます。付属のネジ(4×10mm) 2本で、図のように取り付けてください。

⊘ ヘッドフォンハンガーにヘッドフォン以外のものを掛けないでください。本体またはヘッドフォンハンガーが破損する場合があります。



iAFCの自動調整をする

iAFC (Instrumental Active Field Control=インストゥルメンタルアクティブフィールドコントロール)とは、本体の背面に付いているスピーカーから音を出して音の響きや広がり感を演出させることができる機能です。

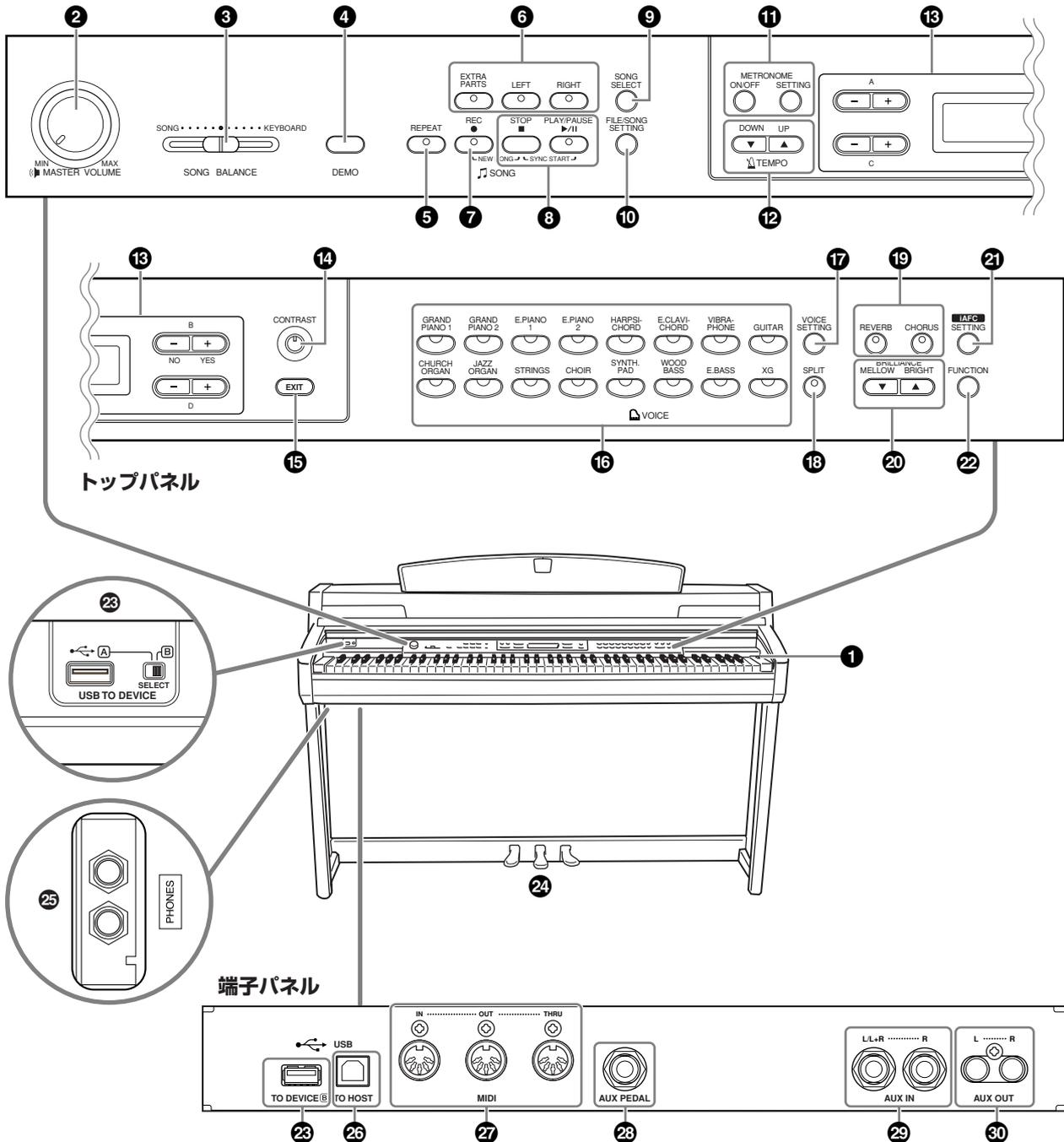
iAFC機能の効果を最適にするために、自動調整(73ページ)を行なってください。

各部の名前と機能

ヤマハクラビノーバCLP-280/270は、ヤマハ独自のサンプリング音源システム「AWMダイナミックステレオサンプリング」による豊かな音色を備えています。

また鍵盤は、鍵域により鍵盤の重さが違う「グレードハンマー 3(GH3)鍵盤」(CLP-270)、GH3鍵盤の機能に加えて、白鍵に木材を使用し指に伝わる感覚までグランドピアノのタッチに近付けた「ナチュラルウッド(NW)鍵盤」(CLP-280)を搭載し、グランドピアノの鍵盤に近い弾き心地を実現しています。これらの鍵盤では、グランドピアノと同様に、ペダルを踏まずに音をつなげる奏法や高速の同音連打も可能です。

Grand Piano 1の音色は、鍵盤を弾く強さに応じて数段階の波形をサンプリングする「ダイナミックサンプリング」を採用し、フルコンサートグランドピアノからサンプリングしました。さらに、弦どうしの共鳴音を再現する「ストリングレゾナンス」(78ページ)、ダンパーペダルを踏んだときの響板や弦の共鳴音をサンプリングする「サステインサンプリング」(78ページ)、鍵盤を離れたときの微妙な発音をサンプリングする「キーオフサンプリング」をも採用し、アコースティックピアノに極限まで近づけた、ぜいたくな音作りを行なっています。



- 1 ^{パワー} [POWER]スイッチ 12ページ
- 2 ^{マスターボリューム} [MASTER VOLUME]ダイヤル 13ページ
音量を調節できます。
- 3 ^{ソングバランス} [SONG BALANCE]スライダー 38ページ
曲の再生音と手弾き音の音量バランスを調整できます。
- 4 ^{デモ} [DEMO]ボタン 18ページ
音色ごとのデモ曲を聞くことができます。
- 5 ^{リピート} [REPEAT]ボタン 22ページ
1曲を繰り返し再生したり、指定の範囲を繰り返し再生したりできます。
- 6 ^{ライト} [RIGHT]、^{レフト} [LEFT]、^{エキストラパート} [EXTRA PARTS]ボタン 21、31、35ページ
曲の特定のパートを再生オフにし、再生オフにしたパートをご自身で練習できます。
- 7 ^{レコード} [REC]ボタン 31ページ
ご自身の演奏を録音できます。
- 8 ^{プレイ/ポーズ} [PLAY/PAUSE]、^{ストップ} [STOP]ボタン 20、48ページ
楽器本体に入っているピアノ50曲や市販のミュージックデータなどを再生できます。
- 9 ^{ソングセレクト} [SONG SELECT]ボタン 20、48ページ
再生や編集する曲を選べます。
- 10 ^{ファイル/ソングセッティング} [FILE/SONG SETTING]ボタン 39、57、62ページ
録音した曲を保存したり、その他のファイルに関する設定ができます。また、曲の録音や再生に関する詳細設定もできます。
- 11 ^{メトロノーム} [METRONOME] ^{オン/オフ} [ON/OFF]、^{メトロノーム} [METRONOME] ^{セッティング} [SETTING]ボタン 30、57、65ページ
メトロノームの機能を利用できます。
- 12 ^{テンポ} [TEMPO] ^{アップ} [UP] ^{ダウン} [DOWN]ボタン 30ページ
曲やメトロノームのテンポ(速さ)を変えることができます。
- 13 ^{A~D} [-][+]ボタン、画面 16ページ
画面を見ながら、確実な操作ができます。
- 14 ^{コントラスト} [CONTRAST]つまみ 12ページ
画面の明るさを調整できます。
- 15 ^{エグジット} [EXIT]ボタン 17ページ
基本画面(電源を入れたときに最初に表示される画面)に戻ることができます。
- 16 音色グループボタン 24ページ
グランドピアノをはじめとした16グループの音色をお楽しみいただけます。また、2つの音色を混ぜて使うこともできます。
- 17 ^{ボイスセッティング} [VOICE SETTING]ボタン 58、66ページ
音色や効果に関する詳細設定ができます。
- 18 ^{スプリット} [SPLIT]ボタン 28ページ
鍵盤を左右の領域に分けて、別々の音色で演奏できます。
- 19 ^{リバーブ} [REVERB]、^{コーラス} [CHORUS]ボタン 26、27ページ
音に残響(リバーブ)や広がり感(コーラス)を付けることができます。
- 20 ^{ブリリアンス} [BRILLIANCE] ^{メロウ} [MELOU] ^{ブライト} [BRIGHT]ボタン 26ページ
音の明るさを調節できます。
- 21 ^{アイイーエフシー セッティング} [iAFC SETTING]ボタン 58、72ページ
iAFCとは、クラビノーバから出る音に生楽器のような奥行き感を持たせる機能です。ここでiAFCをオン/オフしたり、iAFCに関する詳細設定をしたりします。
- iAFCの効果を最適にするために、以下のことを行なってください。

 - クラビノーバの背面を壁から10cm以上離してください。
 - クラビノーバの電源を初めて入れたときとクラビノーバを移動したあとは、自動調整を行なってください(73ページ)。
- 22 ^{ファンクション} [FUNCTION]ボタン 59、74ページ
タッチ感や音の高さの微調整(チューニング)、MIDIの設定などの詳細設定ができます。
- 23 ^{ユーエスピー トゥー デバイス} [USB [TO DEVICE]]端子 51ページ
USB記憶装置を接続して、録音した曲を保存したり、記憶装置に入っているデータを楽器本体で再生したりできます。USB [TO DEVICE]端子は、AとBの2つがあります。A端子の右に付いているSELECT(セレクト)スイッチで、使う端子を切り替えます。
- 24 左のペダル(ソフトペダル)、まん中のペダル(ソステヌートペダル)、右のペダル(ダンパーペダル) 25ページ
主にピアノ演奏で使います。いろいろな機能を割り当てて使うこともできます。
- 25 ^{フォーンズ} [PHONES]端子 13ページ
ヘッドフォンで練習できます。
- 26 ^{ユーエスピー トゥー ホスト} [USB [TO HOST]]端子 51ページ
コンピューターと接続して、コンピューターとクラビノーバの間でMIDIデータをやり取りできます。
- 27 ^{ミディ イン アウト スルー} [MIDI [IN][OUT][THRU]]端子 51ページ
MIDI機器を接続して、MIDIを活用できます。
- 28 ^{エーユーエックスペダル} [AUX PEDAL]端子 51ページ
別売りのペダルを接続し、いろいろな機能を割り当てて使うことができます。
- 29 ^{エーユーエックスイン} [AUX IN [L/L+R][R]]端子 52ページ
外部機器の音をクラビノーバから出すことができます。
- 30 ^{エーユーエックスアウト} [AUX OUT [L][R]]端子 52ページ
クラビノーバの音を外部オーディオから出したり、カセットテープレコーダーなどを接続してご自身の演奏を録音したりできます。

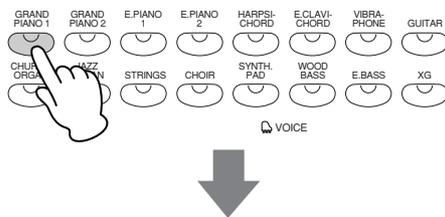
この楽器の基本的な操作

この楽器にはいろいろなボタンが付いていますが、基本的な使い方がわかれば操作は簡単です。

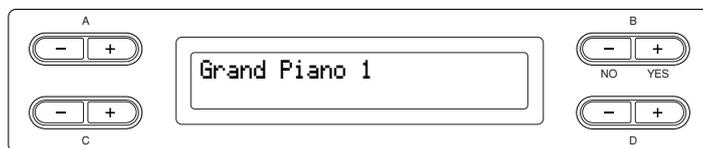
使いたい機能のボタンを押してみましょう。

音色を変えたい場合はパネル右側の音色グループボタンを、内蔵曲を聞きたい場合はパネル左側の[SONG SELECT]^{ソングセレクト}ボタンを押しましょう。ボタンは、機能の入り口になっています。

どのボタンにどんな機能が割り当てられているかについては、14ページの「各部の名前と機能」をご覧ください。



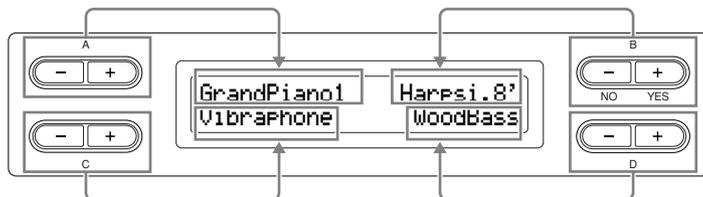
ボタンを押すと、そのボタンに割り当てられた機能が画面に表示されます。音色グループボタンを押せば音色名、[SONG SELECT]ボタンを押せば曲名が表示されます。ボタンを押したあとは、画面の表示を見てみましょう。



画面の横にあるボタンで、値や項目を選んでみましょう。

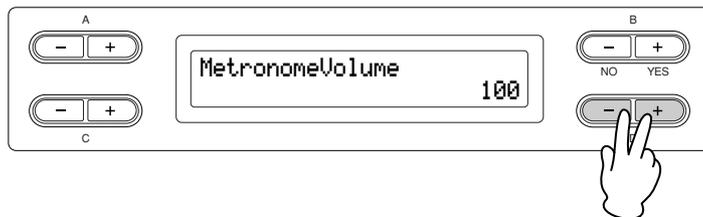
ひとつの機能の中にはたくさんの項目が用意されています。

項目を選ぶには、画面の横にあるA [-][+]~D [-][+]ボタンを使います。画面の表示位置とA [-][+]~D [-][+]ボタンの位置が対応しているので、どの項目をどのボタンで選ぶかひと目でわかります。



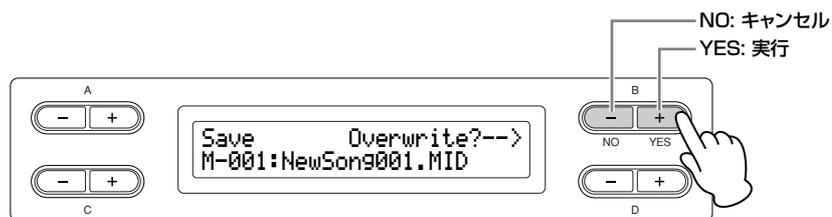
値を元に戻したいときは、[-]ボタンと[+]ボタンを同時に押しましょう。

いろいろ値を変えてみたけど、元の値がよかったな…そんなときは、[-]ボタンと[+]ボタンを同時に押しましょう。元の値に戻ります。



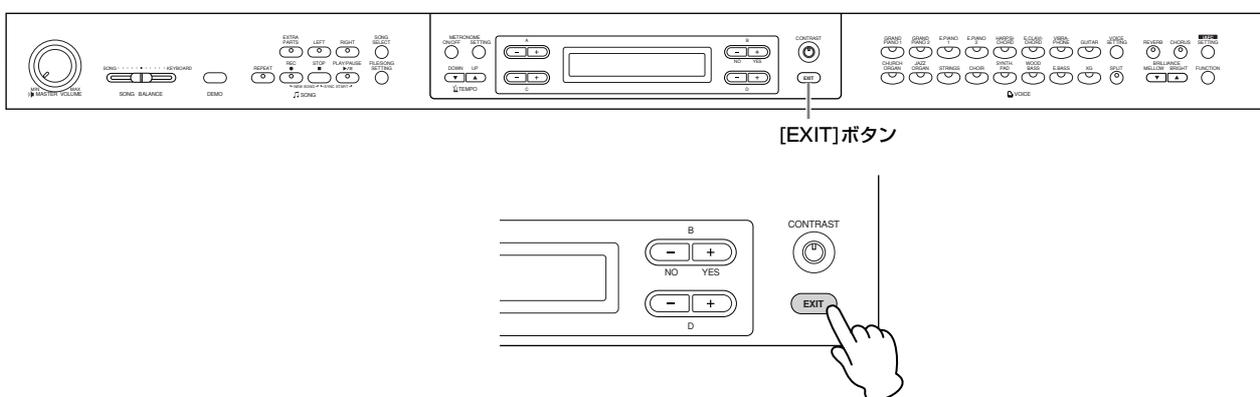
A [-][+]~D [-][+]ボタンのほかに、TEMPOボタンやBRILLIANCEボタンも同じ形をしていますね。この形のボタンは、左右同時に押すと元の値に戻せます。

操作を実行/キャンセルするときは、B [YES][NO]ボタンを押しましょう。
画面右上に質問形式の表示が出たら、B [YES][NO]ボタンで操作を実行/キャンセルしましょう。



エグジット
選んだ機能を抜きたいときは、[EXIT]ボタンを押しましょう。

いろいろな音色を楽しんだ、いろいろな曲を鳴らしてみた、そろそろこの機能を抜きたいな、と思ったときは[EXIT]ボタンを押しましょう。[EXIT]ボタンは、機能の出口です。



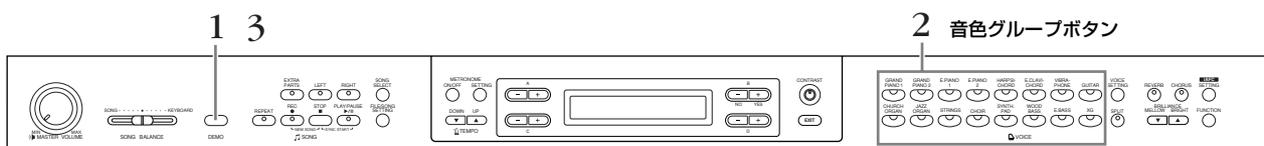
デモ曲を聞く

クラビノーバには、音色グループごとに1曲ずつ、特徴がよくわかる音色紹介用のデモ曲が入っています。下記の一覧表を参考にして、音色ごとのデモ曲を聞いてみましょう。

デモ曲

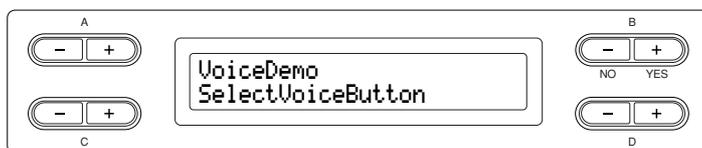
音色グループ	曲名	作曲者
GRAND PIANO1 (グランドピアノ1)	森の情景 ピアノのための9つの小品より「森の入り口」	シューマン
HARPSICHORD (ハープシコード)	ガボット	バッハ

上記デモ曲は、原曲から編集/抜粋されています。
上記以外の曲は、オリジナル曲です。(© 2005 Yamaha Corporation)



1. デモ曲モードに入る

^{デモ}
[DEMO]ボタンを押します。



音色グループボタンのランプが順次点滅します。

2. 選曲する/再生をスタートさせる

聞きたいデモ曲の音色グループボタンを押します。

押した音色グループボタンのランプが点灯し、デモ曲の再生がスタートします。
そのあと、再生をストップするまで、音色グループボタンの左上から順にデモ曲が連続して再生されます。

3. 再生をストップしてデモ曲モードを抜ける

もう一度[DEMO]ボタンを押します。

モードとは

ある機能を実行できる状態を意味します。ここでは、デモ曲を再生できる状態のことを「デモ曲モード」と呼んでいます。

音量調節

デモ曲の音量は、[MASTER VOLUME]ダイヤルで調節します。
[SONG BALANCE]スライダー(38ページ)で曲の再生音と手弾き音の音量バランスを調整することもできます。

[EXIT]ボタンまたは[STOP]ボタンを押して、デモ曲モードを抜けることもできます。

^{デモ}[DEMO]ボタンを押してからA [+]ボタンを押して「PianoDemo」を表示させると、^{ピアノデモ}ピアノデモ/iAFCデモを聞くことができます。ピアノデモでは、各サンプリング技術が有効/無効の場合を聞き比べることができます。iAFCデモでは、iAFCが有効/無効の場合を聞き比べることができます。各デモ曲は、下記のように音色グループボタンに割り当てられています。

GRAND PIANO1	ステレオサンプリング
GRAND PIANO2.....	モノサンプリング
E.PIANO1	メゾピアノサンプル
E.PIANO2	メゾフォルテサンプル
HARPSICHORD	フォルテサンプル
E.CLAVICHORD	サステインサンプルアリ
VIBRAPHONE.....	サステインサンプルナシ
GIUITAR.....	キーオフサンプルアリ
CHURCH ORGAN.....	キーオフサンプルナシ
JAZZ ORGAN.....	ストリングレゾナンスアリ
STRINGS	ストリングレゾナンスナシ
CHOIR	iAFCアリ
SYNTH. PAD	iAFCナシ

ピアノ50曲(プリセットソング)を聞く

クラビノーバには、ピアノ50曲の演奏データが入っています。これらは、鑑賞することもできますし(48ページ)、ご自身で練習することもできます(21ページ)。付属の「ピアノで弾く名曲50選」の楽譜集には、ピアノ50曲の楽譜が掲載されていますので、ご活用ください。

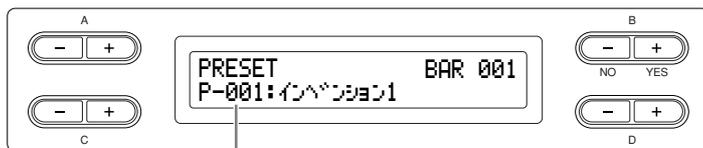
ピアノ50曲を再生する



1. 選曲する

画面左上に「PRESET」が表示されていないときは、^{プリセット} [SONG SELECT] ボタンを押して「PRESET」を表示させます。C [-][+] ボタンを押して、「P-001~P-050」から曲を選びます。

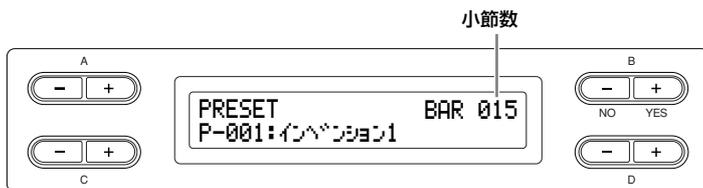
選曲画面



画面に表示されている番号が、ピアノ50曲に対応する番号です。

2. 再生をスタートさせる

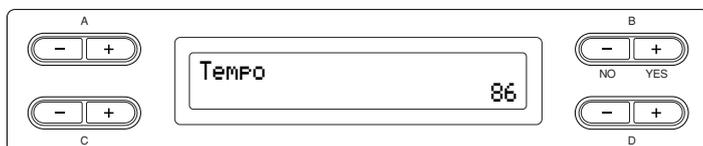
^{プレイ/ポーズ} [PLAY/PAUSE] ボタンを押して、再生をスタートさせます。



テンポを調節する

ピアノ曲ごとに固有のテンポが設定されていますが、^{テンポ} TEMPO [DOWN][UP] ボタンを押してテンポを変更できます。[DOWN][UP] ボタンを同時に押すと曲固有のテンポに戻ります。

[SONG SELECT] ボタンを押すと、選曲画面に戻ります。



SONG(ソング)とは
クラビノーバでは、演奏データを総称して「ソング」と呼んでいます。デモ曲やピアノ曲もソングです。

「-----: NewSong」は、ご自身の演奏を録音するために用意されている空のソングです(32ページ)。

[REPEAT] ボタン(22ページ)で、1曲だけの繰り返し再生や曲中のフレーズを指定した繰り返し再生ができます。また、[FILE/SONG SETTING] の「SongRepeat」(62ページ)で、全曲連続再生もできます。

曲名が画面の表示範囲を超えている場合、D [+] ボタンで1文字ずつ右へずらすことができます。元に戻す(1文字ずつ左へずらす)ときは、D [-] ボタンを押します。

再生に合わせて、ご自身で鍵盤を弾くこともできます。手弾き音の音色も変えられます。

BAR (バー) = 小節

テンポの画面で D [-][+] ボタンを押してもテンポを変更できます。

テンポのリセット(再設定)
新しい曲を選ぶと、テンポは自動的にその曲の固有のテンポがセットされます。

3. 再生をストップする

再生が終了すると自動的にストップし、曲の先頭に戻ります。途中でストップする場合は[STOP]ボタンを押します。[PLAY/PAUSE]ボタンを押すと、一時停止します。

早送り/巻き戻しなどの操作

選曲画面で以下の操作ができます。

- B [-][+]ボタンで小節を進めたり(早送り)、戻したり(巻き戻し)することができます。曲の再生中でもストップ中でもできます。
- 曲の再生中にC [-]ボタンを押すと、前の曲の再生がスタートします。
- 曲の再生中にC [+]ボタンを押すと、次の曲の再生がスタートします。
- 曲の再生中/一時停止中にB [-][+]ボタンを同時に押すか[STOP]ボタンを押すと、曲の先頭に戻ります。

4. 基本画面に戻る

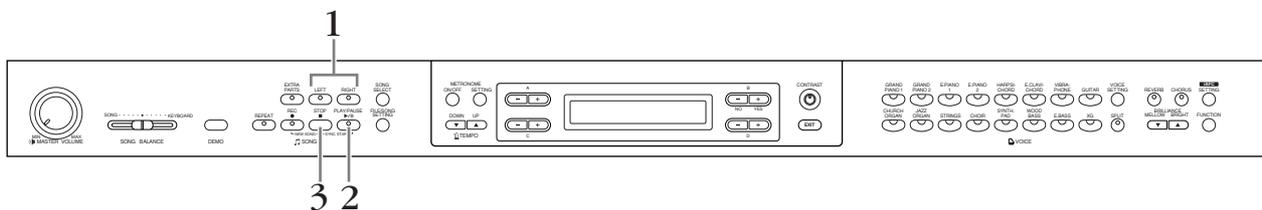
エグジット
[EXIT]ボタンを押します。

基本画面とは

電源を入れた直後の画面のことで、音色を選択(24ページ)する画面です。

ピアノ50曲の片手練習をする

ピアノ50曲では、右手パートと左手パートに分かれています。それぞれの再生をオン/オフし、再生をオフにしたパートをご自身で練習することができます。右手パートが[RIGHT]ボタンに、左手パートが[LEFT]ボタンに入っています。



1. 練習するパートの再生をオフにする

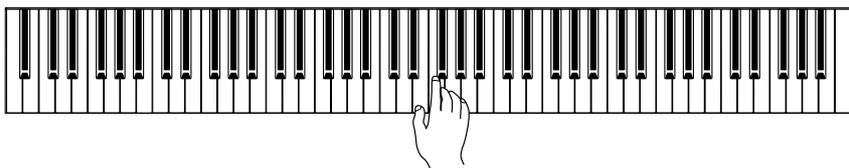
練習する曲を選んだあと、再生をオフにしたいパート([RIGHT]/[LEFT]ボタンのどちらか)を押します。

選曲した時点では、[RIGHT]/[LEFT]ボタンのランプが両方とも点灯し、再生がオンになっています。ここでどちらかのパートのボタンを押すと、そのパートのランプが消灯し、再生がオフになります。それぞれのパートは、押すごとに再生のオン/オフが切り替わります。

再生中でも、パートごとの再生オン/オフを切り替えることができます。

2. 再生をスタートさせる/演奏する

プレイ/ポーズ
[PLAY/PAUSE] ボタンを押して、再生をスタートさせます。
再生をオフにしたパートを演奏してください。



弾くと同時に再生をスタートする(シンクロスタート)

鍵盤を弾くと同時に再生をスタート(シンクロスタート)させることができます。

ストップ
[STOP] ボタンを押したまま [PLAY/PAUSE] ボタンを押すと、[PLAY/PAUSE] ボタンのランプが点滅し、シンクロスタート待機状態になります。

このあと鍵盤を弾くと、同時に再生もスタートします。

待機状態で [STOP] ボタンを押すと、シンクロスタートは解除されます。

シンクロとは
同時の、同時に起こる

3. 再生をストップする

再生が終了すると、自動的にストップし、曲の先頭に戻ります。

再生途中でストップする場合は [STOP] ボタンを押します。

[PLAY/PAUSE] ボタンを押すと、一時停止します。

パート再生のリセット(再設定)
新しい曲を選ぶと、自動的に両パートとも再生オンにリセットされます。

ピアノ50曲の繰り返し練習をする

繰り返し再生を使って、1曲または曲内のある範囲を繰り返し再生できます。難しいフレーズを繰り返し練習するときなどに便利です。

1曲を繰り返し再生する

1. 繰り返し再生をオンにする

リピート
練習する曲を選んだあと、[REPEAT] ボタンを押します。

2. 繰り返し再生をスタートさせる

[PLAY/PAUSE] ボタンを押して、繰り返し再生をスタートさせます。

3. 繰り返し再生をオフにして通常の演奏状態に戻る

[STOP] ボタンを押して曲をストップさせてから、もう一度 [REPEAT] ボタンを押します。

ピアノ50曲やUSB記憶装置に入っている曲を連続再生させることもできます(62ページ)。

指定の範囲を繰り返し再生する(ABリピート)

1. 繰り返し再生したい曲をスタートさせる

プレイ/ポーズ
[PLAY/PAUSE]ボタンを押して、曲の再生をスタートさせます。

2. 繰り返し範囲を指定する

繰り返し再生の開始位置(A点)にしたい所でリピート[REPEAT]ボタンを押します。繰り返し再生の終了位置(B点)にしたい所で、もう一度[REPEAT]ボタンを押します。

曲に合わせたカウントが入ったあと、A点からB点までが繰り返し再生されます。

3. 繰り返し範囲を解除して通常の演奏状態に戻る

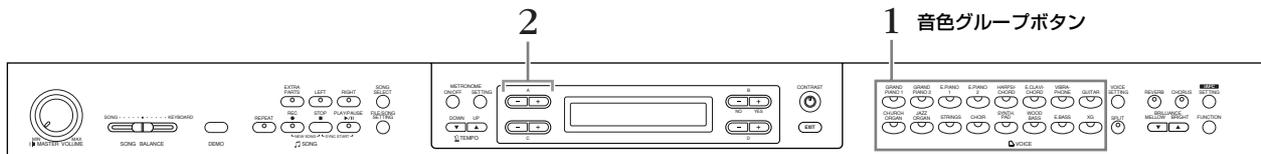
もう一度[REPEAT]ボタンを押します。

A点から曲の最後まで繰り返し再生する範囲を指定します。A点だけを指定すると曲の終了位置が自動的にB点になり、A点から曲の最後までが繰り返し再生されます。

新しい曲を選ぶと、指定した繰り返し範囲は自動的に解除され、リピートモードもオフになります。

音色を楽しむ

音色を選ぶ



1. 音色グループを選ぶ

音色グループボタンを押します。

2. 音色を選ぶ

A [-][+]ボタンで音色を選びます。

VOICE (ボイス)の意味

音色グループボタンの下に印刷されている「VOICE」は、「声」や「音」などの意味があります。

音色グループボタンを押すたびに、同じグループの中の音色を切り替えることもできます。

音色の特徴をつかむには

音色グループごとのデモ曲を聞いてみてください(18ページ)。97ページの「パネル音色のご紹介」では、各音色の特徴を説明しています。

タッチによる音の強弱

タッチにより音の強弱を付けることができますが、音色によっては、その本来の楽器の特性上、音の強弱が付かないものがあります。97ページの「パネル音色のご紹介」をご覧ください。

音色グループ	音色名	
GRAND PIANO 1 (グランドピアノ1)	Grand Piano 1	グランドピアノ1
	Mellow Piano	メローピアノ
	Rock Piano	ロックピアノ
	HonkyTonk Piano	ホンキートンクピアノ
GRAND PIANO 2 (グランドピアノ2)	Grand Piano 2	グランドピアノ2
	Bright Piano	ブライトピアノ
E.PIANO 1 (エレクトリックピアノ1)	E.Piano 1	エレクトリックピアノ1
	Synth Piano	シンセピアノ
E.PIANO 2 (エレクトリックピアノ2)	E.Piano 2	エレクトリックピアノ2
	Vintage E.Piano	ビンテージエレクトリックピアノ
HARPSICHORD (ハープシコード)	Harpsichord 8'	ハープシコード8'
	Harpsichord 8'+4'	ハープシコード8'+4'
E.CLAVICHORD (エレクトリッククラビコード)	E.Clavichord	エレクトリッククラビコード
	Wah Clavi.	ワウクラビ
VIBRAPHONE (ビブラフォン)	Vibraphone	ビブラフォン
	Marimba	マリンバ
	Celesta	セレステ
GUITAR (ギター)	Nylon Guitar	ナイロンギター
	Steel Guitar	スチールギター
CHURCH ORGAN (チャーチオルガン)	Pipe Organ Principal	パイプオルガンプリンシパル
	Pipe Organ Tutti	パイプオルガントットティ
	Pipe Organ Flute 1	パイプオルガンフルート1
	Pipe Organ Flute 2	パイプオルガンフルート2
JAZZ ORGAN (ジャズオルガン)	Jazz Organ	ジャズオルガン
	Rotary Organ	ロータリーオルガン
	Mellow Organ	メローオルガン
STRINGS (ストリングス)	Strings	ストリングス
	Synth Strings	シンセストリングス
	Slow Strings	スローストリングス
CHOIR (クワイア)	Choir	クワイア
	Slow Choir	スロークワイア
	Scat	スカット
SYNTH.PAD (シンセパッド)	Synth Pad 1	シンセパッド1
	Synth Pad 2	シンセパッド2
WOOD BASS (ウッドベース)	Wood Bass	ウッドベース
	Bass & Cymbal	ベース&シンバル
E.BASS (エレクトリックベース)	Electric Bass	エレクトリックベース
	Fretless Bass	フレットレスベース
XG	XG音色	XG音色

*XG音色については100ページの「XG音色一覧」をご覧ください。

XGを選んだ場合

XG音色は、音色グループごとのフォルダーに入っています。音色グループを選んでから音色を選ぶには、下記のように操作します。

2-1 XG音色名が表示されている隣の画面ボタン[-][+]を同時に押して、XG音色を選ぶ画面を表示させます。

2-2 A [-][+]ボタンで音色グループを選びます。

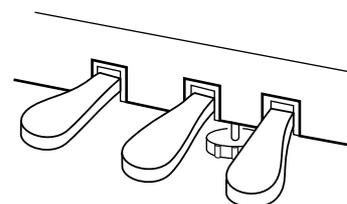
2-3 C [-][+]ボタンで音色を選びます。

XG (エックスジー)

「GMシステムレベル1」をさらに拡張し、豊かな表現力とデータの継続性を可能にしたヤマハの音源フォーマットの音色配列です。

ペダルを使う

ペダルには、右のペダル(ダンパーペダル)、まん中のペダル(ソステヌートペダル)、左のペダル(ソフトペダル)があります。これらは、主にピアノ演奏で使われます。

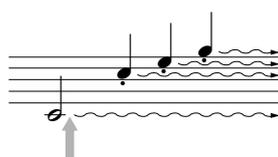


右のペダル(ダンパーペダル)

このペダルを踏んでいる間、弾いた音を、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。

グランドピアノ 1

「Grand Piano 1」の音色で、ダンパーペダルを踏むと、踏んだときの響板や弦の共鳴効果(サステインサンプリング)が加わります。ペダルを踏み込むほど音が長く伸びます(ハーフペダル対応)。



ここでダンパーペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤とそのあと弾いた音すべてが長く響く

ダンパーペダルが効かない、または踏んでいないのに音が長く響いてしまう

ペダルコードのプラグが[PEDAL]端子に差し込まれていないと思われる。確実に差し込んでください(137ページ)。あるいは[FUNCTION]の「RPedalFunc」の設定がオフになっていないか確認してください(76ページ)。

[FUNCTION]の「HalfPedalPoint」で、右ペダルをどのくらい踏み込めばダンパー効果が効き始めるのかを設定することができます(78ページ)。

[FUNCTION]の「SustainSamplingDepth」で、ダンパーペダルの共鳴効果(サステインサンプリング)の深さを調節できます(78ページ)。

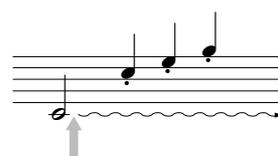
[FUNCTION]の「RPedalFunc」/「CPedalFunc」/「LPedalFunc」でそれぞれのペダルの機能を変更することができます(76ページ)。

まん中のペダルと左のペダルのスタート/ストップ機能切り替え
[FUNCTION]の「PedalPlay/Pause」で、まん中のペダルか左のペダルをパネルの[PLAY/PAUSE]ボタンと同じ機能に切り替えることができます(78ページ)。

ペダルは一般的なアコースティックピアノ同様経年変化によって変色することがあります。その際はピアノ用コンパウンドを楽器店などでお買い求めいただき、使用上の注意をよくご確認のうえご使用ください。

まん中のペダル(ソステヌートペダル)

このペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけを、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。ペダルを踏んだあとに弾いた音には効果はかかりません。



ここでソステヌートペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤の音だけが長く響く

左のペダル(ソフトペダル)

このペダルを踏んでいる間、ペダルを踏んだあとに弾いた音の音量をわずかに下げ、音の響きを柔らかくします。(ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音には効果はかかりませんので、効果をかけたい音を弾く直前に踏みます。)

ピブラフォン

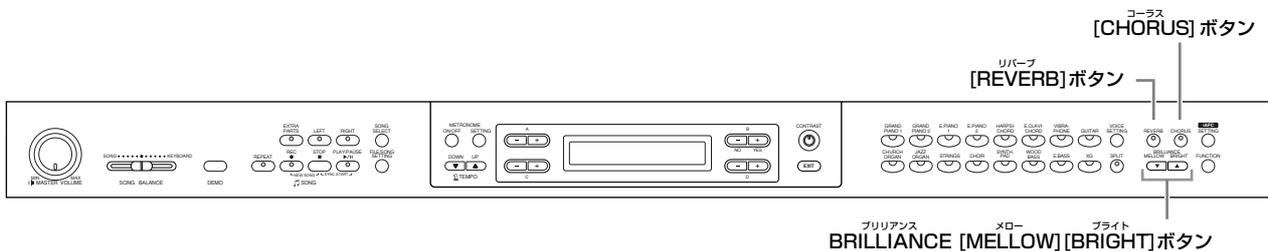
ジャズオルガン

メローオルガン

ただし、「Vibraphone」、「Jazz Organ」と「Mellow Organ」の音色では、音が揺れる効果のオン/オフや速さの切り替えに使われます(76ページ)。

音に変化を付ける(ブリリアンス/リバーブ/コーラス)

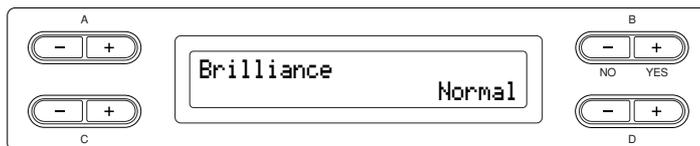
EFFECT (エフェクト=効果)は音の表情を変えることができる機能です。ブリリアンス/リバーブ/コーラスの3つのエフェクトがあります。



ブリリアンス

音の明るさを調節します。自分の好みの音の感じに変えて演奏することができます。

ブリリアンス メロー ブライト
BRILLIANCE [MELLOW] [BRIGHT] ボタンのどちらかを押し、音質のタイプを選びます。



Mellow1~3 (メロー 1~3)

柔らかくまろやかな音になります。1、2、3の順で音の柔らかさが増します。

Normal (ノーマル)

標準的な音質です。

Bright1~3 (ブライト1~3)

明るい音になります。1、2、3の順で音の明るさが増します。

エグジット

[EXIT] ボタンを押すと、基本画面に戻ります。

リバーブ

音に残響を付け加えます。コンサートホールなどで演奏しているような臨場感を味わうことができます。

リバーブ
[REVERB] ボタンを押すごとにオン/オフが切り替わります。

グラントピアノ1 グラントピアノ2
「Grand Piano 1」と「Grand Piano 2」の音色では、リバーブがオフの場合でもピアノの響板の響き(サウンドボードリバーブ)を残すようになっています。

[BRILLIANCE] ボタンを押したあと、D [-][+] ボタンで音質のタイプを選ぶこともできます。

基本設定：Normal (ノーマル)

基本設定とは

本書では、はじめて電源を入れたときの設定(工場出荷時の設定)のことを「基本設定」と呼んでいます。

音がひずむ場合は

「Bright 1/2/3」を設定すると、音量が少し大きくなります。マスターボリュームが大きくなっている状態では音がひずむことがありますので、音量を少し下げてください。

[VOICE SETTING] ボタンの「ReverbType」でリバーブのタイプを、「ReverbSend」でリバーブの深さ(かかり具合)を音色ごとに設定することができます(68ページ)。

基本設定：オン

コーラス

音に広がり感を付け加えます。

コーラス
[CHORUS] ボタンを押すごとにオン/オフが切り替わります。
 コーラスのオン/オフは、パネルの**[CHORUS]** ボタンでの設定と、**[VOICE SETTING]** ボタンの「ChorusOnOff」(69ページ)での設定があります。パネルの**[CHORUS]** ボタンでの設定は、一時的な設定で、別の音色が選ばれると無効になります。「ChorusOnOff」での設定は音色ごとに記憶される設定で、その音色が選ばれると、設定に従って自動的にコーラスのオン/オフも切り替わります。

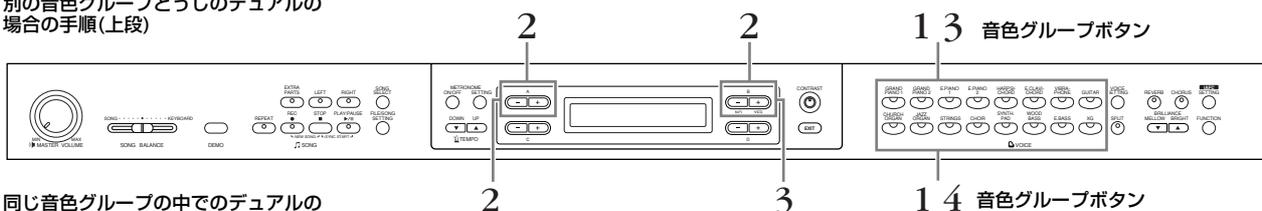
[VOICE SETTING] ボタンの「ChorusType」でコーラスのタイプを、「ChorusSend」でコーラスの深さ(かかり具合)を、「ChorusOnOff」でコーラスのオン/オフを音色ごとに設定することができます(68ページ)。

基本設定:
 音色ごとにコーラスのオン/オフが設定されています。

2つの音色を混ぜて弾く(デュアル)

2つの音色を混ぜて弾くことができます。2つの音色でメロディをデュエットさせたり、同系統の音色を混ぜて厚みのある音を作り出したりすることができます。効果的な音色の組み合わせを99ページの「2つの音色の組み合わせ例(デュアルとスプリット)」でご紹介しています。

別の音色グループどうしのデュアルの場合の手順(上段)

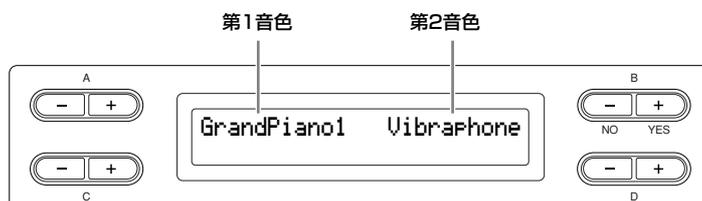


同じ音色グループの中でのデュアルの場合の手順(下段)

別の音色グループどうしのデュアル

1. デュアルモードに入る

音色グループボタンを2つ同時に押します。



2. 音色を選ぶ

A [-][+] ボタンと B [- (NO)][+ (YES)] ボタンで音色を選びます。
 97ページの「パネル音色のご紹介」の上の音色を第1音色、下の方の音色を第2音色と呼びます。

3. デュアルモードを抜けて通常の演奏状態に戻る

新たに音色グループボタンを1つ押します。

デュアル=2つの

鍵盤全体を左右の領域に分けたとき(28ページ)に、左の領域をデュアルモードにするには、[SPLIT] ボタンを押したまま2つの音色グループボタンを同時に押します。

XG音色の選び方については、25ページをご覧ください。

同じ音色グループの中でのデュアル

1. 音色グループを選ぶ

通常の演奏状態で、音色グループボタンを押します。

2. 音色を選ぶ

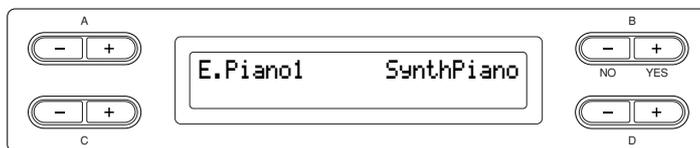
A [-][+]ボタンで音色を選びます。

3. もう一つの音色を選ぶ

B [- (NO)][+ (YES)]ボタンで同じ音色グループの中からもう一方の音色を選びます。

B [-][+]ボタンを1回だけ押すと、同じ音色どうしのデュアルになります。

B [-][+]ボタンを何回か押すと、同じ音色グループの他の音色とのデュアルになります。



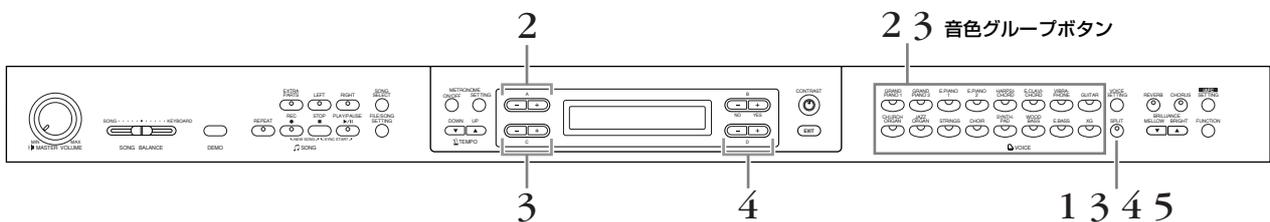
鍵盤全体を左右の領域に分けたとき(28ページ)に、左の領域をデュアルモードにするには、D [-][+]ボタンを押します。

4. デュアルモードを抜けて通常の演奏状態に戻る

新たに音色グループボタンを1つ押します。

鍵域を左右に分けて別々の2つの音色で弾く(スプリット)

鍵盤全体を左右の領域に分け、別々の音色で演奏することができます。左の領域で「WOOD BASS」や「E.BASS」などの音色でベースパートを、右の領域でメロディパートを演奏したりすることができます。効果的な音の組み合わせを、99ページの「2つの音色の組み合わせ例(デュアルとスプリット)」でご紹介しています。



1. スプリットモードに入る

スプリット
[SPLIT]ボタンを押します。

スプリット=分ける

2. 右側の音色を決める

音色グループボタンとA [-][+]ボタンで右の領域の音色を選びます。

XG音色の選び方については、25ページをご覧ください。

3. 左側の音色を決める

^{スプリット}
[SPLIT]ボタンを押したまま音色グループボタンを押して、左の領域の音色グループを選びます。

音色を選ぶには、C [-][+]ボタンを押します。

4. スプリットポイント(領域の境め)を決める

スプリットポイントは「F#2」が基本設定になっています。

スプリットポイントの鍵盤は左側に含まれます。



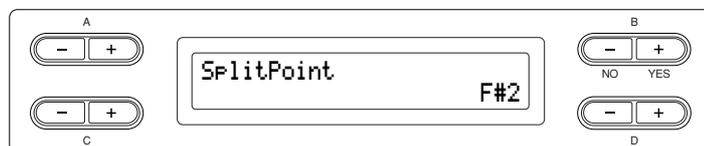
スプリットポイントの変更

スプリットポイントを変えたい場合に次の操作を行います。

4-1 [SPLIT]ボタンを押したまま、D [-][+]ボタンでスプリットポイントを選びます。

または[SPLIT]ボタンを押したままスプリットポイントにしたい鍵盤を押します。

スプリットポイントは [FUNCTION]の「SplitPoint」で設定することもできます(76ページ)。

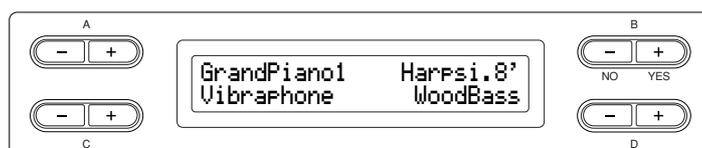


4-2 [SPLIT]ボタンを離すと基本画面に戻ります。

5. スプリットモードを抜けて通常の演奏状態に戻る

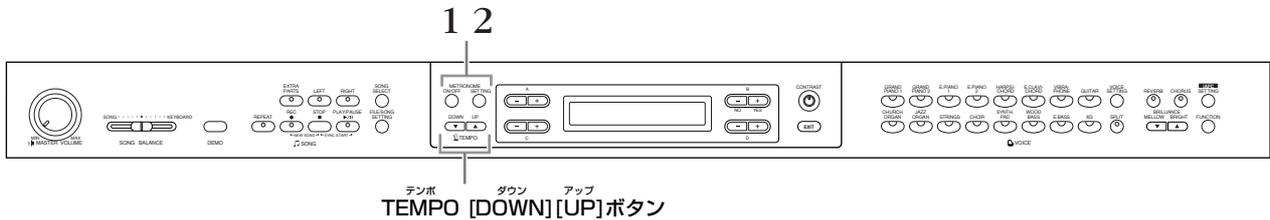
[SPLIT]ボタンを押します。

スプリットモードの、右の領域/左の領域それぞれでデュアル(27ページ)を利用することができます。



メトロノームを使う

クラビノーバは、メトロノーム(ピアノの練習でよく使われる正確なテンポを刻む道具)を備えています。ご利用ください。

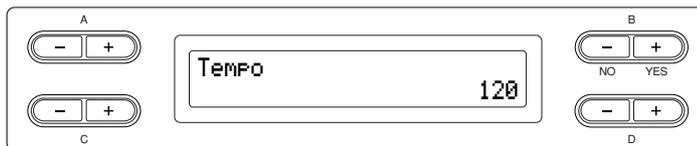


1. メトロノームを鳴らす

メトロノーム
METRONOME [ON/OFF] ボタンを押します。

テンポを調節する

テンポ ダウン アップ
TEMPO [DOWN][UP]ボタンのどちらかを押します。



TEMPO [DOWN][UP]ボタンまたはD [-][+]ボタンでテンポ(5~500: 1分間の拍数)を調節します。[DOWN][UP]ボタンを同時に押すか、D [-][+]ボタンを同時に押すと基本設定のテンポに戻ります。

エグジット
[EXIT]ボタンを押すと基本画面に戻ります。

2. メトロノームを止める

METRONOME [ON/OFF] ボタンを押します。

基本設定：120
(ただし曲が選ばれているときは、その曲の固有のテンポになります。)

METRONOME [SETTING] ボタンで、拍子、メトロノームの音量、メトロノームの音色を設定することができます(65ページ)。

演奏を録音(記録)する

クラビノーバの録音機能を使ってご自身の演奏を録音する方法を説明します。

練習の中で、ご自身の演奏を録音して聞いてみたり、左手(右手)パートだけ録音しておいて、再生しながら右手(左手)パートを練習したりすることもできます。
また、16の録音パートに別々に録音できますので、右手パートと左手パートを分けて録音したり、連弾曲やアンサンブルの曲を1パートずつ録音して完成させたりすることもできます。

「録音」と「記録」

カセットテープに録音するのとクラビノーバの録音機能を使って録音(記録)するのでは、録音されるデータの形式が異なります。
カセットテープでは音そのものが「録音」されますが、クラビノーバの録音機能では音そのものではなく、「どの音をどのタイミングで弾き、音色はこれで、テンポはいくつで」という情報が「記録」されます。再生の際は記録された情報どおりに「音源」部が鳴ります。
クラビノーバの録音機能を使った「録音」は、本来「記録」というべきですが、広義に捉えて、本書では一般的に理解しやすい「録音」という言葉を使います。ただし、特に区別してご理解いただきたい場合は、「記録」という場合もあります。

別の録音方法

[AUX OUT]端子を使ってカセットテープレコーダーなどに接続し、オーディオ録音することもできます(52ページ)。

操作中、操作をスムーズに導くために、画面に各種のメッセージ(情報や確認など)が表示されることがあります。その意味や対処の方法については、83ページの「メッセージ一覧」をご覧ください。

録音の方法

録音パートを指定せずに簡単に録音する方法と、録音パートを指定して多重録音する方法があります。用途に合った方法で録音してみましょう。

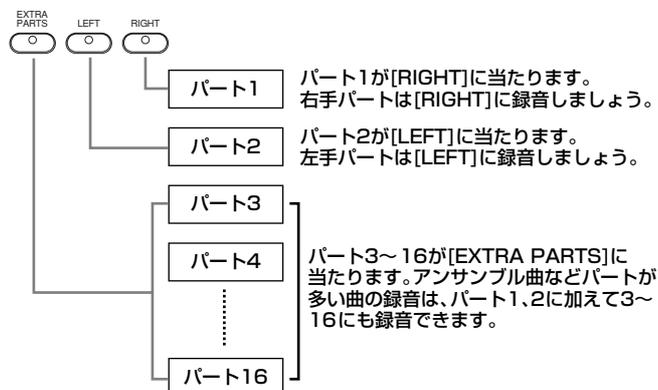
録音パートを指定せずに録音する(32ページ)

練習中のピアノ曲を録音して聞いてみるなど、録音パートを指定せずに手軽に録音する方法です。

この方法では、自動的に[RIGHT] (パート1)に録音されます。

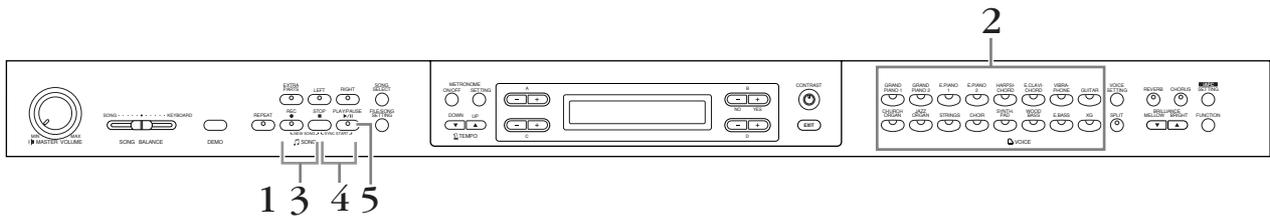
録音パートを指定して多重録音する(35ページ)

右手(RIGHT)、左手(LEFT)、その他(EXTRA PARTS)のパートを選んで、各パートを別々に録音する方法です。右手パートを再生させながら左手パートを録音できますので、連弾曲を1パートずつ録音するのに便利です。この楽器では16パートまで録音できますので、アンサンブルの曲を1パートずつ録音して完成させたりすることもできます。



この楽器では、[RIGHT]、[LEFT]に対して曲中の適切なチャンネル(パート)が自動的に割り当てられます。したがって、[RIGHT]にチャンネル1以外、[LEFT]にチャンネル2以外が割り当てられることがあります。

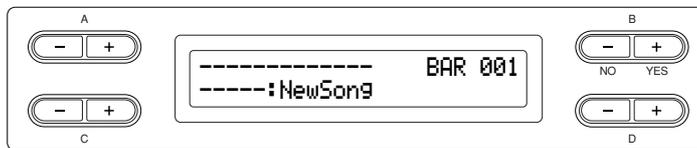
録音パートを指定せずに録音する



1. 録音用の曲「NewSong (新しい曲)」を選ぶ

レコード ^{ストップ} [REC] ボタンと [STOP] ボタンを同時に押します。

「NewSong」の画面



2. 録音する音色を選ぶ

録音に使う音色を選びます(24ページ)。

必要に応じてそのほかの設定(リバーブやコーラス、ソングバランスなど)も選んでください。

[MASTER ^{マスターボリューム} VOLUME] は、弾きやすい音量に設定してください。再生のときにも [MASTER VOLUME] で音量を調節することができます。

設定が終わったら [SONG ^{ソングセレクト} SELECT] ボタンを押して「NewSong」の画面に戻ります。

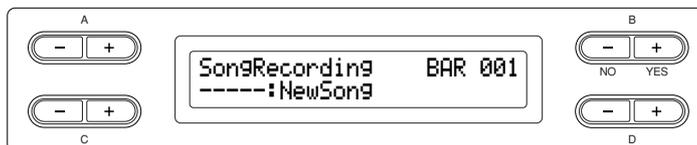
3. 録音モードに入る

[REC] ボタンを押します。

[REC] ボタンと [RIGHT ^{ライト}] ボタンのランプが赤く点滅します。

(録音を中止する場合は、もう一度 [REC] ボタンまたは [STOP] ボタンを押します。)

録音待機画面



テンポを設定する場合は、ここで行ないます。

テンポを設定したときや、録音待機画面が表示されていないときは、[SONG SELECT] ボタンを1回押します。

ここで [----:NewSong] 以外の曲を選んでデータがあるパートに録音すると、それまでのデータは消えてしまいますので、ご注意ください。

テンポを設定する場合は手順3で行なってください。

デュアル/スプリットを使った録音については、38ページをご覧ください。

4. 録音をスタートし、ストップする

演奏を始めると、自動的に録音がスタートします。

曲の始めに空白の小節を録音したいときは、^{プレイ/ポーズ} [PLAY/PAUSE] ボタンを押して録音をスタートします。

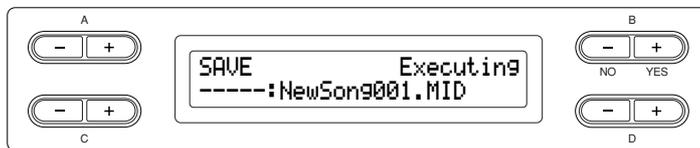
録音画面では、録音中の小節番号が表示されます。

録音画面



^{ストップ} [STOP] を押すと録音がストップし、曲の先頭に戻ります。

録音モードが解除され、曲が自動的に保存されます。保存が終わると、保存用メモリー (39ページ) の画面が表示されます。



5. 録音した演奏を再生する

[PLAY/PAUSE] ボタンを押して、今録音した演奏を再生します。

再生が終了すると自動的にストップし、曲の先頭に戻ります。途中でストップする場合は [STOP] ボタンを押します。[PLAY/PAUSE] ボタンを押すと、押した位置で一時停止します。

メトロノームを使う

[METRONOME] を使って録音することもできます。ただし、メトロノームの音は録音されません。

録音途中で [PLAY/PAUSE] ボタンを押すと、一時停止となります。再度押すか押鍵で録音を再開します。

録音中に [REC] ボタンを押すと録音がストップし、押した位置にとどまります。曲を先頭に戻すときは、[STOP] ボタンを押してください。

曲の名前を変更する

録音した曲は自動的に名前が付けられますが、ご自分で名前を付け直すことができます (43ページ)。

曲を部分的に録音し直す

曲を部分的に録音し直したい場合の手順を説明します。

1. 録音の仕方を選ぶ

^{ファイル / ソングセッティング} 1-1 [FILE/SONG SETTING] ボタンを押します。

1-2 A [-][+] ボタンを押して、^{レックスタート} 「RecStart(録音開始方法)」 / ^{レックエンド} 「RecEnd(録音終了方法)」 を表示させます。

1-3 D [-][+] ボタンを押して、録音開始/終了方法を選びます。

録音開始方法

Normal (ノーマル): 録音開始以降のデータを消す

FirstKeyOn (ファーストキーオン):

録音開始しても最初に鍵盤を弾く前のデータは消さない

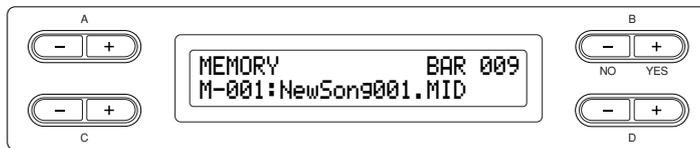
録音終了方法

Replace (リブレース): 録音終了以降にあった元のデータを消す

PunchOut (パンチアウト): 録音終了以降にあった元のデータを残す

2. 録音し直したい場所で一時停止する

再生画面のB [-][+]ボタンで小節を移動するか、録音した演奏を再生して、録音し直したい場所の少し手前でプレイ/ポーズ [PLAY/PAUSE]ボタンを押します。
再生画面が表示されていないときは、ソングセレクト [SONG SELECT]ボタンを押してください。



3. 必要に応じて、録音する音色を選び直す

32ページの手順2と同様です。先に録音したときと設定を変えたい場合に行なってください。

4. 録音モードに入る

レコード [REC]ボタンを押します。

(録音を中止する場合は、もう一度[REC]またはストップ [STOP]ボタンを押します。RecStartがNormalの場合<33ページ>は、曲を上書きするかどうかの確認が表示されますので、B [- (NO)]ボタンを押して中止してください。)

5. 録音をスタートし、ストップする

演奏を始める、または[PLAY/PAUSE]ボタンを押すと、録音がスタートします。

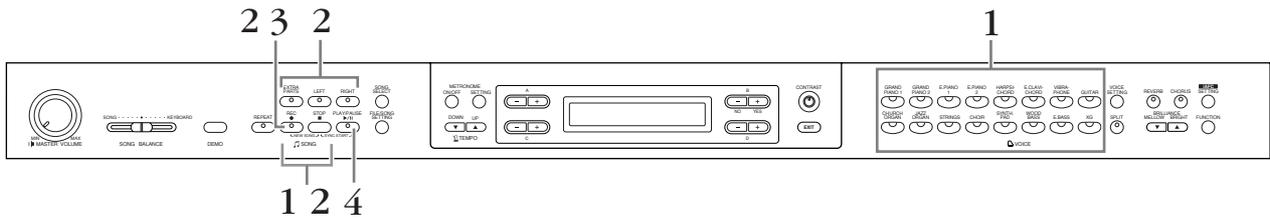
[STOP]ボタンを押すと録音がストップし、曲の先頭に戻ります。

6. 録音した曲を保存する

録音をストップすると、上書き保存するかどうかの確認が表示されます。B [+ (YES)]ボタンを押して、上書き保存します。

保存を中止するときはB [- (NO)]ボタンを押します。

録音パートを指定して多重録音する



1. 録音用の曲「NewSong(新しい曲)」を選び、録音する音色を選ぶ

「録音パートを指定せずに録音する」での操作と同様です。32ページの手順1~2をご覧ください。

2. 録音パートを指定し、録音モードに入る

右手/左手パート(パート1/2)に録音する場合

レコード [REC] ボタンを押したまま ライト [RIGHT] (右手)/レフト [LEFT] (左手) ボタンを押します。

その他パート(パート3~16)に録音する場合

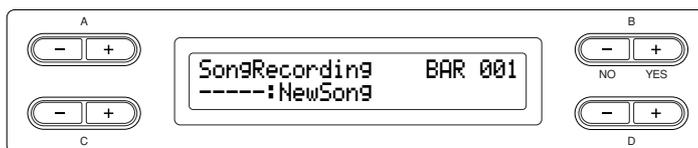
ファイル/ソングセッティング [FILE/SONG SETTING] ボタンを押してから A [-][+] ボタンを押して、
レックエキストラパーツチャンネル 「RecExtraPartsCh」を表示させます。D [-][+] ボタンを押して録音パートを選びます。ここで選んだパートは、エキストラパーツ [EXTRA PARTS] ボタンに割り当てられます。

[EXTRA PARTS] ボタンに録音パートを割り当てたあとで、[REC] ボタンを押したまま [EXTRA PARTS] ボタンを押します。

録音パートを指定すると、[REC] ボタンと指定したパートのランプが、赤く点滅します。

(録音を中止する場合は、もう一度 ストップ [REC] ボタンまたは [STOP] ボタンを押します。)

録音待機画面



テンポを設定する場合は、ここで行ないます。

テンポを設定したときや、録音待機画面が表示されていないときは、[SONG SELECT] ボタンを押します。

右手/左手パートの再生をオフにしておきたいときは、[RIGHT]/[LEFT] ボタンを押して緑のランプを消灯させます。

3. 録音をスタートし、ストップする

演奏を始めるまたは プレイ/ポーズ [PLAY/PAUSE] ボタンを押すと、録音がスタートします。

ストップ [STOP] ボタンを押すと録音がストップし、曲の先頭に戻ります。

録音モードが解除され、曲が自動的に保存されます。

保存が終わると、保存用メモリー (39ページ) の画面が表示されます。

テンポを設定する場合は手順2で行なってください。

デュアル/スプリットを使った録音については、38ページをご覧ください。

そのほかの録音方法とテクニック

既存の曲に追加/上書き録音する

ここまで「----:NewSong^{ニューソング}」を選んではじめから録音する方法を説明してきましたが、P-001~P-050までのピアノ50曲(プリセットソング)や市販のミュージックデータ、ご自身ですでに録音して保存してある曲(31ページ)などの既存の曲に、追加録音や上書き録音して保存することもできます。

1. 追加/上書き録音する曲を選びます。

内蔵のピアノ曲に上書き/追加録音する場合

[SONG SELECT]ボタンを押してからA [-][+]ボタンで「PRESET^{プリセット}」を表示させ、C [-][+]ボタンで曲を選びます。

ここで録音した曲は、保存用メモリー (39ページ)に自動保存されます。

市販のミュージックデータやすでに録音/保存してある曲を選ぶ場合

[SONG SELECT]ボタンを押してから、A [-][+]ボタンで「MEMORY^{メモリー}」または「USB1」を表示させ、C [-][+]ボタンで曲を選びます。

ここで録音した曲は、録音をストップしたときに上書き保存するかどうかの確認が表示されます。B [- (NO)]ボタンを押して上書き保存してください。

このあとは、32ページから33ページまでで説明している「録音パートを指定せずに録音する」と同様の方法で録音します。

 データがあるパートに録音すると、それまでのデータは消えてしまいますので、ご注意ください。

録音後に音色やテンポなどを変更する

録音を終えたあとでも、曲の音色やテンポなどを変更することができます。録音したあとで音色を変更して違った雰囲気曲にしたり、曲を適切なテンポに調節したりすることができます。曲の途中での変更もできます。

1. 変更する曲を選びます。

選曲方法は、上記の「既存の曲に追加/上書き録音する」と同様です。

2. 曲の途中から変更したい場合は、再生画面のB [-][+]ボタンで小節を移動するか、録音した演奏を再生して、設定を変更したい場所の少し手前で[PLAY/PAUSE]ボタンを押します。

再生画面が表示されていないときは、[SONG SELECT]ボタンを押してください。

3. 変更したい内容(音色やリバーブなど)を設定します。

たとえば、録音した「^{エレクトリックピアノ}E.PIANO 1」の音色を「E.PIANO2」に変更したい場合は、音色グループボタンとA [-][+]ボタンで「E.PIANO2」を選びます。

設定が終わったら、^{ソングセレクト}[SONG SELECT]ボタンを押して、選曲画面に戻ります。

❗ この時点でのパネル設定が、次の手順4の操作を行なった時点で書き込まれ、元に戻すことができなくなります。ご注意ください。

4. ^{レコード}[REC]ボタンを押したまま値を変更するパートを選びます。

選ばれたパートのランプが赤く点滅します。

テンポを変更する場合はここで行ないます。

❗ ここで、鍵盤や[PLAY/PAUSE]ボタンを押さないように注意してください。録音がスタートしてしまい、録音済みのデータが消えてしまいます。

5. ^{ストップ}[STOP]または[REC]ボタンを押して、録音モードを抜けます。

上書き保存するかどうかの確認が表示されますので、B [+ (YES)]ボタンを押して上書き保存します。

音色やテンポを変更する前に、録音開始方法が「Normal (ノーマル)」(33ページ)になっていることを確認してください。録音開始方法が「FirstKeyOn (ファーストキーオン)」のままだとここで音色やテンポを変更することができません。

音色やテンポのほかに変更できる内容については詳しくは、87ページの「操作や機能についての疑問がわいたら」をご覧ください。

テンポを変更する場合は、手順4で行なってください。

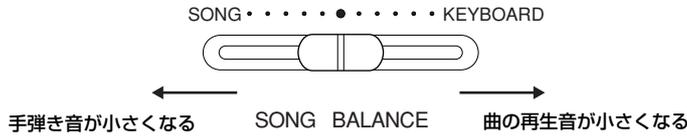
曲の再生音と手弾き音の音量バランスを調節する

ソング バランス

[SONG BALANCE]

複数のパートを重ねて録音していくときに、録音済みのパートの再生音と録音する手弾き音との音量バランスを調節することができます。

1. [SONG BALANCE]スライダーを左右に動かして調節します。



市販のミュージックデータの中には、非常に大音量のデータがあります。そのようなデータを使用する場合、ソングバランスを調節してください。

デュアルやスプリットを使って録音する

デュアルやスプリットを使って録音する場合は、自動的に音色ごとに別々のパートに録音されます。パートの割り当ては次表のようになります。

曲の途中でのデュアル/スプリットへの切り替えは録音されません。

! 複数のパートを重ねて録音していくときや、既存の曲への上書き録音(36ページ)のときに、データのあ
るパートに録音してしまうと元のデータは消えてしまいますので、ご注意ください。

それぞれ指定した録音パートが1、2、EXTRA PART^{エキストラパート}n の場合を示します。

指定した 録音パート	デュアル			スプリット			スプリットデュアル		
	RIGHT (パート1)	LEFT (パート2)	EXTRA PART ⁿ (パートn)	RIGHT (パート1)	LEFT (パート2)	EXTRA PART ⁿ (パートn)	RIGHT (パート1)	LEFT (パート2)	EXTRA PART ⁿ (パートn)
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
実際に録音に 使われるパート	MAIN (第1音色)	パート1	パート2	パートn	パート1	パートn	パート1	パートn	パートn
	LEFT (第1音色)				パート2	パートn+1	パート2	パートn+1	パートn+1
	MAIN (第2音色)	パート3	パート4	パートn+2			パート3	パートn+2	パートn+2
	LEFT (第2音色)						パート4	パートn+3	パートn+3

パートn=パート3~パート16

「n+1」「n+2」「n+3」が16を超える場合は折り返してパート1、2、3が使われます。

曲を削除するなどのファイル操作をする

[FILE/SONG SETTING](ファイル/ソングセッティング)

ファイル/ソングセッティング

[FILE/SONG SETTING]ボタンを押して表示される一連の画面(ファイル画面)では、曲の削除や曲名変更などの曲ファイルに関する操作ができます。

項目	表示		ページ
録音した曲を保存する	Save	セーブ	42
保存用メモリーやUSB記憶装置の曲を削除する	Delete	デリート	43
曲名を変更する	Rename	リネーム	43
曲をコピーする	Copy	コピー	44
曲を移動する	Move	ムーブ	45
USB記憶装置にフォルダーを作る	MakeDir	メイクディレクトリ	45
USB記憶装置をフォーマットする	Format	フォーマット	46
メディアを挿入したとき曲を自動呼び出しする	SongAutoOpen	ソング オートオープン	46
表示文字の種類を切り替える	CharacterCode	キャラクターコード	47

❗ コピー機能は、個人的な使用の範囲でのみご利用ください。

クラビノーバのメモリーについて

クラビノーバの内部には、3つのメモリーがあります。

カレントメモリー

再生したり録音したりするために現在選ばれている曲を置いておく作業領域としてのメモリー

プリセットソングメモリー

ピアノ50曲(プリセットソング)を保存してある固定領域としてのメモリー

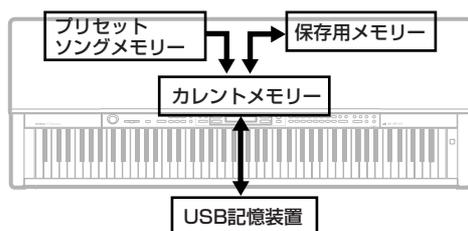
保存用メモリー

録音した曲などを保存しておく保存場所としてのメモリー

選曲画面で曲を選ぶ操作をすると、実際にはそのつど選んだ曲が、曲が入っていたメモリーから、カレントメモリーに読み込まれます。

再生したり録音したりするのは、常にカレントメモリーにある曲になります。

プリセットソングメモリーや保存用メモリーの曲は、電源を切っても消えませんが、カレントメモリーの曲は、電源を切ると消えてしまいます。ただし、録音した曲は、録音後にカレントメモリーから保存用メモリーに自動保存されます。



以降、カレントメモリーにある曲のことを「カレントソング」、保存用メモリーにある曲のことを「メモリーソング」、USB記憶装置に入っている曲のことを「USBソング」と呼びます。

ファイルとは

あるデータのまとまりを1つの単位として保存したものです。曲データを曲番号単位で曲ファイルと言います。

セーブ=保存する

デリート=削除する

リネーム=名前を付け替える

キャラクターコード=文字の種類

メモリーとは

クラビノーバ内部の、データを保存したり作業をしたりする場所のことです。

カレント=現在

プリセット=あらかじめセットされた

曲の種類

この楽器では、いろいろな種類の曲が扱われます。曲名の左に、曲の種類を示すアルファベットと曲番号が表示されます。曲の種類を示すアルファベットの意味とファイル操作の制限は、下記のとおりです。

P	プリセットソング
M	メモリーソング
MP	メモリーソングで、プリセットソングを保存用メモリーにコピーしたものやDOC (ディスクオーケストラコレクション)、ピアノプレーヤ用の曲。
MS、Ms	プロテクトがかかったメモリーソング
U1	USBソング
U1P	USBソングで、DOC (ディスクオーケストラコレクション)、ピアノプレーヤ用の曲。
U1S、U1s	プロテクトがかかったUSBソング

ファイル操作の制限

	曲の種類			
	P	M、U1	MP、U1P	MS、Ms、U1S、U1s
Save	○*1	○	○*1	×
Delete	×	○	○*2	○
Rename	×	○	○*2	○
Copy	○*1	○	○*1	×
Move	×	○	×	○*3

*1 保存用メモリーへのみ可能

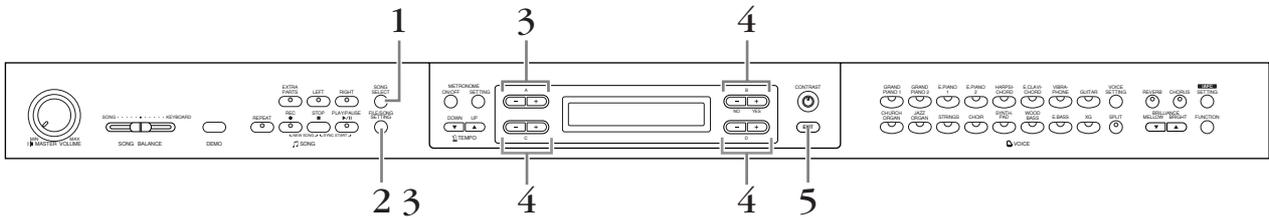
*2 MPのみ可能

*3 保存用メモリーとUSB記憶装置間の移動が可能

U1Sの曲で拡張子が「.SME」のものは、Deleteのみができます。

ファイル画面の基本操作

操作中、操作をスムーズに導くために、画面に各種のメッセージ(情報や確認など)が表示されることがあります。その意味や対処の方法については、83ページの「メッセージ一覧」をご覧ください。



1. ファイル操作の準備をする

下記のとおりファイル操作の準備をします。

セーブ リネーム コピー ムーブ
Save, Rename, Copy, Moveの場合:

ソングセレクト
 [SONG SELECT]から対象となる曲を選択します。

マイクディレクトリ
MakeDirの場合:

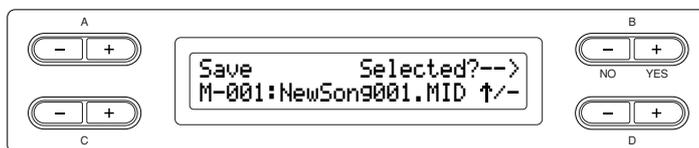
[SONG SELECT]からUSB記憶装置を選択します。

デリート フォーマット ソングオートオープン キャラクターコード
Delete, Format, SongAutoOpen, CharacterCodeの場合:

ここでの操作は不要です。

2. ファイル操作モードに入る

ファイル/ソングセッティング
 [FILE/SONG SETTING]ボタンを押します。



これ以降操作を中止してファイル操作モードを抜ける場合は、[EXIT]ボタンを1回か2回押します。

3. 項目を選ぶ

[FILE/SONG SETTING]ボタンまたはA [-][+]ボタンを何度か押して、設定したい項目を選びます。

4. 設定または実行する

B [- (NO)][+ (YES)]/C [-][+]/D [-][+]ボタンで設定/実行します。

この操作について詳しくは、それぞれ該当する項目を参照してください。

5. ファイル操作モードを抜ける

エグジット
 [EXIT]ボタンを押します。

フォルダーの中にある曲が表示されている場合は、画面右下に「↑/↓」が表示されます。この場合、D [+]ボタンでフォルダーの中に入ることができます。元(上の階層)に戻るときはD [-]ボタンを押します。



保存/コピー/削除などデータのアクセス中に、USBケーブルを抜いたり、USB記憶装置からメディア(フロッピーディスクなど)を取り出したり、双方の電源を切ったりしないでください。メディアが壊れたり、楽器本体/メディアのデータが壊れたりするおそれがあります。

「Overwrite?-->」=上書きしますか?

「Execute?-->」=実行しますか?

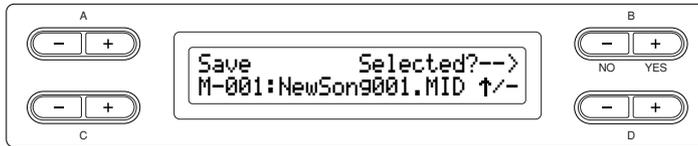
「Sure?-->」=いいですか?

「Executing」=実行中

「Completed」=完了しました

録音した曲を保存する「Save (セーブ)」

録音した曲は自動的に保存用メモリーに保存されますので、通常はこの画面での保存の作業は不要です。ただし、録音後に「MemoryFull (保存用メモリーの容量が足りません)」、^{メモリーフル}「SystemLimit (保存されているファイル数が制限を超えています)」^{システムリミット}が表示されたときなどに、この画面からUSB記憶装置に保存します。



⊗ 曲の保存が完了する前に電源を切らないでください。保存前の曲は、電源を切ると消えてしまいます。

基本操作は、41ページをご覧ください。
手順4の部分は、下記に従って操作します。

4-1 保存先を選ぶ

D [-]ボタンを押して「DriveSelected?→」^{ドライブセレクト}を表示させてから、C [-][+]ボタンを押して保存先を選びます。

保存先を選んだら、B [+ (YES)]ボタンを押して決定します。そのあと「Selected?→」^{セレクト}が表示されますので、B [+ (YES)]ボタンを押します。

4-2 曲名を付ける

C [-][+]ボタンでカーソル(下線)を移動します。
同時押しでスペースが挿入されます。

D [-][+]ボタンでカーソルの位置の文字を選択します。
同時押しで文字が削除されます。
最大全角で23文字、半角で46文字までの曲名が付けられます。画面からはみだした文字は、C [-][+]ボタンでカーソルを移動し、順次表示させることができます。

4-3 実行する

「Execute?→」^{エグゼキュー}の隣にあるB [+ (YES)]ボタンを押します。

あとは画面の指示に従って操作します。
曲番号は自動で付けられます。

⊗ 「Executing (エグゼキューティング)」の表示中は、電源を切ったり、メディアを取り出したりしないでください。

フォルダーの中にある曲が表示されている場合は、画面右下に「↑/↓」が表示されます。この場合、D [+]ボタンでフォルダーの中に入ることができます。元(上の階層)に戻るときはD [-]ボタンを押します。

曲名表示について

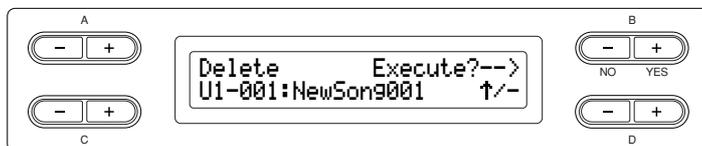
「CharCode (キャラクターコード)」で、表示文字の種類を切り替えることができます。

この楽器で録音した曲は、SMF (フォーマット0)の形式で保存されます。

曲の保存先にすでにいくつか曲ファイルがあった場合、新たに曲を保存すると、自動的に全曲アルファベット/アイウエオ順などに分類されて、番号が付け直されます。

保存用メモリーやUSB記憶装置の曲を削除する「Delete (デリート)」

メモリーソングやUSBソングを削除します。プリセットソングやカレントソングは削除できません。



基本操作は、41ページをご覧ください。
手順4の部分は、下記に従って操作します。

4-1 削除する曲を選ぶ

C [-][+]ボタンで削除する曲を選びます。

保存用メモリー / USB記憶装置を選ぶ場合

D [-]ボタンを押して「DriveSelected?→」を表示させてから、C [-][+]ボタンを押して保存先(保存用メモリーかUSB記憶装置)を選びます。このあとB [+ (YES)]またはD [+]ボタンを押して保存用メモリー / USB記憶装置の中を表示させ、C [-][+]ボタンで選曲します。

4-2 実行する

「Execute?→」の隣にある B [- (NO)][+ (YES)]を押します。
あとは画面の指示に従って操作します。

⊘ 「Executing (エグゼキューティング)」の表示中は、電源を切ったり、メディアを取り出したりしないでください。

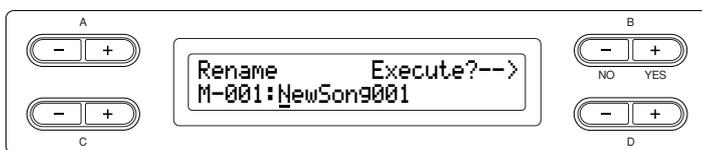
削除後、残った曲の番号は自動的に詰められます。

フォルダーを削除すると、フォルダーの中のファイルがすべて削除されます。

フォルダーの中にある曲が表示されている場合は、画面右下に「↑/↓」が表示されます。この場合、D [+]ボタンでフォルダーの中に入ることができます。元(上の階層)に戻るときはD [-]ボタンを押します。

曲名を変更する「Rename (リネーム)」

曲名を変更します。プリセットソングと「-----: NewSong」は変更できません。



基本操作は、41ページをご覧ください。
手順4の部分は、下記に従って操作します。

4. 「Save」の場合と同様の操作(42ページ)で曲名を付け、実行します。

⊘ 「Executing (エグゼキューティング)」の表示中は、電源を切ったり、メディアを取り出したりしないでください。

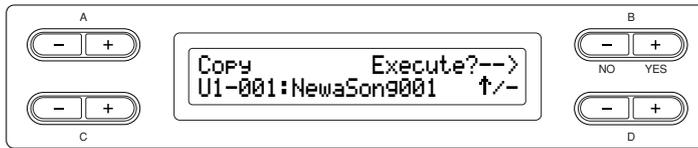
フォルダー名を変更する場合

フォルダー名を変更する場合は、「Rename」を選んでから[SONG SELECT]ボタン、C [-][+]ボタンを押してフォルダーを選びます。(フォルダー名は、「DIR:」のあとに表示されます。)別の階層を選ぶ場合は、この画面でD [-][+]ボタンを押します。(画面右下に「↑/↓」が表示されているときに別の階層が選べます。)そのあと、もう一度「Rename」を選び直してから、フォルダー名を変更します。

曲名変更後、自動的に全曲アルバムファット/アイウエオ順などに分類されて、番号が付け直されます。

曲をコピーする「Copy (コピー)」

曲をコピーすることができます。ただし、同一ルート上や同じフォルダー内には選択した曲をコピーすることはできません。

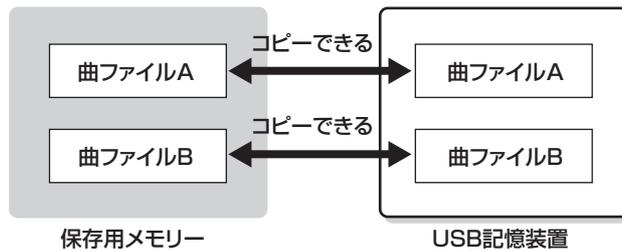


ルートとは

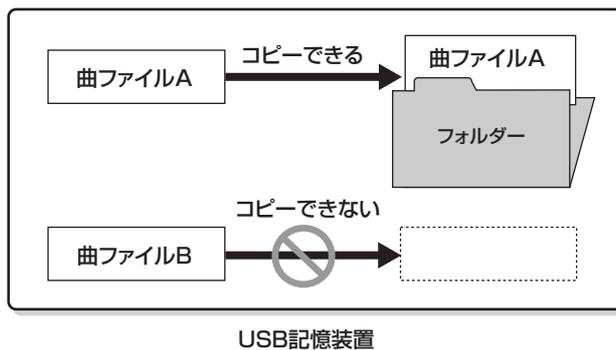
階層構造のいちばん上の部分を表します。フォルダーに入っていない領域のことです。

コピーできる範囲

曲ファイルを保存用メモリー/USB記憶装置間でコピーできます。



曲ファイルを別のフォルダーにコピーすることはできますが、同一ルート上ではコピーできません。



基本操作は、41ページをご覧ください。
手順4の部分は、下記に従って操作します。

4-1 USB記憶装置の接続を確認する

USB記憶装置にコピーする場合は、USB記憶装置が楽器に接続されていることを確認します。

4-2 コピー先を選ぶ

D [-]ボタンを押して「DriveSelected?-->」^{ドライブセレクト}を表示させてから、C [-][+]ボタンを押してコピー先(保存用メモリーかUSB記憶装置)を選びます。コピー先を選んだらB [+ (YES)]ボタンを押して決定します。

4-3 実行する

「Execute?→」^{エグゼキュート}の隣にあるB [- (NO)][+ (YES)]ボタンを押します。あとは画面の指示に従って操作します。

コピーが完了すると「Completed」^{コンプリーテッド}が表示されます。

⊘ 「Executing (エグゼキューティング)」の表示中は、電源を切ったり、メディアを取り出したりしないでください。

プロテクトがかかった曲はコピーできません。

市販のミュージックデータは著作権で保護されていますので、コピー機能は個人で楽しむ範囲でご利用ください。

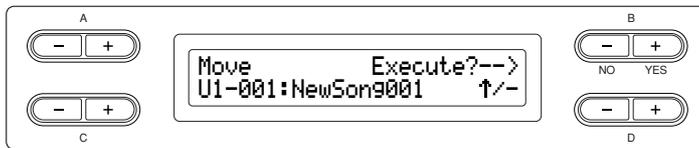
この楽器で録音した曲をメディアにコピーするとSMF(フォーマット0)の形式で保存されます。

この楽器でフォルダーごとコピーすることはできません。

フォルダーの中にある曲が表示されている場合は、画面右下に「↑/↓」が表示されます。この場合、D [+]ボタンでフォルダーの中に入ることができます。元(上の階層)に戻るときはD [-]ボタンを押します。

曲を移動する「Move (ムーブ)」

曲を移動(カット&ペースト)することができます。



基本操作は、41ページをご覧ください。
手順4の部分は、下記に従って操作します。

4-1 USB記憶装置の接続を確認する

USB記憶装置に移動する場合は、USB記憶装置が楽器に接続されていることを確認します。

4-2 移動先を選ぶ

D [-]ボタンを押して「DriveSelected?-->」を表示させてから、C [-][+]ボタンを押して移動先(保存用メモリーかUSB記憶装置)を選びます。移動先を選んだら B [+ (YES)]ボタンを押して決定します。

4-3 実行する

[Execute?→]の隣にあるB [- (NO)][+ (YES)]ボタンを押します。
あとは画面の指示に従って操作します。

⊘ 「Executing (エグゼキューティング)」の表示中は、電源を切ったり、メディアを取り出したりしないでください。

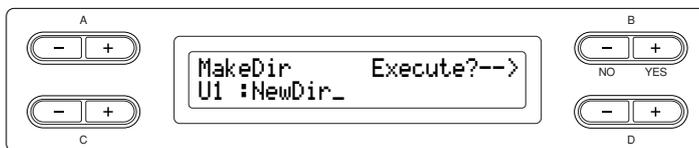
プリセットソングと、プロテクトがかかった曲の一部は移動できません。

フォルダーは移動できません。

フォルダーの中にある曲が表示されている場合は、画面右下に「↑/↓」が表示されます。この場合、D [+]ボタンでフォルダーの中に入ることができます。元(上の階層)に戻るときはD [-]ボタンを押します。

USB記憶装置にフォルダーを作る「MakeDir (メイクディレクトリ)」

曲を保存するためのフォルダーを作ることができます。この楽器では、USB記憶装置のみにフォルダーを作ることができます。プリセットソングメモリーと保存用メモリーにはフォルダーを作ることができません。



基本操作は、41ページをご覧ください。
手順4の部分は、下記に従って操作します。

4 「Save」の場合と同様の操作(42ページ)でフォルダー名を付け、実行します。

フォルダーは、USB1 (U1と表示されます)の中のルートに作成されます。

⊘ 「Executing (エグゼキューティング)」の表示中は、電源を切ったり、メディアを取り出したりしないでください。

ドライブや階層を選んでフォルダーを作る場合

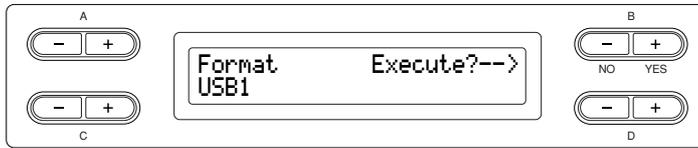
ドライブや階層を選んでフォルダーを作る場合は、「MakeDir」を選んでから[SONG SELECT]ボタンを押して「USB」を選びます。この画面で、別のUSB機器を選ぶ場合はA [-][+]ボタンを押します。階層を選ぶ場合は、D [-][+]ボタンを押します。そのあと、もう一度「MakeDir」を選び直してから、左記手順4に従ってフォルダーを作ります。

ルートとは

階層構造のいちばん上の部分を表します。フォルダーに入っていない領域のことです。

USB記憶装置をフォーマットする「Format (フォーマット)」

楽器で使用するメディアをクラビノーバ用にフォーマットします。



この楽器で使用できるUSB記憶装置については、下記のURLでご確認ください。

<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>

基本操作は、41ページをご覧ください。
手順4の部分は、下記に従って操作します。

4-1 USB記憶装置が楽器に複数認識されているときは、C [-][+]ボタンでフォーマットする装置を選びます。

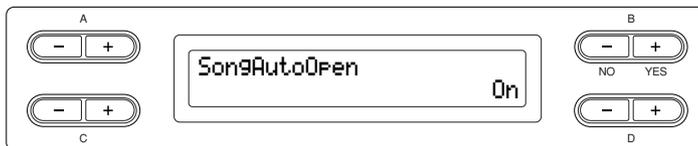
4-2 「Execute?→」の隣にあるB [- (NO)][+ (YES)]ボタンを押します。

あとは画面の指示に従って操作します。

⊘ 「Executing (エグゼキューティング)」の表示中は、電源を切ったり、メディアを取り出したりしないでください。

メディアを挿入したとき曲を自動呼び出する「SongAutoOpen (ソングオートオープン)」

メディアを挿入したとき、曲(フォルダーに入っていない曲のみ)を自動呼び出する/しないを切り替えます。



基本操作は、41ページをご覧ください。
手順4の部分は、下記に従って操作します。

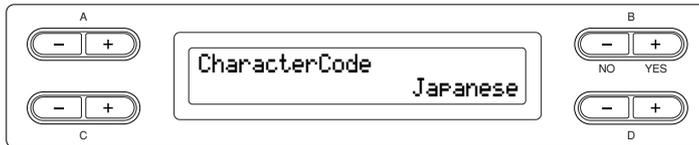
4. D [-][+]ボタンでオン/オフを選びます。

USB記憶装置を楽器に接続した時点では、曲が自動呼び出しされません。ドライブやカードリーダーにメディアを挿入した時点で、曲が自動呼び出しされます。したがって、メディアが不要なUSBフラッシュメモリーや、ハードディスクドライブでは、ソングオートオープン機能が使えません。

表示文字の種類を切り替える 「CharacterCode (キャラクターコード)」

曲名を表示/入力する際の文字の種類を切り替えます。

通常はカタカナ表示/入力ができる「ジャパニーズJapanese」になっていますが、プリセットソング名などを原題で表示させたいときに「インターナショナルInternational」に切り替えてください。



選択範囲:

Japanese、International

文字一覧:

Japanese

0~9 A~Z a~z ア~ン ア~オ ヤ ュ ヨ ツ ッ っ ー ー ー 「 」 、 ・ ! # \$ % & ' () + , - . ; = @ [] ^ _ ` { } ~

International

0~9 A~Z a~z Ä Ë Ĩ Ö Ü ä ë ĩ ö ü à è ì ò ù á é í ó ú â ê î ô ú Ñ ñ ß Ç ç ° ¡ ¢ £ ¤ ¥ ¦ § ¨ © ª « ¬ ® ¯ ° ± ² ³ ´ µ ¶ · ¸ ¹ º » ¼ ½ ¾ ¿ ! # \$ % & ' () + , - . ; = @ [] ^ _ ` { } ~

録音した曲や市販のミュージックデータを再生する

録音機能(31ページ)を使って録音した曲や市販のミュージックデータを再生します。再生しながら、ご自身で演奏することもできます。

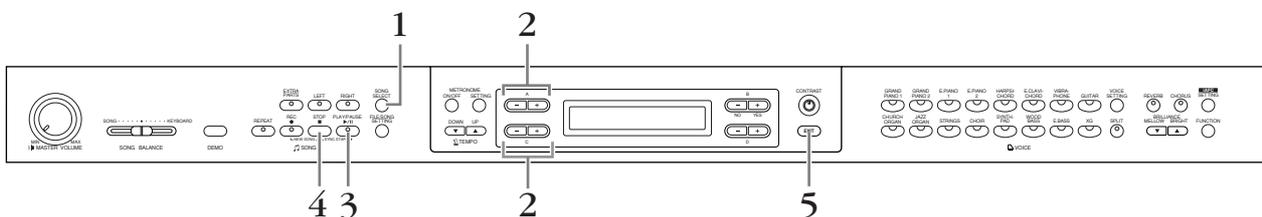
曲データの容量が大きいとクラピノーバ本体に読み込めず、選曲できないことがあります。容量の上限の目安としては、およそ200KB~300KBですが、曲データの内容により異なります。

再生できる曲データの種類については、50ページをご覧ください。

クラピノーバの文字の種類
「CharacterCord (キャラクターコード)」を再生する曲のファイル名に適した種類に設定してください(47ページ)。

再生する

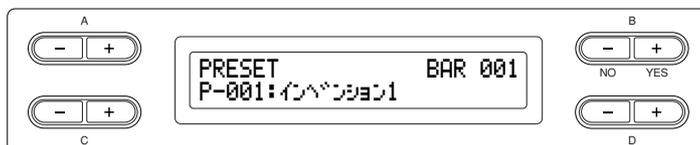
USB記憶装置に入った曲を再生する場合は、USB記憶装置を楽器本体に接続してください。



1. 選曲画面を表示させる

ソングセレクト
[SONG SELECT]ボタンを押します。

選曲画面



「連弾や2台のピアノのための曲の一方のパートを録音し、それを再生しながら自分でもう一方のパートを弾く」という方法で、1人でアンサンブルを楽しむこともできます。

[Repeat] (リピート)ボタンで1曲を繰り返し再生させたり(22ページ)、[SongRepeat (ソングリピート)]で全曲を連続再生させたり(62ページ)することもできます。

フォルダーの中にある曲が表示されている場合は、画面右下に「↑/↓」が表示されます。この場合、D [+]ボタンでフォルダーの中に入ることができます。元(上の階層)に戻るときはD [-]ボタンを押します。

フォルダー
ファイルを種類別に分けて入れておく入れ物です。

曲名が画面の表示範囲を超えている場合、D [+]ボタンで1文字ずつ右へずらすことができます。元に戻す(1文字ずつ左へずらす)ときは、D [-]ボタンを押します。

2. 選曲する

2-1 A [+][-]ボタンで、^{プリセット}「PRESET」、^{メモリー}「MEMORY」または「USB1」を選びます。

PRESET

プリセットソングメモリーです。ピアノ50曲(プリセットソング)が入っています。

MEMORY

保存用メモリーです。この楽器で録音した曲などが保存されています。

USB1

USB記憶装置です。市販のミュージックデータなどを保存します。USB記憶装置が楽器に接続されていない場合は、「USB1」が表示されません。

USB記憶装置が複数認識されているときは、「USB1」、「USB2」...のように「USB」のあとに数字が表示されます。この番号は固定されているものではなく、機器を接続したり外したりする順番によって相対的に変わります。

2-2 C [+][-]ボタンで、曲を選びます。

曲名の左には、曲の種類を示すアルファベットと曲番号が表示されています。

曲の種類を示すアルファベットの意味は、40ページをご覧ください。

3. 再生をスタートさせる

^{プレイ/ポーズ}
[PLAY/PAUSE]ボタンを押します。

弾くと同時に再生をスタートする(シンクロスタート)

曲を再生させながらご自身も演奏する場合、鍵盤を弾くと同時に再生をスタート(シンクロスタート)させることができます。

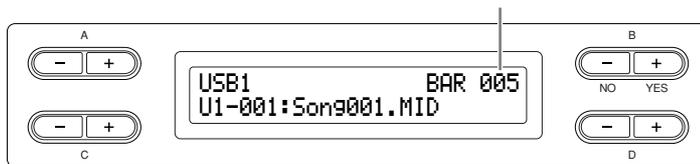
^{ストップ}
[STOP]ボタンを押したまま[PLAY/PAUSE]ボタンを押すと、[PLAY/PAUSE]ボタンのランプが点滅し、シンクロスタート待機状態になります。

このあと鍵盤を弾くと、同時に再生もスタートします。

待機状態で[STOP]ボタンを押すと、シンクロスタートは解除されます。

選曲画面のB [+][-]ボタンで、再生中でもストップ中でも、小節を進めたり(早送り)戻したり(巻き戻し)することができます。

再生中の小節数表示



再生しながら、演奏することもできます。この場合、録音された音色とは違う音色をパネルで選ぶと、再生音と違う音色で演奏することができます。その場合、[SONG BALANCE]^{バランス}スライダーで手弾き音と再生音の音色バランスを調節することができます(38ページ)。

^{ソングセレクト}
[SONG SELECT]ボタンを押すと、選曲画面に戻ります。

テンポを調節する

再生スタート前でも再生中でも、^{テンポ} [TEMPO] ^{ダウン} [DOWN] ^{アップ} [UP]ボタンを押してテンポを変更することができます。[DOWN][UP]ボタンを同時に押すと、録音された曲に設定されているテンポに戻ります。

[SONG SELECT]ボタンを押すと、選曲画面に戻ります。

4. 再生をストップする

再生が終了すると、自動的にストップし、曲の先頭に戻ります。

途中でストップする場合は、[STOP]ボタンを押します。[PLAY/PAUSE]ボタンを押すと、押した位置で一時停止します。

5. 基本画面に戻る

^{エグジット}
[EXIT]ボタンを押します。

再生といっしょにメトロノームを使うこともできます。この場合、再生をストップすると、メトロノームも同時に止まります。

曲の再生中に、C [+]ボタンを押すと次の曲、C [-]ボタンを押すと前の曲の再生がスタートします。

各パートの再生をオン/オフする

再生中でも停止中でも、ランプが点灯しているパートのボタンを押すと、ランプが消灯し、そのパートのデータが再生されなくなります。ボタンを押すごとに再生のオン/オフが切り替わります。

再生をオフにしたパートをご自身で弾くこともできます。

[FILE/SONG SETTING] (ファイル/ソングセッティング)の「Song Repeat (ソングリピート)」(62ページ)や「PhraseMark (フレーズマーク)」(62ページ)を使って、部分練習をすることもできます。

この楽器では、[RIGHT]、[LEFT]に対して曲中の適切なチャンネル(パート)が自動的に割り当てられます。したがって、[RIGHT]にチャンネル1以外、[LEFT]にチャンネル2以外が割り当てられることがあります。

再生できる曲データの種類

CLP-280/270で再生できる曲データの各種フォーマット

CLP-280/270は、下記の基準に該当する曲データを再生することができます。

シーケンスフォーマット

- SMF (スタンダードMIDIファイル)フォーマット0と1
- ESEQ (イーシーク)

CLP-280/270で録音した演奏データは、SMF (スタンダードMIDIファイル)フォーマット0で保存されます。

音色配列フォーマット

- XG音色配列
- GMシステムレベル1音色配列
- GMシステムレベル2音色配列
- DOC音色配列

CLP-280/270のパネルのXG音色を使って録音した演奏データは、XG対応の他の楽器でも再生することができます。XG音色一覧は100ページに掲載されています。

フロッピーディスクのフォーマット

- MS-DOS 720KBフォーマットの3.5インチ2DDディスク
- MS-DOS 1.44MBフォーマットの3.5インチ2HDディスク

各フォーマットについて詳しくは、91ページの「データの互換性について」をご覧ください。

シーケンスフォーマットとは演奏データの記録方式の種類です。

音色配列フォーマットとは音色を指定する番号のつけ方の種類です。

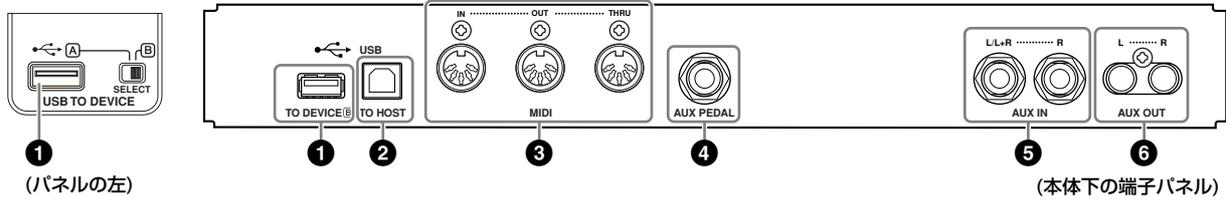
この楽器ではGSフォーマットの曲も再生できます。ただし、元のデータと同じ音色を再現できないことがあります。

ディスクのフォーマットとはデータが書き込まれているディスクの書式の種類です。

他の機器と接続する

端子について

- ❗ 外部のオーディオ機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行なってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にしてください。感電または機器の損傷のおそれがあります。



① USB [TO DEVICE]端子 (A/B)

USB記憶装置を接続する端子です。
詳しくは53ページの「USB記憶装置を接続する」をご覧ください。

② USB [TO HOST]端子

コンピューターに直接接続する端子です。
詳しくは55ページの「コンピューターと接続する」をご覧ください。

③ MIDI [IN][OUT][THRU]端子

MIDI接続専用のケーブルを使って外部MIDI機器と接続する端子です。

MIDI [IN]: MIDIデータを受信する端子です。
MIDI [OUT]: MIDIデータを送信する端子です。
MIDI [THRU]: MIDI INから入ってきたデータをそのまま送信する端子です。

MIDIについて

MIDI (Musical Instrument Digital Interface)とは、MIDI端子を備えたMIDI機器間や、MIDI機器とコンピューター間で演奏データや命令を送受信しあうための、各種送受信データ様式についての統一規格です。MIDI機器間(MIDI機器とコンピューター間)でMIDIデータを送受信することにより、クラビノーバから外部のMIDI機器の演奏をコントロールしたり、外部のMIDI機器やコンピューターからクラビノーバをコントロールしたりすることができます。

④ [AUX PEDAL]端子

別売のフットコントローラーFC7や、フットスイッチFC4/FC5を接続する端子です。FC7を使うと、演奏中に手弾き音のボリュームをコントロールして演奏に抑揚を付けたり、いろいろな機能を設定して度合いをコントロールしたりすることができます。FC4/FC5を使うと、いろいろな機能を設定して、オン/オフをコントロールすることができます。

機能の設定は、[FUNCTION]の「AuxPedalFunc」で行ないます(77ページ)。
また、SONG [PLAY/PAUSE]の機能を割り当てることもできます(78ページ)。

- ❗ ペダルの抜き差しは、電源を切った状態で行なってください。

楽器本体のUSB端子には、USB [TO HOST]端子とUSB [TO DEVICE]端子の2種類があります。どちらもUSB端子ですが、形状/用途が違いますので、接続するときに間違えないようご注意ください。(端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。)

YAMAHA MIDIケーブル

MIDI 01 (長さ 1m)
MIDI 03 (長さ 3m)
MIDI 15 (長さ 15m)

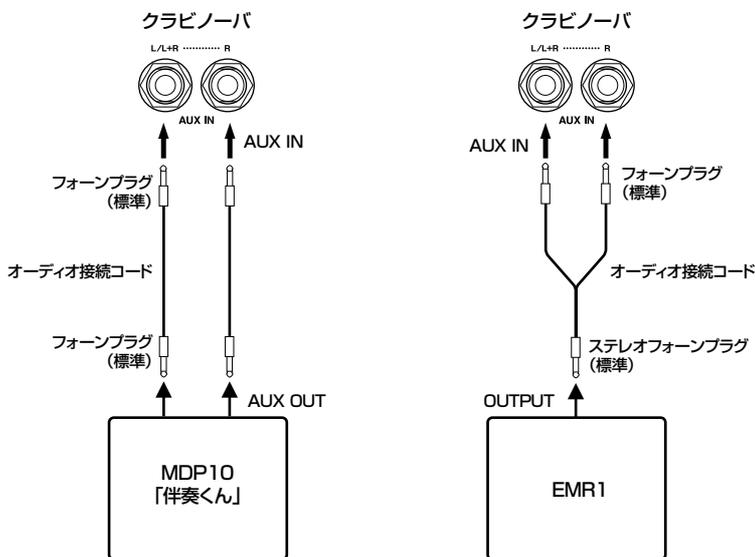
MIDIでは、演奏データや命令を、数値に置き替えたデータで送受信します。

MIDI機器の中でも、機種ごとに送受信できるMIDIデータの内容が同じではないため、接続しているMIDI機器間で共通に扱えるデータや命令だけが送受信できることとなります。共通に扱えるデータや命令は、133ページの「MIDIインプリメンテーションチャート」を照合して調べることができます。

5 AUX IN [L/L+R] [R]端子

他の楽器や外部機器の音をクラビノーバ本体のスピーカーから出すことができます。オーディオ接続コードを使って図のように接続します。

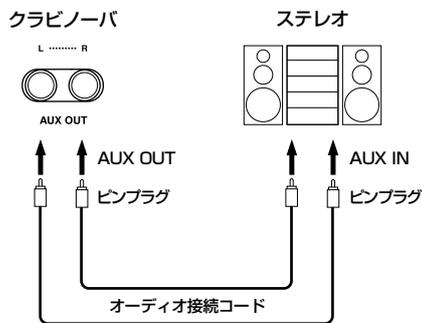
❗ クラビノーバのAUX INを使う場合、電源を入れるときは、外部機器→クラビノーバの順に、電源を切るときは、クラビノーバ→外部機器の順に行なってください。



6 AUX OUT [L][R]端子(ピン端子)

クラビノーバをステレオなどに接続してより大きな音を出したり、カセットレコーダーなどに接続して演奏を録音したりできます。オーディオ接続コードを使って図のように接続します。

❗ クラビノーバのAUX OUTを使う場合、電源を入れるときは、クラビノーバ→外部オーディオ機器の順に、電源を切るときは、外部オーディオ機器→クラビノーバの順に行なってください。



エーユーエックスアウトレベル マスターボリューム **「AuxOutLevel」 (79ページ) が「Fixed」の場合** フィクスト

クラビノーバの[MASTER VOLUME]を気にせず、オーディオ機器で音量を調節したり、外部機器で録音したりできます。

バリエابل **「AuxOutLevel」 (79ページ) が「Variable」の場合**

クラビノーバの[MASTER VOLUME]ダイヤルで、オーディオ機器から出る音の音量を調節できます。

AUX INからの入力音にはクラビノーバ本体の[MASTER VOLUME]は効きますが、[REVERB]や[CHORUS]、[BRILLIANCE](26ページ)は効きません。

モノ入力には、AUX IN [L/L+R] 端子をご使用ください。

この楽器のAUX OUT端子からは、モノ出力することができません。

オーディオ接続コードおよび変換プラグは抵抗のないものをお使いください。

AUX INから入力された音をAUX OUTに出力することはできません。

AUX OUTから出力した音をAUX INに戻すと、AUX INから入力された音はクラビノーバのスピーカーから出力されます。スピーカーから出力される音は大音量となり音が割れることがありますので、ご注意ください。

USB記憶装置を接続する

USB対応の記憶装置(フラッシュメモリー、フロッピーディスクドライブ、ハードディスクドライブなど)を接続して、楽器本体で制作したデータをUSB記憶装置に保存したり、USB記憶装置のデータを楽器本体で再生したりできます。

使用できるUSB記憶装置

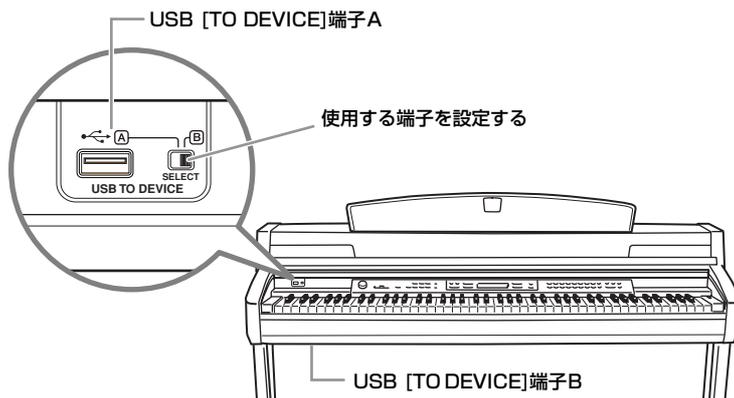
USB [TO DEVICE]端子に接続できるUSB記憶装置は、フラッシュメモリー、フロッピーディスクドライブ、ハードディスクドライブ、CD-ROMドライブなどの2台までです。(必要に応じてUSBハブを使用します。) その他の機器(マウス、コンピューターのキーボードなど)は接続しても使えません。

動作確認済みUSB機器については、ご購入の前にインターネット上の下記URLでご確認ください。それ以外のUSB記憶装置については、動作保証ができません。
<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>

- ⊘ USB記憶装置の頻繁な電源のオン/オフやUSBケーブルの抜き差しをしないでください。楽器本体の機能が停止するおそれがあります。保存/コピー/削除などデータのアクセス中に、USBケーブルを抜いたり、USB記憶装置からメディア(フロッピーディスクなど)を取り出したり、双方の電源を切ったりしないでください。メディアが壊れたり、楽器本体/メディアのデータが壊れたりするおそれがあります。

USB記憶装置の接続

この楽器には、USB [TO DEVICE]端子が2箇所(パネルの左と前板の端子パネル)あります。



どちらも同じ端子ですが、2つの端子に接続したUSB記憶装置を同時に使用することはできません。パネル左にある[SELECT]スイッチで、使用する端子を選んでください。[SELECT]スイッチを「A」に合わせると、パネル左のUSB [TO DEVICE]端子が有効になります。「B」に合わせると、端子パネルのUSB [TO DEVICE]端子が有効になります。

- ⊘ 保存/コピー/削除など、データのアクセス中に[SELECT]スイッチを切り替えしないでください。メディアが壊れたり、楽器本体/メディアのデータが壊れたりするおそれがあります。
- ⚠ USB [TO DEVICE]端子AにUSB記憶装置を接続している場合は、キーカバーを閉める前に外してください。USB記憶装置を接続したままキーカバーを閉じると、記憶装置がキーカバーに当たって破損するおそれがあります。

USB記憶装置のフォーマット

USB記憶装置でファイル操作をしたときに、未フォーマットのメディアであることを示すメッセージが表示されることがあります。その場合は、フォーマットを実行してください(46ページ)。

- ⚠ フォーマットを実行すると、そのメディアの中身は消去されますのでご注意ください。

誤消去防止

USB記憶装置には、誤ってデータを消してしまわないようにするためライトプロテクトができるものがあります。大切なデータが入っている場合は、ライトプロテクトで書き込みができないようにしましょう。逆にデータを保存する場合などは、ご使用前にお使いのUSB記憶装置のライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。

CD-R/RWドライブについて

CD-R/RWドライブを接続した場合、CD-ROMのデータ(MIDIデータ)をクラビノーバで再生/再現することはできませんが、クラビノーバのデータを保存してCD-ROMを作ることはできません。

IDが付いていないスマートメディアは使用できません。

接続できるUSB記憶装置の数

この楽器では、ひとつのUSB [TO DEVICE]端子に対して2台までのUSB記憶装置を接続できます。また、1台のUSB記憶装置について4ドライブまで認識ができます。

USB記憶装置をUSB [TO DEVICE]端子AとB両方に接続した状態だと、USB記憶装置の動作が不安定になることがあります。

USBハブについて

USB [TO DEVICE]端子に2台のUSB記憶装置を同時に接続したい場合は、USBハブを使います。ただし、電源付き(セルフパワー)のUSBハブをご使用ください。(必ず電源を入れてご使用ください。) また、USBハブは1段のみ使用可能です。USBハブの使用中にエラーメッセージが出た場合は、楽器本体からUSBハブを抜き、楽器本体の電源を入れ直した上で、再度USBハブを接続してください。

楽器本体上ではUSB 1.1に対応していますが、USB 2.0の機器を接続し使用できません。ただし転送スピードはUSB 1.1相当になりますので、ご了承ください。

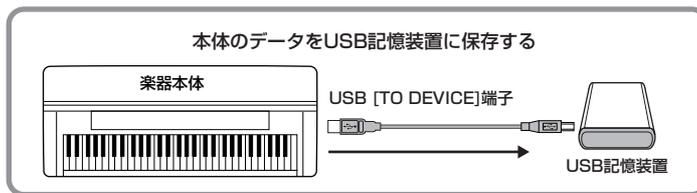
別売フロッピーディスクドライブ
USB-FDDユニット UD-FD01

USB記憶装置のデータの表示

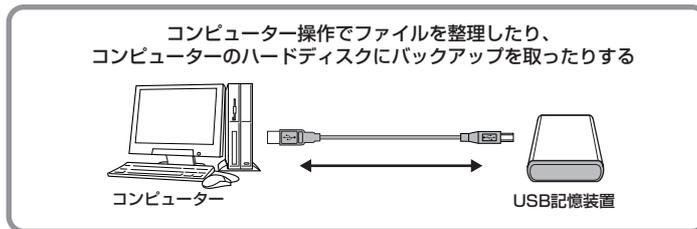
USB記憶装置に入っているデータをクラビノーバで表示させるには、[SONG SELECT]
ソングセレクト
 ボタンを押してソング選択モードに入るか、[FILE/SONG SETTING]
ファイル/ソングセッティング
 ボタンを押してファイル/ソングセッティングモードに入ります。すでにこれらのモードに入っていた場合は、
エグジット
 [EXIT]ボタンを押していったんモードを抜けてから、もう一度入り直します。

コンピューターのハードディスクにバックアップ

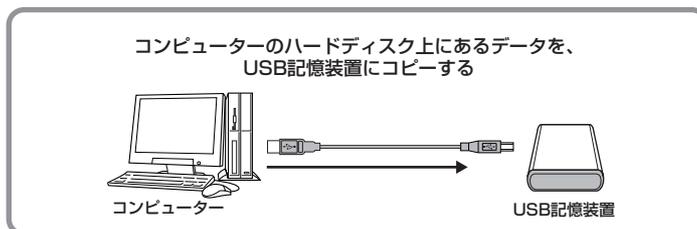
■ **楽器本体で作ったデータをコンピューターのハードディスクにバックアップする**
 楽器本体で制作したデータをUSB記憶装置に保存したあと、メディアをコンピューターに読み込ませてファイルを整理したり、コンピューターのハードディスクにコピーすることでバックアップをとったりできます。



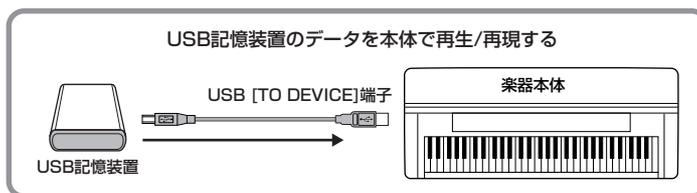
USB記憶装置を楽器本体からはずし、コンピューターへ接続する



■ **コンピューター上のデータをUSB記憶装置にコピーして楽器本体で再生/再現する**
 コンピューターのハードディスクに保存してあるファイルを、USB記憶装置にコピーしたあと、それらのファイルを楽器本体で再生/再現できます。
 楽器本体で作ったファイルだけでなく、楽器本体以外で作られたスタンダードMIDIファイルなどを、コンピューターのハードディスクからUSB記憶装置にコピーし、それらを楽器本体のUSB [TO DEVICE]端子に接続して、楽器本体で再生/再現することもできます。



USB記憶装置をコンピューターからはずし、楽器本体へ接続する



コンピューターと接続する

USB [TO HOST] トウ ホスト端子やMIDI端子とコンピューターを接続して、コンピューターとデータをやりとりしたり、コンピューター用の音楽ソフトを楽しんだりできます。この場合、ドライバーとアプリケーションソフトウェアをコンピューターにインストールしてください。

クラビノーバとコンピューターを接続する場合、2つの方法があります。

- コンピューターのUSB端子と、クラビノーバのUSB [TO HOST] 端子を使った接続方法
- MIDIインターフェース機器と、クラビノーバのMIDI端子を使った接続方法

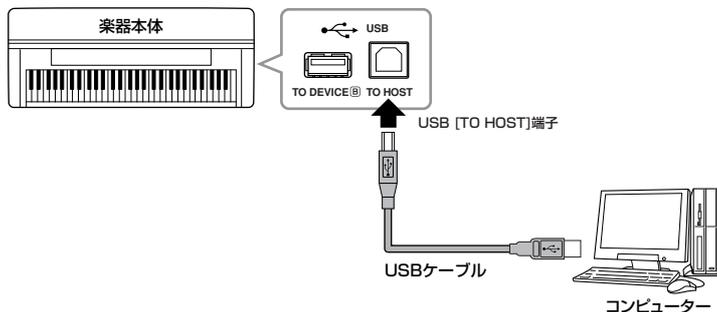
USB端子が付いているコンピューターをご使用の場合は、楽器本体のUSB [TO HOST]端子との接続をおすすめします。

詳しくは以下をご覧ください。

- ❗ コンピューターと接続する場合は、最初にクラビノーバの電源を切り、コンピューター上のすべてのアプリケーションソフトを終了した状態でケーブルを接続し、そのあとクラビノーバの電源を入れてください。
- ❗ クラビノーバとコンピューターをつないで使用しない場合は、必ずUSB端子からケーブルを抜いてください。ケーブルを接続したままだと、クラビノーバが正常に動作しないことがあります。

コンピューターのUSB端子とクラビノーバのUSB [TO HOST]端子を使った接続方法

コンピューターのUSB端子と、クラビノーバのUSB [TO HOST]端子を、USBケーブルで接続します。



USB [TO HOST]端子ご使用時の注意

USB [TO HOST]端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを守ってください。以下のことを守らないと、コンピューターや楽器本体が停止(ハングアップ)して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや楽器本体が停止したときは、電源を入れ直し、コンピューターを再起動してください。

- USB [TO HOST]端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除/コンピューター上のすべてのアプリケーションソフトを終了し、楽器本体の電源をオフにしてください。
- 楽器本体の電源をオフにしたりUSBケーブルを楽器本体やコンピューターから抜いたりする前に、以下のことを行なってください。
 - コンピューター上のすべてのアプリケーションソフトを終了させてください。
 - 楽器本体からデータが送信されていないか確認してください(鍵盤を演奏したり曲を再生させたりしても、楽器本体からデータが送信されます)。
- 楽器本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行ってください。

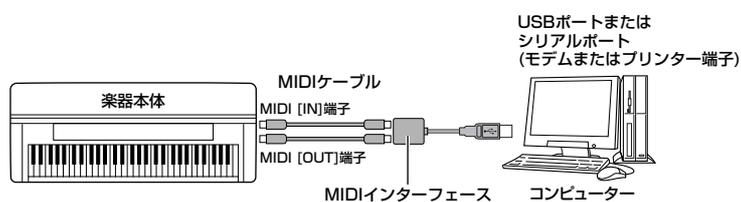
ドライバーとは

ドライバーとは、コンピューターとそこに接続された機器との、データをやりとりするための仕組みを整えるソフトウェアのことです。コンピューターと楽器をUSBケーブルで接続する場合は、コンピューターにUSB-MIDIドライバーをインストールします。USB-MIDIドライバーは、同梱のCD-ROMからインストールできます。

- 楽器本体はUSB接続後しばらくしてから通信を開始します。
- 楽器本体とパソコンをUSBケーブルで接続する場合は、ハブを経由せずに直接接続してください。
- 使用するパソコンやシーケンソフトウェアでの必要なMIDI設定については、それぞれの取扱説明書をお読みください。

MIDIインターフェース機器とクラビノーバのMIDI端子を使った接続方法

MIDIインターフェース機器を通じてクラビノーバのMIDI端子に接続します。専用のMIDIケーブルを使います。



YAMAHA MIDIケーブル

MIDI 01 (長さ 1m)

MIDI 03 (長さ 3m)

MIDI 15 (長さ 15m)

詳細設定について

音の高さの微調整やメトロノームの音色選択、曲の繰り返し再生など、クラビノーバをさらに便利に使いこなすための詳細設定ができます。各設定項目の基本操作については、60ページをご覧ください。

設定項目の一覧表

ファイル/ソングセッティング 曲の録音/再生に関する詳細設定 [FILE/SONG SETTING]

項目	表示		ページ
録音した曲を保存する	Save	セーブ	42
保存用メモリーやUSB記憶装置の曲を削除する	Delete	デリート	43
曲名を変更する	Rename	リネーム	43
曲をコピーする	Copy	コピー	44
曲を移動する	Move	ムーブ	45
フォルダーを作る	MakeDir	メイクディレクトリ	45
USB記憶装置をフォーマットする	Format	フォーマット	46
メディアを挿入したとき曲を自動呼び出しする	SongAutoOpen	ソングオートオープン	46
表示文字の種類を切り替える	CharCode	キャラクターコード	47
曲単位で繰り返し再生する	SongRepeat	ソングリピート	62
フレーズマークを使って再生する	PhraseMark	フレーズマーク	62
音符のタイミングのずれを修正する	Quantize	クオンタイズ	63
最初の発音からすぐにスタートさせるかどうかを決める	QuickPlay	クイックプレイ	63
各チャンネルの中身を聞いて確かめる	ChannelListen	チャンネルリッスン	64
1チャンネル単位でデータを消去する	ChannelClear	チャンネルクリア	64
録音開始方法を指定する	RecStart	レックスタート	33
録音終了方法を指定する	RecEnd	レックエンド	33
パート3～16に録音する	RecExtraPartsCh	レックエキストラパーツチャンネル	35

メトロノームに関する詳細設定 METRONOME [SETTING]

項目	表示		ページ
メトロノームの拍子設定	TimeSignature	タイムシグネチャー	65
メトロノームの音量設定	MetronomeVolume	メトロノームボリューム	65
メトロノームの音色設定	MetronomeSound	メトロノームサウンド	65

ボイスセッティング

音色に関する詳細設定 [VOICE SETTING]

*が付いている項目は、デュアルの場合、第1音色と第2音色についてそれぞれ設定します。

項目	表示		ページ
オクターブの設定*	Octave	オクターブ	67
音量の設定*	Volume	ボリューム	67
左右の音の位置の設定*	Pan	パン	67
音の高さの微調整(デュアルの場合のみ)	Detune	デチューン	67
リバーブタイプの設定	ReverbType	リバーブタイプ	68
リバーブのかかり具合の設定*	ReverbSend	リバーブセンド	68
コーラスタイプの設定	ChorusType	コーラスタイプ	68
コーラスのかかり具合の設定*	ChorusSend	コーラスセンド	68
コーラスオン/オフの設定	ChorusOnOff	コーラスオンオフ	69
DSPタイプの設定*	DSP Type (DSP)	DSPタイプ (DSP)	69
ビブラフォンのビブラート効果のスピードの設定*	VibeRotorSpeed (RotorSpeed)	バイプロータースピード (ロータースピード)	69
ビブラフォンのビブラート効果オン/オフの設定*	VibeRotorOnOff (RotorOnOff)	バイプローターオンオフ (ローターオンオフ)	69
ロータリースピーカーの回転スピードの設定*	RotarySpeed (Rot.Speed)	ロータリースピード	70
DSP効果のかかり具合の設定*	DSPDepth	DSPデプス	70
音の明るさを調節する*	Brightness	ブライツネス	70
レゾナンス効果を調節する*	HarmonicContent (Harmonic)	ハーモニックコンテンツ (ハーモニック)	70
イコライザーの低域周波数を調節する*	EQ LowFreq. (EQ L.Freq)	EQ ローフリケンシー	70
イコライザーの低域ゲイン値(増幅量)を調節する*	EQ LowGain	EQ ローゲイン	71
イコライザーの高域周波数を調節する*	EQ HighFreq. (EQ H.Freq)	EQ ハイフリケンシー	71
イコライザーの高域ゲイン値(増幅量)を調節する*	EQ HighGain	EQ ハイゲイン	71
タッチに対する音量変化度合の設定*	TouchSense	タッチセンス	71

アイエーフシーセッティング

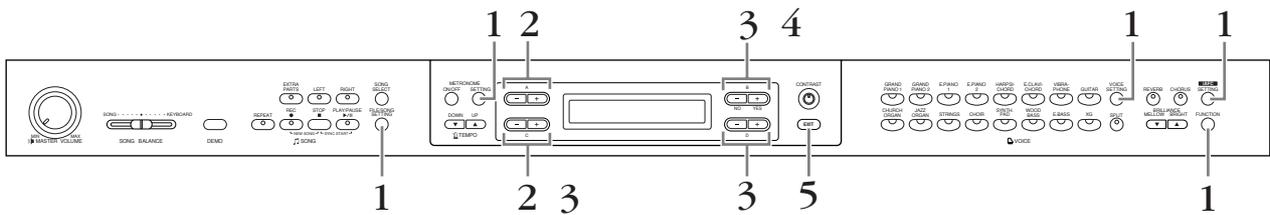
iAFCに関する詳細設定 [iAFC SETTING]

項目	表示		ページ
iAFCオン/オフの設定	iAFC	iAFCオン/オフ	72
ダイナミックダンパーエフェクトのかかり具合の設定	DynDmpFX Depth	ダイナミックダンパーエフェクトデプス	72
スペーシャルエフェクトのかかり具合の設定	SpatialFX Depth	スペーシャルエフェクトデプス	72
iAFCのキャリブレーション(自動調整)をする	Calibration	キャリブレーション	73
キャリブレーション設定を基本設定に戻す	iAFC Default	iAFCデフォルト	73

その他の詳細設定 [FUNCTION]

項目	表示		ページ
キー (調) を変える	Transpose	トランスポーズ	74
タッチ感度の選択	TouchResponse	タッチレスポンス	74
音の高さの微調整	Tune	チューン	75
ピアノ音色の調律曲線の選択	PianoTuningCurve	ピアノチューニングカーブ	75
音律の選択	Scale	スケール	75
スプリットポイントを決める	SplitPoint	スプリットポイント	76
右ペダルの機能設定	RPedalFunc	ライトペダルファンクション	76
まん中のペダルの機能設定	CPedalFunc	センターペダルファンクション	76
左ペダルの機能設定	LPedalFunc	レフトペダルファンクション	76
外部ペダルの機能設定	AuxPedalFunc	AUXペダルファンクション	77
右ペダルの機能オン/オフ設定	RPedalOnOff	ライトペダルオンオフ	77
まん中のペダルの機能オン/オフ設定	CPedalOnOff	センターペダルオンオフ	77
左ペダルの機能オン/オフ設定	LPedalOnOff	レフトペダルオンオフ	77
外部ペダルの機能オン/オフ設定	AuxPedalOnOff	AUXペダルオンオフ	77
SONG [PLAY/PAUSE]機能のペダルへの割り当て	PedalPlay/Pause	ペダルプレイ/ポーズ	78
外部ペダルのタイプ選択	AuxPedalType	AUXペダルタイプ	78
ダンパーペダルが効き始めるポイントの設定	HalfPedalPoint	ハーフペダルポイント	78
ソフトペダルのかかり具合の設定	SoftPedalDepth	ソフトペダルデプス	78
弦共鳴音(ストリングレゾナンス)のかかり具合の設定	StringResonanceDepth	ストリングレゾナンスデプス	78
ダンパーペダル使用時の共鳴効果(サステインサンプリング)のかかり具合の設定	SustainSamplingDepth	サステインサンプリングデプス	78
キーオフ音の音量設定	KeyOffSamplingDepth	キーオフサンプリングデプス	79
ピッチベンド幅の設定	PitchBendRange	ピッチベンドレンジ	79
スピーカーのオン/オフを切り替える設定	Speaker	スピーカー	79
AUX OUTからの出力音の調節	AuxOutLevel	AUXアウトレベル	79
MIDI送信チャンネルの設定	MidiOutChannel	MIDIアウトチャンネル	80
MIDI受信チャンネルの設定	MidiInChannel	MIDIインチャンネル	80
ローカルコントロールオン/オフの設定	LocalControl	ローカルコントロール	80
手弾き音が曲再生音のどちらをMIDI送信するかの設定	MidiOutSelect	MIDIアウトセレクト	80
MIDI受信するデータの種類の設定	ReceiveParameter	レシーブパラメーター	81
MIDI送信するデータの種類の設定	TransmitParameter	トランスミットパラメーター	81
パネル初期設定データの送信	InitialSetup	イニシャルセットアップ	81
電源オフ時に保存する項目の設定	MemoryBackup	メモリーバックアップ	81
基本設定に戻す	FactorySet	ファクトリーセット	82
データのバックアップ	FullBackup	フルバックアップ	82

詳細設定の操作



1. セットアップモードに入る

設定したい内容に応じて、^{ファイル/ソング設定} [FILE/SONG SETTING] ボタン、^{メトロノーム} METRONOME ^{設定} [SETTING] ボタン、^{ボイス設定} [VOICE SETTING] ボタン、^{設定} [iAFC SETTING] ボタン、^{ファンクション} [FUNCTION] ボタンを押し、それぞれのセッティングモードに入ります。

これ以降いつでも^{エグジット} [EXIT] ボタンを押すとセッティングモードを抜けることができます。

2. 設定する項目または音色パートを選ぶ

セッティングボタン、A [-][+] ボタン、C [-][+] ボタンを必要な回数押します。

3. 選択または設定する

選んだ項目、パートによってさらに項目が画面に表示されますので、B [- (NO)][+ (YES)] ボタン、C [-][+] ボタン、D [-][+] ボタンを押して選択または設定します。

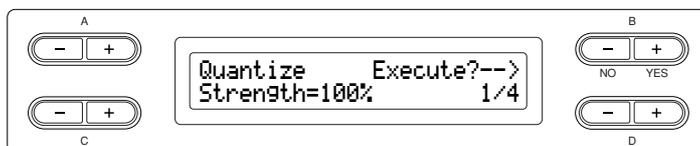
設定値については[-] ボタンと[+] ボタンを同時に押すと、基本設定に戻ります。

4. データを書き込む/実行する/記憶させる

項目によって次の方法があります。

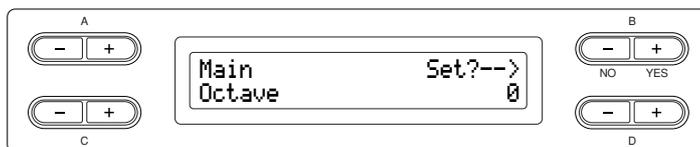
^{実行} [Execute?-->] または ^{スタート} [Start?-->] が表示される場合

B [+ (YES)] ボタンを押すと ^{シユア} [Sure?-->] (いいですか?) と確認表示が出ます。もう一度 B [+ (YES)] ボタンを押すと [Executing] (実行中) の表示になり、データが ^{コンプリーテッド} [Completed] (完了) の表示が3秒間出て元の画面に戻ります。中止する場合は [Sure?-->] のところで B [- (NO)] ボタンを押します。[Completed] が表示されたあとに ^{オーバーライト} [Overwrite?-->] (上書きしますか?) が表示された場合は、B [+ (YES)] ボタンを押します。



セット 「Set?-->」が表示される場合

B [+ (YES)]ボタンを押すと「Executing」(実行中)の表示になり、データが記憶されると「Completed」(完了)の表示が3秒間出て元の画面に戻ります。



5. セットモードを抜ける

エグジット
[EXIT]ボタンを押します。

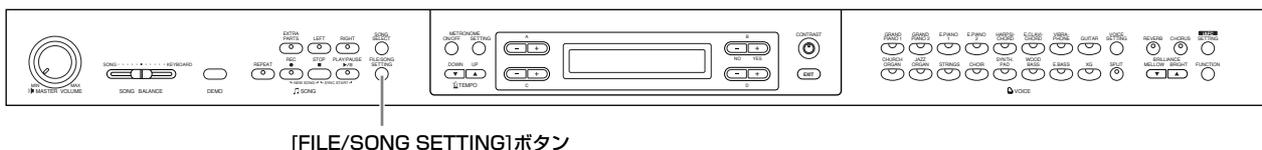
曲の録音/再生に関する詳細設定

[FILE/SONG SETTING](ファイル/ソングセッティング)

セーブ キャラクターコード
「Save」～「CharacterCode」までの項目については、39ページの「曲を削除するなどのファイル操作をする [FILE/SONG SETTING](ファイル/ソングセッティング)」を参照してください。

現在選ばれている曲について詳細設定ができます。まず、詳細設定をしたい曲を、「PRESET」、「MEMORY」、
「USB」の中から選んでおきます(48ページ)。

ファイル/ソングセッティング
曲を選んでから、[FILE/SONG SETTING]ボタンを押して、ソングセッティングモードに入ります。



[FILE/SONG SETTING]ボタン

曲を連続再生する

ソングリピート [SongRepeat]

ピアノ50曲(プリセットソング)やUSB記憶装置に入っている曲全曲を連続再生させたり、1曲を繰り返し再生させることができます。

曲の再生をスタートすると、現在パネル上で選ばれている曲が再生されたあと、指定した範囲の曲の連続再生が始まります。
ストップ
[STOP]ボタンを押すまで繰り返し再生されます。

操作は60ページを参照してください。



繰り返し再生する範囲を指定する

選択範囲:

- **USBSongs (USBソングス)**
現在接続されているUSB記憶装置の中の全曲
- **MemorySongs (メモリーソングス)**
現在クラビノーバの本体メモリーに入っている全曲
- **USB+Memory (USB+メモリー)**
「USB」と「MEMORY」の全曲
- **PresetSongs (プリセットソングス)**
ピアノ50曲(プリセット)全曲
- **All (オール)**
「USB」と「MEMORY」と「PRESET」の全曲
- **OneSong (ワンソング)**
現在パネル上で選ばれている1曲

NOTE USB記憶装置が複数接続されている場合は、最後に選んだ曲が入っている記憶装置が繰り返し再生の対象となります。

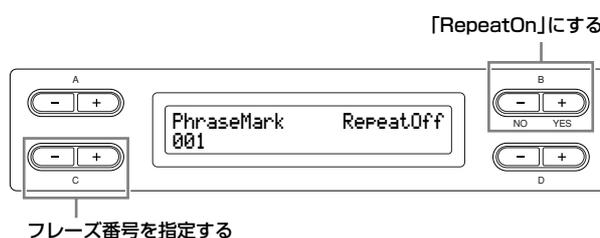
フレーズマークを使って再生する

フレーズマーク [PhraseMark]

フレーズマークが入っている曲が選ばれている場合、楽譜に書いてあるフレーズ番号を指定して、フレーズマークの位置から再生したり、そのフレーズだけ繰り返し再生させることができます。

リピートオン
「Repeat On」の場合は、曲の再生をスタートすると、カウント音に続いて、指定したフレーズの再生がスタートします。
[STOP]ボタンを押すまで繰り返し再生されます。

リピートオフ
「Repeat Off」の場合は、繰り返しなしの通常再生になります。
操作は60ページを参照してください。



フレーズ番号を指定する

フレーズ番号の指定範囲:

- --- (指定なし)
- 0~その曲の最終フレーズ番号
フレーズマークが入っていない曲が選ばれている場合は、Offに固定となります。

音符のタイミングのずれを修正する

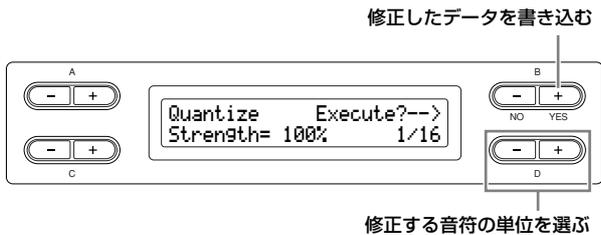
クオンタイズ 「Quantize」

NOTE Quantize (クオンタイズ)=音符などのタイミングを補正する機能

音符のタイミングのずれを修正することができます。たとえば、録音した曲の音符を正確に8分音符や16分音符に修正することができます。

修正や変更は1曲単位で実行されます。

操作は60ページを参照してください。

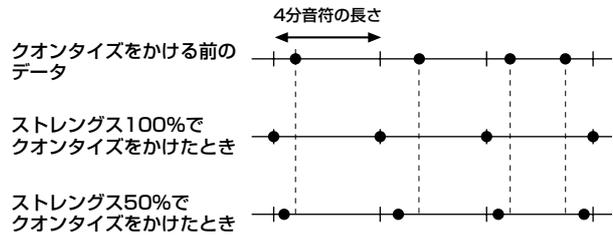


修正する音符の単位の選択範囲:

- 1/4..... ♩ 4分音符
- 1/6..... ♪ 3連4分音符
- 1/8..... ♫ 8分音符
- 1/12..... ♫ 3連8分音符
- 1/16..... ♫ 16分音符
- 1/24..... ♫ 3連16分音符
- 1/32..... ♫ 32分音符
- 1/8+1/12..... ♫ 8分音符+3連8分音符*
- 1/16+1/12..... ♫ 16分音符+3連8分音符*
- 1/16+1/24..... ♫ 16分音符+3連16分音符*

*マークが付いたクオンタイズ設定は、異なる2つの音符の長さを同時に利用してクオンタイズできます。たとえば、8分音符と3連8分音符の両方の音符が録音されているパートに8分音符の長さでクオンタイズをかけると、そのパートのすべての音符が8分音符でクオンタイズされてしまい、3連符のリズムがなくなります。ところが、8分音符+3連8分音符の設定を使うと、8分音符と3連符の両方の音符をクオンタイズできます。

この画面では、クオンタイズをかける強さ(Strength=ストレングス)も設定できます。100%でジャストのタイミングにデータが移動します。100%以下でクオンタイズをかければ、自然な拍のずれを残せます。

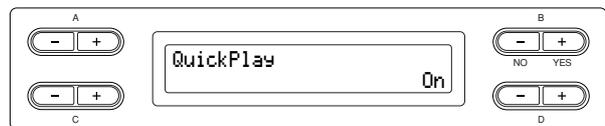


設定範囲: 0%~100%

最初の発音から すぐにスタートさせるかどうかを決める

クイックプレイ 「QuickPlay」

弱起の曲や最初の音の前に空白がある曲を再生する場合に、実際に音が鳴るところから再生するか、休符や空白を含めて曲のデータどおりに再生するかを選びます。操作は60ページを参照してください。



選択範囲:

On実際に音が鳴るところから再生

Off休符や空白を含めて曲のデータどおりに再生

NOTE 弱起の曲: 小節の途中から始まる曲

各チャンネルの中身を聞いて確かめる

チャンネルリッスン 「ChannelListen」

チャンネル別の中身を確認するために、1チャンネルだけを選んで再生させることができます。実際の音が鳴るところからすぐに再生されます。操作は60ページを参照してください。

B [+]ボタンを押している間に
選んだチャンネルだけが再生される



聞きたいチャンネルを選ぶ

選択範囲: Ch1~Ch16

NOTE 曲データは16のチャンネルで成り立っています。ひとつのパートにひとつのチャンネルが割り当てられるので、この楽器では、「チャンネル」と「パート」が同じ意味になります。

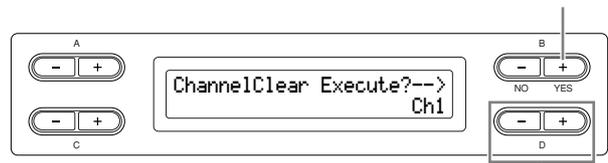
NOTE データのないチャンネルも含めて全チャンネルが表示されます。

1チャンネル単位でデータを消去する

チャンネルクリア 「ChannelClear」

1~16チャンネルの中から、1チャンネルずつ選んでデータを消去することができます。操作は60ページを参照してください。

データの消去を実行する



消去したいチャンネルを選ぶ

選択範囲: Ch1~Ch16、ALL (すべてのチャンネル)

NOTE 曲データは16のチャンネルで成り立っています。ひとつのパートにひとつのチャンネルが割り当てられるので、この楽器では、「チャンネル」と「パート」が同じ意味になります。

NOTE データのないチャンネルも含めて全チャンネルが表示されます。

NOTE ALLですべてのチャンネルを消去しても、曲を上書き保存することができます。上書き保存すると、すべてのチャンネルが消去されて曲の設定だけが残ったファイルが保存されます。

レックスタート レックエンド
「RecStart」、 「RecEnd」 については、33ページの「曲を部分的に録音し直す」を参照してください。

レックエキストラパーツチャンネル
「RecExtraPartsCh」 については、35ページの「録音パートを指定して多重録音する」を参照してください。

メトロノームに関する詳細設定

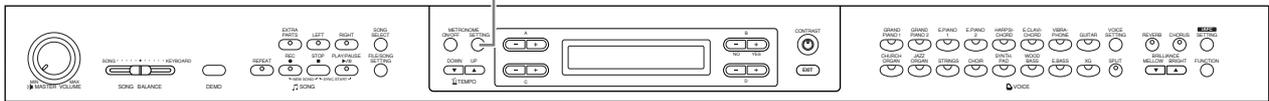
METRONOME [SETTING] (メトロノームセッティング)

メトロノームの拍子、音量、音色を設定することができます。

メトロノーム セッティング

METRONOME [SETTING] ボタンを押して、メトロノームセッティングモードに入ります。

METRONOME [SETTING] ボタン

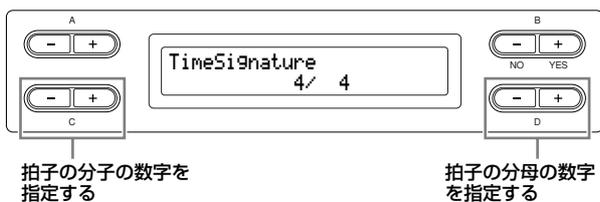


メトロノームの拍子設定

タイムシグネチャー
「TimeSignature」

NOTE TimeSignature (タイムシグネチャー)=拍子記号

操作は60ページを参照してください。



拍子の分子の数字を
指定する

拍子の分母の数字
を指定する

たとえば、3/4拍子にしたい場合は、C [-][+]ボタンで「3」、D [-][+]ボタンで「4」を選びます。

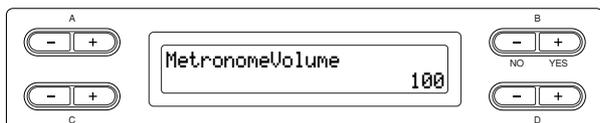
分子の設定範囲: 1~16

分母の設定範囲: 2、4、8

メトロノームの音量設定

メトロノームボリューム
「MetronomeVolume」

操作は60ページを参照してください。

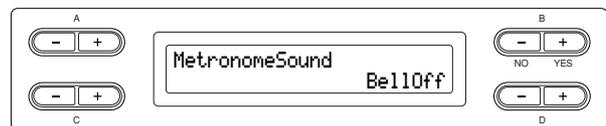


設定範囲: 0~127

メトロノームの音色設定

メトロノームサウンド
「MetronomeSound」

操作は60ページを参照してください。



設定範囲:

- BellOff (ベルオフ)
カチカチというメトロノームの音
- EnglishVoice (イングリッシュボイス)
カチカチ音+英語で「1、2、3、4」
- GermanVoice (ジャーマンボイス)
カチカチ音+ドイツ語で「1、2、3、4」
- JapaneseVoice (ジャパニーズボイス)
カチカチ音+日本語で「1、2、3、4」
- FrenchVoice (フレンチボイス)
カチカチ音+フランス語で「1、2、3、4」
- SpanishVoice (スパニッシュボイス)
カチカチ音+スペイン語で「1、2、3、4」
- BellOn (ベルオン)
カチカチ音+ベル音

NOTE メトロノームを無拍子で鳴らしたい場合は、「BellOff」を選びます。

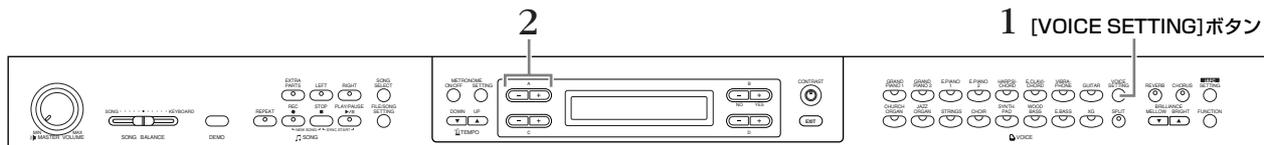
音色に関する詳細設定

[VOICE SETTING] (ボイス セッティング)

デュアルやスプリット音色に関する諸設定や、音色効果に関する細かい設定をすることができます。音色(または音色の組み合わせ)ごとに個別に設定します。鍵盤を弾いて音を確認しながら変更することができます。

1. ボイスセッティングモードに入る

音色を選んでから、^{ボイス セッティング} [VOICE SETTING] ボタンを押して、ボイスセッティングモードに入ります。



2. 音色パートを選ぶ

A [-][+] ボタンを押して設定や変更をする音色パートを選びます。
表示される音色パートの範囲は、現在選ばれている音色によって変わります。

Main (メイン)

MAIN側の音色(単音色、スプリットのときに表示されます)。

Main×Layer (メイン×レイヤー)

MAIN側の第1音色と第2音色(MAIN側がデュアルのときに表示されます)。

Left (レフト)

LEFT側の音色(スプリットのときに表示されます)。

Left×Layer (レフト×レイヤー)

LEFT側の第1音色と第2音色(LEFT側がデュアルのときに表示されます)。

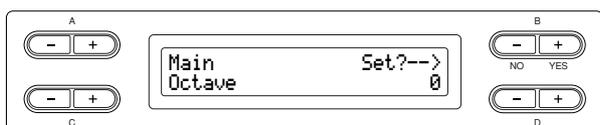
Layer (レイヤー) = 重ね

*がついている項目は、デュアルの場合、第1音色と第2音色についてそれぞれ設定します。
()の中の設定名は、デュアルのときの表示です。

オクターブの設定*

オクターブ
「Octave」

同じ鍵盤の音の高さをオクターブ単位で上下にシフトさせることができます。
操作は60ページを参照してください。



デュアルの場合



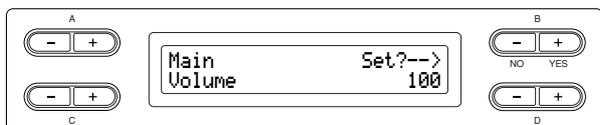
設定の対象となる音色(第1音色または第2音色)

設定範囲: -2 (2オクターブ下)~0 (シフトしない)~+2 (2オクターブ上)

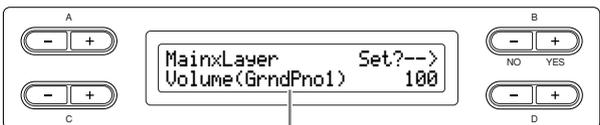
音量の設定*

ボリューム
「Volume」

音色パートごとに音量を設定することができます。
操作は60ページを参照してください。



デュアルの場合



設定の対象となる音色(第1音色または第2音色)

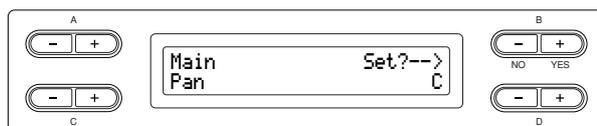
設定範囲: 0~127

左右の音の位置の設定*

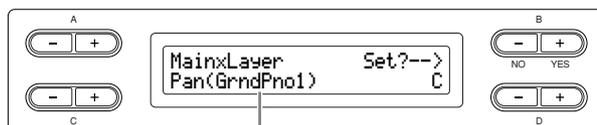
パン
「Pan」

NOTE Pan (パン)=左右に動かす

音が左右のどのあたりから聞こえてくるようにするかを設定します。
操作は60ページを参照してください。



デュアルの場合



設定の対象となる音色(第1音色または第2音色)

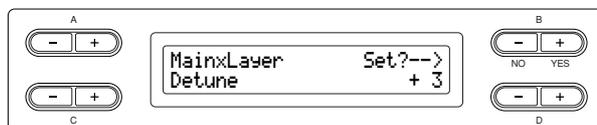
設定範囲: L64 (左寄り)~C (中央)~R63 (右寄り)

音の高さの微調整(デュアルの場合のみ)

デチューン
「Detune」

NOTE Detune (デチューン)=チューニングをずらす

デュアルで選んだ2音色の音の高さを微妙にずらすことができます。
操作は60ページを参照してください。



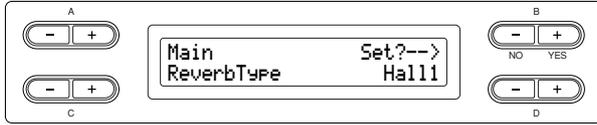
設定範囲: -20~+20 (+方向で第1音色の音が高く、第2音色の音が低くなる。-方向はその逆)

リバーブタイプの設定

リバーブタイプ 「ReverbType」

NOTE 音色パートの「Left (レフト)」と「Left×Layer (レフト×レイヤー)」には設定できません。

操作は60ページを参照してください。



設定範囲:

- Room (ルーム)
部屋のような残響
- Hall1 (ホール1)
コンサートホールのような残響
- Hall2 (ホール2)
Hall1より少し長めの残響
- Stage (ステージ)
ソロ楽器向きの残響
- Plate (プレート)
金属板の振動を利用したような残響

リバーブのかかり具合の設定*

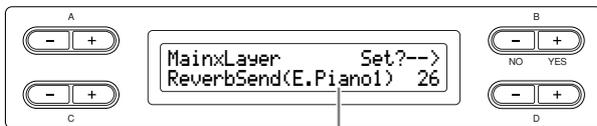
リバーブセンド 「ReverbSend」

NOTE ReverbSendの設定が0の場合はリバーブ効果はかかりません。

操作は60ページを参照してください。



デュアルの場合



設定の対象となる音色(第1音色または第2音色)

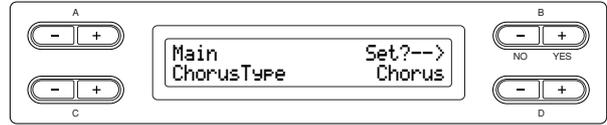
設定範囲: 0~127

コーラスタイプの設定

コーラスタイプ 「ChorusType」

NOTE 音色パートの「Left (レフト)」と「Left×Layer (レフト×レイヤー)」には設定できません。

操作は60ページを参照してください。



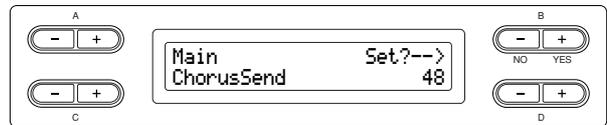
設定範囲:

- Chorus (コーラス)
豊かな広がりを加える効果
- Celeste (セレステ)
うねりと広がりを加える効果
- Flanger (フランジャー)
ジェット機の上昇、下降音のようなうねりを加える効果

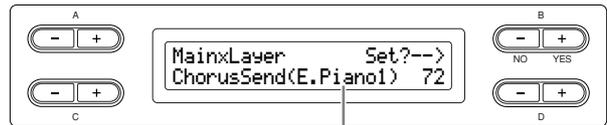
コーラスのかかり具合の設定*

コーラスセンド 「ChorusSend」

操作は60ページを参照してください。



デュアルの場合



設定の対象となる音色(第1音色または第2音色)

設定範囲: 0~127

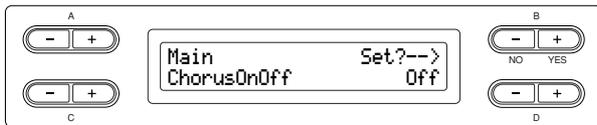
コーラスOn/Offの設定

コーラス オン オフ
「ChorusOnOff」

音色ごとにパネルの[CHORUS]ボタンのOn/Offを設定することができます。音色を選ぶと、ここでの設定に従って自動的に[CHORUS]ボタンのOn/Offが切り替わります。

NOTE ここでOnになっていても、ChorusSend (コーラスセンド)の設定が0の場合はコーラス効果はかかりません。

操作は60ページを参照してください。



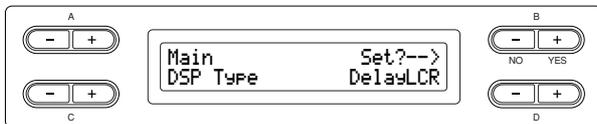
設定範囲: On/Off

DSPタイプの設定*

ディーエスピー タイプ
「DSP Type (DSP)」

リバーブ、コーラス以外の音色効果をここで選んでかけることができます。

操作は60ページを参照してください。



設定範囲:

- **DelayLCR (ディレイLCR)**
左、中央、右の3つの位置でかかるディレイ(音を遅らせる)効果
- **DelayLR (ディレイLR)**
左右2つの位置でかかるディレイ効果
- **Echo (エコー)**
「こだま」のようなディレイ効果
- **CrossDelay (クロスディレイ)**
左右2つのディレイを交差してかけた効果
- **Symphonic (シンフォニック)**
豊かで奥行きのある響きを作る効果
- **Rotary (ロータリー)**
ロータリースピーカー (回転スピーカー) を使っているようなビブラート感が得られる効果
- **Tremolo (トレモロ)**
音量が周期的に変化する効果
- **VibeRotor (バイプローター)**
ビブラフォン特有のビブラート
- **AutoPan (オートパン)**
音が左右、前後に揺れ動くような効果
- **Phaser (フェーザー)**
位相を周期的に変化させ、音にうねりを持たせる効果

- **AutoWah (オートワウ)**
ワウフィルターの中心周波数を周期的に変化させる効果
- **SoundBoard (サウンドボード)**
ピアノの響板の響き
- **Off**
効果なし

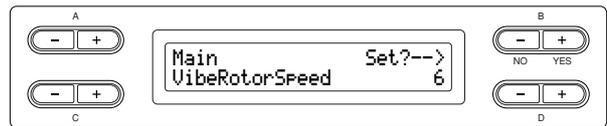
ビブラフォンのビブラート効果の
スピードの設定*バイプロータースピード ロータースピード
「VibeRotorSpeed (RotorSpeed)」

NOTE Rotor (ローター)=電動機などの回転子

上記のDSP TypeでVibeRotorを選んだときだけ表示されます。

ビブラフォン
Vibraphoneを選んでいてVibeRotorペダルを使っている場合の、ビブラート効果の音揺れのスピードを設定します。

操作は60ページを参照してください。



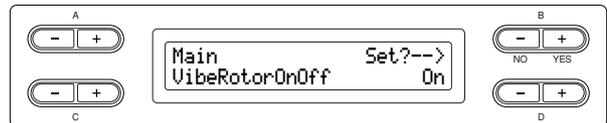
設定範囲: 1~10

ビブラフォンのビブラート効果
On/Offの設定*バイプローター オン オフ ローター オン オフ
「VibeRotorOnOff (RotorOnOff)」

上記のDSPTypeでVibeRotorを選んだときだけ表示されます。

VibeRotorペダルを使っている場合の、ビブラート効果のOn/Offを設定します。

操作は60ページを参照してください。



設定範囲: On/Off

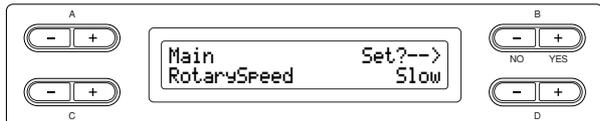
ロータリースピーカーの 回転速度の設定*

ロータリースピード ロータリースピード
「RotarySpeed (Rot.Speed)」

上記のDSPTTypeでRotaryを選んだときだけ表示されます。

ロータリースピーカーエフェクトの回転速度を設定します。

操作は60ページを参照してください。



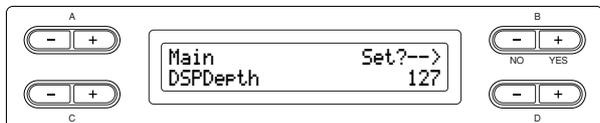
設定範囲: Slow/Fast (スロー/ファスト)

DSP効果のかけ具合の設定*

ディーエスピー デプス
「DSPDepth」

DSP効果(69ページ)のかけ具合を設定します。DSPTTypeの中にはDSPDepthの設定ができないものがあります。

操作は60ページを参照してください。

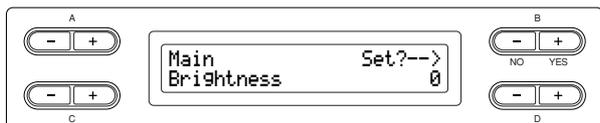


設定範囲: 1 (ほとんどエフェクトのかかっていない元の音だけを出力)~127 (エフェクトのかかった音だけを出力)

音の明るさを調節する*

ブライトネス
「Brightness」

操作は60ページを参照してください。

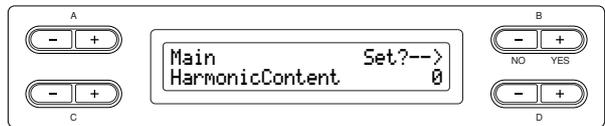


設定範囲: -64~+63

レゾナンス効果を調節する*

ハーモニックコンテンツ ハーモニック
「HarmonicContent (Harmonic)」

操作は60ページを参照してください。



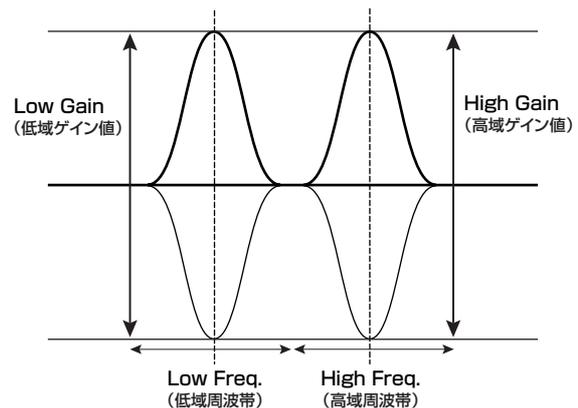
設定範囲: -64~+63

NOTE レゾナンスの値を上げると、音に独特のクセを付けることができます。

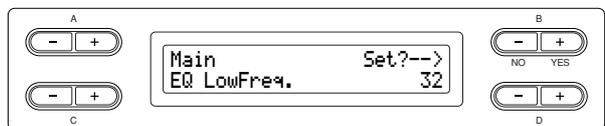
イコライザーの低域周波数を調節する*

イーキューローフリケンシー
「EQ LowFreq. (EQ L.Freq)」

NOTE イコライザーとは
 音を2つの周波数帯域に分け、それぞれのバンドごとにゲイン値(増幅量)を上げ下げして好みの音質を作る機能です。



操作は60ページを参照してください。

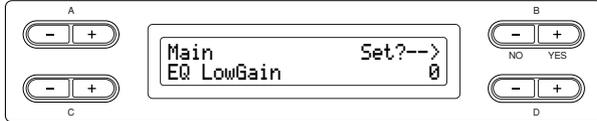


設定範囲: 32 Hz~2.0 KHz

イコライザーの低域ゲイン値(増幅量)を調節する*

イーキュー ローゲイン [EQ LowGain]

操作は60ページを参照してください。

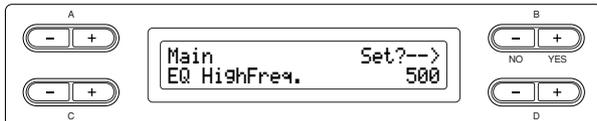


設定範囲: -12~+12 dB

イコライザーの高域周波数を調節する*

イーキュー ハイフリクエンシー [EQ HighFreq. (EQ H.Freq.)]

操作は60ページを参照してください。

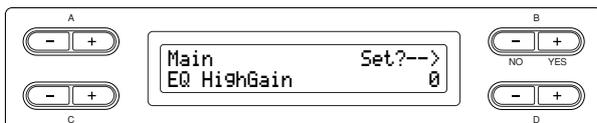


設定範囲: 500 Hz~16.0 KHz

イコライザーの高域ゲイン値(増幅量)を調節する*

イーキュー ハイゲイン [EQ HighGain]

操作は60ページを参照してください。

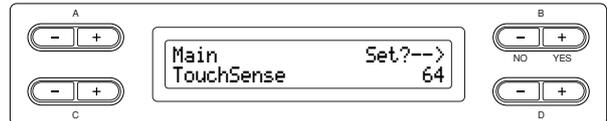


設定範囲: -12~+12 dB

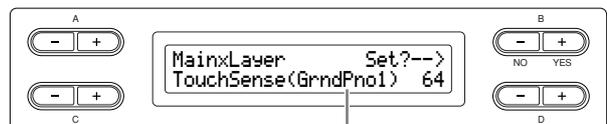
タッチに対する音量変化度合の設定*

タッチセンス [TouchSense]

タッチに対する音量変化幅/音量の出やすさを設定します。ハープシコードやパイプオルガンは、タッチによる音量変化がない楽器ですので、基本設定は127 (音量が出やすく一定音量)になっています。操作は60ページを参照してください。



デュアルの場合



設定の対象となる音色(第1音色または第2音色)

設定範囲: 0 (音量が出にくい)~64 (音量変化幅が最大)~127 (音量が出やすく一定音量)

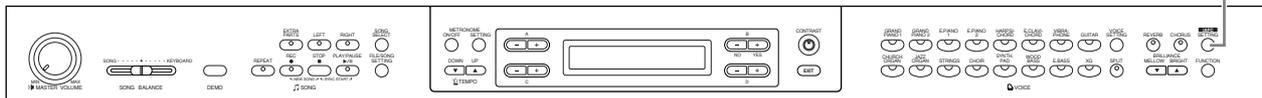
iAFCに関する詳細設定

[iAFC SETTING] (iAFCセッティング)

iAFCとは、クラビノーバから出る音に生楽器のような奥行き感を持たせる機能です。ステージ上で演奏したときの音の響きや残響音、グランドピアノのダンパーペダルを踏んだときのような弦の共鳴効果などが体験できます。ここでは、iAFCをオン/オフしたり、かかり具合などを設定することができます。また、楽器の設置環境に合わせて、iAFC効果が最適にかかるように自動調整することもできます。

セッティング
[iAFC SETTING]ボタンを押して、iAFCセッティングモードに入ります。

[iAFC SETTING]ボタン



クラビノーバの電源を初めて入れたときとクラビノーバを移動したあとは、自動調整を行なってください。

自動調整が行なわれていない状態で[iAFC SETTING]ボタンを押すと、自動調整の画面が表示されます。

NOTE 以下の場合は、iAFCを使うことができません。

- ・ Speakerの設定がNormalで、ヘッドフォンが接続されているとき。
- ・ Speakerの設定がOffのとき。

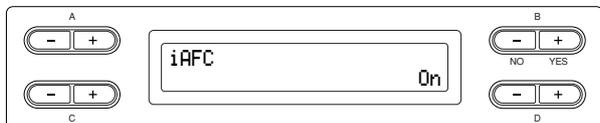
NOTE iAFCを使っているときは、クラビノーバの背面に付いているスピーカーをふさがないようにください。このスピーカーをふさぐとiAFCの効果を最適にすることができません。

NOTE iAFCには、ハウリングに対する安定化を図るために当社のEMR (Electronic Microphone Rotator)技術が使われています。

iAFCオン/オフの設定

「iAFC」

操作は60ページを参照してください。

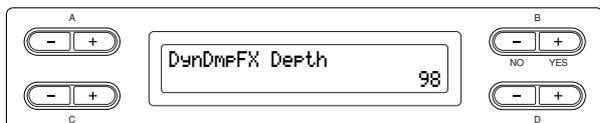


設定範囲: On/Off

ダイナミックダンパーエフェクトの かかり具合の設定

ダイナミックダンパーエフェクト デプス 「DynDmpFX Depth」

ダイナミックダンパーエフェクトとは、iAFCの効果のひとつです。グランドピアノのダンパーペダルを踏んだときのような共鳴効果を、内蔵マイクを使用せず、クラビノーバ内部の音を信号処理して作り出します。ダンパーペダルを踏んだときに効果がかかります。操作は60ページを参照してください。



設定範囲: 0~127

スペシャルエフェクトの かかり具合の設定

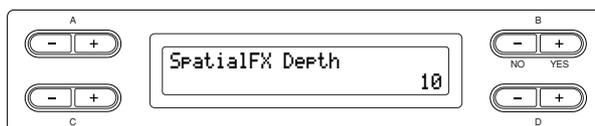
スペシャルエフェクト デプス 「SpatialFX Depth」

スペシャルエフェクトとは、iAFCの効果のひとつです。内蔵マイクで拾ったクラビノーバの音を信号処理して背面スピーカーから出すことにより、奥行き感のある立体的な響きを作り出します。デプスで広がり感が変わります。

浅いデプス: 生楽器(グランドピアノなど)が持つ楽器の響きを、仮想的なサウンドボード(共鳴板)によって作りだします。

深いデプス: ステージ上で演奏したときの音の響き、残響音を表現します。合奏者の楽器の響きも加わるため、ステージで合奏している雰囲気味わえます。

操作は60ページを参照してください。



設定範囲: 0~127

iAFCのキャリブレーション (自動調整)をする

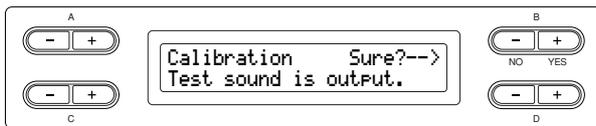
キャリブレーション 「Calibration」

iAFC各タイプの効果が最適になるように、部屋の環境に合わせてiAFCの感度や特性を自動調整します。

自動調整が始まると、テストサウンド(ノイズ)が約5秒間鳴ります。

自動調整中はクラビノーバの周りで音を出さないようにしてください。

操作は60ページを参照してください。



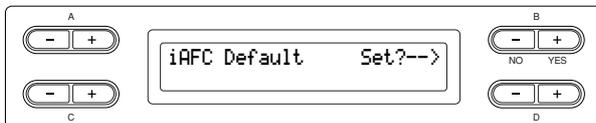
NOTE 自動調整中は、鍵盤を弾いても音が出ません。また、クラビノーバの音量を調節することもできません。

キャリブレーション設定を 基本設定に戻す

デフォルト 「iAFC Default」

キャリブレーション設定を、基本設定に戻します。

操作は60ページを参照してください。



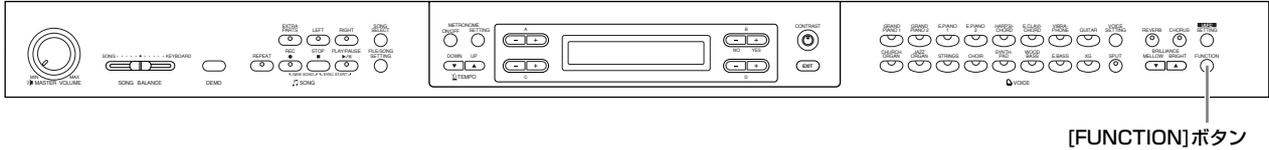
その他の詳細設定

[FUNCTION] (ファンクション)

タッチ感やチューニング、音律などの細かい設定をすることができます。

ファンクション

[FUNCTION]ボタンを押して、ファンクションモードに入ります。



キー (調)を変える

トランスポーズ
[Transpose]

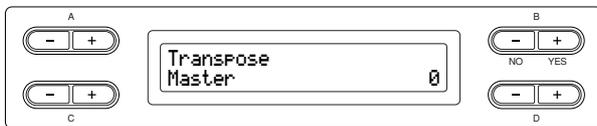
NOTE TRANSPOSE (トランスポーズ)=移調する

NOTE 移調: 曲全体の音の高さを上げたり下げたりしてキー (調)を変えること。

弾く鍵盤を変えずに、ほかの楽器や歌う人の声の高さにキー (調)を合わせたり、演奏する曲や再生する曲を移調したりすることができます。

たとえば、トランスポーズ量を「5」に設定すると、「ド」を弾いたときに「ファ」の音が出ることになり、「八長調」を弾いて「へ長調」の演奏ができます。

操作は60ページを参照してください。



設定対象:

- **Master (マスター)**
楽器全体の音(手弾き音、再生曲)
- **Keyboard (キーボード)**
手弾きの音
- **Song (ソング)**
再生する曲

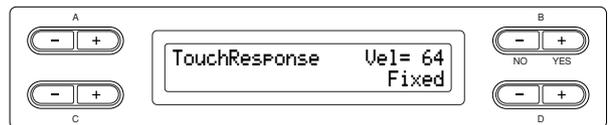
設定範囲: -12 (-1オクターブ)~0 (標準音程)~+12 (+1オクターブ)

タッチ感度の選択

タッチレスポンス
[TouchResponse]

鍵盤を弾く強さに対する音の強弱の付き方(タッチ感度)を選ぶことができます。

操作は60ページを参照してください。



設定範囲:

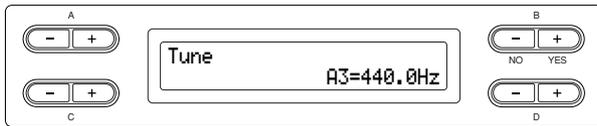
- **Light (ライト)**
弱いタッチで大きい音を出すことができます。比較的音のつづがそりやすいタッチです。
- **Medium (ミディアム)**
標準的なタッチです。
- **Heavy (ヘビー)**
強いタッチで弾かないと大きい音が出にくい設定です。ピアノニッシモからフォルティッシモまで表情豊かな演奏ができます。
- **Fixed (フィクスト)**
タッチによる強弱は付かず一定のボリュームが出ます。そのボリュームはB [-][+]ボタンで設定します。
Fixedのボリュームの設定範囲: 1~127

音の高さの微調整

チューン
「Tune」

楽器全体の音の高さを微調整することができます。ほかの楽器との合奏やCDの再生に合わせて演奏するときなどに、ほかの楽器やCDの再生音などと音の高さを正確に合わせたい場合に使います。

操作は60ページを参照してください。



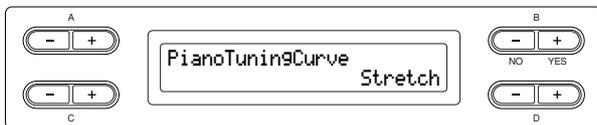
設定範囲: A3=414.8Hz~466.8Hz (0.2Hz単位)

ピアノ音色の調律曲線の選択

ピアノチューニングカーブ
「PianoTuningCurve」

グランドピアノ
「Grand Piano 1」と「Grand Piano 2」の音色の調律曲線を選ぶことができます。多重録音をしたときなど、ピアノ特有の調律カーブが他の楽器の音の高さと微妙に合わないと感じた場合に、「Flat」を選ぶと解消されます。

操作は60ページを参照してください。



設定範囲:

- **Stretch (ストレッチ)**
ピアノ特有の調律曲線
- **Flat (フラット)**
全音域に渡ってオクターブで周波数が倍になる調律曲線

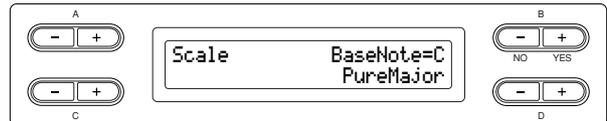
音律の選択

スケール
「Scale」

NOTE Scale (スケール)=音階

音律(調律法)を選ぶことができます。現在もっとも一般的なピアノの調律法「平均律」が完成するまでには、時代と共に様々な音律が考えられ、またそれによる音楽が誕生しました。当時の調律法で演奏することで、その曲が誕生したときの響きを味わうことができます。

操作は60ページを参照してください。

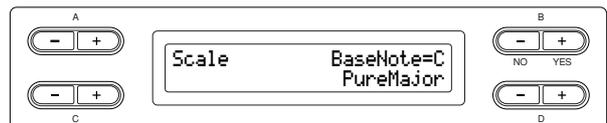


設定範囲:

- **Equal (イコール=平均律)**
1オクターブを12の間隔で等分した音律。現在もっともポピュラーなピアノの調律法。
- **PureMajor/PureMinor (ピュアメジャー/ピュアマイナー=純正律「長調」/「短調」)**
自然倍音を基準とするため、主要3和音が美しく純粋に響くのが特長。現在でも合唱のハーモニーなどで見られる。
- **Pythagorean (ピタゴリアン=ピタゴラス音律)**
ギリシャ時代の哲学者ピタゴラスによって考えられた5度音程だけの組み合わせからできた音律。3度はうなりが生じるが4度と5度の音程が美しく、旋律の演奏に向いている。
- **MeanTone (ミーントーン=中全音律)**
ピタゴラス音律の3度のうなりをなくすために改良された音律。16世紀後半から18世紀後半までにかけて広く普及し、ヘンデルも使用した。
- **Werckmeister/Kirnberger (ヴェルクマイスター/キルンベルガー)**
中全音律とピタゴラス音律を組み合わせた音律で、両者はその組み合わせ方が異なる。転調により曲想が変化するのが特長。バッハやベートーベン時代に使用され、現在でもその時代の音楽をハープシコード(=チェンバロ)などで演奏するときしばしば用いられる。

基本設定: Equal (イコール)

Equal以外の音律を選んだときは、基音(演奏する曲の調の主音)を設定する必要があります。B [-][+]ボタンで設定します。



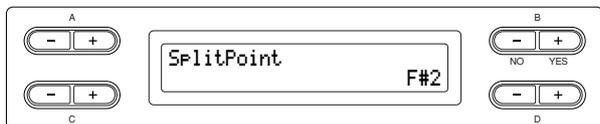
設定範囲: C、C#、D、E♭、E、F、F#、G、A♭、A、B♭、B

スプリットポイントを決める

スプリットポイント 「SplitPoint」

スプリットポイント(鍵盤の右手領域と左手領域の境め)を決めることができます。

操作は60ページを参照してください。

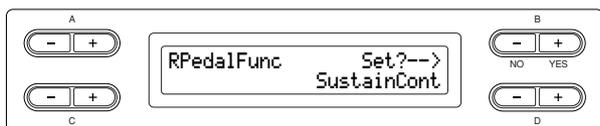


設定範囲: A-1～C7

右ペダルの機能設定

ライトペダルファンクション 「RPedalFunc」

操作は60ページを参照してください。



設定範囲:

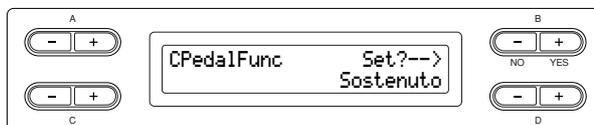
- ・ **Sustain (サステイン)**
On/Offスイッチ式のダンパー (25ページ)
- ・ **SustainCont (サステインコンティニューアスリー)**
踏み込むほど音が長く伸びるダンパー (25ページ)
- ・ **Sostenuto (ソステヌート)**
ソステヌート(25ページ)
- ・ **Soft (ソフト)**
ソフト(25ページ)
- ・ **Expression (エクスプレッション)**
演奏中に音の強弱を付ける機能
- ・ **PitchBend Up (ピッチベンド アップ)**
音の高さを連続的に上げる機能
- ・ **PitchBend Down (ピッチベンド ダウン)**
音の高さを連続的に下げる機能
- ・ **RotarySpeed (ロータリースピード)**
JazzOrgan (ジャズオルガン)のロータリースピーカーの回転数の変化(踏むごとに速い/遅いが切り替わる)
- ・ **VibeRotor (バイプローター)**
Vibraphone (ビブラフォン)のビブラートのOn/Off (踏むごとにOn/Offが切り替わる)

基本設定: SustainCont (サステインコンティニューアスリー)

まん中のペダルの機能設定

センターペダルファンクション 「CPedalFunc」

操作は60ページを参照してください。



設定範囲: 「右ペダルの機能設定」(左記)から下記の機能を除いたものと同じ。

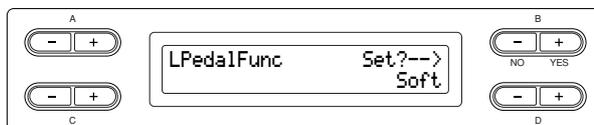
- ・ SustainCont
- ・ Expression
- ・ PitchBend Up
- ・ PitchBend Down

基本設定: Sostenuto (ソステヌート)

左ペダルの機能設定

レフトペダルファンクション 「LPedalFunc」

操作は60ページを参照してください。



設定範囲: 「右ペダルの機能設定」(左記)から下記の機能を除いたものと同じ。

- ・ SustainCont
- ・ Expression
- ・ PitchBend Up
- ・ PitchBend Down

基本設定: Soft (ソフト)

ただし、JazzOrgan (ジャズオルガン)とMellowOrgan (メローオルガン)の場合はRotarySpeed (ロータリースピード)、Vibraphone (ビブラフォン)の場合はVibeRotor (バイプローター)。

外部ペダルの機能設定

エーユーエックスペダルファンクション 「AuxPedalFunc」

ペダル
[AUX PEDAL]端子に接続したペダルの機能を設定します。
操作は60ページを参照してください。



設定範囲: 「右ペダルの機能設定」(前述)と同じ。
基本設定: Expression (エクスプレッション)

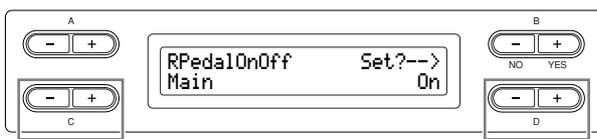
NOTE 別売ペダル

- ・YAMAHAフットコントローラー FC7
Expression (エクスプレッション)、SustainCont (サステインコンティニューアスリー)、PitchBend Up/Down (ピッチベンド アップ/ダウン)をコントロールするのに適したフットコントローラーです。
- ・YAMAHAフットスイッチFC4
- ・YAMAHAフットスイッチFC5
Sustain (サステイン)、Sostenuto (ソステヌート)、Soft (ソフト)、RotarySpeed (ロータリースピード)、VibeRotor (バイプローター)をコントロールするのに適したフットスイッチです。

右ペダルの機能オン/オフ設定

ライトペダル オン オフ 「RPedalOnOff」

右ペダルの機能をオン/オフします。ペダルの機能オン/オフは、音色パートごとに設定できます。
操作は60ページを参照してください。



オン/オフする音色パートを選ぶ

オン/オフを設定する

設定対象: Main (メイン)、MLayer (メインレイヤー)、Left (レフト)、LLayer (レフトレイヤー)

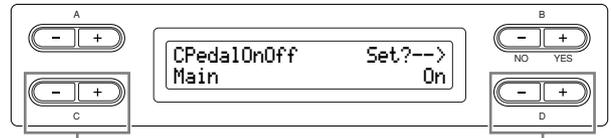
設定範囲: On/Off

基本設定: 音色による

まん中のペダルの機能オン/オフ設定

センターペダル オン オフ 「CPedalOnOff」

まん中のペダルの機能をオン/オフします。ペダルの機能オン/オフは、音色パートごとに設定できます。
操作は60ページを参照してください。



オン/オフする音色パートを選ぶ

オン/オフを設定する

設定対象: Main、MLayer、Left、LLayer

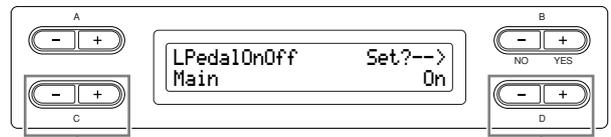
設定範囲: On/Off

基本設定: 音色による

左ペダルの機能オン/オフ設定

レフトペダル オン オフ 「LPedalOnOff」

左ペダルの機能をオン/オフします。ペダルの機能オン/オフは、音色パートごとに設定できます。
操作は60ページを参照してください。



オン/オフする音色パートを選ぶ

オン/オフを設定する

設定対象: Main、MLayer、Left、LLayer

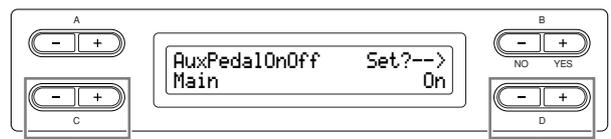
設定範囲: On/Off

基本設定: 音色による

外部ペダルの機能オン/オフ設定

エーユーエックスペダル オン オフ 「AuxPedalOnOff」

[AUX PEDAL]端子に接続したペダルの機能をオン/オフします。ペダルの機能オン/オフは、音色パートごとに設定できます。
操作は60ページを参照してください。



オン/オフする音色パートを選ぶ

オン/オフを設定する

設定対象: Main、MLayer、Left、LLayer

設定範囲: On/Off

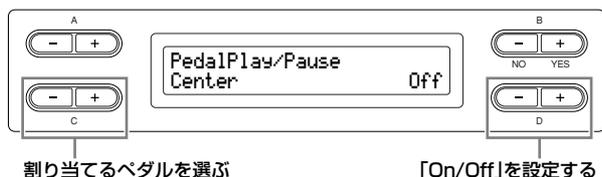
基本設定: 音色による

ソング プレイ / ポーズ SONG [PLAY/PAUSE] 機能の ペダルへの割り当て

ペダルプレイ ポーズ [PedalPlay/Pause]

NOTE ここでSONG [PLAY/PAUSE]の機能を割り当て、Onにして使っている間は、[FUNCTION]ボタンでそのペダルに設定したペダル機能(76ページ)は無効になります。

操作は60ページを参照してください。



設定対象: Left (レフト)、Center (センター)、AUX

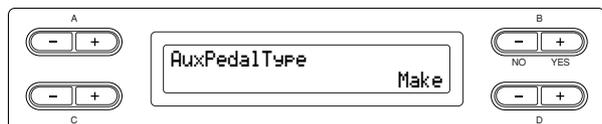
設定範囲: On/Off

基本設定: どのペダルもOff

外部ペダルのタイプ選択

エーユーエックスペダルタイプ [AuxPedalType]

[AUX PEDAL]端子に接続したペダルによって、踏んだときの効果(On/Offや強弱など)が逆になる場合があります。そのような場合に切り替えてください。操作は60ページを参照してください。

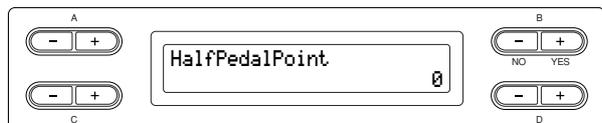


設定範囲: Make (メイク)、Break (ブレイク)

ダンパーペダルが効き始める ポイントの設定

ハーフペダルポイント [HalfPedalPoint]

ペダル(右、AUX)をどのくらい踏み込めばSustainContの効果(76ページ)が効き始めるのかを設定することができます。

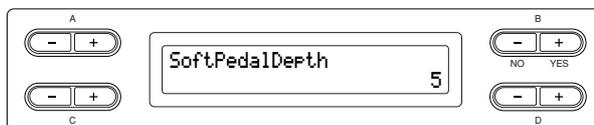


設定範囲: -2 (浅い位置で効く)~0~+2 (深い位置で効く)

ソフトペダルのかかり具合の設定

ソフトペダルデプス [SoftPedalDepth]

操作は60ページを参照してください。



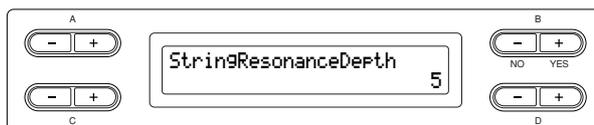
設定範囲: 1~10

弦共鳴音(ストリングレゾナンス)の かかり具合の設定

ストリングレゾナンスデプス [StringResonanceDepth]

NOTE String Resonance (ストリングレゾナンス)=弦共鳴音

グランドピアノ
「Grand Piano 1」の音色などに有効です。
操作は60ページを参照してください。

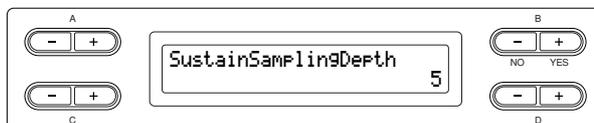


設定範囲: Off、1~10

ダンパーペダル使用時の共鳴効果(サステ インサンプリング)のかかり具合の設定

サステインサンプリングデプス [SustainSamplingDepth]

グランドピアノ
「Grand Piano 1」の音色グループに有効です。
操作は60ページを参照してください。



設定範囲: Off、1~10

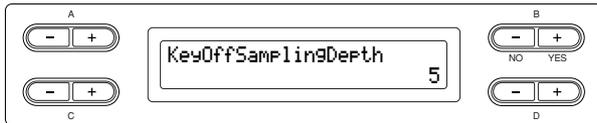
キーオフ音の音量設定

キーオフサンプリングデプス 「KeyOffSamplingDepth」

キーオフ音(鍵盤を離れたときの微妙な発音)の音量を変
えることができます。

グランドピアノ ハープシコード
「GRAND PIANO 1」、 「HARPSICHORD」、
エレクトリッククラピコード エレクトリックピアノ
「E. CLAVICHORD」の音色グループと「E. PIANO 2」
の音色に有効です。

操作は60ページを参照してください。



設定範囲: Off、1～10

ピッチベンド幅の設定

ピッチベンドレンジ 「PitchBendRange」

音の高さを連続的に変化させるピッチベンド機能の変化
幅を設定します。

- この設定は手弾き音に対して有効です。
- 半音単位で設定できます。
- 音の高さを上げるか下げるかはペダルの機能設定(76
ページ)で設定できます。

操作は60ページを参照してください。



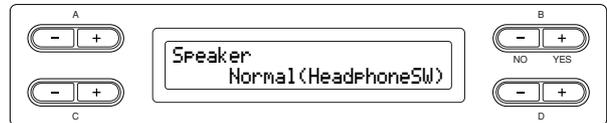
設定範囲: 0～+12 (ペダルを踏むと12半音<1オクターブ>
上がる/下がる)

基本設定: 2

スピーカーのOn/Offを切り替える設定

スピーカー 「Speaker」

スピーカーのOn/Offを切り替えることができます。
操作は60ページを参照してください。



設定範囲:

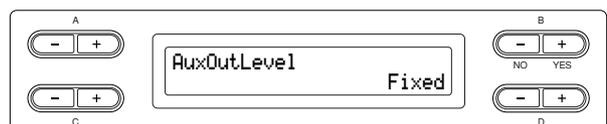
- Normal (HeadphoneSW)
(ノーマル<ヘッドフォンスイッチ>)
ヘッドフォンが接続されていないときだけスピーカーが鳴り
ます。
- On
常にスピーカーが鳴ります。
- Off
スピーカーは鳴りません。

AUX OUTからの出力音の調節

エーユーエックスアウトレベル 「AuxOutLevel」

[AUX OUT]端子に接続した機器からの出力音を、
マスターボリューム マスターボリューム
[MASTER VOLUME]ダイヤルで調節する(Variable)、
バリアブル
しない(Fixed)を設定します。
フィクスト

操作は60ページを参照してください。



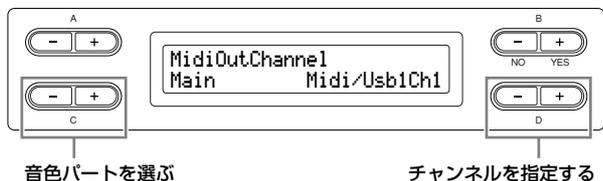
設定範囲: Fixed (フィクスト)、Variable (バリアブル)

基本設定: Fixed

MIDI送信チャンネルの設定

メディアアウトチャンネル [MidiOutChannel]

クラビノーバからMIDIデータを送信するときのチャンネルを設定します。
操作は60ページを参照してください。



設定対象: Main (メイン)、Left (レフト)、Layer (レイヤー)、Left Layer (レフトレイヤー)

設定範囲: Midi/Usb1 Ch1~Ch16、Off (送信しない)

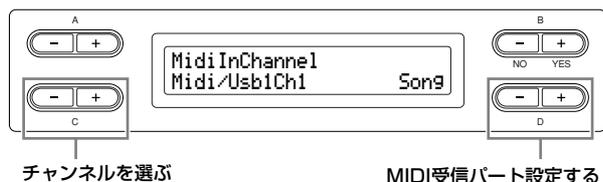
基本設定:

- Main Midi/Usb1 Ch1
- Left Midi/Usb1 Ch2
- Layer Midi/Usb1 Ch3
- LeftLayer Midi/Usb1 Ch4

MIDI受信チャンネルの設定

メディアインチャンネル [MidiInChannel]

MIDI [IN]端子と、USB [TO HOST]端子から受信したデータについて、受信するかどうかを、チャンネルごとに設定することができます。
操作は60ページを参照してください。



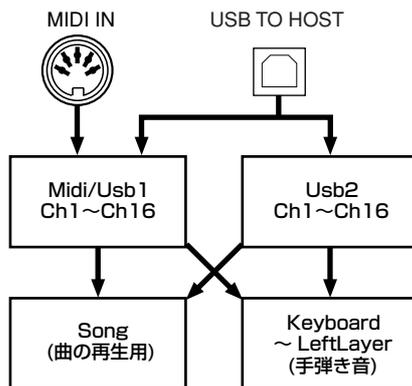
設定対象:

- Midi/Usb1 Ch1~16
- Usb2 Ch1~16

設定範囲: Song (ソング)、Main (メイン)、Left (レフト)、Layer (レイヤー)、LeftLayer (レフトレイヤー)、Keyboard (キーボード)、Off

基本設定:

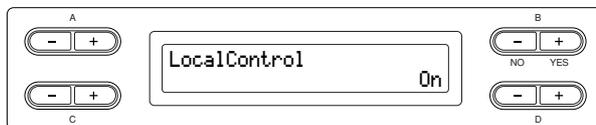
- Midi/Usb1 Ch1~16 Song
- Usb2 Ch1 Keyboard
- Usb2 Ch2 Main
- Usb2 Ch3 Left
- Usb2 Ch4 Layer
- Usb2 Ch5 LeftLayer
- その他 Off



ローカルコントロールオン/オフの設定

ローカルコントロール [LocalControl]

クラビノーバの鍵盤を弾くとクラビノーバの「音源部」から音が鳴る状態を、「ローカルコントロールオン」と呼びます。「ローカルコントロールオフ」にすると「鍵盤」と「音源」が切り離され、鍵盤を弾いてもクラビノーバからは音が出なくなります。一方、鍵盤を弾いたデータはMIDI送信されますので、クラビノーバでは音を鳴らさずにMIDI接続した外部音源を鳴らしたいときなどに、ローカルコントロールをオフにします。
操作は60ページを参照してください。



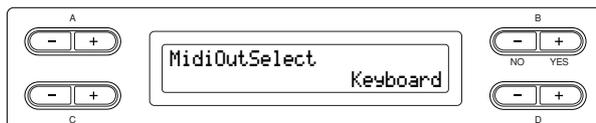
設定範囲: On/Off

基本設定: On

手弾き音か曲再生音の どちらをMIDI送信するかの設定

メディアアウトセレクト [MidiOutSelect]

手弾き音のデータと曲再生音のデータのどちらをMIDI送信するかを設定します。
操作は60ページを参照してください。



設定範囲:

- Keyboard (キーボード) 手弾き音のデータ
- Song (ソング) 曲再生音のデータ

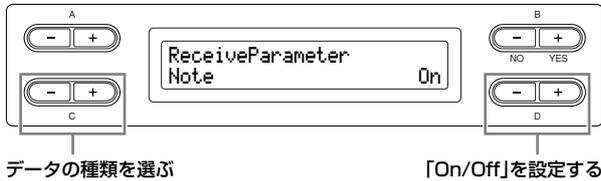
基本設定: Keyboard

MIDI受信するデータの種類の設定

レシーブパラメーター
「ReceiveParameter」

MIDIデータの種類ごとに、受信するかしないかを設定することができます。

操作は60ページを参照してください。



データの種類を選ぶ

「On/Off」を設定する

データの種類: Note (ノート)、Control (コントロールチェンジ)、Program (プログラムチェンジ)、PitchBend (ピッチベンド)、SysEx (システムエクスクルーシブ)

設定範囲: On/Off

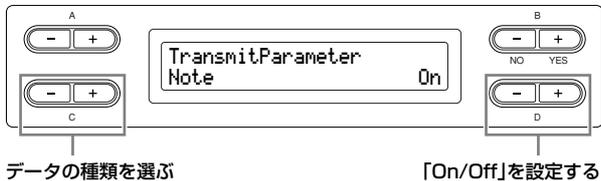
基本設定: すべてのデータがOn

MIDI送信するデータの種類の設定

トランスミットパラメーター
「TransmitParameter」

MIDIデータの種類ごとに、送信するかしないかを設定することができます。

操作は60ページを参照してください。



データの種類を選ぶ

「On/Off」を設定する

データの種類: Note (ノート)、Control (コントロールチェンジ)、Program (プログラムチェンジ)、PitchBend (ピッチベンド)、SystemRealTime (システムリアルタイム)、SysEx (システムエクスクルーシブ)

設定範囲: On/Off

基本設定: すべてのデータがOn

パネル初期設定データの送信

イニシャルセットアップ
「InitialSetup」

クラビノーバに接続したシーケンサーなどへ、音色選択などのパネル設定データを送信することができます。外部シーケンサーに演奏データを録音する際、演奏データの頭に、録音データを再生しながら自分で演奏するためのパネル設定データを送信して記録しておく、再生しながらの演奏の際、便利です。

操作は60ページを参照してください。



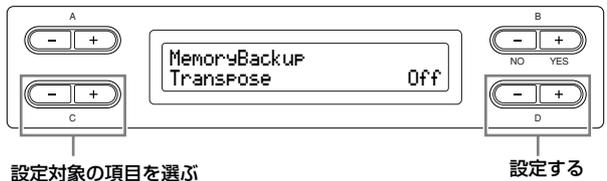
電源オフ時に保存する項目の設定

メモリーバックアップ
「MemoryBackup」

音色選択やメトロノームに関する設定などご自身で設定した内容を、電源をオフにしても消さずに残しておくようにする(=バックアップする)ことができます。

本体メモリーに保存した曲とここでのバックアップオン/オフの設定自体、および「CharacterCode」^{キャラクターコード}の設定(47ページ)は、常にバックアップされます。

操作は60ページを参照してください。



設定対象の項目を選ぶ

設定する

設定対象:

Transpose (トランスポーズ)
Brilliance (ブリリアンス)
ReverbOnOff (リバーブオンオフ)
iAfc (iAFCセッティング)
SplitPoint (スプリットポイント)
Main/LeftVoice (メイン/レフトボイス)
MetronomeSetting (メトロノームセッティング)
File/SongSetting (ファイル/ソングセッティング)
MidiSetting (MIDIセッティング: ファンクションの中のMIDI関連の設定)
Function (ファンクション) (Transpose<トランスポーズ> SplitPoint<スプリットポイント>、MidiSetting<MIDIセッティング>は除く)

設定範囲: On/Off

基本設定: Transpose、Main/LeftVoice、MetronomeSetting、Function (Transpose、SplitPoint、MidiSettingは除く)はOff、その他はOn

基本設定に戻す

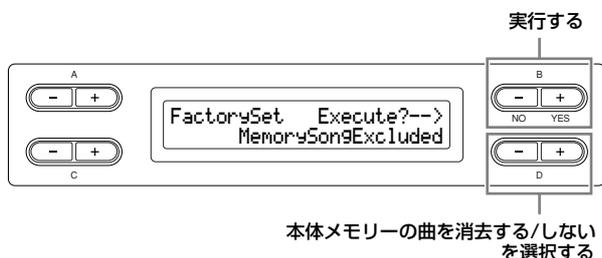
ファクトリーセット [FactorySet]

クラビノーバを、基本設定(工場出荷時の状態=初めて電源を入れたときの状態)に戻すことができます。

- [FILE/SONG SETTING]操作の「CharacterCode」の設定は変わりません。
- [MemoryBackup] (81ページ)のOn/Off設定も基本設定に戻ります。
- 本体メモリーに保存した曲については、消去するかしないかを選択できます。

操作は60ページを参照してください。

- ⊘ ファクトリーセット中は電源を切らないでください。電源を切ると、データの破損の原因になります。

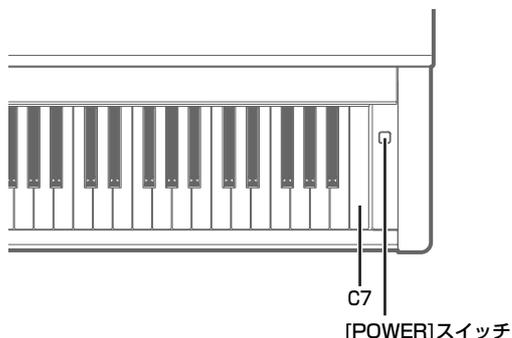


本体メモリーの曲についての選択：

- MemorySongExcluded (メモリーソングエクスルーデッド).....消去しない
- MemorySongIncluded (メモリーソングインクルーデッド).....消去する

基本設定に戻す他の方法

右端の白鍵(C7)を押したまま電源をオン([POWER]スイッチを押す)にしても、基本設定に戻すことができます。この場合、本体メモリーに保存した曲は消去されません。



データのバックアップ

フルバックアップ [FullBackup]

本体の設定や本体に保存したデータの万一の事故に備えて、大切なデータをUSB記憶装置にバックアップとして保存することができます。また、保存したデータを読み込んで、元の設定に戻すこともできます。USB記憶装置を接続してから操作します。操作は、60ページを参照してください。

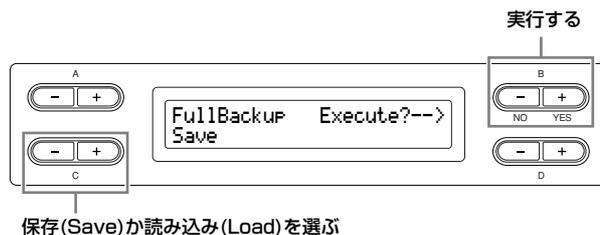
NOTE データのバックアップを取るときは、USB記憶装置を複数接続しないことをおすすめします。USBハブなどを使って複数の記憶装置を接続しても、バックアップ先を選ぶことができません。

- ⊘ 曲の読み込み中などのファイル操作中に、バックアップを実行しないでください。ファイル操作中にバックアップを実行すると、データの破損の原因になります。

NOTE バックアップが完了するまでに、1~2分かかります。

- ⊘ バックアップ中は電源を切らないでください。電源を切ると、データの破損の原因になります。

NOTE プロテクトがかかった曲(曲名の左にMSまたはMsと表示される曲)はバックアップできません。バックアップ前に、USB記憶装置に移動(45ページ)しておいてください。プロテクトがかかった曲が楽器本体に残っていると、バックアップファイルを楽器に読み込んだときに消去されてしまいます。



メッセージ一覧

ABC順に掲載しています。

メッセージ	内容
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">AccessError</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">AccessError</div> <p>アクセスエラー</p>	<p>「保存用メモリー / メディアへの書き込みや読み込みが失敗しました」 保存用メモリー / メディアへの書き込みや、読み込みが失敗したときに表示されます。この場合は、デバイスの接続を確認したうえで操作し直してください。それでもこのメッセージが表示される場合は、保存用メモリー / デバイス / メディアの故障が考えられます。</p> <p>「読み取り専用の曲に上書き保存しようとしたしました」 読み取り専用の曲に上書き保存しようとしたときに表示されます。読み取り専用の曲には上書き保存できません。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">AllFiles?--></div> <p>オールファイル?</p>	<p>「フォルダー内のファイルをすべて削除しますか？」 フォルダーを削除するときに、そのフォルダー内のファイルをすべて削除するかどうかの確認です。ファイル内のフォルダーをすべて削除する場合はB [+ (YES)] ボタン、中止する場合はB [- (NO)] ボタンを押してください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">BackupMemoryFull</div> <p>バックアップメモリー フル</p>	<p>「バックアップメモリーの空き領域が不足しています」 バックアップメモリーの空き容量が不足している場合に表示されます。電源を入れ直すとバックアップメモリー内の不要なデータが削除され、空き容量を増やすことができます。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">CalibrationError DefaultReset</div> <p>キャリブレーションエラー デフォルトリセット</p>	<p>「キャリブレーションが中断され、基本設定に戻りました」 iAFCの自動調整中に自動調整が中断され、基本設定値に設定された場合の表示です。このような場合は、自動調整をやり直してください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Calibration Speaker sound is off</div> <p>キャリブレーション スピーカー サウンド イズオフ</p>	<p>「スピーカーがオフになっていて、自動調整ができません」 リアスピーカーから音が出ない状態になっているので、iAFCの自動調整ができないというメッセージです。この場合、「Speaker (スピーカー)」の設定がOffになっているときは「Speaker」をOnにしてください。「Speaker」の設定がNormal (ノーマル) でヘッドフォンが接続されているときは、ヘッドフォンのプラグを抜いてください</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Calibration Sure?--> Test sound is output.</div> <p>キャリブレーション シュア? テスト サウンド イズアウトプット</p>	<p>「iAFCのキャリブレーションを実行しますか？」 iAFCのキャリブレーションを始めるときに表示されます。iAFCのキャリブレーションでは、楽器からテスト音が鳴ります。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Canceled</div> <p>キャンセルド</p>	<p>「キャンセルされました」 操作が中止された場合に、中止されたことを確認するメッセージです。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Caution ProtectedSong</div> <p>コーション プロテクトドソング</p>	<p>「プロテクトがかかった曲について操作しています。実行しますか？」 プロテクトがかかった曲に関して、以下の操作をした場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・上書き(プロテクトがかかった曲は上書きできません。) ・別名保存(プロテクトがかかった曲は別名保存ができません。) ・削除(プロテクトがかかった曲を削除してよいかどうかの確認です。) ・ファイル名変更(プロテクトがかかった曲のファイル名を変更すると、その曲が再生できなくなる場合があります。) </p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Completed</div> <p>コンプリーテッド</p>	<p>「完了しました」 「Executing (エクセキューティング=実行中)」のメッセージに続いて表示されます。保存用メモリーやUSB記憶装置への書き込みや操作の実行が、完了したときなどに表示されます。このメッセージを確認したら、次の操作に移ることができます。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">DriveError</div> <p>ドライブエラー</p>	<p>「ドライブとの通信エラーが発生しました」 ドライブとの通信エラーが発生したときに表示されます。ドライブの接続に問題がないことを確認したうえで、動作確認済みのドライブ(53ページ)をご使用ください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">DriveNumLimitOver</div> <p>ドライブナンバー リミット オーバー</p>	<p>「認識できるドライブ数を超えています」 この楽器で認識できるドライブ数を超えているときに表示されます。この楽器では、ひとつのUSB [TO DEVICE] 端子に対して2台までのUSB記憶装置を接続できます。また、1台のUSB記憶装置について4ドライブまで認識できます。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">DrivePowerError</div> <p>ドライブパワー エラー</p>	<p>「ドライブに異常な電流が流れたので、接続を遮断しました」 ドライブに異常な電流が流れて接続が遮断されたときに表示されます。復旧させるには、ハブの電源を入れ直します。または、USB記憶装置を楽器から外してから楽器の電源を入れ直します。</p>

メッセージ	内容
<p>DriveRemoved</p> <p>ドライブ リムーブ</p>	<p>「USB記憶装置が楽器から外されました」</p> <p>USB記憶装置が楽器から外されたときに表示されます。</p>
<p>DuplicateName</p> <p>デュプリケート ネーム</p>	<p>「曲名が重複しています」</p> <p>「RenameSong (リネームソング)」(43ページ)で、曲名を変更して保存しようとしたときに、すでに同じ名前の曲がある場合に表示されます。表示3秒後に元の画面に戻りますので、名前を付け直してください。</p>
<p>Execute?--></p> <p>エグゼキュート?</p>	<p>「実行しますか?」</p> <p>各種ファイル操作で、実行を促すメッセージです。実行する場合はB [+ (YES)]ボタンを、中止する場合は[EXIT](エグジット)ボタンを押してください。</p>
<p>Executing</p> <p>エグゼキューティング</p>	<p>「実行中です」</p> <p>クラビノーバの内部で処理を実行している間、表示されます。この間は次の操作に移ることはできません。しばらくお待ちください。</p>
<p>FactorySet Completed Restart</p> <p>ファクトリーセット コンプリート リスタート</p>	<p>「ファクトリーセットが終わりました。再起動します」</p> <p>ファクトリーセット(楽器を基本設定に戻す)が終わったあとに表示されます。この表示が出たあとで楽器が再起動されます。</p>
<p>FactorySet Executing MemorySongExcluded</p> <p>ファクトリーセット エグゼキューティング メモリーソング エクスルーデッド</p>	<p>「基本設定に戻しました(メモリーソング以外)」</p> <p>「FactorySet (ファクトリーセット)」(82ページ)の実行(メモリーソング以外)が完了したというメッセージです。「C7の鍵盤を押したまま電源をオンにする」操作(82ページ)でも表示されます。</p>
<p>FactorySet Executing MemorySongIncluded</p> <p>ファクトリーセット エグゼキューティング メモリーソング インクルーデッド</p>	<p>「基本設定に戻しました(メモリーソング含む)」</p> <p>「FactorySet」(82ページ)の実行(メモリーソング含む)が完了したというメッセージです。</p>
<p>FullBackup Completed Restart</p> <p>フルバックアップ コンプリート リスタート</p>	<p>「バックアップデータの読み込みが終わりました」</p> <p>バックアップデータの読み込みが終わったときに表示されます。この表示が出たあとで楽器が再起動されます。</p>
<p>HostError</p> <p>ホストエラー</p>	<p>「USB [TO HOST]端子に関する不具合です」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CLP-280/270をコンピューターと接続してお使いの場合 コンピューターの電源が切れているか、ケーブルが正しく接続されていない、またはコンピューター側のドライバーやMIDIアプリケーションが正しく機能していません。この場合は、いったんCLP-280/270とコンピューターの電源を切り、ケーブルの接続を確認してください。その後、コンピューター→CLP-280/270の順番で電源を入れ直し、コンピューター側のドライバーやMIDIアプリケーションが正しく機能しているか確認してください。 ● CLP-280/270を単独でお使いの場合 CLP-280/270のUSB [TO HOST]端子にUSBケーブルが接続されたままになっていると、このメッセージが表示されることがあります。この場合は、CLP-280/270の電源を切った上でUSBケーブルを抜き、再度電源を入れてください。USBケーブルを接続したままだと、CLP-280/270が正常に動作しないことがあります。
<p>LastPowerOffIllegal MemoryChecking</p> <p>ラストパワー オフ イリーガル メモリーチェック</p>	<p>「前回不正に電源がオフされました。楽器の内部をチェックしています」</p> <p>曲を保存用メモリーに保存している途中や、楽器設定を保存している途中に電源を切り、もう一度電源を入れたときに表示されます。この表示が出ている間は楽器のメモリーがチェックされています。チェックの結果、楽器設定が破損している場合は、工場出荷時の設定に戻ります。保存用メモリーの曲が破損している場合は、削除されます。</p>
<p>MakeDir ---!Select USB Drive</p> <p>メイクディレクトリ セレクト USBドライブ</p>	<p>「USB記憶装置が見付かりません」</p> <p>フォルダー作成の対象となるUSB記憶装置が見付からないときに表示されます。USB記憶装置の接続と、[SELECT]スイッチが適切に切り替えられているかを確認してから、操作し直してください。</p>
<p>MemoryFull</p> <p>メモリー フル</p>	<p>「メモリーがいっぱいです」</p> <p>保存用メモリーやメディアの残り容量が少ないため、曲が保存できないときに表示されます。この場合、別のメディアに保存する(42ページ)か、すでにある保存用メモリーの曲を削除(43ページ)してから、改めて保存用メモリーに保存してください。</p>
<p>NoDrive</p> <p>ノードライブ</p>	<p>「ドライブが接続されていません」</p> <p>ドライブが必要な操作のときに、楽器本体にドライブが接続されていないと表示されます。ドライブを接続してから操作を続けてください。</p>

メッセージ	内容
<p>NoFile</p> <p>ノーファイル</p>	<p>「ファイルがありません」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽器に曲名が表示されていても読み込むファイルがない場合に表示されます。メディアを挿入し直してください。 ・ファイル名に2バイトの文字を使っていると、ファイルが認識されないことがあります。このような場合は「CharCode」を「Japanese」に切り替えてみてください(47ページ)。
<p>NoSongToCopy</p> <p>ノーソング トゥー コピー</p>	<p>「コピーする曲がありません」</p> <p>コピー対象となる曲(メモリーソングやUSBソング)がない場合に表示されます。[SONG SELECT] (ソングセレクト)ボタンで、メモリーソングかUSBソングを選んでください。</p>
<p>NoSongToMove</p> <p>ノーソング トゥー ムーブ</p>	<p>「移動する曲がありません」</p> <p>移動対象となる曲(メモリーソングやUSBソング)がない場合に表示されます。[SONG SELECT]ボタンで、メモリーソングかUSBソングを選んでください。</p>
<p>NoSongToRename</p> <p>ノーソング トゥー リネーム</p>	<p>「リネームする曲がありません」</p> <p>リネーム対象となる曲(メモリーソングやUSBソング)がない場合に表示されます。[SONG SELECT]ボタンで、メモリーソングかUSBソングを選んでください。</p>
<p>Overwrite?--></p> <p>オーバーライト?</p>	<p>「上書きしますか?」</p> <p>既存のデータに上書きするかどうか確認を求めるメッセージです。上書きする場合はB [+ (YES)]ボタンを、中止する場合はB [- (NO)]ボタンを押してください。</p>
<p>PC<->CLP InCommunication</p> <p>ピーシー シーエルピー イン コミュニケーション</p>	<p>「ミュージックソフトダウンローダーを使用しています」</p> <p>楽器にコンピューターを接続し、付属のアプリケーションソフトウェア「ミュージックソフトダウンローダー」を使用しているときに表示されます。このメッセージが表示されているときは、楽器の操作ができません。</p>
<p>PleaseWait</p> <p>プリーズウェイト</p>	<p>「お待ちください」</p> <p>曲を選んですぐ、読み込み中に曲をスタートさせようとしたり、他の操作をしようとしたときに表示されます。このメッセージが消えるまでお待ちください。</p>
<p>ProtectedDrive</p> <p>プロテクトド ドライブ</p>	<p>「書き込みできないドライブです」</p> <p>書き込み不可になっているドライブやメディアで、保存やコピー、削除しようとする则表示されます。USB記憶装置やメディアを書き込み可の状態にして操作し直してください。さらにこのメッセージが出る場合は、内部的に保護されているメディア(市販のミュージックデータの一部など)ですので書き込みやコピーはできません。</p>
<p>ProtectedDriveError</p> <p>プロテクトド ドライブエラー</p>	<p>「プロテクトがかかった曲が再生できません」</p> <p>プロテクトがかかった曲とその曲を扱うドライブとの相性が悪い場合に表示されます。動作確認済みのドライブ(53ページ)をご使用ください。</p>
<p>ProtectedFile</p> <p>プロテクトド ファイル</p>	<p>「保護されているファイルです」</p> <p>内部的に保護されているファイル(市販のミュージックデータの一部など)に対して、書き込みやコピー /削除などをしようとした場合に表示されます。そのファイルに対しては、書き込みやコピー /削除などはできません。</p>
<p>ProtectedFileFormatError</p> <p>プロテクトド ファイルフォーマット エラー</p>	<p>「プロテクトがかかった曲が壊れています」</p> <p>プロテクトがかかった曲が内部的に壊れていて、再生できないときに表示されます。</p>
<p>ProtectedSong</p> <p>プロテクトド ソング</p>	<p>「保護されている曲です」</p> <p>内部的に保護されている曲(市販のミュージックデータの一部など)をクラビノーバのカレントメモリーや保存用メモリーに読み込んだあと、さらにそれを別のディスクに保存しようとした場合に表示されます。このような曲は別のディスクに保存し直すことはできません。</p>
<p>ProtectedSong:UseMove</p> <p>プロテクトド ソング ユーズムーブ</p>	<p>「プロテクトがかかった曲をコピーしようとしています」</p> <p>プロテクトがかかった曲をコピーしようとしたときに表示されます。プロテクトがかかった曲はコピーできません。移動することはできます(45ページ)。</p>
<p>SecuritySongsIsProtected CannotSave</p> <p>セキュリティ ソング イズプロテクトド キャンノット セーブ</p>	<p>「プロテクトがかっている曲なので保存できません」</p> <p>この曲は、プロテクトがかかっている(セキュリティソング)ため、保存できません。</p>
<p>Set?--></p> <p>セット?</p>	<p>「記憶させますか?」</p> <p>各種セッティング操作で、設定を記憶させるかどうかを確認するメッセージです。実行する場合はB [+ (YES)]ボタンを、中止する場合は[EXIT] (エグジット)ボタンを押してください。</p>

メッセージ	内容
<p>SongChanged Clear?</p> <p>ソングチェンジド クリアー?</p>	<p>「曲を消去しますか？」</p> <p>プロテクトがかかった曲で録音/編集したあと、別の曲を選んだときに表示されます。プロテクトがかかった曲を録音/編集したものは保存できませんので、別の曲を選んだ時点で消去されます。</p>
<p>SongChanged Save?</p> <p>ソングチェンジド セーブ?</p>	<p>「曲が書き替えられています。保存しますか？」</p> <p>曲を録音したあと、保存する前にほかの操作をしようとした場合、その操作をするとその曲が消えてしまうときに表示されます。消していいときはB [- (NO)]ボタンを押します。保存しておきたいときは、B [+ (YES)]ボタンを押すと「Save (セーブ)」(42ページ)の画面に移りますので、曲を保存してから操作し直してください。</p>
<p>SongError</p> <p>ソングエラー</p>	<p>「曲データの不具合が発見されました」</p> <p>曲を選んだときや曲の再生中に、曲データの不具合が発見された場合に表示されます。この場合、もう一度曲を選び直し、再生してみてください。それでもこのメッセージが出る場合は、曲データが壊れている可能性があります。</p>
<p>SongTooBig</p> <p>ソングトゥー ビッグ</p>	<p>「曲データが大きすぎます」</p> <ol style="list-style-type: none"> 録音中にカレントメモリーの容量がいっぱいになってしまった場合に表示されます。そこで自動的に録音がストップします。それまで録音したデータは残ります。追加録音しようとして録音モードに入ろうとしたときに、その曲の容量がすでにカレントメモリーの容量いっぱいになっている場合にも表示されます。その場合は追加録音はできません。既に録音した不要なパートがある場合は「ChannelClear (チャンネルクリア)」(64ページ)で不要なパートを削除すると、その容量分さらに録音できるようになります。 曲を選んだときに、その曲がカレントメモリーの容量(87ページ)より大きい読み込めない場合に表示されます。その曲はCLP-280/270では読み込めず、再生できません。ほかの曲を選んでください。
<p>Start?--></p> <p>スタート?</p>	<p>「スタートしますか？」</p> <p>各種セッティング操作で、スタートを促すメッセージです。スタートする場合はB [+ (YES)]ボタンを、中止する場合は[EXIT]ボタンを押してください。</p>
<p>Sure?--></p> <p>シュア?</p>	<p>「いいですか？」</p> <p>処理実行の確認を求めるメッセージです。実行していい場合はB [+ (YES)]ボタンを、中止する場合はB [- (NO)]ボタンを押してください。</p>
<p>SystemLimit</p> <p>システム リミット</p>	<p>「ファイル数が制限を超えています」</p> <p>保存用メモリーやメディアに保存できるファイルの数には制限があります。(1つのフォルダーに、ファイルとフォルダー合わせて250までです。)その数を超えてファイルを保存しようとした場合に表示されます。不要なファイルを削除/移動してから操作し直してください。</p>
<p>UnformattedDrive</p> <p>アンフォーマットド ドライブ</p>	<p>「フォーマットされていないドライブです」</p> <p>フォーマットされていないドライブ/メディアでファイル操作をしようとした場合に表示されます。いったんメディアを取り出し、フォーマット(46ページ)してから操作し直してください。</p>
<p>UnformattedDrive Format?</p> <p>アンフォーマットド ドライブ フォーマット?</p>	<p>「フォーマットされていないドライブです。フォーマットしますか？」</p> <p>フォーマットされていないドライブ/メディアでファイル操作をしようとした場合に表示されます。操作を中止する場合は、B [- (NO)]ボタンを押します。フォーマットして操作し直す場合は、B [+ (YES)]ボタンを押すとフォーマットの画面に移ります。フォーマットしてから操作し直してください。</p>
<p>UnsupportedDrive</p> <p>アンサポートド ドライブ</p>	<p>「このドライブはサポートされていません」</p> <p>動作確認されていないドライブが接続されています。動作確認済みのドライブ(53ページ)をご使用ください。</p>
<p>WrongDrive</p> <p>ロング ドライブ</p>	<p>「プロテクトファイルを扱えないドライブです」</p> <p>コピー先のドライブでは、プロテクトファイルを扱うことができません。動作確認済みのドライブ(53ページ)をご使用ください。</p> <p>「USB記憶装置が破損しているのでファイル操作ができません」</p> <p>USB記憶装置が破損していてUSB記憶装置に対するファイル操作ができないときに表示されます。</p>
<p>WrongName</p> <p>ロング ネーム</p>	<p>「曲名が不適切です」</p> <p>「Rename (リネーム)」(43ページ)、「Save (セーブ)」(42ページ)で、曲名の先頭にピリオドやスペースが使われた場合や、CLP-280/270が対応していない文字が使われている既存の曲の曲名を変更したとき、内部的に処理ができず結果的に不適になってしまう場合に表示されます。表示3秒後に元の画面に戻りますので、名前を付け直してください。</p>
<p>WrongSelection</p> <p>ロング セレクション</p>	<p>「コピー先が正しくありません」</p> <p>ファイルのコピー先として、コピー元と同じフォルダーを選んだときに表示されます。この楽器では、ファイルのコピー先としてコピー元と同じフォルダーを選ぶことができません。コピー元と違うフォルダーを選んでください。</p>

操作や機能についての疑問がわいたら

ボタンを押しても動作しない

他の機能の動作中にはできない操作がいくつかあります。曲の再生中の場合は曲の再生を止めて、その他の場合は^{エグジット}[EXIT]ボタンで基本画面に戻ってから操作してください。

ソステヌートペダルを使うと音が鳴り続ける

^{チャーチオルガン}「CHURCH ORGAN」、^{ジャズオルガン}「JAZZ ORGAN」、^{ストリングス}「STRINGS」、^{クワイア}「CHOIR」グループの音色および「XG」グループの一部の音色では、ソステヌートペダルを使うと、音が減衰せず踏んでいる間鳴り続ける効果になります。

トランスポーズやオクターブを設定したときに、高い方や低い方の音がおかしい

トランスポーズやオクターブを設定した場合、発音する音域はC-2～G8(クラビノーバの88鍵はA-1～C7)です。C-2より低くなる場合は1オクターブ上の音で、G8より高くなる場合は1オクターブ下の音で鳴ります。

曲の録音/再生時の、録音/選曲画面への戻り方は

^{ソングセレクト}[SONG SELECT]ボタンを1回押してください。

テンポを変更して録音したのにテンポが変わらない

テンポ変更をしたタイミングによって、変更したテンポが録音(記録)されずに元のテンポで再生されることがあります。録音するパートが選ばれていて、パートの赤いランプが点滅している状態のときにテンポを変更してください。録音後にテンポデータだけを変更する場合も同じです。

デュアル/スプリットで録音したはずの音が録音されていない

思わぬパートのデータが消えてしまった

デュアル/スプリット音色を使った録音では、デュアルの第2音色/スプリットの左側の音色の録音パートは自動的に決められます(38ページ)。したがって、それらのパートに既存のデータがあった場合は、上書きされて消えてしまいます。また、曲の途中でのデュアル/スプリットへの切り替えは録音されませんので、第2音色/スプリットポイント以下の鍵域で弾いた音は録音されません。

録音(記録)されるデータの種類の

パートごとに録音されるデータ

- ノートデータ(弾いた音)
- 音色選択
- ペダル/外部ペダルのON/OFF
- [REVERB]のかけ具合リバーブ「リバーブセンドReverbSend」
- [CHORUS]のかけ具合コーラス「コーラスセンドChorusSend」
- DSPエフェクトのかけ具合ディーエスピーエフェクト「DSPDepthDSPDepth」
- 音の明るさブライツネス「BrightnessBrightness」
- レゾナンス効果の設定ハーモニックコンテンツ「Harmonic ContentHarmonic Content」
- イコライザーの低域周波数の設定イーキューローフリクンシー「EQ LowFreq.EQ LowFreq.」
- イコライザーの低域ゲイン値の設定イーキューローゲイン「EQ LowGainEQ LowGain」
- イコライザーの高域周波数の設定イーキューハイフリクンシー「EQ HighFreq.EQ HighFreq.」
- イコライザーの高域ゲイン値の設定イーキューハイゲイン「EQ HighGainEQ HighGain」
- 音色のオクターブ設定オクターブ「OctaveOctave」
- 音色ごとの音量の設定ボリューム「VolumeVolume」
- 音色ごとの左右の音の位置の設定パン「PanPan」
- 2つの音色の音の高さの微調整(デュアルのみ)デチューン「DetuneDetune」
- 音色ごとのタッチに対する音量変化度合の設定タッチセンス「TouchSenseTouchSense」

全パートで共通に録音されるデータ

- テンポ
- 拍子
- [REVERB]のタイプ
- [CHORUS]のタイプ
- DSPエフェクトのタイプ

*ノートデータとオクターブ設定、拍子以外は、録音後に変更することができます。

録音容量は

カレントメモリー (39ページ)...約300KB

保存用メモリー (39ページ)...約1,750KB

ペダル [AUX PEDAL]端子に接続したペダルの ON/OFF(強/弱)が逆になる

接続するペダルの種類によって、ON/OFF(強/弱)の動作が逆になる場合があります。

ファンクション
[FUNCTION]の外部ペダルのタイプ選択エーユーエックスペダルタイプ「AuxPedalType」(78ページ)で、設定を切り替えてください。

曲名表示がおかしい

名前を付けたときと違う「キャラクターコードCharacterCode」が設定されていたり、ほかの楽器で録音した曲の場合、正しく表示されない場合があります。

ファイル/ソングセッティング
[FILE/SONG SETTING]の「CharacterCode」(47ページ)で設定を切り替えてください。ただし、ほかの楽器で録音した曲の場合は、「CharacterCode」を切り替えても正しく表示されない場合があります。

タッチセンス「TouchSense」とタッチレスポンス「TouchResponse」 のMIDIデータの違いは

「TouchSense」はタッチに対する音量変化幅/音量の出やすさの音色ごとの設定です。MIDI出力されるノートオンのベロシティデータは一定で、ベロシティが同じときの音量が変わります。

「TouchResponse」は楽器としてのタッチ感度の選択です。同じ強さで鍵盤を弾いたとき、MIDI出力されるノートオンのベロシティデータが変わります。

曲の再生中に[FILE/SONG SETTING] ボタンを押しても、「PhraseMark」 しか選べない。

曲の再生中に操作できる[FILE/SONG SETTING]の設定はフレーズマークのみです。その他の設定は、曲の停止中に行なってください。

困ったときは

現象	考えられる原因	解決法
クラビノーバの電源が入らない。	電源プラグが差し込まれていません(本体側と家庭用コンセント側)。	電源プラグを本体と家庭用(AC100V)コンセントに、確実に差し込んでください(12ページ)。
[POWER](パワー)スイッチを押して電源を入れたとき、または切ったとき、「カチッ」と音がする。	電気が流れたためです。	異常ではありません。
クラビノーバから雑音が出る。	クラビノーバの近くで携帯電話を使っています(または呼び出し音が鳴っています)。	クラビノーバの近くでは、携帯電話の電源を切ってください。クラビノーバの近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
全体的に音が小さい。 まったく音が出ない。	[MASTER VOLUME](マスターボリューム)が下がっています。	[MASTER VOLUME]を上げてください。(13ページ)
	手弾き音の音量が下がっています。	[SONG BALANCE](ソングバランス)スライダーを"KEYBOARD"(キーボード)の方向へ動かしてください。
	ヘッドフォンを接続しています(ただし、スピーカーの設定がNormal(ノーマル)<HeadphoneSW>の場合)。(79ページ)	ヘッドフォンのプラグを抜いてください。
	スピーカーの設定がOffになっています。	「SPEAKER(スピーカー)」をNormalまたはOnにしてください(79ページ)。
	ローカルコントロールがOFFになっています。	ローカルコントロールをONにしてください。(80ページ)
	右ペダルまたはAUXペダルに「Expression(エクスペッション)」が設定されています。	ペダルの機能を「Expression」以外に設定してください。
鍵盤で弾く音が曲の再生音に比べて小さい。	手弾き音の音量が下がっています。	[SONG BALANCE](ソングバランス)スライダーを"KEYBOARD"(キーボード)の方向へ動かしてください。
ヘッドフォンを差してもスピーカーからの音が切れない。	スピーカーの設定がOnになっています。	「SPEAKER」をNormalにしてください。(79ページ)
iAFCをONにしているときハウリングが起こる。	iAFCが適切に自動調整されていません。	iAFCをOFFにして、自動調整(73ページ)を行なってください。
ダンパーペダルが効かない、またはダンパーペダルを踏んでいないのに音が長く響いてしまう。	ペダルコードのプラグが[PEDAL](ペダル)端子に差し込まれていません。	ペダルコードのプラグを[PEDAL]端子に確実に差し込んでください。(135ページからの「CLP-280/270の組み立て方」を参照してください。)
USB記憶装置が楽器に認識されない。	USB記憶装置を接続したタイミングや[SELECT](セレクト)スイッチを切り替えたタイミングにより、記憶装置が楽器に認識されないことがあります。	[SELECT]スイッチで使用するデバイスを選び、USB記憶装置を接続し直します。そのあと[SONG SELECT]ボタンを押してソング選択モードに入るか、[FILE/SONG SETTING]ボタンを押してファイル/ソングセッティングモードに入ります。すでにこれらのモードに入っていた場合は、[EXIT]ボタンを押していったんモードを抜けてから、もう一度入り直します。それでも記憶装置が認識されない場合は、動作確認されていない記憶装置である可能性があります。動作確認済みの記憶装置かどうか、サイトで確認してください(53ページ)。

現象	考えられる原因	解決法
USB記憶装置がフリーズする。	動作確認されていないUSB記憶装置です。	動作確認済みのUSB記憶装置をご使用ください(53ページ)。
	USB記憶装置の動作が不安定になっています。	USB記憶装置をいったん外してから接続し直してください。
特定の音域でピアノ音色の音の高さ、音質がおかしい。	ピアノ音色では、ピアノ本来の音をできる限り忠実に再現しようとしております。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音の高さや音域が異質に感じる場合があります。	異常ではありません。
鍵盤を弾くと、機構音がカタカタ鳴る。	クラビノーバの鍵盤機構は、ピアノの鍵盤機構をシミュレートして設計されています。ピアノの場合でも機構音は実際に出ているものです。	異常ではありません。

データの互換性について

ここでは、CLP-280/270で録音したデータを、他のMIDI機器で再生できるかどうか、あるいはその逆の、市販のいろいろな種類のミュージックデータや、電子楽器などで録音した曲データ、コンピューターなどで作成した曲データをCLP-280/270で再生できるか、といった各種演奏データの互換性について考える上での、一般的な基礎知識の一端をご紹介します。実際は、再生できる場合でも、そのまま再生できる場合、再生するためにいくつかの特殊な作業が必要となる場合など、再生するMIDI機器やデータの特性により異なってきますので、事例ごとに、下記を参考にしてお考えください。

基本的な確認事項

下記項目について、演奏データと、再生するMIDI機器が対応しているタイプが一致していないと再生できません。

- シーケンスフォーマット
- 音色配列フォーマット
- ディスクのフォーマット(別売のフロッピーディスクドライブを取り付けてフロッピーディスクを使う場合)

シーケンスフォーマット

演奏データを記録する書式のことをシーケンスフォーマットと言います。

再生したい演奏データのシーケンスフォーマットと、再生したいMIDI機器が対応しているシーケンスフォーマットが一致していないと、再生できません。

主なシーケンスフォーマットを紹介します。

■ SMF (スタンダードMIDIファイル)

代表的なシーケンスフォーマットの1つです。

一般的なSMFには「フォーマット0」と「フォーマット1」があります。

多くのMIDI機器が「SMFフォーマット0」に対応しています。また、市販のミュージックデータの多くが、「SMFフォーマット0」で作られています。

CLP-280/270は、「SMFフォーマット0と1」に対応しています。

CLP-280/270で録音した演奏データを保存すると「SMFフォーマット0」になります。

■ ESEQ (イーシーク)

ヤマハの多くの機器やミュージックデータで採用されている代表的なシーケンスフォーマットの1つです。

CLP-280/270は「ESEQ」に対応しています。

音色配列フォーマット

MIDIでは音色を番号で指定します(プログラムチェンジナンバーと言います)。その番号の付け方(音色を並べる順番)の規格を「音色配列フォーマット」と言います。

再生したい演奏データの音色配列フォーマットと、再生したいMIDI機器が対応している音色配列フォーマットが一致していないと、音色が正しく再生されません。

CLP-280/270は以下のフォーマットに対応しています。

■ GMシステムレベル1

代表的な音色配列フォーマットの1つです。

多くのMIDI機器が「GMシステムレベル1」に対応しています。また、市販のミュージックデータの多くが「GMシステムレベル1」で作られています。

■ GMシステムレベル2

「GMシステムレベル1」をさらに表現力を高める機能にまで拡張したフォーマットです。

■ XG

「GMシステムレベル1」をさらに拡張し、豊かな表現力とデータの継続性を可能にしたヤマハの音源フォーマットの音色配列です。

CLP-280/270のXG音色グループ内の音色で録音した演奏データの音色配列は「XG」になります。

■ DOC (Disk Orchestra Collection=ディスクオーケストラコレクション)

クラビノーバをはじめとするヤマハの多くのMIDI機器で対応している音色配列です。

ヤマハ別売ミュージックデータのDOCファイルなどで使われています。

■ GS

GSフォーマットは、ローランド株式会社の音源フォーマットです。

ヤマハのXGフォーマットと同様、GM (General MIDI、MIDIの応用配列で音色配列に関する共通仕様)の仕様に加え、音色セットやドラムセットの拡張、音色の修正、エフェクトなどの拡張機能を規定しています。

これらの条件を満たしていても、機器の仕様や、演奏データの特殊な作り方により、完全な互換性が実現できない場合もあります。

50ページの「再生できる曲データの種類」もご覧ください。次項でCLP-280/270で再生できる「別売ミュージックデータのご紹介」を掲載しています。

ディスクのフォーマット

フロッピーディスクのデータの収納方式にはいくつかの種類があるため、その機器で対応している収納方式を、フロッピーディスクに最初に指定する必要があります。このことを「フォーマットする」と言います。(たとえば、白い紙に縦書き線を入れるか横書きの線を入れるかというようなことです。)

フロッピーディスクにはMF2DD (両面倍密度タイプ)とMF2HD (両面高密度タイプ)というタイプがあり、それぞれのタイプによってもフォーマット形式が異なってきます。

再生したいディスクのフォーマットと、再生したいMIDI機器が対応しているディスクのフォーマットが一致していないと、再生できません。

別売ミュージックデータのご紹介

ミュージックデータのご使用にあたって

ミュージックデータをご使用の際は、弊社指定のUSB記憶装置をご用意ください。最新の動作確認済みのUSB記憶装置については、下記のサイトをご覧ください。

<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>

Mumaソフト



Muma (ミューマ)とは、ミュージックデータの自動販売システムです。およそ6,000タイトル、55,000曲(2004年10月現在)を超えるリストからお好きなミュージックデータを選び、その場でフロッピーディスク、スマートメディア、USBフラッシュメモリーに収録できます。ミュージックデータは全国のMuma設置店にてご購入いただけます。

Muma®

Muma設置店はヤマハミュージックメディアホームページにてご確認ください。

<http://www.yymm.co.jp/muma/index.html>

「月刊Piano」掲載楽譜対応データ

最新のヒット曲がすぐに弾ける「月刊Piano」の「マンズリーベスト5」、「八調で弾こう！カンタンアレンジ」、「ひとりで？みんなで！楽しく連弾」をそれぞれ収録したデータです。

リスニング用として、また練習時の参考としてお聞きいただくのはもちろん、バックバンドに合わせて練習や演奏をお楽しみいただけます。

PSP、DOC、SMF/XGの3種類のデータタイプが用意されていますが、CLP-280/270でお使いになる場合は、SMF/XGのデータをお求めください。楽譜は、「月刊Piano」(毎月20日発売)掲載の「マンズリーベスト5」、「八調で弾こう！カンタンアレンジ」、「ひとりで？みんなで！楽しく連弾」がそれぞれ対応しています。



「ピアノソフト(PS)」

ピアノ演奏のリスニング&レッスンソフトです。内外の一流ピアニストの演奏や既存の楽譜に対応したミュージックデータが収録されています。クラシック、ジャズ、ポピュラーなどの多彩なジャンル、豊富な曲数の中からお選びいただくことができます。

「ピアノソフトプラス(PSP)」

バック伴奏付き「ピアノソフト(PS)」です。ピアノにバックバンド/バックオーケストラの演奏が付いたアンサンブルデータです。リスニングからレッスン用まで幅広いジャンルからラインアップされています。

「スタンダードMIDIファイル(SMF/XG)」

XG音源の豊富な音色、表現力を使って制作されたミュージックデータです。邦楽ポップスから洋楽ポップス、イメージリスニングなど幅広いジャンルからラインアップされています。

*PS、PSPのデータは小節管理されていません。クラブノーバで再生する場合、テンポ表示はされません。(再生速度の調節は可能です。)

上記でご紹介したミュージックデータは2004年10月現在のものです。

上記およびそのほかのミュージックデータについて詳しくは、ソフトカタログをご覧ください。

ヤマハのミュージックデータのほかにも、91ページの「データの互換性について」で説明したフォーマットに該当する、市販の多くのソフトがご利用いただけます。

基本設定一覧

機能	基本設定値	ページ
音色選択	Grand Piano 1 (グランドピアノ1)	24
スプリット機能	Off	28
スプリットポイント	F#2	76
リバーブON/OFF	ON	26
コーラスON/OFF	音色ごと	27
プリリアンス機能	Normal (ノーマル)	26
テンポ	120 (曲選択時は、曲による)	30
ソングバランス	電源を入れたときの設定	38

ファイル/ソングセッティング

[FILE/SONG SETTING]

表示		機能	基本設定値	ページ
SongAutoOpen	ソングオートオープン	メディアを挿入したとき曲を自動呼び出しする	On	46
CharacterCode	キャラクターコード	表示文字の種類を切り替える	Japanese	47
SongRepeat	ソングリピート	曲単位で繰り返し再生する	RepeatOff (リピートオフ)	62
PhraseMark	フレーズマーク	フレーズマークを使って再生する		62
Quantize Strength	クオンタイズ ストレンクス	音符のタイミングのずれを修正する クオンタイズをかける強さ	1/16 50%	63
QuickPlay	クイックプレイ	最初の発音からすぐにスタートさせるかどうかを決める	On	63
ChannelListen	チャンネルリッスン	各チャンネルの中身を聞いて確かめる	Ch1	64
ChannelClear	チャンネルクリア	1チャンネル単位でデータを消去する	Ch1	64
RecStart	レックスタート	録音開始方法を指定する	Normal	33
RecEnd	レックエンド	録音終了方法を指定する	Replace	33
RecExtraPartsCh	レックエキストラ パーツチャンネル	パート3~16に録音する	Ch5	35

メトロノーム セッティング

METRONOME [SETTING]

表示		機能	基本設定値	ページ
TimeSignature	タイムシグネチャー	メトロノームの拍子設定	4/4 (曲選択時は、曲による)	65
MetronomeVolume	メトロノームボリューム	メトロノームの音量設定	100	65
MetronomeSound	メトロノームサウンド	メトロノームの音色設定	BellOff (ベルオフ)	65

ボイスセッティング

[VOICE SETTING]

ボイスセッティングについては、すべての項目の基本設定値が音色によって違います。

アイエーエフシーセッティング
[iAFC SETTING]

表示		機能	基本設定値	ページ
iAFC	iAFCオン/オフ	iAFCオン/オフの設定	On	72
DynDmpFX Depth	ダイナミックダンパーエフェクトデプス	ダイナミックダンパーエフェクトのかかり具合の設定	98	72
SpatialFX Depth	スペーシャルエフェクトデプス	スペーシャルエフェクトのかかり具合の設定	14	72

ファンクション
[FUNCTION]

表示		機能	基本設定値	ページ
Transpose	トランスポーズ	キー (調) を変えるトランスポーズ量	Master (マスター) 0	74
TouchResponse	タッチレスポンス	タッチ感度の選択 Fixedのボリューム	Medium (ミディアム) 64	74
Tune	チューン	音の高さの微調整	A3=440.0Hz	75
PianoTuningCurve	ピアノチューニングカーブ	ピアノ音色の調律曲線の選択	Stretch (ストレッチ)	75
Scale	スケール	音律の選択 基音	Equal (イコール) C	75
SplitPoint	スプリットポイント	スプリットポイントを決める	F#2	76
RPedalFunc	ライトペダルファンクション	右ペダルの機能設定	音色ごと	76
CPedalFunc	センターペダルファンクション	まん中のペダルの機能設定	音色ごと	76
LPedalFunc	レフトペダルファンクション	左ペダルの機能設定	音色ごと	76
AuxPedalFunc	AUXペダルファンクション	外部ペダルの機能設定	音色ごと	77
RPedalOnOff	ライトペダルオンオフ	右ペダルの機能オン/オフ設定	音色ごと	77
CPedalOnOff	センターペダルオンオフ	まん中のペダルの機能オン/オフ設定	音色ごと	77
LPedalOnOff	レフトペダルオンオフ	左ペダルの機能オン/オフ設定	音色ごと	77
AuxPedalOnOff	AUXペダルオンオフ	外部ペダルの機能オン/オフ設定	音色ごと	77
PedalPlay/Pause	ペダルプレイ/ポーズ	SONG [PLAY/PAUSE]機能のペダルへの割り当て	どのペダルもOff	78
AuxPedalType	AUXペダルタイプ	外部ペダルのタイプ選択	Make (メイク)	78
HalfPedalPoint	ハーフペダルポイント	ダンパーペダルが効き始めるポイントの設定	0	78
SoftPedalDepth	ソフトペダルデプス	ソフトペダルのかかり具合の設定	5	78
StringResonanceDepth	ストリングレゾナンスデプス	弦共鳴音(ストリングレゾナンス)のかかり具合の設定	5	78
SustainSamplingDepth	サステインサンプリングデプス	ダンパーペダル使用時の共鳴効果(サステインサンプリング)のかかり具合の設定	5	78
KeyOffSamplingDepth	キーオフサンプリングデプス	キーオフ音の音量設定	5	79
PitchBendRange	ピッチベンドレンジ	ピッチベンド幅の設定	2	79
Speaker	スピーカー	スピーカーのオン/オフを切り替える設定	Normal (ノーマル) (HeadphoneSW <ヘッドフォンスイッチ>)	79
AuxOutLevel	AUXアウトレベル	AUX OUTからの出力音の調節	Fixed	79

表示		機能	基本設定値	ページ
MidiOutChannel	MIDIアウトチャンネル	MIDI送信チャンネルの設定	Main (メイン): Midi/Usb1 Ch1 Left (レフト): Midi/Usb1 Ch2 Layer (レイヤー): Midi/Usb1 Ch3 LeftLayer (レフトレイヤー): Midi/Usb1 Ch4	80
MidiInChannel	MIDIインチャンネル	MIDI受信チャンネルの設定	Midi/Usb1 Ch1~16: Song (ソング) Usb2 Ch1: Keyboard (キーボード) Usb2 Ch2: Main Usb2 Ch3: Left Usb2 Ch4: Layer Usb2 Ch5: LeftLayer 他: Off	80
LocalControl	ローカルコントロール	ローカルコントロールオン/オフの設定	On	80
MidiOutSelect	MIDIアウトセレクト	手弾き音か曲再生音のどちらをMIDI送信するかの設定	Keyboard	80
ReceiveParameter	レシーブパラメーター	MIDI受信するデータの種類の設定	すべてのデータがOn	81
TransmitParameter	トランスミットパラメーター	MIDI送信するデータの種類の設定	すべてのデータがOn	81
MemoryBackup	メモリーバックアップ	電源オフ時に保存する項目の設定	Transpose (トランスポーズ)、Main/LeftVoice (メイン/レフトボイス)、MetronomeSetting (メトロノームセッティング)、Function (Transpose、SplitPoint、MidiSettingは除く): Off、他: On	81
FactorySet	ファクトリーセット	基本設定に戻す	MemorySongExcluded (メモリーソングエクスルーデッド)	82

パネル音色のご紹介

音色グループ	音色名	ステレオ サンプリング	タッチ センス	ダイナミック サンプリング	キーオフ サンプリング	ストリング レゾナンス	音色紹介
GRANDPIANO1 (グランドピアノ1)	Grand Piano 1 (グランドピアノ1)	○	○	○	○	○	フルコンサートグランドピアノからサンプリングしました。4段階のダイナミックサンプリング、ダンパーペダル使用時の音色変化、鍵盤を離れた時の微妙な発音まで、アコースティックピアノに極限まで近づけたぜいたくな音作りです。また、生ピアノ独特の、弦どうしの共鳴(ストリングレゾナンス)も再現しました。クラシックはもちろん、どんなジャンルのピアノ曲にも合います。
	Mellow Piano (メローピアノ)	○	○	○	○	○	暖かみのあるメローなピアノの音です。クラシック音楽に最適です。
	Rock Piano (ロックピアノ)	○	○	○	○	○	明るい響きを持ったブライトピアノの音です。ロック系の音楽に最適です。
	HonkyTonk Piano (ホンキートンクピアノ)	○	○	○	○	×	ホンキートンク風のピアノの音です。グランドピアノと異なったキャラクターをお楽しみください。
GRANDPIANO2 (グランドピアノ2)	Grand Piano 2 (グランドピアノ2)	○	○	×	×	×	明るい響きを持った広がりのあるクリアなピアノの音です。ポピュラー音楽に最適です。
	Bright Piano (ブライトピアノ)	○	○	×	×	×	広がりのある明るいピアノの音です。ポピュラー、ロックなどの音楽に最適です。
E.PIANO1 (エレクトリック ピアノ1)	E.Piano 1 (エレクトリック ピアノ1)	×	○	○	×	×	FMシンセサイザーによる電子ピアノの音です。タッチの強弱に応じて音色の変化も楽しめます。ポピュラー音楽に最適です。
	Synth Piano (シンセピアノ)	×	○	×	×	×	ポピュラー音楽でよく耳にするシンセサイザーによる電子ピアノの音です。ピアノとのデュアルでも楽しめます。
E.PIANO2 (エレクトリック ピアノ2)	E.Piano 2 (エレクトリック ピアノ2)	×	○	○	○	×	金属片をハンマーでたたいて発音させる電気ピアノの音です。弱く弾いたときは柔らかく、強く弾くと芯のある音がします。
	Vintage E.Piano (ビンテージ エレクトリックピアノ)	×	○	○	×	×	異なるタイプの電気ピアノの音です。ロック、ポピュラー音楽によく使われています。
HARPSICHORD (ハープシコード)	Harpsichord 8' (ハープシコード8')	○	×	×	○	×	バロック音楽でよく使われる楽器の音です。タッチによって音量は変わらず、鍵盤を離れたときには独特の発音があります。
	Harpsichord 8'+4' (ハープシコード 8'+4')	○	×	×	○	×	オクターブ上の音がミックスされたハープシコードの音です。より華やかさが感じられます。
E.CLAVICHORD (エレクトリック クラビコード)	E.Clavichord (エレクトリック クラビコード)	×	○	×	○	×	電磁ピックアップの付いた鍵盤式打弦楽器です。ファンキーなサウンドはブラックコンテンポラリー音楽などでおなじみです。その構造から、鍵盤を離れたときには独特の発音があります。
	Wah Clavi. (ワウクラビ)	×	○	×	○	×	個性的なエフェクトをプリセットしています。
VIBRAPHONE (ビブラフォン)	Vibraphone (ビブラフォン)	○	○	○	×	×	比較的柔らかなマレットでたたいたビブラフォンの音です。強く弾くほど金属的な音になります。
	Marimba (マリンバ)	○	○	×	×	×	ステレオサンプリングによる広がり感と臨場感あるマリンバの音です。
	Celesta (セレステ)	○	○	○	×	×	セレステ(鍵盤を弾くと、ハンマーが金属製の音板をたたいて音を出す打楽器)の音です。チャイコフスキーの組曲「くるみ割り人形」の「こんぺいとうの踊り」での印象的なフレーズが有名です。
GUITAR (ギター)	Nylon Guitar (ナイロンギター)	○	○	○	×	×	ステレオサンプリングによる臨場感ある音です。強く弾くとハーモニクス音が出てギターらしさを感じることができます。
	Steel Guitar (スチールギター)	×	○	×	×	×	明るく華やかな感じのするスチールギターの音です。ポピュラー音楽に最適です。

音色グループ	音色名	ステレオ サンプリング	タッチ センス	ダイナミック サンプリング	キーオフ サンプリング	ストリング レゾナンス	音色紹介
CHURCHORGAN (チャーチオルガン)	Pipe Organ Principal (パイプオルガン プリンシパル)	○	×	×	×	×	パイプオルガンのプリンシパル系(金管楽器系)の混合音栓の音(8フィート+4フィート+2フィート)です。バロック時代の教会音楽の演奏に適しています。
	Pipe Organ Tutti (パイプオルガン トゥッティ)	○	×	×	×	×	バッハの「トッカータとフーガ」で有名なパイプオルガンのフルカブラーの音です。
	Pipe Organ Flute 1 (パイプオルガン フルート1)	○	×	×	×	×	パイプオルガンのフルート系(木管楽器系)の混合音栓の音(8フィート+4フィート)です。讃美歌の伴奏などに適した柔らかい音です。
	Pipe Organ Flute 2 (パイプオルガン フルート2)	○	×	×	×	×	パイプオルガンのフルート系(木管楽器系)混合音栓の音(8フィート+4フィート+1(1/3)フィート)です。Pipe Organ Flute 1 (パイプオルガンフルート1)よりやや華やかな音色で、ソロ向きです。
JAZZORGAN (ジャズオルガン)	Jazz Organ (ジャズオルガン)	×	×	×	×	×	歯車回転式電気オルガンの音です。ジャズ、ロックなどの音楽でよく用いられます。
	Rotary Organ (ロータリーオルガン)	×	×	×	×	×	明るく華やかな感じのする電気オルガンの音です。
	Mellow Organ (メローオルガン)	×	×	×	×	×	メローな感じの電気オルガンの音です。落ち着いた曲に最適です。
STRINGS (ストリングス)	Strings (ストリングス)	○	○	×	×	×	ステレオサンプリングでリアルな響きがする大編成弦楽アンサンブルの音です。ピアノとのデュアルでも楽しめます。
	Synth Strings (シンセストリングス)	×	○	×	×	×	明るく広がりのあるストリングスの音です。アンサンブルのバックの通奏音に適しています。
	Slow Strings (スローストリングス)	○	○	×	×	×	立ち上がりの緩やかな弦楽アンサンブルの音です。GRANDPIANO (グランドピアノ) やE.PIANO (エレクトリックピアノ)とのデュアルに向いています。
CHOIR (クワイア)	Choir (クワイア)	×	○	×	×	×	空間に広がる心和む合唱の音です。スローな曲で和音の広がりが得られます。
	Slow Choir (スロークワイア)	×	○	×	×	×	立ち上がりの緩やかな合唱の音です。GRANDPIANOやE.PIANOとのデュアルに向いています。
	Scat (スカット)	×	○	○	×	×	ジャズのスカットが楽しめます。弾く強さ、音域でいろいろな音が飛び出します。
SYNTH.PAD (シンセパッド)	Synth Pad 1 (シンセパッド1)	×	○	×	×	×	暖かくメローで広がりのあるシンセ音です。アンサンブルのバックの通奏音に最適です。
	Synth Pad 2 (シンセパッド2)	×	○	×	×	×	空間的広がりのあるクリアなシンセ音です。アンサンブルのバックの通奏音に最適です。
WOOD BASS (ウッドベース)	Wood Bass (ウッドベース)	×	○	○	×	×	アップライトベースを指で弾く奏法の音です。ジャズやラテン音楽などによく用いられます。
	Bass & Cymbal (ベース&シンバル)	×	○	○	×	×	シンバルの音を重ねてあります。ジャズのウォーキングベースに用いると効果的です。
E.BASS (エレクトリック ベース)	Electric Bass (エレクトリック ベース)	×	○	×	×	×	エレクトリックベースの音です。ジャズ、ロック、ポピュラーなどの音楽によく用いられます。
	Fretless Bass (フレットレスベース)	×	○	×	×	×	フレッドレスベースの音です。ジャズ、フュージョンなどの音楽に向いています。

付録

2つの音色の組み合わせ例 (デュアルとスプリット)

デュアル

MAIN + MAIN (メイン+メイン)	Grand Piano 1 + E.Piano 1 (グランドピアノ1+エレクトリックピアノ1)	ポピュラー音楽でよく使われる組み合わせです。
	Grand Piano 1 + E.Piano 2 (グランドピアノ1+エレクトリックピアノ2)	
	Grand Piano 1 + Synth Piano (グランドピアノ1+シンセピアノ)	ファンタジックな広がりのあるピアノの音です。
	Grand Piano 2 + Grand Piano 2 (グランドピアノ2+グランドピアノ2)	自動的にオクターブ離れた音域で重ねて弾いているようになります。サルサ独特の伴奏などに合います。
	E.Piano 1 + Slow Choir (エレクトリックピアノ1+スロークワイア)	ロマンチックなバラードなどに向いています。
	E.Piano 2 + E.Clavichord (エレクトリックピアノ2+エレクトリッククラビコード)	ファンクやリズム&ブルース、ソウルミュージックに合います。
	Harpsichord 8' + Strings (ハーブシコード8'+ストリングス)	バロック音楽にピッタリの組み合わせです。
	Celesta + Synth Strings (セレステ+シンセストリングス)	ストリングスにベルの音が加わったようなイメージです。音が左右に揺れるディレイ効果が自動的にかかります。

スプリット

MAIN/LEFT (メイン/レフト)	Grand Piano 1 (グランドピアノ1)/Wood Bass (ウッドベース)またはBass & Cymbal (ベース&シンバル)	軽快なジャズを弾くのにお勧めです。ダンパーペダルは右鍵域の音色だけに効きます。
	Celesta/Choir (セレステ/クワイア)	ほのぼのとしたイメージの、かわいらしい曲によく合います。
	Choir/Grand Piano 1 (クワイア/グランドピアノ1)	ピアノアルペジオにのせてゆったり弾いてみてください。Choir (クワイア)は和音で弾くとより雰囲気が出ます。
	Scat/Wood Bass (スカット/ウッドベース)	おしゃれなジャズコーラスのイメージです。Scat (スカット)はタッチの強弱でいろいろな表情を見せる音色です。
	EPiano 2/Scat (エレクトリックピアノ2/スカット)	スカットでベースのように弾いてもおもしろいです。

デュアル+スプリット

MAIN + MAIN / LEFT (メイン+メイン/レフト)	Grand Piano 1 + Synth Strings/Grand Piano 1 (グランドピアノ1+シンセストリングス/グランドピアノ1)	ピアノにストリングスが重なり厚みのあるサウンドになります。
MAIN + MAIN / LEFT (メイン+メイン/レフト)	Grand Piano 2 + E.Piano 1/Electric Bass (グランドピアノ2+エレクトリックピアノ1/エレクトリックベース)	フュージョン向きのサウンドです。リバーブやコーラスを深めにかける(26ページ)と気分が出ます。ダンパーペダルは右鍵域の音色だけに効きます。
MAIN + MAIN / LEFT + LEFT (メイン+メイン/レフト+レフト)	Harpsichord 8'+4' + Strings/Harpsichord 8' + Strings (ハーブシコード8'+4'+ストリングス/ハーブシコード8'+ストリングス)	とても華やかな演奏になります。

Instrument Group	Pgm#	Bank 0 Bank Select LSB=00	Bank 0	Release			Rezo Sweep			Muted			Detune 1		Detune 2		Detune 3		Octave 1		Octave 2		5th 1		5th 2		Bend		Tutti							
				Bank 25	Bank 27	Bank 28	E	Bank 32	E	Bank 33	E	Bank 34	E	Bank 35	E	Bank 36	E	Bank 37	E	Bank 38	E	Bank 39	E	Bank 40	E											
Piano	1	Acoustic Grand Piano	GrandPno	2																									PianoStr	2						
	2	Bright Acoustic Piano	BritePno	2																																
	3	Electric Grand Piano	ElGrand	2																																
	4	Honky-tonk Piano	HnkyTonk	2																																
	5	Electric Piano 1	E.Piano1	2																																
	6	Electric Piano 2	E.Piano2	2																																
	7	Harpichord	Harpsi.	1																																
Chromatic Percussion	8	Clavi	Clavi	2																																
	9	Celesta	Celesta	1																																
	10	Glockenspiel	Glocken	1																																
	11	Music Box	MusicBox	2																																
	12	Vibraphone	Vibes	1																																
	13	Marimba	Marimba	1																																
	14	Xylophone	Xylophon	1																																
	15	Tubular Bells	TubuBel	1																																
	16	Dulcimer	Dulcimer	1																																
	Organ	17	Drawbar Organ 1	DrawOrgn	1																															
18		Percussive Organ	PercOrgn	1																																
19		Rock Organ	RockOrgn	2																																
20		Church Organ 1	ChrchOrg	2																																
21		Reed Organ	ReedOrgn	1																																
22		Accordion	Acordion	2																																
23		Harmonica	Harmonica	1																																
24		Tango Accordion	Tango	1																																
25		Acoustic Guitar (nylon)	NylonGtr	1																																
Guitar		26	Acoustic Guitar (steel)	SteelGtr	1																															
	27	Electric Guitar (jazz)	Jazz Gtr	1																																
	28	Electric Guitar (clean)	CleanGtr	1																																
	29	Electric Guitar (muted)	Mute.Gtr	1																																
	30	Overdriven Guitar	Ovdrvr	1																																
	31	Distortion Guitar	Dist.Gtr	1																																
	32	Guitar Harmonics	GtrHarmo	1																																
	33	Acoustic Bass	Aco.Bass	1																																
	Bass	34	Electric Bass (finger)	FngrBass	1																															
		35	Electric Bass (pick)	PickBass	1																															
36		Fretless Bass	Fretless	1																																
37		Slap Bass 1	SlapBas1	1																																
38		Slap Bass 2	SlapBas2	1																																
39		Synth Bass 1	SynBass1	1																																
40		Synth Bass 2	SynBass2	2																																
Strings		41	Violin	Violin	1																															
		42	Viola	Viola	1																															
		43	Cello	Cello	1																															
	44	Contrabass	Contrabs	1																																
	45	Tremolo Strings	Trem.Str	1																																
	46	Pizzicato Strings	Pizz.Str	1																																
	47	Orchestral Harp	Harp	1																																
	48	Timpani	Timpani	1																																
Ensemble	49	String Ensemble 1	Strings1	1																																
	50	String Ensemble 2	Strings2	1																																
	51	Synth Strings 1	Syn.Str1	2																																
	52	Synth Strings 2	Syn.Str2	2																																
	53	Choir Aahs	ChoirAah	1																																
	54	Voice Oohs	VoiceOoh	1																																
	55	Synth Voice	SynVoice	1																																
	56	Orchestra Hit	Orch.Hit	2																																
Brass	57	Trumpet	Trumpet	1																																
	58	Trombone	Trombone	1																																
	59	Tuba	Tuba	1																																
	60	Muted Trumpet	Mute.Trp	1																																
	61	French Horn	Fr.Horn	2																																
	62	Brass Section 1	BrasSect	1																																
	63	Synth Brass 1	SynBrss1																																	

XGドラムキット一覧

・ Key off時に「O」がついている楽器は、鍵盤を離したときに発音が止まります。

・ Alternate Group欄の番号はグループを表し、同じグループ番号の中で、1つの楽器を発音させると同じグループの中の他の楽器の発音が止まります。

Standard Kit 1と同じ

音は鳴りません

Bank Select MSB (0-127)		127		127		127		127		127		127	
Bank Select LSB (0-127)		0		0		0		0		0		0	
Program Change (0-127)		0		1		8		16		24		25	
MIDI	Key Off	Alternate Group	Standard Kit1	Standard Kit2	Room Kit	Rock Kit	Electro Kit	Analog Kit	Dance Kit				
Note#	Note												
13	C#-1		3	Surdo Mute									
14	D-1		3	Surdo Open									
15	D#-1			Hi Q									
16	E-1			Whip Slap									
17	F-1		4	Scratch H									
18	F#-1		4	Scratch L									
19	G-1			Finger Snap									
20	G#-1			Click Noise									
21	A-1			Metronome Click									
22	A#-1			Metronome Bell									
23	B-1			Seq Click L									
24	C0			Seq Click H									
25	C#0			Brush Tap									
26	D0	O		Brush Swirl									
27	D#0			Brush Slap									
28	E0	O		Brush Tap Swirl				Reverse Cymbal	Reverse Cymbal	Reverse Cymbal			
29	F0	O		Snare Roll									
30	F#0			Castanet				Hi Q 2	Hi Q 2	Hi Q 2			
31	G0			Snare Soft	Snare Soft 2	Snare Noisy	Snare Snappy Electro	Snare Noisy 4	Snare Techno	Snare Techno			
32	G#0			Sticks									
33	A0			Kick Soft				Kick 3	Kick 3	Kick Techno Q			
34	A#0			Open Rim Shot	Open Rim Shot H Short					Rim Gate			
35	B0			Kick Tight				Kick 2	Kick Gate	Kick Analog Short	Kick Techno L		
36	C1			Kick	Kick Short			Kick Gate	Kick Gate Heavy	Kick Analog	Kick Techno		
37	C#1			Side Stick	Side Stick Light					Side Stick Analog	Side Stick Analog		
38	D1			Snare	Snare Short	Snare Snappy	Snare Rock	Snare Noisy 2	Snare Analog	Snare Analog	Snare Clap		
39	D#1			Hand Clap									
40	E1			Snare Tight	Snare Tight H	Snare Tight Snappy	Snare Rock Tight	Snare Noisy 3	Snare Analog 2	Snare Dry			
41	F1			Floor Tom L		Tom Room 1	Tom Rock 1	Tom Electro 1	Tom Analog 1	Tom Analog 1			
42	F#1	1		Hi-Hat Closed					Hi-Hat Closed Analog	Hi-Hat Closed 3			
43	G1			Floor Tom H		Tom Room 2	Tom Rock 2	Tom Electro 2	Tom Analog 2	Tom Analog 2			
44	G#1	1		Hi-Hat Pedal					Hi-Hat Closed Analog 2	Hi-Hat Closed Analog 3			
45	A1			Low Tom		Tom Room 3	Tom Rock 3	Tom Electro 3	Tom Analog 3	Tom Analog 3			
46	A#1	1		Hi-Hat Open					Hi-Hat Open Analog	Hi-Hat Open 3			
47	B1			Mid Tom L		Tom Room 4	Tom Rock 4	Tom Electro 4	Tom Analog 4	Tom Analog 4			
48	C2			Mid Tom H		Tom Room 5	Tom Rock 5	Tom Electro 5	Tom Analog 5	Tom Analog 5			
49	C#2			Crash Cymbal 1					Crash Analog	Crash Analog			
50	D2			High Tom		Tom Room 6	Tom Rock 6	Tom Electro 6	Tom Analog 6	Tom Analog 6			
51	D#2			Ride Cymbal 1									
52	E2			Chinese Cymbal									
53	F2			Ride Cymbal Cup									
54	F#2			Tambourine									
55	G2			Splash Cymbal									
56	G#2			Cowbell					Cowbell Analog	Cowbell Analog			
57	A2			Crash Cymbal 2									
58	A#2			VibraSlap									
59	B2			Ride Cymbal 2									
60	C3			Bongo H									
61	C#3			Bongo L									
62	D3			Conga H Mute					Conga Analog H	Conga Analog H			
63	D#3			Conga H Open					Conga Analog M	Conga Analog M			
64	E3			Conga L					Conga Analog L	Conga Analog L			
65	F3			Timbale H									
66	F#3			Timbale L									
67	G3			Agogo H									
68	G#3			Agogo L									
69	A3			Cabasa									
70	A#3			Maracas					Maracas 2	Maracas 2			
71	B3	O		Samba Whistle H									
72	C4	O		Samba Whistle L									
73	C#4			Guiro Short									
74	D4	O		Guiro Long									
75	D#4			Claves					Claves 2	Claves 2			
76	E4			Wood Block H									
77	F4			Wood Block L									
78	F#4			Cuica Mute				Scratch H 2	Scratch H 2	Scratch H 2			
79	G4			Cuica Open				Scratch L 2	Scratch L 2	Scratch L 2			
80	G#4	2		Triangle Mute									
81	A4	2		Triangle Open									
82	A#4			Shaker									
83	B4			Jingle Bells									
84	C5			Bell Tree									
85	C#5												
86	D5												
87	D#5												
88	E5												
89	F5												
90	F#5												
91	G5												

Bank Select MSB (0-127)			127	127	127	126	126
Bank Select LSB (0-127)			0	0	0	0	0
Program Change (0-127)			32	40	48	0	1
MIDI Note#	Key Off	Alternate Group	Jazz Kit	Brush Kit	Symphony Kit	SFX Kit1	SFX Kit2
13	C#-1	3					
14	D-1	3					
15	D#-1						
16	E-1						
17	F-1	4					
18	F#-1	4					
19	G-1						
20	G#-1						
21	A-1						
22	A#-1						
23	B-1						
24	C0						
25	C#0						
26	D0	O					
27	D#0						
28	E0	O					
29	F0	O					
30	F#0						
31	G0		Snare Jazz H	Brush Slap 2			
32	G#0						
33	A0				Kick Soft 2		
34	A#0			Open Rim Shot Light			
35	B0				Gran Cassa		
36	C1		Kick Jazz	Kick Jazz	Gran Cassa Mute	Cutting Noise	Phone Call
37	C#1		Side Stick Light	Side Stick Light		Cutting Noise 2	Door Squeak
38	D1		Snare Jazz L	Brush Slap 3	Band Snare		Door Slam
39	D#1					String Slap	Scratch Cut
40	E1		Snare Jazz M	Brush Tap 2	Band Snare 2		Scratch H 3
41	F1			Tom Brush 1			Wind Chime
42	F#1	1					Telephone Ring 2
43	G1			Tom Brush 2			
44	G#1	1					
45	A1			Tom Brush 3			
46	A#1	1					
47	B1			Tom Brush 4			
48	C2			Tom Brush 5			
49	C#2				Hand Cymbal		
50	D2			Tom Brush 6			
51	D#2				Hand Cymbal Short		
52	E2					Flute Key Click	Car Engine Ignition
53	F2						Car Tires Squeal
54	F#2						Car Passing
55	G2						Car Crash
56	G#2						Siren
57	A2				Hand Cymbal 2		Train
58	A#2						Jet Plane
59	B2				Hand Cymbal 2 Short		Starship
60	C3						Burst
61	C#3						Roller Coaster
62	D3						Submarine
63	D#3						
64	E3						
65	F3						
66	F#3						
67	G3						
68	G#3					Shower	Laugh
69	A3					Thunder	Scream
70	A#3					Wind	Punch
71	B3	O				Stream	Heart Beat
72	C4	O				Bubble	Foot Steps
73	C#4					Feed	
74	D4	O					
75	D#4						
76	E4						
77	F4						
78	F#4						
79	G4						
80	G#4	2					
81	A4	2					
82	A#4						
83	B4						
84	C5					Dog	Machine Gun
85	C#5					Horse	Laser Gun
86	D5					Bird Tweet 2	Explosion
87	D#5						Firework
88	E5						
89	F5						
90	F#5					Ghost	
91	G5					Maou	

XGエフェクトタイプ一覧

Reverb Block

[VOICE SETTING]で設定できる
リバーブタイプ

Effect Name	MSB	LSB
Hall1	1	0
Hall2	1	17
Room	2	17
Stage	3	17
Plate	4	16

すべてのリバーブタイプ

XG Effect Name	MSB	LSB
HALL1	1	0
HALL2	1	1
LARGE HALL	1	2
MEDIUM HALL	1	3
HALL M	1	6
HALL L	1	7
(HALL)	1	16
(HALL)	1	17
(HALL)	1	18
ROOM1	2	0
ROOM2	2	1
ROOM3	2	2
WARM ROOM	2	3
WOODY ROOM	2	4
ROOM S	2	5
ROOM M	2	6
ROOM L	2	7
(ROOM)	2	16
(ROOM)	2	17
(ROOM)	2	18
(ROOM)	2	19
STAGE1	3	0
STAGE2	3	1
(STAGE)	3	16
(STAGE)	3	17
PLATE	4	0
RICH PLATE	4	1
GM PLATE	4	7
(PLATE)	4	16
(PLATE)	4	17
WHITE ROOM	16	0
TUNNEL	17	0
CANYON	18	0
BASEMENT	19	0
NO EFFECT	0	0

Chorus Block

[VOICE SETTING]で設定できる
コーラストイプ

Effect Name	MSB	LSB
Chorus	65	8
Celeste	66	8
Flanger	67	1

すべてのコーラストイプ

XG Effect Name	MSB	LSB
CHORUS1	65	0
CHORUS2	65	1
CHORUS3	65	2
GM CHORUS1	65	3
GM CHORUS2	65	4
GM CHORUS3	65	5
GM CHORUS4	65	6
FB CHORUS	65	7
CHORUS4	65	8
CELESTE1	66	0
CELESTE2	66	1
CELESTE3	66	2
CELESTE4	66	8
(CELESTE)	66	16
(CELESTE)	66	17
(CELESTE)	66	18
FLANGER1	67	0
FLANGER2	67	1
GM FLANGER	67	7
FLANGER3	67	8
(FLANGER)	67	16
(FLANGER)	67	17
SYMPHONIC	68	0
(SYMPHONIC)	68	16
PHASER1	72	0
(PHASER)	72	16
(PHASER)	72	17
(PHASER)	72	18
ENS DETUNE	87	0
NO EFFECT	0	0

Variation/Insertion Block

[VOICE SETTING]で設定できるエフェク
トタイプ(インサージョンブロック)

Effect Name	MSB	LSB
DelayLCR	5	16
DelayLR	6	0
Echo	7	0
CrossDelay	8	0
Symphonic	68	16
Rotary	66	18
Tremolo	70	18
VibeRotor	119	0
AutoPan	71	21
Phaser	72	17
AutoWah	78	16
SoundBoard	3	0

すべてのエフェクトタイプ

XG Effect Name	Variation block	Insertion block	MSB	LSB
HALL1	●	●	1	0
HALL2	●	●	1	1
HALL M	●	●	1	6
HALL L	●	●	1	7
(HALL)	●	●	1	16
(HALL)	●	●	1	17
(HALL)	●	●	1	18
ROOM1	●	●	2	0
ROOM2	●	●	2	1
ROOM3	●	●	2	2
ROOM S	●	●	2	5
ROOM M	●	●	2	6
ROOM L	●	●	2	7
(ROOM)	●	●	2	16
(ROOM)	●	●	2	17
(ROOM)	●	●	2	18
(ROOM)	●	●	2	19
STAGE1	●	●	3	0
STAGE2	●	●	3	1
(STAGE)	●	●	3	16
(STAGE)	●	●	3	17
PLATE	●	●	4	0
GM PLATE	●	●	4	7
(PLATE)	●	●	4	16
(PLATE)	●	●	4	17
DELAY LCR	●	●	5	0
(DELAY LCR)	●	●	5	16
DELAY LR	●	●	6	0
ECHO	●	●	7	0
CROSS DELAY	●	●	8	0
ER1	●		9	0
ER2	●		9	1
GATE REVERB	●		10	0
REVERS GATE	●		11	0
WHITE ROOM	●		16	0
TUNNEL	●		17	0
CANYON	●		18	0
BASEMENT	●		19	0
KARAOKE1	●	●	20	0
KARAOKE2	●	●	20	1
KARAOKE3	●	●	20	2
TEMPO DELAY	●	●	21	0
TEMPO ECHO	●	●	21	8

XG Effect Name	Variation block	Insertion block	MSB	LSB
TEMPO CROSS	●	●	22	0
CHORUS1	●	●	65	0
CHORUS2	●	●	65	1
CHORUS3	●	●	65	2
GM CHORUS1	●	●	65	3
GM CHORUS2	●	●	65	4
GM CHORUS3	●	●	65	5
GM CHORUS4	●	●	65	6
FB CHORUS	●	●	65	7
CHORUS4	●	●	65	8
CELESTE1	●	●	66	0
CELESTE2	●	●	66	1
CELESTE3	●	●	66	2
CELESTE4	●	●	66	8
(CELESTE)	●	●	66	16
(CELESTE)	●	●	66	17
(CELESTE)	●	●	66	18
FLANGER1	●	●	67	0
FLANGER2	●	●	67	1
GM FLANGER	●	●	67	7
FLANGER3	●	●	67	8
(FLANGER)	●	●	67	16
(FLANGER)	●	●	67	17
SYMPHONIC	●	●	68	0
(SYMPHONIC)	●	●	68	16
ROTARY SP	●	●	69	0
DST+ROT SP	●	●	69	1
OD+ROT SP	●	●	69	2
AMP+ROT SP	●	●	69	3
(ROTARY SP)	●	●	69	16
TREMOLO	●	●	70	0
(TREMOLO)	●	●	70	16
(TREMOLO)	●	●	70	17
(TREMOLO)	●	●	70	18
(TREMOLO)	●	●	70	19
AUTO PAN1	●	●	71	0
AUTO PAN2	●	●	71	1
(AUTO PAN)	●	●	71	16
(AUTO PAN)	●	●	71	17
(AUTO PAN)	●	●	71	18
(AUTO PAN)	●	●	71	19
(AUTO PAN)	●	●	71	20
(AUTO PAN)	●	●	71	21
(AUTO PAN)	●	●	71	22
PHASER1	●	●	72	0
PHASER2	●	●	72	8
(PHASER)	●	●	72	16
(PHASER)	●	●	72	17
(PHASER)	●	●	72	18
DISTORTION	●	●	73	0
COMP+DIST	●	●	73	1
STEREO DIST	●	●	73	8
(COMP+DIST)	●	●	73	16
OVERDRIVE	●	●	74	0
STEREO OD	●	●	74	8
AMP SIM1	●	●	75	0
AMP SIM2	●	●	75	1
STEREO AMP	●	●	75	8
(AMP SIM)	●	●	75	16
(AMP SIM)	●	●	75	17

XG Effect Name	Variation block	Insertion block	MSB	LSB
(AMP SIM)	●	●	75	18
(AMP SIM)	●	●	75	19
(AMP SIM)	●	●	75	20
(AMP SIM)	●	●	75	21
(AMP SIM)	●	●	75	22
(AMP SIM)	●	●	75	23
3BAND EQ	●	●	76	0
(3BAND EQ)	●	●	76	16
(3BAND EQ)	●	●	76	17
(3BAND EQ)	●	●	76	18
2BAND EQ	●	●	77	0
AUTO WAH	●	●	78	0
AT WAH+DST	●	●	78	1
AT WAH+OD	●	●	78	2
(AUTO WAH)	●	●	78	16
(AT WAH+DST)	●	●	78	17
(AT WAH+OD)	●	●	78	18
PITCH CHG	●	●	80	0
PITCH CHG2	●	●	80	1
(PITCH CHG)	●	●	80	16
HM ENHANCE	●	●	81	0
(HM ENHANCE)	●	●	81	16
TOUCH WAH	●	●	82	0
TC WAH+DST	●	●	82	1
TC WAH+OD	●	●	82	2
TOUCH WAH2	●	●	82	8
(TC WAH+DST)	●	●	82	16
(TC WAH+OD)	●	●	82	17
(TOUCH WAH2)	●	●	82	18
(TOUCH WAH)	●	●	82	19
COMPRESSOR	●	●	83	0
NOISE GATE	●	●	84	0
VCE CANCEL	●	●	85	0
2WAY ROT SP	●	●	86	0
DST+2ROT SP	●	●	86	1
OD+2ROT SP	●	●	86	2
AMP+2ROT SP	●	●	86	3
ENS DETUNE	●	●	87	0
AMBIENCE	●	●	88	0
TALKING MOD	●	●	93	0
LO-FI	●	●	94	0
DST+DELAY	●	●	95	0
OD+DELAY	●	●	95	1
(DST+DELAY)	●	●	95	16
(OD+DELAY)	●	●	95	17
CMP+DST+DLY	●	●	96	0
CMP+OD+DLY	●	●	96	1
(CMP+DST+DLY)	●	●	96	16
(CMP+OD+DLY)	●	●	96	17
WH+DST+DLY	●	●	97	0
WH+OD+DLY	●	●	97	1
(WH+DST+DLY)	●	●	97	16
(WH+OD+DLY)	●	●	97	17
V_DIST HARD	●	●	98	0
V_DIST H+DLY	●	●	98	1
V_DIST SOFT	●	●	98	2
V_DIST S+DLY	●	●	98	3
DUAL ROT SP1	●	●	99	0
DUAL ROT SP2	●	●	99	1
DST+TDLY	●	●	100	0

XG Effect Name	Variation block	Insertion block	MSB	LSB
OD+TDLY	●	●	100	1
CMP+DST+TDLY	●	●	101	0
CMP+OD+TDLY	●	●	101	1
WH+DST+TDLY	●	●	102	0
WH+OD+TDLY	●	●	102	1
V_DIST H+TDLY	●	●	103	0
V_DIST S+TDLY	●	●	103	1
V_FLANGER	●	●	104	0
MBAND COMP	●	●	105	0
T_FLANGER	●	●	107	0
T_PHASER	●	●	108	0
DYN FILTER	●	●	109	0
DYN FLANGER	●	●	110	0
DYN PHASER	●	●	111	0
DYN RINGMOD	●	●	112	0
RING MOD	●	●	113	0
ISOLATOR	●	●	115	0
VIBE VIBRATE	●	●	119	0
NO EFFECT	●	●	0	0
THRU	●	●	64	0

エフェクトパラメーター一覧

Control欄に印がついているものは、AC1(アサインブルコントローラー 1)などでコントロール可能なパラメーターです。各リストの上には、この楽器の画面に表示されるエフェクト名のみ記載されています。画面に表示されないエフェクトについては、下記のMSB、LSBナンバーに基づいて106ページの「XGエフェクトタイプ一覧」でご確認ください。

Panel Effect Name

Reverb block
Hall1, Hall2
Room
Stage
Plate

MSB = 01
LSB = 0, 1, 6, 7, 16, 17, 18
MSB = 02
LSB = 0, 1, 2, 5, 6, 7, 16, 17, 18, 19
MSB = 03
MSB = 04
LSB = 0, 7, 16, 17

Insertion block
Sound Board

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Reverb Time	0.3 - 30.0s	0 - 69	table#4	
2	Diffusion	0 - 10	0 - 10		
3	Initial Delay	0.1mS - 200.0mS (*1)	0 - 127	table#5	
		0.1mS - 99.3mS (*2, 3)	0 - 63		
4	HPF Cutoff	Thru - 8.0kHz	0 - 52	table#3	
5	LPF Cutoff	1.0kHz - Thru	34 - 60	table#3	
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	●
11	Rev Delay	0.1mS - 200.0mS (*1)	0 - 127	table#5	
		0.1mS - 99.3mS (*2, 3)	0 - 63		
12	Density	0 - 4 (*1, 2)	0 - 4		
		0 - 2 (*3)	0 - 2		
13	Er/Rev Balance	E63>R - E=R - E<R63	1 - 127		
14	High Damp	0.1 - 1.0	1 - 10		
15	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
16					

MSB = 01, LSB = 2, 3
MSB = 02, LSB = 3, 4
MSB = 04, LSB = 1

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Reverb Time	0.3 - 30.0s	0 - 69	table#4	
2	Diffusion	0 - 10	0 - 10		
3	Initial Delay	0.1mS - 200.0mS	0 - 127	table#5	
4	HPF Cutoff	Thru - 8.0kHz	0 - 52	table#3	
5	LPF Cutoff	1.0kHz - Thru	34 - 60	table#3	
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	●
11					
12					
13					
14	High Damp	0.1 - 1.0	1 - 10		
15					
16					

Insertion block
Delay LCR

MSB = 05

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Lch Delay	0.1 - 1638.3ms (*2)	1 - 16383		
		0.1 - 1486.0ms (*3)	1 - 14860		
2	Rch Delay	0.1 - 1638.3ms (*2)	1 - 16383		
		0.1 - 1486.0ms (*3)	1 - 14860		
3	Cch Delay	0.1 - 1638.3ms (*2)	1 - 16383		
		0.1 - 1486.0ms (*3)	1 - 14860		
4	Feedback Delay	0.1 - 1638.3ms (*2)	1 - 16383		
		0.1 - 1486.0ms (*3)	1 - 14860		
5	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
6	Cch Level	0 - 127	0 - 127	(table#18)	
7	High Damp	0.1 - 1.0	1 - 10		
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	●
11					
12					
13	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40	table#3	
14	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
15	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58	table#3	
16	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		

Insertion block
Delay LR

MSB = 06

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Lch Delay	0.1 - 1638.3ms (*2)	1 - 16383		
		0.1 - 1486.0ms (*3)	1 - 14860		
2	Rch Delay	0.1 - 1638.3ms (*2)	1 - 16383		
		0.1 - 1486.0ms (*3)	1 - 14860		
3	Feedback Delay 1	0.1 - 1638.3ms (*2)	1 - 16383		
		0.1 - 1486.0ms (*3)	1 - 14860		
4	Feedback Delay 2	0.1 - 1638.3ms (*2)	1 - 16383		
		0.1 - 1486.0ms (*3)	1 - 14860		
5	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
6	High Damp	0.1 - 1.0	1 - 10		
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	●
11					
12					
13	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40	table#3	
14	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
15	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58	table#3	
16	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		

Insertion block
Echo

MSB = 07

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Lch Delay1	0.1 - 1486.0ms (*2)	1 - 14860		
		0.1 - 743.0ms (*3)	1 - 7430		
2	Lch Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
3	Rch Delay1	0.1 - 1486.0ms (*2)	1 - 14860		
		0.1 - 743.0ms (*3)	1 - 7430		
4	Rch Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
5	High Damp	0.1 - 1.0	1 - 10		
6	Lch Delay2	0.1 - 1486.0ms (*2)	1 - 14860		
		0.1 - 743.0ms (*3)	1 - 7430		
7	Rch Delay2	0.1 - 1486.0ms (*2)	1 - 14860		
		0.1 - 743.0ms (*3)	1 - 7430		
8	Delay2 Level	0 - 127	0 - 127	(table#18)	
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	●
11					
12					
13	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40	table#3	
14	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
15	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58	table#3	
16	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		

Insertion block
Cross Delay

MSB = 08

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	L->R Delay	0.1 - 1486.0ms (*2)	1 - 14860		
		0.1 - 743.0ms (*3)	1 - 7430		
2	R->L Delay	0.1 - 1486.0ms (*2)	1 - 14860		
		0.1 - 743.0ms (*3)	1 - 7430		
3	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
4	Input Select	L, R, L&R	0 - 2		
5	High Damp	0.1 - 1.0	1 - 10		
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	●
11					
12					
13	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40	table#3	
14	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
15	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58	table#3	
16	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		

MSB = 09

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Type	S-H, L-H, Rdm, Rvs, Plt, Spr	0 - 5		
2	Room Size	0.1 - 20.0	0 - 127	table#6	
3	Diffusion	0 - 10	0 - 10		
4	Initial Delay	0.1mS - 200.0mS	0 - 127	table#5	
5	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
6	HPF Cutoff	Thru - 8.0kHz	0 - 52	table#3	
7	LPF Cutoff	1.0kHz - Thru	34 - 60	table#3	
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	●
11	Liveness	0 - 10	0 - 10		
12	Density	0 - 3	0 - 3		
13	High Damp	0.1 - 1.0	1 - 10		
14					
15					
16					

MSB = 21

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Delay Time	64th/3 - 4thx6	0 - 19	table#14	
2	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
3	Feedback High Dump	0.1 - 1.0	1 - 10		
4	L/R Diffusion	1(-63ms) - 64(0ms) - 127(63ms)	1 - 127		
5	Lag	1(-63ms) - 64(0ms) - 127(63ms)	1 - 127		
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W=63	1 - 127	(table#15)	●
11					
12					
13	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40		
14	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
15	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58		
16	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		

MSB = 10
MSB = 11

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Type	TypeA, TypeB	0 - 1		
2	Room Size	0.1 - 20.0	0 - 127	table#6	
3	Diffusion	0 - 10	0 - 10		
4	Initial Delay	0.1mS - 200.0mS	0 - 127	table#5	
5	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
6	HPF Cutoff	Thru - 8.0kHz	0 - 52	table#3	
7	LPF Cutoff	1.0kHz - Thru	34 - 60	table#3	
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	●
11	Liveness	0 - 10	0 - 10		
12	Density	0 - 3	0 - 3		
13	High Damp	0.1 - 1.0	1 - 10		
14					
15					
16					

MSB = 22

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Delay Time L>R	64th/3 - 4thx6	0 - 19	table#14	
2	Delay Time R>L	64th/3 - 4thx6	0 - 19	table#14	
3	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
4	Input Select	L, R, L&R	0 - 2		
5	Feedback High Dump	0.1 - 1.0	1 - 10		
6	Lag	1(-63ms) - 64(0ms) - 127(63ms)	1 - 127		
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W=63	1 - 127	(table#15)	●
11					
12					
13	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40		
14	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
15	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58		
16	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		

MSB = 16
MSB = 17
MSB = 18
MSB = 19

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Reverb Time	0.3 - 30.0s	0 - 69	table#4	
2	Diffusion	0 - 10	0 - 10		
3	Initial Delay	0.1mS - 200.0mS (*1) 0.1mS - 99.3mS (*2)	0 - 127 0 - 63	table#5	
4	HPF Cutoff	Thru - 8.0kHz	0 - 52	table#3	
5	LPF Cutoff	1.0kHz - Thru	34 - 60	table#3	
6	Width	0.5 - 30.2m (*1) 0.5 - 10.2m (*2)	0 - 104 0 - 37	table#11	
7	Height	0.5 - 30.2m (*1) 0.5 - 20.2m (*2)	0 - 104 0 - 73	table#11	
8	Depth	0.5 - 30.2m	0 - 104	table#11	
9	Wall Vary	0 - 30	0 - 30		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	●
11	Rev Delay	0.1mS - 200.0mS (*1) 0.1mS - 99.3mS (*2)	0 - 127 0 - 63	table#5	
12	Density	0 - 4	0 - 4		
13	Er/Rev Balance	E63>R - E=R - E<R63	1 - 127		
14	High Damp	0.1 - 1.0	1 - 10		
15	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
16					

Insertion block

Rotary
Chorus Block
Chorus
CelesteMSB = 65
LSB = 66

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz - 39.7Hz	0 - 127	table#1	
2	LFO Depth	0 - 127	0 - 127	(table#19)	
3	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#17)	
4	Delay Offset	0.0mS - 50mS	0 - 127	table#2	
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
8	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	●
11	EQ Mid Frequency (*4)	100Hz - 10.0kHz	14 - 54	table#3	
12	EQ Mid Gain (*4)	-12 - +12dB	52 - 76		
13	EQ Mid Width (*4)	0.1 - 12.0	1 - 120		
14					
15	Input Mode	mono/stereo	0 - 1		
16					

Chorus block
Flanger

MSB = 67

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz - 39.7Hz	0 - 127	table#1	
2	LFO Depth	0 - 127	0 - 127	(table#19)	
3	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#17)	
4	Delay Offset	0.0mS - 50mS	0 - 127	table#2	
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
8	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	●
11	EQ Mid Frequency (*4)	100Hz - 10.0kHz	14 - 54	table#3	
12	EQ Mid Gain (*4)	-12 - +12dB	52 - 76		
13	EQ Mid Width (*4)	0.1 - 12.0	1 - 120		
14	LFO Phase Difference (resolution=3deg.)	-180 - +180deg	4 - 124		
15					
16					

MSB = 20

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Delay Time	0.1mS - 400.0mS	0 - 127	table#7	
2	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
3	HPF Cutoff	Thru - 8.0kHz	0 - 52	table#3	
4	LPF Cutoff	1.0kHz - Thru	34 - 60	table#3	
5					
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	●
11	Density	0 - 3	0 - 3		
12					
13					
14					
15					
16					

**Insertion block
Symphonic**

MSB = 68

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz – 39.7Hz	0 – 127	table#1	
2	LFO Depth	0 – 127	0 – 127	(table#19)	
3	Delay Offset	0.0mS – 50mS	0 – 127	table#2	
4					
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz – 2.0kHz	4 – 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
8	EQ High Frequency	500Hz – 16.0kHz	28 – 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
10	Dry/Wet	D63>W – D=W – D<W63	1 – 127	(table#15)	●
11	EQ Mid Frequency (*4)	100Hz – 10.0kHz	14 – 54	table#3	
12	EQ Mid Gain (*4)	-12 – +12dB	52 – 76		
13	EQ Mid Width (*4)	0.1 – 12.0	1 – 120		
14					
15					
16					

**Insertion block
Tremolo**

MSB = 70

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz – 39.7Hz	0 – 127	table#1	●
2	AM Depth	0 – 127	0 – 127		
3	PM Depth	0 – 127	0 – 127		
4					
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz – 2.0kHz	4 – 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
8	EQ High Frequency	500Hz – 16.0kHz	28 – 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
10					
11	EQ Mid Frequency (*4)	100Hz – 10.0kHz	14 – 54	table#3	
12	EQ Mid Gain (*4)	-12 – +12dB	52 – 76		
13	EQ Mid Width (*4)	0.1 – 12.0	1 – 120		
14	LFO Phase Difference	-180 – +180deg (resolution=3deg.)	4 – 124		
15	Input Mode	mono/stereo	0 – 1		
16					

MSB = 69, LSB = 0, 16

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz – 39.7Hz	0 – 127	table#1	●
2	LFO Depth	0 – 127	0 – 127	(table#19)	
3					
4					
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz – 2.0kHz	4 – 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
8	EQ High Frequency	500Hz – 16.0kHz	28 – 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
10	Dry/Wet	D63>W – D=W – D<W63	1 – 127	(table#15)	
11	EQ Mid Frequency (*4)	100Hz – 10.0kHz	14 – 54	table#3	
12	EQ Mid Gain (*4)	-12 – +12dB	52 – 76		
13	EQ Mid Width (*4)	0.1 – 12.0	1 – 120		
14					
15					
16					

**Insertion block
AutoPan**

MSB = 71
LSB = 0,16,17,18,19,20,21,22

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz – 39.7Hz	0 – 127	table#1	●
2	L/R Depth	0 – 127	0 – 127		
3	F/R Depth	0 – 127	0 – 127		
4	PAN Direction	L<->R, L->R, L<-R, Lturn, Rturn, L/R	0 – 5		
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz – 2.0kHz	4 – 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
8	EQ High Frequency	500Hz – 16.0kHz	28 – 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
10					
11	EQ Mid Frequency (*4)	100Hz – 10.0kHz	14 – 54	table#3	
12	EQ Mid Gain (*4)	-12 – +12dB	52 – 76		
13	EQ Mid Width (*4)	0.1 – 12.0	1 – 120		
14					
15					
16					

MSB = 69, LSB = 1
MSB = 69, LSB = 2

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.0 – 39.7Hz	0 – 127	table#1	●
2	LFO Depth	0 – 127	0 – 127	(table#19)	
3					
4					
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz – 2.0kHz	4 – 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
8	EQ High Frequency	500Hz – 16.0kHz	28 – 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
10	Dry/Wet	D63>W – D=W – D<W=63	1 – 127	(table#15)	
11					
12					
13					
14	Drive	0 – 127	0 – 127		
15	LPF Cutoff	1kHz – Thru	34 – 60	table#3	
16	Output Level	0 – 127	0 – 127	(table#18)	

MSB = 71, LSB = 1

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz – 39.7Hz	0 – 127	table#1	●
2	L/R Depth	0 – 127	0 – 127		
3	F/R Depth	0 – 127	0 – 127		
4	PAN Direction	L<->R, L->R, L<-R, Lturn, Rturn, L/R	0 – 5		
5	LFO Wave	0 – 28	0 – 28		
6	EQ Low Frequency	32Hz – 2.0kHz	4 – 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
8	EQ High Frequency	500Hz – 16.0kHz	28 – 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
10					
11	EQ Mid Frequency (*4)	100Hz – 10.0kHz	14 – 54	table#3	
12	EQ Mid Gain (*4)	-12 – +12dB	52 – 76		
13	EQ Mid Width (*4)	0.1 – 12.0	1 – 120		
14					
15	Input Mode	Mono, Stereo	0 – 1		
16					

MSB = 69, LSB = 3

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.0 – 39.7Hz	0 – 127	table#1	●
2	LFO Depth	0 – 127	0 – 127	(table#19)	
3	AMP Type	Off, Stack, Combo, Tube	0 – 3		
4					
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz – 2.0kHz	4 – 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
8	EQ High Frequency	500Hz – 16.0kHz	28 – 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
10	Dry/Wet	D63>W – D=W – D<W=63	1 – 127	(table#15)	
11					
12					
13					
14	Drive	0 – 127	0 – 127		
15	LPF Cutoff	1kHz – Thru	34 – 60	table#3	
16	Output Level	0 – 127	0 – 127	(table#18)	

**Insertion block
Phaser**

MSB = 72, LSB = 0, 16, 17, 18

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz – 39.7Hz	0 – 127	table#1	
2	LFO Depth	0 – 127	0 – 127	(table#19)	
3	Phase Shift Offset	0 – 127	0 – 127		
4	Feedback Level	-63 – +63	1 – 127	(table#16)	
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz – 2.0kHz	4 – 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
8	EQ High Frequency	500Hz – 16.0kHz	28 – 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
10	Dry/Wet	D63>W – D=W – D<W63	1 – 127	(table#15)	●
11	Stage	4 – 22 (*2)	4 – 22		
12	Diffusion	4 – 12 (*3)	4 – 12		
13		mono/stereo	0 – 1		
14					
15					
16					

MSB = 72, LSB = 8

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz – 39.7Hz	0 – 127	table#1	
2	LFO Depth	0 – 127	0 – 127	(table#19)	
3	Phase Shift Offset	0 – 127	0 – 127		
4	Feedback Level	-63 – +63	1 – 127	(table#16)	
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz – 2.0kHz	4 – 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
8	EQ High Frequency	500Hz – 16.0kHz	28 – 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
10	Dry/Wet	D63>W – D=W – D<W63	1 – 127	(table#15)	●
11	Stage	3 – 11	3 – 11		
12					
13	LFO Phase Difference	-180deg – +180deg (resolution=3deg.)	4 – 124		
14					
15					
16					

MSB = 75, LSB = 0,16,17, 22, 23
MSB = 75, LSB = 21 (*3)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Drive	0 – 127	0 – 127		●
2	AMP Type	Off, Stack, Combo, Tube	0 – 3		
3	LPF Cutoff	1.0kHz – Thru	34 – 60	table#3	
4	Output Level	0 – 127	0 – 127	(table#18)	
5					
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W – D=W – D<W63	1 – 127	(table#15)	
11	Edge (Clip Curve)	0 – 127 (mild – sharp)	0 – 127		
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 73, LSB = 0
MSB = 74, LSB = 0

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Drive	0 – 127	0 – 127		●
2	EQ Low Frequency	32Hz – 2.0kHz	4 – 40	table#3	
3	EQ Low Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
4	LPF Cutoff	1.0kHz – Thru	34 – 60	table#3	
5	Output Level	0 – 127	0 – 127	(table#18)	
6					
7	EQ Mid Frequency	100Hz – 10.0kHz	14 – 54	table#3	
8	EQ Mid Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
9	EQ Mid Width	0.1 – 12.0	1 – 120		
10	Dry/Wet	D63>W – D=W – D<W63	1 – 127	(table#15)	
11	Edge (Clip Curve)	0 – 127 (mild – sharp)	0 – 127		
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 75, LSB = 1

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Drive	0 – 127	0 – 127		●
2	AMP Type	Off, Stack, Combo, Tube, Crunch, Hi gain, British	0 – 6		
3	LPF Cutoff	1.0kHz – Thru	34 – 60	table#3	
4	Output Level	0 – 127	0 – 127	(table#18)	
5					
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W – D=W – D<W63	1 – 127	(table#15)	
11					
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 73, LSB = 1, 16

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Drive	0 – 127	0 – 127		●
2	EQ Low Frequency	32Hz – 2.0kHz	4 – 40	table#3	
3	EQ Low Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
4	LPF Cutoff	1.0kHz – Thru	34 – 60	table#3	
5	Output Level	0 – 127	0 – 127	(table#18)	
6					
7	EQ Mid Frequency	100Hz – 10.0kHz	14 – 54	table#3	
8	EQ Mid Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
9	EQ Mid Width	0.1 – 12.0	1 – 120		
10	Dry/Wet	D63>W – D=W – D<W63	1 – 127	(table#15)	
11	Edge (Clip Curve)	0 – 127 (mild – sharp)	0 – 127		
12	Attack	1ms – 40ms	0 – 19	table#8	
13	Release	10ms – 680ms	0 – 15	table#9	
14	Threshold	-48dB – -6dB	79 – 121		
15	Ratio	1.0 – 20.0	0 – 7	table#10	
16					

MSB = 75, LSB = 8, 18, 19, 20
MSB = 75, LSB = 21 (*2)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Drive	0 – 127	0 – 127		●
2	AMP Type	Off, Stack, Combo, Tube	0 – 3		
3	LPF Cutoff	1kHz – Thru	34 – 60	table#3	
4	Output Level	0 – 127	0 – 127	(table#18)	
5					
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W – D=W – D<W63	1 – 127	(table#15)	
11	Edge (Clip Curve)	0 – 127 (mild – sharp)	0 – 127		
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 73, LSB = 8
MSB = 74, LSB = 8

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Drive	0 – 127	0 – 127		●
2	EQ Low Frequency	32 – 2.0kHz	4 – 40	table#3	
3	EQ Low Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
4	LPF Cutoff	1kHz – Thru	34 – 60		
5	Output Level	0 – 127	0 – 127	(table#18)	
6					
7	EQ Mid Frequency	100 – 10.0kHz	14 – 54	table#3	
8	EQ Mid Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
9	EQ Mid Width	0.1 – 12.0	1 – 120		
10	Dry/Wet	D63>W – D=W – D<W63	1 – 127	(table#15)	
11	Edge (Clip Curve)	0 – 127	0 – 127		
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 76

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	EQ Low Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
2	EQ Mid Frequency	100Hz – 16.0kHz	14 – 58	table#3	
3	EQ Mid Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
4	EQ Mid Width	0.1 – 12.0	1 – 120		
5	EQ High Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
6	EQ Low Frequency	50Hz – 2.0kHz	8 – 40	table#3	
7	EQ High Frequency	500Hz – 16.0kHz	28 – 58	table#3	
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15	Input Mode	mono/stereo	0 – 1		
16					

MSB = 77

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40	table#3	
2	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
3	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58	table#3	
4	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 80, LSB = 1

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Pitch	-24 - +24	40 - 88		
2	Initial Delay	0.1mS - 400.0mS	0 - 127	table#7	
3	Fine 1	-50 - +50cent	14 - 114		
4	Fine 2	-50 - +50cent	14 - 114		
5	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127		
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	●
11	Pan 1	L63 - R63	1 - 127		
12	Output Level 1	0 - 127	0 - 127	(table#18)	
13	Pan 2	L63 - R63	1 - 127		
14	Output Level 2	0 - 127	0 - 127	(table#18)	
15					
16					

Insertion block
AutoWah

MSB = 78, LSB = 0, 16

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz - 39.7Hz	0 - 127	table#1	
2	LFO Depth	0 - 127	0 - 127	(table#19)	
3	Cutoff Frequency Offset	0 - 127	0 - 127		●
4	Resonance	1.0 - 12.0	10 - 120		
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
8	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	
11	Drive (*4)	0 - 127	0 - 127		
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 81

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	HPF Cutoff	500Hz - 16.0kHz	28 - 58		
2	Drive	0 - 127	0 - 127		
3	Mix Level	0 - 127	0 - 127		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 78, LSB = 1, 2, 17, 18

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz - 39.7Hz	0 - 127	table#1	
2	LFO Depth	0 - 127	0 - 127	(table#19)	
3	Cutoff Frequency Offset	0 - 127	0 - 127		●
4	Resonance	1.0 - 12.0	10 - 120		
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
8	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	
11	Drive	0 - 127	0 - 127		
12	EQ Low Gain (distortion)	-12 - +12dB	52 - 76		
13	EQ Mid Gain (distortion)	-12 - +12dB	52 - 76		
14	LPF Cutoff	1.0kHz - thru	34 - 60	table#3	
15	Output Level	0 - 127	0 - 127	(table#18)	
16					

MSB = 82, LSB = 0

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Sensitivity	0 - 127	0 - 127		
2	Cutoff Frequency Offset	0 - 127	0 - 127		●
3	Resonance	1.0 - 12.0	10 - 120		
4					
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
8	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	
11	Drive (*4)	0 - 127	0 - 127		
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 82, LSB = 1, 16

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Sensitivity	0 - 127	0 - 127		
2	Cutoff Frequency Offset	0 - 127	0 - 127		●
3	Resonance	1.0 - 12.0	10 - 120		
4					
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
8	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	
11	Drive	0 - 127	0 - 127		
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 80, LSB = 0, 16

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Pitch	-24 - +24	40 - 88		
2	Initial Delay	0.1mS - 400.0mS	0 - 127	table#7	
3	Fine 1	-50 - +50	14 - 114		
4	Fine 2	-50 - +50	14 - 114		
5	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127		
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	●
11	Pan 1	L63 - R63	1 - 127		
12	Output Level 1	0 - 127	0 - 127	(table#18)	
13	Pan 2	L63 - R63	1 - 127		
14	Output Level 2	0 - 127	0 - 127	(table#18)	
15					
16					

MSB = 82, LSB = 8, 18, 19

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Sensitivity	0 - 127	0 - 127		
2	Cutoff Frequency Offset	0 - 127	0 - 127		●
3	Resonance	1.0 - 12.0	10 - 120		
4					
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
8	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	
11	Drive (*4)	0 - 127	0 - 127		
12	EQ Low Gain (*4) (distortion)	-12 - +12dB	52 - 76		
13	EQ Mid Gain (*4) (distortion)	-12 - +12dB	52 - 76		
14	LPF Cutoff (*4)	1.0kHz - thru	34 - 60	table#3	
15	Output Level (*4)	0 - 127	0 - 127	(table#18)	
16	Release	10 - 680mS	52 - 67	table#12	

MSB = 85

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11	Low Adjust	0 - 26	0 - 26		
12	High Adjust	0 - 26	0 - 26		
13					
14					
15					
16					

MSB = 86, LSB = 0

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Rotor Speed	0.0Hz - 39.7Hz	0 - 127	table#1	●
2	Drive Low	0 - 127	0 - 127		
3	Drive High	0 - 127	0 - 127		
4	Low/High	L63>H - L=H - L<H63	1 - 127		
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
8	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
10					
11	Crossover Frequency	100Hz - 10.0kHz	14 - 54	table#3	
12	Mic L-R Angle	0deg - 180deg (resolution=3deg.)	0 - 60		
13					
14					
15					
16					

MSB = 82, LSB = 2, 17

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Sensitivity	0 - 127	0 - 127		
2	Cutoff Frequency Offset	0 - 127	0 - 127		●
3	Resonance	1.0 - 12.0	10 - 120		
4					
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
8	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	
11	Drive	0 - 127	0 - 127		
12	EQ Low Gain (distortion)	-12 - +12dB	52 - 76		
13	EQ Mid Gain (distortion)	-12 - +12dB	52 - 76		
14	LPF Cutoff	1.0kHz - thru	34 - 60	table#3	
15	Output Level	0 - 127	0 - 127	(table#18)	
16	Release	10 - 680mS	52 - 67	table#12	

MSB = 86, LSB = 1
MSB = 86, LSB = 2

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Rotor Speed	0.0 - 39.7Hz	0 - 127	table#1	●
2	Drive Low	0 - 127	0 - 127		
3	Drive High	0 - 127	0 - 127		
4	Low/High Balance	L63>H - L=H - L<H=63	1 - 127		
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
8	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
10					
11	Crossover Frequency	100Hz - 10.0kHz	14 - 54	table#3	
12	Mic L-R Angle	0 - 180deg	0 - 60		
13					
14	Drive	0 - 127	0 - 127		
15	LPF Cutoff	1kHz - Thru	34 - 60		
16	Output Level	0 - 127	0 - 127	(table#18)	

MSB = 83

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Attack	1 - 40ms	0 - 19	table#8	
2	Release	10 - 680ms	0 - 15	table#9	
3	Threshold	-48 - -6dB	79-121		
4	Ratio	1.0 - 20.0	0 - 7	table#10	
5	Output Level	0 - 127	0 - 127	(table#18)	
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 86, LSB = 3

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Rotor Speed	0.0 - 39.7Hz	0 - 127	table#1	●
2	Drive Low	0 - 127	0 - 127		
3	Drive High	0 - 127	0 - 127		
4	Low/High Balance	L63>H - L=H - L<H=63	1 - 127		
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
8	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
10					
11	Crossover Frequency	100Hz - 10.0kHz	14 - 54	table#3	
12	Mic L-R Angle	0 - 180deg	0 - 60		
13	AMP Type	Off, Stack, Combo, Tube	0 - 3		
14	Drive	0 - 127	0 - 127		
15	LPF Cutoff	1kHz - Thru	34 - 60		
16	Output Level	0 - 127	0 - 127	(table#18)	

MSB = 84

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Attack	1 - 40ms	0 - 19	table#8	
2	Release	10 - 680ms	0 - 15	table#9	
3	Threshold	-72 - -30dB	55 - 97		
4	Output Level	0 - 127	0 - 127	(table#18)	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 87

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Detune	-50 ~ +50cent	14 ~ 114		
2	Lch Init Delay	0.0mS ~ 50mS	0 ~ 127	table#2	
3	Rch Init Delay	0.0mS ~ 50mS	0 ~ 127	table#2	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 ~ 127	(table#15)	●
11	EQ Low Frequency	32Hz ~ 2.0kHz	4 ~ 40	table#3	
12	EQ Low Gain	-12 ~ +12dB	52 ~ 76		
13	EQ High Frequency	500Hz ~ 16.0kHz	28 ~ 58	table#3	
14	EQ High Gain	-12 ~ +12dB	52 ~ 76		
15					
16					

MSB = 95

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Lch Delay Time	0.1 ~ 1638.3ms	1 ~ 16383		
2	Rch Delay Time	0.1 ~ 1638.3ms	1 ~ 16383		
3	Delay Feedback Time	0.1 ~ 1638.3ms	1 ~ 16383		
4	Delay Feedback Level	-63 ~ +63	1 ~ 127	(table#16)	
5	Delay Mix	0 ~ 127	0 ~ 127		
6	Dist Drive	0 ~ 127	0 ~ 127		
7	Dist Output Level	0 ~ 127	0 ~ 127	(table#18)	
8	Dist EQ Low Gain	-12 ~ +12dB	52 ~ 76		
9	Dist EQ Mid Gain	-12 ~ +12dB	52 ~ 76		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 ~ 127	(table#15)	●
11					
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 88

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Delay Time	0.0mS ~ 50mS	0 ~ 127	table#2	
2	Output Phase	normal/inverse	0 ~ 1		
3					
4					
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz ~ 2.0kHz	4 ~ 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 ~ +12dB	52 ~ 76		
8	EQ High Frequency	500Hz ~ 16.0kHz	28 ~ 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 ~ +12dB	52 ~ 76		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 ~ 127	(table#15)	●
11					
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 96

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Delay Time	0.1 ~ 1638.3ms	1 ~ 16383		
2	Delay Feedback Level	-63 ~ +63	1 ~ 127	(table#16)	
3	Delay Mix	0 ~ 127	0 ~ 127		
4	Dist Drive	0 ~ 127	0 ~ 127		
5	Dist Output Level	0 ~ 127	0 ~ 127	(table#18)	
6	Dist EQ Low Gain	-12 ~ +12dB	52 ~ 76		
7	Dist EQ Mid Gain	-12 ~ +12dB	52 ~ 76		
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 ~ 127	(table#15)	●
11	Comp. Attack	1ms ~ 40ms	0 ~ 19	table#8	
12	Comp. Release	10ms ~ 680ms	0 ~ 15	table#9	
13	Comp. Threshold	-48dB ~ -6dB	79 ~ 121		
14	Comp. Ratio	1.0 ~ 20.0	0 ~ 7	table#10	
15					
16					

MSB = 93

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Vowel	a, i, u, e, o	0 ~ 4		●
2	Move speed	1 ~ 62	1 ~ 62		
3	Drive	0 ~ 127	0 ~ 127		
4	Output Level	0 ~ 127	0 ~ 127	(table#18)	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 97

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Delay Time	0.1 ~ 1638.3ms	1 ~ 16383		
2	Delay Feedback Level	-63 ~ +63	1 ~ 127	(table#16)	
3	Delay Mix	0 ~ 127	0 ~ 127		
4	Dist Drive	0 ~ 127	0 ~ 127		
5	Dist Output Level	0 ~ 127	0 ~ 127	(table#18)	
6	Dist EQ Low Gain	-12 ~ +12dB	52 ~ 76		
7	Dist EQ Mid Gain	-12 ~ +12dB	52 ~ 76		
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 ~ 127	(table#15)	●
11	Wah Sensitivity	0 ~ 127	0 ~ 127		
12	Wah Cutoff Freq Offset	0 ~ 127	0 ~ 127		
13	Wah Resonance	1.0 ~ 12.0	10 ~ 120		
14	Wah Release	10 ~ 680ms	52 ~ 67	table#12	
15					
16					

MSB = 94

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Sampling Freq Control	44.1kHz ~ 345Hz	0 ~ 127	table#13	
2	Word Length	1 ~ 127	1 ~ 127		
3	Output Gain	-6 ~ +36dB	0 ~ 42		
4	LPF Cutoff	63Hz ~ Thru	10 ~ 60	table#3	
5	Filter Type	Thru, PowerBass, Radio, Tel, Clean, Low	0 ~ 5		
6	LPF Resonance	1.0 ~ 12.0	10 ~ 120		
7	Bit Assign	0 ~ 6	0 ~ 6		
8	Emphasis	Off/On	0 ~ 1		
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 ~ 127	(table#15)	●
11					
12					
13					
14					
15	Input Mode	mono/stereo			
16					

MSB = 98, LSB = 0
MSB = 98, LSB = 2

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Overdrive	0 ~ 100%	0 ~ 100		
2	Device	Transistor/Vintage Tube/ Dist1/Dist2/Fuzz	0 ~ 4		
3	Speaker	Flat/Stack/Combo/Twin/ Radio/Megaphone	0 ~ 5		
4	Presence	0 ~ 20	0 ~ 20		
5	Output Level	0 ~ 100%	0 ~ 100		
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet Balance	D63>W - D=W - D<W63	1 ~ 127	(table#15)	●
11					
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 98, LSB = 1
MSB = 98, LSB = 3

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Overdrive	0 - 100%	0 - 100		
2	Device	Transistor/Vintage Tube/ Dist1/Dist2/Fuzz	0 - 4		
3	Speaker	Flat/Stack/Combo/Twin/ Radio/Megaphone	0 - 5		
4	Presence	0 - 20	0 - 20		
5	Output Level	0 - 100%	0 - 100		
6	Delay Time L	0.1 - 1638.3ms	1 - 16383		
7	Delay Time R	0.1 - 1638.3ms	1 - 16383		
8	Delay Feedback Time	0.1 - 1638.3ms	1 - 16383		
9	Delay Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
10	Dry/Wet Balance	D63>W - D=W - D<W=63	1 - 127	(table#15)	●
11	Delay Mix	0 - 127	0 - 127		
12	Feedback High Dump	0.1 - 1.0	1 - 10		
13					
14					
15					
16					

MSB = 99

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Rotor Speed Slow	0.0Hz - 2.65Hz	0 - 63	table#1	
2	Horn Speed Slow	0.0Hz - 2.65Hz	0 - 63	table#1	
3	Rotor Speed Fast	2.69Hz - 39.7Hz	64 - 127	table#1	
4	Horn Speed Fast	2.69Hz - 39.7Hz	64 - 127	table#1	
5	Slow-Fast Time of R	0 - 127	0 - 127		
6	Slow-Fast Time of H	0 - 127	0 - 127		
7	Drive Low	0 - 127	0 - 127		
8	Drive High	0 - 127	0 - 127		
9	Low/High Balance	L63>H - L=H - L<H=63	1 - 127		
10					
11	EQ Low Frequency	32Hz - 2.0kHz	4 - 40	table#3	
12	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
13	EQ High Frequency	500Hz - 16.0kHz	28 - 58	table#3	
14	EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
15	Mic L-R Angle	0 - 180deg	0 - 60		
16	Speed Control	Slow/Fast	0/1		●

MSB = 100

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Delay Time	64th/3 - 4thx6	0 - 19	table#14	
2	Delay Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
3	Delay Mix	0 - 127	0 - 127		
4	Dist Drive	0 - 127	0 - 127		
5	Dist Output Level	0 - 127	0 - 127	(table#18)	
6	Dist EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
7	Dist EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
8	L/R Diffusion	1(-63ms) - 64(0ms) - 127(63ms)	1 - 127		
9	Lag	1(-63ms) - 64(0ms) - 127(63ms)	1 - 127		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W=63	1 - 127	(table#15)	●
11					
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 101

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Delay Time	64th/3 - 4thx6	0 - 19	table#14	
2	Delay Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
3	Delay Mix	0 - 127	0 - 127		
4	Dist Drive	0 - 127	0 - 127		
5	Dist Output Level	0 - 127	0 - 127	(table#18)	
6	Dist EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
7	Dist EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
8	L/R Diffusion	1(-63ms) - 64(0ms) - 127(63ms)	1 - 127		
9	Lag	1(-63ms) - 64(0ms) - 127(63ms)	1 - 127		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W=63	1 - 127	(table#15)	●
11	Comp. Attack	1ms - 40ms	0 - 19	table#8	
12	Comp. Release	10ms - 680ms	0 - 15	table#9	
13	Comp. Threshold	-48dB - -6dB	79 - 121		
14	Comp. Ratio	1.0 - 20.0	0 - 7	table#10	
15					
16					

MSB = 102

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Delay Time	64th/3 - 4thx6	0 - 19	table#14	
2	Delay Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
3	Delay Mix	0 - 127	0 - 127		
4	Dist Drive	0 - 127	0 - 127		
5	Dist Output Level	0 - 127	0 - 127	(table#18)	
6	Dist EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
7	Dist EQ High Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
8	L/R Diffusion	1(-63ms) - 64(0ms) - 127(63ms)	1 - 127		
9	Lag	1(-63ms) - 64(0ms) - 127(63ms)	1 - 127		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W=63	1 - 127	(table#15)	●
11	Wah Sensitivity	0 - 127	0 - 127		
12	Wah Cutoff Freq Offset	0 - 127	0 - 127		
13	Wah Resonance	1.0 - 12.0	10 - 120		
14	Wah Release	10 - 680mS	52 - 67	table#12	
15					
16					

MSB = 103

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Overdrive	0 - 100%	0 - 100		
2	Device	Transistor/Vintage Tube/ Dist1/Dist2/Fuzz	0 - 4		
3	Speaker	Flat/Stack/Combo/Twin/ Radio/Megaphone	0 - 5		
4	Presence	0 - 20	0 - 20		
5	Output Level	0 - 100%	0 - 100		
6	Delay Time	64th/3 - 4thx6	0 - 19	table#14	
7	Delay Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
8	L/R Diffusion	1(-63ms) - 64(0ms) - 127(63ms)	1 - 127		
9	Lag	1(-63ms) - 64(0ms) - 127(63ms)	1 - 127		
10	Dry/Wet Balance	D63>W - D=W - D<W=63	1 - 127	(table#15)	●
11	Delay Mix	0 - 127	0 - 127		
12	Feedback High Dump	0.1 - 1.0	1 - 10		
13					
14					
15					
16					

MSB = 104

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	LFO Freq	0.0 - 39.70[Hz]	0 - 127	table#1	
2	LFO Depth	0 - 127	0 - 127	(table#19)	
3	LFO Wave	Triangle, Sine, Random	0 - 2		
4	Delay Offset	0.09 - 36.21[ms]	0 - 139	table#23	
5	Feedback Level	-100 - +100[%]	0 - 200		
6	EQ Low Frequency	32[Hz] - 2.0[kHz]	4 - 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 - +12[dB]	52 - 76		
8	EQ High Frequency	500[Hz] - 16.0[kHz]	28 - 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 - +12[dB]	52 - 76		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W=63	1 - 127	(table#15)	●
11	EQ mid frequency	100[Hz] - 10.0[kHz]	14 - 54	table#3	
12	EQ mid gain	-12 - +12[dB]	52 - 76		
13	EQ mid width	0.1 - 12.0	1 - 120		
14	Modulation Phase	-180 - +180[deg]	0 - 16	table#24	
15	Feedback High Damp	0.1 - 1.0	1 - 10		
16	Analog Feel	0 - 10	0 - 10		

MSB = 105

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Type	Normal, Low, Mid, High, Low/High, Low/Mid, Mid/ High, Full Bit, Wild, Attack, Low End, Hard, Basic	0 - 12		
2	Threshold Offset	-32 - +32	32 - 96		●
3	Low Gain Offset	-63 - +63	1 - 127		
4	Mid Gain Offset	-63 - +63	1 - 127		
5	High Gain Offset	-63 - +63	1 - 127		
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 107

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	LFO Freq	16th - 4thx8	5 - 21	table#14	
2	LFO Depth	0 - 127	0 - 127	(table#19)	
3	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#17)	
4	Delay Offset	0.0 - 50.0[ms]	0 - 127	table#2	
5					
6	EQ Low Frequency	32[Hz] - 2.0[kHz]	4 - 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 - +12[dB]	52 - 76		
8	EQ High Frequency	500[Hz] - 16.0[kHz]	28 - 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 - +12[dB]	52 - 76		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	●
11	EQ mid frequency	100[Hz] - 10.0[kHz]	14 - 54	table#3	
12	EQ mid gain	-12 - +12[dB]	52 - 76		
13	EQ mid width	0.1 - 12.0	1 - 120		
14	LFO phase difference	-180 - +180[deg]	4 - 124		
15					
16					

MSB = 111

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Sensitivity	0 - 127	0 - 127		●
2	Dyna Level Offset	0 - 127	0 - 127		
3	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
4	Attack Time	0.3 - 227[ms]	0 - 127	table#20	
5	Release Time	2.6 - 2171[ms]	0 - 127	table#21	
6	Release Curve	0 - 127	0 - 127		
7	Direction	Up, Down	0 - 1		
8	Dyna Threshold Level	0 - 127	0 - 127		
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	
11	Stage	4, 5, 6	4 - 6		
12					
13	EQ Low Frequency	32[Hz] - 2.0[kHz]	4 - 40	table#3	
14	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
15	EQ High Frequency	500[Hz] - 16.0[kHz]	28 - 58	table#3	
16	EQ High Gain	-12 - +12[dB]	52 - 76		

MSB = 108

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	LFO Freq	16th - 4thx8	5 - 21	table#14	
2	LFO Depth	0 - 127	0 - 127	(table#19)	
3	Phase Shift Offset	0 - 127	0 - 127		
4	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#16)	
5					
6	EQ Low Frequency	32[Hz] - 2.0[kHz]	4 - 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 - +12[dB]	52 - 76		
8	EQ High Frequency	500[Hz] - 16.0[kHz]	28 - 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 - +12[dB]	52 - 76		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	●
11	Stage	3 - 11	3 - 11		
12					
13	LFO phase difference	-180 - +180[deg]	4 - 124		
14					
15					
16					

MSB = 112

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Sensitivity	0 - 127	0 - 127		●
2	HPF Cutoff Frequency	Thru (20[Hz]) - 8.0[kHz]	0 - 52	table#3	
3	LPF Cutoff Frequency	1.0[kHz] - Thru (20.0[kHz])	34 - 60	table#3	
4	Attack Time	0.3 - 227[ms]	0 - 127	table#20	
5	Release Time	2.6 - 2171[ms]	0 - 127	table#21	
6	Release Curve	0 - 127	0 - 127		
7	Direction	Up, Down	0 - 1		
8	Dyna Threshold Level	0 - 127	0 - 127		
9	Dyna Level Offset	0 - 127	0 - 127		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	
11					
12					
13	EQ Low Frequency	32[Hz] - 2.0[kHz]	4 - 40	table#3	
14	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
15	EQ High Frequency	500[Hz] - 16.0[kHz]	28 - 58	table#3	
16	EQ High Gain	-12 - +12[dB]	52 - 76		

MSB = 109

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Filter Type	LPF (12dB), LPF (18dB), LPF (24dB), HPF, BPF, BEF	0 - 5		●
2	Sensitivity	0 - 127	0 - 127		
3	Dyna Level Offset	0 - 127	0 - 127		
4	Resonance	-16 - +111	0 - 127		
5	Attack Time	0.3 - 227[ms]	0 - 127	table#20	
6	Release Time	2.6 - 2171[ms]	0 - 127	table#21	
7	Release Curve	0 - 127	0 - 127		
8	Direction	Up, Down	0 - 1		
9	Dyna Threshold Level	0 - 127	0 - 127		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	
11					
12					
13	EQ Low Frequency	32[Hz] - 2.0[kHz]	4 - 40	table#3	
14	EQ Low Gain	-12 - +12[dB]	52 - 76		
15	EQ High Frequency	500[Hz] - 16.0[kHz]	28 - 58	table#3	
16	EQ High Gain	-12 - +12[dB]	52 - 76		

MSB = 113

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Carrier Freq Coarse	0.7[Hz] - 5[kHz]	0 - 127	table#22	●
2	Carrier Freq Fine	0 - 127	0 - 127		
3	LFO Wave	Triangle, Sine	0 - 1		
4	LFO Depth	0 - 127	0 - 127	(table#19)	
5	LFO Freq	0.0 - 39.70[Hz]	0 - 127	table#1	
6	HPF Cutoff Frequency	Thru (20[Hz]) - 8.0[kHz]	0 - 52	table#3	
7	LPF Cutoff Frequency	1.0[kHz] - Thru (20.0[kHz])	34 - 60	table#3	
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	
11					
12					
13	EQ Low Frequency	32[Hz] - 2.0[kHz]	4 - 40	table#3	
14	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
15	EQ High Frequency	500[Hz] - 16.0[kHz]	28 - 58	table#3	
16	EQ High Gain	-12 - +12[dB]	52 - 76		

MSB = 110

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Sensitivity	0 - 127	0 - 127		●
2	Delay Time Offset	0 - 127	0 - 127		
3	Feedback Level	-63 - +63	1 - 127	(table#17)	
4	Attack Time	0.3 - 227[ms]	0 - 127	table#20	
5	Release Time	2.6 - 2171[ms]	0 - 127	table#21	
6	Release Curve	0 - 127	0 - 127		
7	Direction	Up, Down	0 - 1		
8	Dyna Threshold Level	0 - 127	0 - 127		
9	Dyna Level Offset	0 - 127	0 - 127		
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1 - 127	(table#15)	
11					
12					
13	EQ Low Frequency	32[Hz] - 2.0[kHz]	4 - 40	table#3	
14	EQ Low Gain	-12 - +12dB	52 - 76		
15	EQ High Frequency	500[Hz] - 16.0[kHz]	28 - 58	table#3	
16	EQ High Gain	-12 - +12[dB]	52 - 76		

MSB = 115

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	On/off SW	Off, On	0 - 1		●
2	Low Level	0 - 127	0 - 127		
3	Mid Level	0 - 127	0 - 127		
4	High Level	0 - 127	0 - 127		
5	Low Mute	Off, On	0 - 1		
6	Mid Mute	Off, On	0 - 1		
7	High Mute	Off, On	0 - 1		
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

Insertion block
VibeRotor

MSB = 119

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1	Vibrate Speed	0.00Hz – 39.7Hz	0 – 127	table#1	
2	Vibrate Depth (AM)	0 – 127	0 – 127		
3	Vibrate Depth (PM)	0 – 127	0 – 127		
4					
5					
6	EQ Low Frequency	32Hz – 2.0kHz	4 – 40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
8	EQ High Frequency	500Hz – 16.0kHz	28 – 58	table#3	
9	EQ High Gain	-12 – +12dB	52 – 76		
10	Dry/Wet Balance	D63>W – D=W – D<W63	1 – 127	(table#15)	
11	EQ Mid Frequency (*)	100Hz – 10.0kHz	14 – 54	table#3	
12	EQ Mid Gain (*)	-12 – +12dB	52 – 76		
13	EQ Mid Width (*)	0.1 – 12.0	1 – 120		
14	LFO Phase Difference	-180 – +180deg (resolution=3deg.)	4 – 124		
15	Input Mode	mono/stereo	0 – 1		
16	Vibrate SW	Off, On	0 – 1		●

MSB = 0

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

MSB = 64

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Control
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

(注: Parameter 10 Dry/WetはInsertion Effectにのみ有効)

- (*1) Reverb Block
- (*2) Variation Block
- (*3) Chorus and Insertion Block(s)
- (*4) Variation Block only

エフェクトデータアサインテーブル

table#1
LFO Frequency

Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value
0	0.00	32	1.35	64	2.69	96	8.41
1	0.04	33	1.39	65	2.78	97	8.75
2	0.08	34	1.43	66	2.86	98	9.08
3	0.13	35	1.47	67	2.94	99	9.42
4	0.17	36	1.51	68	3.03	100	9.76
5	0.21	37	1.56	69	3.11	101	10.1
6	0.25	38	1.60	70	3.20	102	10.8
7	0.29	39	1.64	71	3.28	103	11.4
8	0.34	40	1.68	72	3.37	104	12.1
9	0.38	41	1.72	73	3.45	105	12.8
10	0.42	42	1.77	74	3.53	106	13.5
11	0.46	43	1.81	75	3.62	107	14.1
12	0.51	44	1.85	76	3.70	108	14.8
13	0.55	45	1.89	77	3.87	109	15.5
14	0.59	46	1.94	78	4.04	110	16.2
15	0.63	47	1.98	79	4.21	111	16.8
16	0.67	48	2.02	80	4.37	112	17.5
17	0.72	49	2.06	81	4.54	113	18.2
18	0.76	50	2.10	82	4.71	114	19.5
19	0.80	51	2.15	83	4.88	115	20.9
20	0.84	52	2.19	84	5.05	116	22.2
21	0.88	53	2.23	85	5.22	117	23.6
22	0.93	54	2.27	86	5.38	118	24.9
23	0.97	55	2.31	87	5.55	119	26.2
24	1.01	56	2.36	88	5.72	120	27.6
25	1.05	57	2.40	89	6.06	121	28.9
26	1.09	58	2.44	90	6.39	122	30.3
27	1.14	59	2.48	91	6.73	123	31.6
28	1.18	60	2.52	92	7.07	124	33.0
29	1.22	61	2.57	93	7.40	125	34.3
30	1.26	62	2.61	94	7.74	126	37.0
31	1.30	63	2.65	95	8.08	127	39.7

table#4
Reverb time

Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value
0	0.3	32	3.5	64	17.0		
1	0.4	33	3.6	65	18.0		
2	0.5	34	3.7	66	19.0		
3	0.6	35	3.8	67	20.0		
4	0.7	36	3.9	68	25.0		
5	0.8	37	4.0	69	30.0		
6	0.9	38	4.1				
7	1.0	39	4.2				
8	1.1	40	4.3				
9	1.2	41	4.4				
10	1.3	42	4.5				
11	1.4	43	4.6				
12	1.5	44	4.7				
13	1.6	45	4.8				
14	1.7	46	4.9				
15	1.8	47	5.0				
16	1.9	48	5.5				
17	2.0	49	6.0				
18	2.1	50	6.5				
19	2.2	51	7.0				
20	2.3	52	7.5				
21	2.4	53	8.0				
22	2.5	54	8.5				
23	2.6	55	9.0				
24	2.7	56	9.5				
25	2.8	57	10.0				
26	2.9	58	11.0				
27	3.0	59	12.0				
28	3.1	60	13.0				
29	3.2	61	14.0				
30	3.3	62	15.0				
31	3.4	63	16.0				

table#7
Delay Time (0.1 - 400.0 (ms))

Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value
0	0.1	32	100.9	64	201.6	96	302.4
1	3.2	33	104.0	65	204.8	97	305.5
2	6.4	34	107.2	66	207.9	98	308.7
3	9.5	35	110.3	67	211.1	99	311.8
4	12.7	36	113.5	68	214.2	100	315.0
5	15.8	37	116.6	69	217.4	101	318.1
6	19.0	38	119.8	70	220.5	102	321.3
7	22.1	39	122.9	71	223.7	103	324.4
8	25.3	40	126.1	72	226.8	104	327.6
9	28.4	41	129.2	73	230.0	105	330.7
10	31.6	42	132.4	74	233.1	106	333.9
11	34.7	43	135.5	75	236.3	107	337.0
12	37.9	44	138.6	76	239.4	108	340.2
13	41.0	45	141.8	77	242.6	109	343.3
14	44.2	46	144.9	78	245.7	110	346.5
15	47.3	47	148.1	79	248.9	111	349.6
16	50.5	48	151.2	80	252.0	112	352.8
17	53.6	49	154.4	81	255.2	113	355.9
18	56.8	50	157.5	82	258.3	114	359.1
19	59.9	51	160.7	83	261.5	115	362.2
20	63.1	52	163.8	84	264.6	116	365.4
21	66.2	53	167.0	85	267.7	117	368.5
22	69.4	54	170.1	86	270.9	118	371.7
23	72.5	55	173.3	87	274.0	119	374.8
24	75.7	56	176.4	88	277.2	120	378.0
25	78.8	57	179.6	89	280.3	121	381.1
26	82.0	58	182.7	90	283.5	122	384.3
27	85.1	59	185.9	91	286.6	123	387.4
28	88.3	60	189.0	92	289.8	124	390.6
29	91.4	61	192.2	93	292.9	125	393.7
30	94.6	62	195.3	94	296.1	126	396.9
31	97.7	63	198.5	95	299.2	127	400.0

table#12
Wah Release Time

Data	Value
52	10
53	15
54	25
55	35
56	45
57	55
58	65
59	75
60	85
61	100
62	115
63	140
64	170
65	230
66	340
67	680

table#2
Modulation Delay Offset

Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value
0	0.0	32	3.2	64	6.4	96	9.6
1	0.1	33	3.3	65	6.5	97	9.7
2	0.2	34	3.4	66	6.6	98	9.8
3	0.3	35	3.5	67	6.7	99	9.9
4	0.4	36	3.6	68	6.8	100	10.0
5	0.5	37	3.7	69	6.9	101	11.1
6	0.6	38	3.8	70	7.0	102	12.2
7	0.7	39	3.9	71	7.1	103	13.3
8	0.8	40	4.0	72	7.2	104	14.4
9	0.9	41	4.1	73	7.3	105	15.5
10	1.0	42	4.2	74	7.4	106	17.1
11	1.1	43	4.3	75	7.5	107	18.6
12	1.2	44	4.4	76	7.6	108	20.2
13	1.3	45	4.5	77	7.7	109	21.8
14	1.4	46	4.6	78	7.8	110	23.3
15	1.5	47	4.7	79	7.9	111	24.9
16	1.6	48	4.8	80	8.0	112	26.5
17	1.7	49	4.9	81	8.1	113	28.0
18	1.8	50	5.0	82	8.2	114	29.6
19	1.9	51	5.1	83	8.3	115	31.2
20	2.0	52	5.2	84	8.4	116	32.8
21	2.1	53	5.3	85	8.5	117	34.3
22	2.2	54	5.4	86	8.6	118	35.9
23	2.3	55	5.5	87	8.7	119	37.5
24	2.4	56	5.6	88	8.8	120	39.0
25	2.5	57	5.7	89	8.9	121	40.6
26	2.6	58	5.8	90	9.0	122	42.2
27	2.7	59	5.9	91	9.1	123	43.7
28	2.8	60	6.0	92	9.2	124	45.3
29	2.9	61	6.1	93	9.3	125	46.9
30	3.0	62	6.2	94	9.4	126	48.4
31	3.1	63	6.3	95	9.5	127	50.0

table#5
Delay Time (0.1 - 200.0 (ms))

Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value
0	0.1	32	50.5	64	100.8	96	151.2
1	1.7	33	52.0	65	102.4	97	152.8
2	3.2	34	53.6	66	104.0	98	154.4
3	4.8	35	55.2	67	105.6	99	155.9
4	6.4	36	56.8	68	107.1	100	157.5
5	8.0	37	58.3	69	108.7	101	159.1
6	9.5	38	59.9	70	110.3	102	160.6
7	11.1	39	61.5	71	111.9	103	162.2
8	12.7	40	63.1	72	113.4	104	163.8
9	14.3	41	64.6	73	115.0	105	165.4
10	15.8	42	66.2	74	116.6	106	166.9
11	17.4	43	67.8	75	118.2	107	168.5
12	19.0	44	69.4	76	119.7	108	170.1
13	20.6	45	70.9	77	121.3	109	171.7
14	22.1	46	72.5	78	122.9	110	173.2
15	23.7	47	74.1	79	124.4	111	174.8
16	25.3	48	75.7	80	126.0	112	176.4
17	26.9	49	77.2	81	127.6	113	178.0
18	28.4	50	78.8	82	129.2	114	179.5
19	30.0	51	80.4	83	130.7	115	181.1
20	31.6	52	81.9	84	132.3	116	182.7
21	33.2	53	83.5	85	133.9	117	184.3
22	34.7	54	85.1	86	135.5	118	185.8
23	36.3	55	86.7	87	137.0	119	187.4
24	37.9	56	88.2	88	138.6	120	189.0
25	39.5	57	89.8	89	140.2	121	190.6
26	41.0	58	91.4	90	141.8	122	192.1
27	42.6	59	93.0	91	143.3	123	193.7
28	44.2	60	94.5	92	144.9	124	195.3
29	45.7	61	96.1	93	146.5	125	196.9
30	47.3	62	97.7	94	148.1	126	198.4
31	48.9	63	99.3	95	149.6	127	200.0

table#8
Compressor
Attack Time

Data	Value
0	1
1	2
2	3
3	4
4	5
5	6
6	7
7	8
8	9
9	10
10	12
11	14
12	16
13	18
14	20
15	23
16	26
17	30
18	35
19	40

table#15 Dry/Wet

Table with 9 columns: Data, Dry (dB), Wet (dB), Data, Dry (dB), Wet (dB), Data, Dry (dB), Wet (dB). Rows 1-43.

table#17 Feedback Level (Chorus系)

Table with 9 columns: Data, Value (%), Data, Value (%), Data, Value (%), Data, Value (%). Rows 1-32.

table#20 Dyna Attack Time (ms)

Table with 9 columns: Data, Value, Data, Value, Data, Value, Data, Value. Rows 1-31.

table#23 V-Flinger Delay Offset

Table with 5 columns: Data, Value, Data, Value, Data, Value. Rows 0-69.

table#16 Feedback Level (Reverb, Delay系, Flanger系)

Table with 6 columns: Data, Value (%), Data, Value (%), Data, Value (%). Rows 1-43.

table#18 Level

Table with 6 columns: Data, dB, Data, dB, Data, dB, Data, dB. Rows 0-31.

table#21 Dyna Release Time (ms)

Table with 9 columns: Data, Value, Data, Value, Data, Value, Data, Value. Rows 0-31.

table#19 LFO Depth

Table with 6 columns: Data, Value (%), Data, Value (%), Data, Value (%), Data, Value (%). Rows 0-31.

table#22 Ring Mod Carrier Freq Course (Hz)

Table with 8 columns: Data, Value, Data, Value, Data, Value, Data, Value. Rows 0-31.

table#24 Modulation Phase

Table with 3 columns: Data, Value, Data, Value. Rows 0-16.

付録

MIDIデータフォーマット

「MIDIデータフォーマット」は、データ/値を10進数や2進数、16進数で表現しています。16進数の場合は数値のあと(または列の頭)にH (Hexadecimal)が付いています。

また、"n"は任意の整数を表します。データ/値を入力する場合は、以下のテーブルをご参照ください。

10進	16進	2進
0	00	0000 0000
1	01	0000 0001
2	02	0000 0010
3	03	0000 0011
4	04	0000 0100
5	05	0000 0101
6	06	0000 0110
7	07	0000 0111
8	08	0000 1000
9	09	0000 1001
10	0A	0000 1010
11	0B	0000 1011
12	0C	0000 1100
13	0D	0000 1101
14	0E	0000 1110
15	0F	0000 1111
16	10	0001 0000
17	11	0001 0001
18	12	0001 0010
19	13	0001 0011
20	14	0001 0100
21	15	0001 0101
22	16	0001 0110
23	17	0001 0111
24	18	0001 1000
25	19	0001 1001
26	1A	0001 1010
27	1B	0001 1011
28	1C	0001 1100
29	1D	0001 1101
30	1E	0001 1110
31	1F	0001 1111

10進	16進	2進
32	20	0010 0000
33	21	0010 0001
34	22	0010 0010
35	23	0010 0011
36	24	0010 0100
37	25	0010 0101
38	26	0010 0110
39	27	0010 0111
40	28	0010 1000
41	29	0010 1001
42	2A	0010 1010
43	2B	0010 1011
44	2C	0010 1100
45	2D	0010 1101
46	2E	0010 1110
47	2F	0010 1111
48	30	0011 0000
49	31	0011 0001
50	32	0011 0010
51	33	0011 0011
52	34	0011 0100
53	35	0011 0101
54	36	0011 0110
55	37	0011 0111
56	38	0011 1000
57	39	0011 1001
58	3A	0011 1010
59	3B	0011 1011
60	3C	0011 1100
61	3D	0011 1101
62	3E	0011 1110
63	3F	0011 1111

10進	16進	2進
64	40	0100 0000
65	41	0100 0001
66	42	0100 0010
67	43	0100 0011
68	44	0100 0100
69	45	0100 0101
70	46	0100 0110
71	47	0100 0111
72	48	0100 1000
73	49	0100 1001
74	4A	0100 1010
75	4B	0100 1011
76	4C	0100 1100
77	4D	0100 1101
78	4E	0100 1110
79	4F	0100 1111
80	50	0101 0000
81	51	0101 0001
82	52	0101 0010
83	53	0101 0011
84	54	0101 0100
85	55	0101 0101
86	56	0101 0110
87	57	0101 0111
88	58	0101 1000
89	59	0101 1001
90	5A	0101 1010
91	5B	0101 1011
92	5C	0101 1100
93	5D	0101 1101
94	5E	0101 1110
95	5F	0101 1111

10進	16進	2進
96	60	0110 0000
97	61	0110 0001
98	62	0110 0010
99	63	0110 0011
100	64	0110 0100
101	65	0110 0101
102	66	0110 0110
103	67	0110 0111
104	68	0110 1000
105	69	0110 1001
106	6A	0110 1010
107	6B	0110 1011
108	6C	0110 1100
109	6D	0110 1101
110	6E	0110 1110
111	6F	0110 1111
112	70	0111 0000
113	71	0111 0001
114	72	0111 0010
115	73	0111 0011
116	74	0111 0100
117	75	0111 0101
118	76	0111 0110
119	77	0111 0111
120	78	0111 1000
121	79	0111 1001
122	7A	0111 1010
123	7B	0111 1011
124	7C	0111 1100
125	7D	0111 1101
126	7E	0111 1110
127	7F	0111 1111

追加ノート

- ・上記のテーブル以外でも、たとえば、144~159 (10進数)/9nH/10010000 ~ 10011111 (2進数)は、それぞれ(1~16)チャンネルごとのノートオンメッセージを示します。176~191/BnH/10110000 ~ 10111111は、それぞれ(1~16)チャンネルごとのコントロールチェンジメッセージを示します。192~207/CnH/11000000 ~ 11001111は、それぞれ(1~16)チャンネルごとのプログラムチェンジメッセージを示します。240/FOH/11110000はシステムエクスクルーシブメッセージの始まりを示します。247/F7H/11110111はシステムエクスクルーシブメッセージの終わりを示します。
- ・aaH (16進数)/Oaaaaaaa (2進数)はデータのアドレスを示します。アドレスは、High、MidとLowがあります。
- ・bbH/Obbbbbbbbはバイトカウントを示します。
- ・ccH/Occcccccclはチェックサムを示します。
- ・ddH/Odddddddはデータ/値を示します。

パネル音色一覧

- ・プログラムチェンジを0 ~ 127で設定する場合は、下記一覧のプログラムチェンジナンバーから1を引いた数で指定します。たとえば、プログラムチェンジナンバー1のプログラムを指定する場合は、プログラムチェンジ=0になります。

音色グループ	音色名	Bank MSB	Bank LSB	Program Change (1-128)
GRANDPIANO1	GrandPiano1	0	122	1
	MellowPiano	0	123	1
	RockPiano	0	122	3
	HonkyTonkPiano	0	122	4
GRANDPIANO2	GrandPiano2	0	112	1
	BrightPiano	0	112	2
E.PIANO1	E.Piano1	0	122	6
	SynthPiano	0	122	89
E.PIANO2	E.Piano2	0	122	5
	Vintage E.Piano	0	123	5
HARPSICHORD	Harpsichord8'	0	122	7
	Harpsichord8'+4'	0	123	7
E.CLAVICHORD	E.Clavichord	0	122	8
	Wah Clavi.	0	123	8
VIBRAPHONE	Vibraphone	0	122	12
	Marimba	0	122	13
	Celesta	0	122	9
GUITAR	NylonGuitar	0	122	25
	SteelGuitar	0	122	26

音色グループ	音色名	Bank MSB	Bank LSB	Program Change (1-128)
CHURCHORGAN	PipeOrganPrincipal	0	123	20
	PipeOrganTutti	0	122	20
	PipeOrganFlute1	0	124	20
	PipeOrganFlute2	0	125	20
JAZZORGAN	JazzOrgan	0	122	17
	RotaryOrgan	0	124	17
STRINGS	MellowOrgan	0	125	17
	Strings	0	122	49
	SynthStrings	0	122	51
CHOIR	SlowStrings	0	122	50
	Choir	0	122	53
	SlowChoir	0	123	53
SYNTH.PAD	Scat	0	122	54
	SynthPad1	0	122	90
WOOD BASS	SynthPad2	0	123	89
	WoodBass	0	122	33
E.BASS	Bass&Cymbal	0	124	33
	ElectricBass	0	122	34
	FretlessBass	0	122	36

MIDI CHANNEL MESSAGE (1)

MIDI Events	[MIDI (CLP)]										[本体シーケンサー]				
	Status byte	1st Data byte			2nd Data byte			MIDI受信(各PARTの受信有無)			MIDI送信(データ発生元)		PLAY		REC
	Status	Data (Hex)	Parameter	Data (Hex)	Parameter	Song	Main Layer Left Left-layer	Keyboard	Panel (主な出力方法)	Song	MIDI	PLAY	REW	Panelからの録音	
Key Off [GM1] [GM2]	8nH (n: Channel Number)	kk	Key no. (0-127)	vv	Velocity (0-127)	○	○	○	×	○	×	○	×	×	
Key On [GM1] [GM2]	9nH (n: Channel Number)	kk	Key no. (0-127)	vv	Key On: vv=1-127 Key Off: vv=0	○	○	○	○ (鍵盤)	○	×	○	×	○	
Control Change	BnH	0 (00H)	Bank Select MSB [GM2]	0 (00H) 64 (40H) 118 (76H) 119 (77H) 120 (78H) 121 (79H) 126 (7EH) 127 (7FH)	Normal SFX voice GS Rhythm GS Normal GM2 Rhythm GM2 Normal SFX kit Drum kit	○	○	○ (Main)	○ (Voice)	○	×	○	○	○	
		1 (01H)	Modulation [GM1] [GM2]	0-127 (00H...7FH)	Data	○	○	○ (全手弾き/パート)	×	○	×	○	○	×	
		5 (05H)	Portamento Time [GM2]	0-127 (00H...7FH)	Data	○	○	○ (全手弾き/パート)	×	○	×	○	○	×	
		6 (06H)	Data Entry MSB [GM2]	0-127 (00H...7FH)	Data	○	○	○ (全手弾き/パート)	○ (Voice Setting)	○	×	○	○	○	
		7 (07H)	Main Volume [GM1] [GM2]	0-127 (00H...7FH)	Data	○	○	○ (全手弾き/パート)	○ (Voice Setting)	○	×	○	○	○	
		10 (0AH)	Panpot [GM1] [GM2]	0-127 (00H...7FH)	L64...C...R63	○	○	○ (全手弾き/パート)	○ (Voice Setting)	○	×	○	○	○	
		11 (0BH)	Expression [GM1] [GM2]	0-127 (00H...7FH)	Data	○	○	○ (全手弾き/パート)	○ (Pedal)	○	×	○	○	○	
		32 (20H)	Bank Select LSB [GM2]	0-127 (00H...7FH)	Data	○	○	○ (全手弾き/パート)	○ (Voice)	○	×	○	○	○	
		38 (26H)	Data Entry LSB [GM2]	0-127 (00H...7FH)	Data	○	○	○ (全手弾き/パート)	○ (Voice Setting)	○	×	○	×	○	
		64 (40H)	Sustain (Damper) [GM1] [GM2]	0-127 (00H...7FH)	Data	○	○	○ (全手弾き/パート)	○ (Pedal)	○	×	○	○	○	
		65 (41H)	Portamento [GM2]	0-127 (00H...7FH)	0...63, 64...127 (OFF, ON)	○	○	○ (全手弾き/パート)	×	○	×	○	○	×	
		66 (42H)	Sostenuto [GM2]	0-127 (00H...7FH)	0...63, 64...127 (OFF, ON)	○	○	○ (全手弾き/パート)	○ (Pedal)	○	×	○	○	○	
		67 (43H)	Soft Pedal [GM2]	0-127 (00H...7FH)	0...63, 64...127 (OFF, ON)	○	○	○ (全手弾き/パート)	○ (Pedal)	○	×	○	○	○	
		71 (47H)	Harmonic Content [GM2]	0-127 (00H...7FH)	-64...0...+63	○	○	○ (全手弾き/パート)	○ (Voice Setting)	○	×	○	○	○	
		72 (48H)	Release Time [GM2]	0-127 (00H...7FH)	-64...0...+63	○	○	○ (全手弾き/パート)	×	○	×	○	○	×	
		73 (49H)	Attack Time [GM2]	0-127 (00H...7FH)	-64...0...+63	○	○	○ (全手弾き/パート)	×	○	×	○	○	×	
		74 (4AH)	Brightness [GM2]	0-127 (00H...7FH)	-64...0...+63	○	○	○ (全手弾き/パート)	○ (Voice Setting)	○	×	○	○	○	
		75 (4BH)	Decay Time [GM2]	0-127 (00H...7FH)	-64...0...+63	○	○	○ (全手弾き/パート)	×	○	×	○	○	×	
		76 (4CH)	Vibrate Rate [GM2]	0-127 (00H...7FH)	-64...0...+63	○	○	○ (全手弾き/パート)	×	○	×	○	○	×	
		77 (4DH)	Vibrate Depth [GM2]	0-127 (00H...7FH)	-64...0...+63	○	○	○ (全手弾き/パート)	×	○	×	○	○	×	
		78 (4EH)	Vibrate Delay [GM2]	0-127 (00H...7FH)	-64...0...+63	○	○	○ (全手弾き/パート)	×	○	×	○	○	×	
		84 (54H)	Portamento Control	0-127 (00H...7FH)	Key no. (0-127)	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×
		91 (5BH)	Effect1 Depth (Reverb Send Level) [GM2]	0-127 (00H...7FH)	Data	○	○	○ (全手弾き/パート)	○ (Voice Setting)	○	×	○	○	○	
		93 (5DH)	Effect3 Depth (Chorus Send Level) [GM2]	0-127 (00H...7FH)	Data	○	○	○ (全手弾き/パート)	○ (Voice Setting)	○	×	○	○	○	
		94 (5EH)	Effect4 Depth (Variation Send Level)	0-127 (00H...7FH)	Data	○	○	○	×	○	×	○	○	×	
		96 (60H)	RPN Increment	-	-	データバイトは無視する	○	○	×	×	○	×	○	×	×
		97 (61H)	RPN Decrement	-	-	データバイトは無視する	○	○	×	×	○	×	○	×	×
98 (62H)	NRPN LSB	0-127 (00H...7FH)	Data	○	○	○	×	×	○	×	○	×			
99 (63H)	NRPN MSB	0-127 (00H...7FH)	Data	○	○	○	×	×	○	×	○	×			
100 (64H)	RPN LSB [GM2]	0-127 (00H...7FH)	Data	○	○	○ (全手弾き/パート)	○ (Voice Setting)	○	×	○	○	○			
101 (65H)	RPN MSB [GM2]	0-127 (00H...7FH)	Data	○	○	○ (全手弾き/パート)	○ (Voice Setting)	○	×	○	○	○			
Mode Message	BnH (n: Channel Number)	120 (78H)	All Sound Off [GM2]	0 (00H)	Data	○	○	○ (全手弾き/パート)	×	○	×	○	×		
		121 (79H)	Reset All Controllers [GM1] [GM2]	0 (00H)	Data	○	×	×	×	○	×	○	×		
		122 (7AH)	Local Control	0 (00H) 127 (7FH)	OFF ON			○		×	×	×	×		
		123 (7BH)	All Note Off [GM1] [GM2]	0 (00H)	Data	○	○	○ (全手弾き/パート)	×	○	×	○	×		
		124 (7CH)	Omni Off [GM2]	0 (00H)	Data	○	×	×	×	○	×	○	×		
		125 (7DH)	Omni On [GM2]	0 (00H)	Data	○	×	×	×	○	×	○	×		
		126 (7EH)	Mono [GM2]	0-16 (00H...10H)	Data	○	×	×	×	○	×	○	×		
127 (7FH)	Poly [GM2]	0 (00H)	Data	○	×	×	×	○	×	○	×				
Program Change [GM1] [GM2]	CnH (n: Channel Number)	pp (00H...7FH)	音色番号 (0-127)	-	-	-	○	○ (Main)	○ (Voice)	○	×	○	○		
Channel After Touch [GM1] [GM2]	DnH (n: Channel Number)	vv (00H...7FH)	Data	-	-	-	○	○ (全手弾き/パート)	×	○	×	○	×		
Polyphonic After Touch	AnH (n: Channel Number)	kk (00H...7FH)	Key no. (0-127)	vv (00H...7FH)	Data	○	×	×	×	○	×	○	×		
PitchBend Change [GM1] [GM2]	EnH (n: Channel Number)	cc (00H...7FH)	LSB	dd (00H...7FH)	MSB	○	○	○ (全手弾き/パート)	○ (Pedal)	○	×	○	○		

MIDI Events	[MIDI (CLP)]															[本体シーケンサー]		
	Status byte		1st Data byte			2nd Data byte			MIDI受信(各PARTの受信有無)			MIDI送信(データ発生元)			PLAY		REC	
	Status	Data (Hex)	Parameter	Data (Hex)	Parameter	Song	Main Layer Left Left-layer	Keyboard	Panel (主な出力方法)	Song	MIDI	PLAY	REW	Panelからの録音				
Realtime Message	FBH MIDI Clock	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	
	FAH Start	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	
	FBH Continue	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	
	FCH Stop	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	
	FDH Active Sens [GM2]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	
	FEH System Reset	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	

MIDI CHANNEL MESSAGE (2)

NRPN (ノンレジスタード パラメーター ナンバー) 対応パラメーター

NRPN		Data Entry		Parameter	Data Range	MIDI受信(各PARTの受信有無)			MIDI送信(データ発生元)			PLAY		REC
MSB	LSB	MSB	LSB			Song	Main Layer Left Left-layer	Keyboard	Panel (主な出力方法)	Song	MIDI	PLAY	REW	Panelからの録音
01H	08H	mmH	-	Vibrato Rate	mm: 00H-40H-7FH (-64...+63)	○	○	×	×	○	×	○	○	×
01H	09H	mmH	-	Vibrato Depth	mm: 00H-40H-7FH (-64...+63)	○	○	×	×	○	×	○	○	×
01H	0AH	mmH	-	Vibrato Delay	mm: 00H-40H-7FH (-64...+63)	○	○	×	×	○	×	○	○	×
01H	20H	mmH	-	Low Pass Filter Cutoff Frequency	mm: 00H-40H-7FH (-64...+63)	○	×	×	×	○	×	○	○	×
01H	21H	mmH	-	Low Pass Filter Resonance	mm: 00H-40H-7FH (-64...+63)	○	×	×	×	○	×	○	○	×
01H	30H	mmH	-	EQ BASS	mm: 00H-40H-7FH (-64...+63)	○	×	×	×	○	×	○	○	×
01H	31H	mmH	-	EQ TREBLE	mm: 00H-40H-7FH (-64...+63)	○	×	×	×	○	×	○	○	×
01H	34H	mmH	-	EQ BASS Frequency	mm: 04H-28H (32...20k[Hz])	○	×	×	×	○	×	○	○	×
01H	35H	mmH	-	EQ TREBLE Frequency	mm: 1CH-3AH (500...16.0k[Hz])	○	×	×	×	○	×	○	○	×
01H	63H	mmH	-	EG Attack Time	mm: 00H-40H-7FH (-64...+63)	○	×	×	×	○	×	○	○	×
01H	64H	mmH	-	EG Decay Time	mm: 00H-40H-7FH (-64...+63)	○	×	×	×	○	×	○	○	×
01H	66H	mmH	-	EG Release	mm: 00H-40H-7FH (-64...+63)	○	×	×	×	○	×	○	○	×
14H	rrH	mmH	-	Drum Low Pass Filter Cutoff Frequency	rr: drum instrument note number mm: 00H-40H-7FH (-64...+63)	○	×	×	×	○	×	○	×	×
15H	rrH	mmH	-	Drum Low Pass Filter Resonance	rr: drum instrument note number mm: 00H-40H-7FH (-64...+63)	○	×	×	×	○	×	○	×	×
16H	rrH	mmH	-	Drum EG Attack Rate	rr: drum instrument note number mm: 00H-40H-7FH (-64...+63)	○	×	×	×	○	×	○	×	×
17H	rrH	mmH	-	Drum EG Decay Rate	rr: drum instrument note number mm: 00H-40H-7FH (-64...+63)	○	×	×	×	○	×	○	×	×
18H	rrH	mmH	-	Drum Pitch Coarse	rr: drum instrument note number mm: 00H-40H-7FH (-64...+63)	○	×	×	×	○	×	○	×	×
19H	rrH	mmH	-	Drum Pitch Fine	rr: drum instrument note number mm: 00H-40H-7FH (-64...+63)	○	×	×	×	○	×	○	×	×
1AH	rrH	mmH	-	Drum Level	rr: drum instrument note number mm: 00H-7FH (0...127)	○	×	×	×	○	×	○	×	×
1CH	rrH	mmH	-	Drum Pan	rr: drum instrument note number mm: 00H, 01H-40H-7FH (RND, L63...C...R63)	○	×	×	×	○	×	○	×	×
1DH	rrH	mmH	-	Drum Reverb Send Level	rr: drum instrument note number mm: 00H-7FH (0...127)	○	×	×	×	○	×	○	×	×
1EH	rrH	mmH	-	Drum Chorus Send Level	rr: drum instrument note number mm: 00H-7FH (0...127)	○	×	×	×	○	×	○	×	×
1FH	rrH	mmH	-	Drum Variation Send Level	rr: drum instrument note number mm: 00H-7FH (0...127) (Variation Connection = SYSTEMのとき) mm: 00H, 01H-7FH (OFF, ON) (Variation Connection = INSERTIONのとき)	○	×	×	×	○	×	○	×	×
24H	rrH	mmH	-	Drum HPF Cutoff Frequency	rr: drum instrument note number mm: 00H-40H-7FH (-64...+63)	×	×	×	×	×	×	×	×	×
30H	rrH	mmH	-	Drum EQ Bass Gain	rr: drum instrument note number mm: 00H-7FH (0...127)	×	×	×	×	×	×	×	×	×
31H	rrH	mmH	-	Drum EQ Treble Gain	rr: drum instrument note number mm: 00H-7FH (0...127)	×	×	×	×	×	×	×	×	×
34H	rrH	mmH	-	Drum EQ Bass Frequency	rr: drum instrument note number mm: 04H-28H (32...20k[Hz])	×	×	×	×	×	×	×	×	×
35H	rrH	mmH	-	Drum EQ Treble Frequency	rr: drum instrument note number mm: 1CH-3AH (500...16.0k[Hz])	×	×	×	×	×	×	×	×	×
40H	rrH	mmH	-	Drum VELOCITY PITCH SENS.	rr: drum instrument note number mm: 00H-0FH (0...15)	×	×	×	×	×	×	×	×	×
41H	rrH	mmH	-	Drum VELOCITY LPF CUTOFF SENS.	rr: drum instrument note number mm: 00H-0FH (0...15)	×	×	×	×	×	×	×	×	×

NRPN MSB: 14H-1FH (ドラム用)はそのパートが、ドラムモードのとき受信する。
Data Entry LSB値は無視する。

RPN (レジスタード パラメーター ナンバー) 対応パラメーター

NRPN		Data Entry		Parameter	Data Range	MIDI受信(各PARTの受信有無)			MIDI送信(データ発生元)			PLAY		REC
MSB	LSB	MSB	LSB			Song	Main Layer Left Left-layer	Keyboard	Panel (主な出力方法)	Song	MIDI	PLAY	REW	Panelからの録音
00H	00H	mmH	-	Pitch Bend Sensitivity [GM1] [GM2]	mm: 00H-18H (0...+24[semitones])	○	○	○ (全手弾きパート)	○ (Function)	○	×	○	○	○
00H	01H	mmH	IIH	Fine Tune [GM1] [GM2]	mm II: 00H 00H -100[cent] ... mm II: 40H 00H 0[cent] ... mm II: 7FH 7FH 100[cent]	○	○	○ (全手弾きパート)	○ (Voice Setting)	○	×	○	○	○
00H	02H	mmH	-	Coarse Tune [GM1] [GM2]	mm: 28H-40H-58H (-24...+24[semitones])	○	○	○ (全手弾きパート)	×	○	×	○	○	×
00H	05H	mmH	IIH	Modulation Sensitivity [GM2]	mm: 半音単位で設定 II: 100/128セント単位で設定	○	×	×	×	○	×	○	×	×
7FH	7FH	-	-	Null [GM2]	-	○	×	×	×	○	×	○	×	×

付録

MIDI PARAMETER CHANGE TABLE

*Receive System Exclusive Messageの設定がOFFのときには受信しません。

*Transmit System Exclusive Messageの設定がOFFのときには送信しません。

MIDI Parameter Change table (XG SYSTEM)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter	Description	XG Default (H)	[MIDI (CLP)]			[本体シーケンサー]							
						MIDI受信(各PARTの発音への効果の有無)			MIDI送信(データ発生元)		PLAY		REC			
						Song	Main Layer Left Left-layer	Keyboard	Panel (主な出力方法)	Song	MIDI	PLAY	REW	Panelからの録音		
00	00	00 01 02 03	00-0F 00-0F 00-0F	MASTER TUNE	-102.4...0...+102.3[cent] 1st bit3-0→bit15-12 2nd bit3-0→bit11-8 3rd bit3-0→bit7-4 4th bit3-0→bit3-0	*Panel設定値		○		×		○	×	○	×	×
	04	1	00-7F	MASTER VOLUME	0...127	7F	○	×	×	×	○	×	○	○	×	×
	05	1	00-7F	MASTER ATTENUATOR	0...127	00	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	06	1	28-58	TRANSPOSE	-24...0...+24[semitones]	40	○	×	×	×	○	×	○	○	○	×
	7D	1	N	DRUM SETUP RESET	N: Drum setup number	-	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×
	7E	1	00	XG SYSTEM ON	00=XG system ON	-	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×
	7F	1	00	ALL PARAMETER RESET	00=ON	-	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×

TOTAL SIZE 07

MIDI Parameter Change table (SYSTEM INFORMATION)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter	Description	XG Default (H)	[MIDI (CLP)]			[本体シーケンサー]						
						MIDI受信(各PARTの発音への効果の有無)			MIDI送信(データ発生元)		PLAY		REC		
						Song	Main Layer Left Left-layer	Keyboard	Panel (主な出力方法)	Song	MIDI	PLAY	REW	Panelからの録音	
01	00	00 ... 0D	20-7F ... 20-7F	Model Name 1 ... Model Name 14	32...127 (ASCII CHARACTER) ... 32...127 (ASCII CHARACTER)	-	-	-	×	×	○	×	×	×	×
	0E	1		NOT USED											
	0F	1		NOT USED											

TOTAL SIZE 10

Dump Requestにより、送信される。受信は行なわない。

MIDI Parameter Change table (EFFECT1)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter	Description	XG Default (H)	[MIDI (CLP)]			[本体シーケンサー]						
						MIDI受信(各PARTの発音への効果の有無)			MIDI送信(データ発生元)		PLAY		REC		
						Song	Main Layer Left Left-layer	Keyboard	Panel (主な出力方法)	Song	MIDI	PLAY	REW	Panelからの録音	
02	01	00	2	00-7F	REVERB TYPE MSB REVERB TYPE LSB	エフェクトパラメーター一覧参照 "	01(=HALL1) 00	○		○	×	○	○	○	×
	02	1	00-7F	REVERB PARAMETER 1	"	Reverb Typeに依存	○ (Reverb Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×	
	03	1	00-7F	REVERB PARAMETER 2	"	Reverb Typeに依存	○ (Reverb Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×	
	04	1	00-7F	REVERB PARAMETER 3	"	Reverb Typeに依存	○ (Reverb Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×	
	05	1	00-7F	REVERB PARAMETER 4	"	Reverb Typeに依存	○ (Reverb Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×	
	06	1	00-7F	REVERB PARAMETER 5	"	Reverb Typeに依存	○ (Reverb Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×	
	07	1	00-7F	REVERB PARAMETER 6	"	Reverb Typeに依存	○ (Reverb Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×	
	08	1	00-7F	REVERB PARAMETER 7	"	Reverb Typeに依存	○ (Reverb Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×	
	09	1	00-7F	REVERB PARAMETER 8	"	Reverb Typeに依存	○ (Reverb Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×	
	0A	1	00-7F	REVERB PARAMETER 9	"	Reverb Typeに依存	○ (Reverb Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×	
	0B	1	00-7F	REVERB PARAMETER 10	"	Reverb Typeに依存	○ (Reverb Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×	
	0C	1	00-7F	REVERB RETURN	→dB...0dB...+6dB (0...64...127)	40	○	×	○	×	○	○	○	×	
	0D	1	01-7F	REVERB PAN	L63...C...R63	40	○	×	○	×	○	○	○	×	

TOTAL SIZE 0E

02	01	10	1	00-7F	REVERB PARAMETER 11	エフェクトパラメーター一覧参照	Reverb Typeに依存	○ (Reverb Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×
	11	1	00-7F	REVERB PARAMETER 12	"	Reverb Typeに依存	○ (Reverb Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×	
	12	1	00-7F	REVERB PARAMETER 13	"	Reverb Typeに依存	○ (Reverb Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×	
	13	1	00-7F	REVERB PARAMETER 14	"	Reverb Typeに依存	○ (Reverb Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×	
	14	1	00-7F	REVERB PARAMETER 15	"	Reverb Typeに依存	○ (Reverb Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×	
	15	1	00-7F	REVERB PARAMETER 16	"	Reverb Typeに依存	○ (Reverb Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×	

TOTAL SIZE 06

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter	Description	XG Default (H)	[MIDI (CLP)]			[本体シーケンサー]					
						MIDI受信(各PARTの発音への効果の有無)			MIDI送信(データ発生元)		PLAY		REC	
						Song	Main Layer Left Left-layer	Keyboard	Panel (主な出力方法)	Song	MIDI	PLAY	REW	Panelからの録音
02	01	20	2	00-7F	CHORUS TYPE MSB CHORUS TYPE LSB	エフェクトパラメーター一覧参照 "	01(=CHORUS1) 00	○		○	×	○	○	○
	22	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 1	"	Chorus Typeに依存	○ (Chorus Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×
	23	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 2	"	Chorus Typeに依存	○ (Chorus Typeに依存)	×	○	×	○	○	○	×

MIDIデータフォーマット

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter	Description	XG Default (H)	[MIDI (CLP)]			[本体シーケンサー]					
						MIDI受信(各PARTの発音への効果の有無)			MIDI送信(データ発生元)			PLAY		REC
						Song	Main Layer Left	Keyboard	Panel (主な出力方法)	Song	MIDI	PLAY	REW	Panelからの録音
		24	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 3	エフェクトパラメーター一覧参照	Chorus Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		25	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 4	"	Chorus Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		26	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 5	"	Chorus Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		27	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 6	"	Chorus Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		28	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 7	"	Chorus Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		29	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 8	"	Chorus Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		2A	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 9	"	Chorus Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		2B	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 10	"	Chorus Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		2C	1	00-7F	CHORUS RETURN	→dB...0dB...+6dB (0...64...127)	40	○	○	×	○	○	×	
		2D	1	01-7F	CHORUS PAN	L63...C...R63	40	○	○	×	○	○	×	
		2E	1	00-7F	SEND CHORUS TO REVERB	→dB...0dB...+6dB (0...64...127)	00	○	○	×	○	○	×	
TOTAL SIZE		0F												

02	01	30	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 11	エフェクトパラメーター一覧参照	Chorus Typeに依存	○	○	×	○	○	×
		31	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 12	"	Chorus Typeに依存	○	○	×	○	○	×
		32	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 13	"	Chorus Typeに依存	○	○	×	○	○	×
		33	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 14	"	Chorus Typeに依存	○	○	×	○	○	×
		34	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 15	"	Chorus Typeに依存	○	○	×	○	○	×
		35	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 16	"	Chorus Typeに依存	○	○	×	○	○	×
TOTAL SIZE		06											

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter	Description	XG Default (H)	[MIDI (CLP)]			[本体シーケンサー]					
						MIDI受信(各PARTの発音への効果の有無)			MIDI送信(データ発生元)			PLAY		REC
						Song	Main Layer Left	Keyboard	Panel (主な出力方法)	Song	MIDI	PLAY	REW	Panelからの録音
02	01	40	2	00-7F 00-7F	VARIATION TYPE MSB VARIATION TYPE LSB	エフェクトパラメーター一覧参照 "	05 (=DELAY L, C, R) 00	○	○	×	○	○	×	
		42	2	00-7F 00-7F	VARIATION PARAMETER 1 MSB VARIATION PARAMETER 1 LSB	"	Variation Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		44	2	00-7F 00-7F	VARIATION PARAMETER 2 MSB VARIATION PARAMETER 2 LSB	"	Variation Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		46	2	00-7F 00-7F	VARIATION PARAMETER 3 MSB VARIATION PARAMETER 3 LSB	"	Variation Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		48	2	00-7F 00-7F	VARIATION PARAMETER 4 MSB VARIATION PARAMETER 4 LSB	"	Variation Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		4A	2	00-7F 00-7F	VARIATION PARAMETER 5 MSB VARIATION PARAMETER 5 LSB	"	Variation Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		4C	2	00-7F 00-7F	VARIATION PARAMETER 6 MSB VARIATION PARAMETER 6 LSB	"	Variation Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		4E	2	00-7F 00-7F	VARIATION PARAMETER 7 MSB VARIATION PARAMETER 7 LSB	"	Variation Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		50	2	00-7F 00-7F	VARIATION PARAMETER 8 MSB VARIATION PARAMETER 8 LSB	"	Variation Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		52	2	00-7F 00-7F	VARIATION PARAMETER 9 MSB VARIATION PARAMETER 9 LSB	"	Variation Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		54	2	00-7F 00-7F	VARIATION PARAMETER 10 MSB VARIATION PARAMETER 10 LSB	"	Variation Typeに依存	○	○	×	○	○	×	
		56	1	00-7F	VARIATION RETURN	→dB...0dB...+6dB (0...64...127)	40	○	○	×	○	○	×	
		57	1	01-7F	VARIATION PAN	L63...C...R63	40	○	○	×	○	○	×	
		58	1	00-7F	SEND VARIATION TO REVERB	→dB...0dB...+6dB (0...64...127)	00	○	○	×	○	○	×	
		59	1	00-7F	SEND VARIATION TO CHORUS	→dB...0dB...+6dB (0...64...127)	00	○	○	×	○	○	×	
		5A	1	00-01	VARIATION CONNECTION	INSERTION, SYSTEM	00	○	○	×	○	○	×	
		5B	1	00-7F	VARIATION PART NUMBER	受信: Part1...16 (0...15) 送信: Part1...16 (0...15) AD (64) OFF (127)	7F	○	○	×	○	○	×	
		5C	1	00-7F	MW VARIATION CONTROL DEPTH	-64...0...+63	40	○	○	×	○	○	×	
		5D	1	00-7F	BEND VARIATION CONTROL DEPTH	-64...0...+63	40	○	○	×	○	○	×	
		5E	1	00-7F	CAT VARIATION CONTROL DEPTH	-64...0...+63	40	○	○	×	○	○	×	
		5F	1	00-7F	AC1 VARIATION CONTROL DEPTH	-64...0...+63	40	○	○	×	○	○	×	
		60	1	00-7F	AC2 VARIATION CONTROL DEPTH	-64...0...+63	40	○	○	×	○	○	×	
TOTAL SIZE		21												

02	01	30	1	00-7F	VARIATION PARAMETER 11	エフェクトパラメーター一覧参照	Variation Typeに依存	○	○	×	○	○	×
		31	1	00-7F	VARIATION PARAMETER 12	"	Variation Typeに依存	○	○	×	○	○	×
		32	1	00-7F	VARIATION PARAMETER 13	"	Variation Typeに依存	○	○	×	○	○	×
		33	1	00-7F	VARIATION PARAMETER 14	"	Variation Typeに依存	○	○	×	○	○	×
		34	1	00-7F	VARIATION PARAMETER 15	"	Variation Typeに依存	○	○	×	○	○	×
		35	1	00-7F	VARIATION PARAMETER 16	"	Variation Typeに依存	○	○	×	○	○	×
TOTAL SIZE		06											

MIDI Parameter Change table (MULTI EQ)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter	Description	[MIDI (CLP)]			[本体シーケンサー]						
					MIDI受信(各PARTの発音への効果の有無)			MIDI送信(データ発生元)		PLAY		REC		
					Song	Main Layer Left Left-layer	Keyboard	Panel (主な出力方法)	Song	MIDI	PLAY	REW	Panelからの録音	
02	40	00	1	00-04	EQ TYPE	flat, jazz, pops, rock, classic				X	X	X	X	X
		01	1	34-4C	EQ GAIN1	-12...0...+12[dB]				X	X	X	X	X
		02	1	04-28	EQ FREQUENCY1	32...2.0k[Hz]				X	X	X	X	X
		03	1	01-78	EQ Q1	0.1...12.0				X	X	X	X	X
		04	1	00-01	EQ SHAPE1	shelving, peaking				X	X	X	X	X
		05	1	34-4C	EQ GAIN2	-12...0...+12[dB]				X	X	X	X	X
		06	1	0E-36	EQ FREQUENCY2	100...10.0k[Hz]				X	X	X	X	X
		07	1	01-78	EQ Q2	0.1...12.0				X	X	X	X	X
		08	1		NOT USED									
		09	1	34-4C	EQ GAIN3	-12...0...+12[dB]				X	X	X	X	X
		0A	1	0E-36	EQ FREQUENCY3	100...10.0k[Hz]				X	X	X	X	X
		0B	1	01-78	EQ Q3	0.1...12.0				X	X	X	X	X
		0C	1		NOT USED									
		0D	1	34-4C	EQ GAIN4	-12...0...+12[dB]				X	X	X	X	X
		0E	1	0E-36	EQ FREQUENCY4	100...10.0k[Hz]				X	X	X	X	X
		0F	1	01-78	EQ Q4	0.1...12.0				X	X	X	X	X
		10	1		NOT USED									
		11	1	34-4C	EQ GAIN5	-12...0...+12[dB]				X	X	X	X	X
		12	1	1C-3A	EQ FREQUENCY5	0.5k...16.0k[Hz]				X	X	X	X	X
		13	1	01-78	EQ Q5	0.1...12.0				X	X	X	X	X
		14	1	00-01	EQ SHAPE5	shelving, peaking				X	X	X	X	X

TOTAL SIZE 15

*MULTI EQはXG System Onでリセットされません。

MIDI Parameter Change table (EFFECT2)

*EFFECT2はXG System Onでリセットされません。

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter	Description	[MIDI (CLP)]			[本体シーケンサー]						
					MIDI受信(各PARTの発音への効果の有無)			MIDI送信(データ発生元)		PLAY		REC		
					Song	Main Layer Left Left-layer	Keyboard	Panel (主な出力方法)	Song	MIDI	PLAY	REW	Panelからの録音	
03	n	00	2	00-7F	INSERTION EFFECT TYPE MSB	エフェクトパラメーター一覧参照								
		02	1	00-7F	INSERTION EFFECT TYPE LSB	"								
		03	1	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 1	"								
		04	1	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 2	"								
		05	1	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 3	"								
		06	1	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 4	"								
		07	1	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 5	"								
		08	1	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 6	"								
		09	1	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 7	"								
		0A	1	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 8	"								
		0B	1	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 9	"								
		0C	1	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 10	"								
		0D	1	00-7F	INSERTION EFFECT PART NUMBER	受信: Part1...16 (0...15) 送信: Part1...16 (0...15) AD (64) OFF (127)								
		0E	1	00-7F	MW INSERTION CONTROL DEPTH	-64...0...+63								
		0F	1	00-7F	BEND INSERTION CONTROL DEPTH	-64...0...+63								
		10	1	00-7F	CAT INSERTION CONTROL DEPTH	-64...0...+63								
		11	1	00-7F	AC1 INSERTION CONTROL DEPTH	-64...0...+63								

TOTAL SIZE 12

02	01	20	1	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 11	エフェクトパラメーター一覧参照								
		21	1	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 12	"								
		22	1	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 13	"								
		23	1	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 14	"								
		24	1	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 15	"								
		25	1	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 16	"								

TOTAL SIZE 6

		30	2	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 1 MSB	エフェクトパラメーター一覧参照								
				00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 1 LSB	"								
		32	2	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 2 MSB	"								
				00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 2 LSB	"								
		34	2	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 3 MSB	"								
				00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 3 LSB	"								
		36	2	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 4 MSB	"								
				00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 4 LSB	"								
		38	2	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 5 MSB	"								
				00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 5 LSB	"								
		3A	2	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 6 MSB	"								
				00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 6 LSB	"								
		3C	2	00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 7 MSB	"								
				00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 7 LSB	"								

MIDIデータフォーマット

	3E	2	00-7F 00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 8 MSB INSERTION EFFECT PARAMETER 8 LSB	エフェクトパラメーター一覧参照 //	○ (Insertion Typeに依存)	×	○	×	○	○	×
	40	2	00-7F 00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 9 MSB INSERTION EFFECT PARAMETER 9 LSB	//	○ (Insertion Typeに依存)	×	○	×	○	○	×
	42	2	00-7F 00-7F	INSERTION EFFECT PARAMETER 10 MSB INSERTION EFFECT PARAMETER 10 LSB	//	○ (Insertion Typeに依存)	○	○	×	○	○	○

TOTAL SIZE 14

addressの2byteめをインサージョンエフェクト番号とする。

n: insertion effect number

MSBが不要なEFFECT TYPE使用時は、アドレス02~0BのPARAMETERを受信し、アドレス30~42のPARAMETERは受信しない。

MSBが必要なEFFECT TYPE使用時は、アドレス30~42のPARAMETERを受信し、アドレス02~0BのPARAMETERは受信しない。

EFFECT TYPEの情報を含むバルクの送信は、アドレス02~0BのPARAMETERが必ず送信されるが、MSBが必要なEFFECT TYPEの場合は、バルク受信においてもアドレス02~0BのPARAMETERの受信をしない。

MIDI Parameter Change table (MULTI PART)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter	Description	XG Default (H)	[MIDI (CLP)]			[本体シーケンサー]						
						MIDI受信(各PARTの発音への効果の有無)			MIDI送信(データ発生元)		PLAY		REC		
						Song	Main Layer Left Layer	Keyboard	Panel (主な出力方法)	Song	MIDI	PLAY	REW	Panelからの録音	
08	nn	00	1	00-20	NOT USED		×	×	×	×	×	×	×	×	×
		01	1	00-7F	BANK SELECT MSB	0...127 part10=7F, other parts=00	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		02	1	00-7F	BANK SELECT LSB	0...127 00	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		03	1	00-7F	PROGRAM NUMBER	1...128 00	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		04	1	00-0F, 7F	Rcv CHANNEL	1...16, OFF Part No.	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		05	1	00-01	MONO/POLY MODE	MONO, POLY 01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		06	1	00-02	SAME NOTE NUMBER KEY ON ASSIGN	SINGLE, MULTI, INST (for Drum) 01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		07	1	00-03	PART MODE	NORMAL, DRUM, DRUMS1...2 part10=02, other parts=00	○	×	×	○ (Drum Voice)	○	×	○	×	○
		08	1	28-58	NOTE SHIFT	-24...0...+24[semitones] 40	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		09 0A	2	00-0F 00-0F	DETUNE	-12.8...0...+12.7[Hz] 1st bit3-0 → bit7-4 2nd bit3-0 → bit3-0 08 00	○	○	×	×	○	×	○	×	×
		0B	1	00-7F	VOLUME	0...127 64	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		0C	1	00-7F	VELOCITY SENSE DEPTH	0...127 40	○	○	×	○ (Voice Setting)	○	×	○	○	○
		0D	1	00-7F	VELOCITY SENSE OFFSET	0...127 40	○	○	×	○ (Voice Setting)	○	×	○	○	○
		0E	1	00-7F	PAN	RND, L63...C...R63 40	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		0F	1	00-7F	NOTE LIMIT LOW	C-2...G8 00	○	○	×	×	○	×	○	×	×
		10	1	00-7F	NOTE LIMIT HIGH	C-2...G8 7F	○	○	×	×	○	×	○	×	×
		11	1	00-7F	DRY LEVEL	0...127 7F	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		12	1	00-7F	CHORUS SEND	0...127 00	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		13	1	00-7F	REVERB SEND	0...127 28	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		14	1	00-7F	VARIATION SEND	0...127 00	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		15	1	00-7F	VIBRATO RATE	-64...0...+63 40	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		16	1	00-7F	VIBRATO DEPTH	-64...0...+63 40	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		17	1	00-7F	VIBRATO DELAY	-64...0...+63 40	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		18	1	00-7F	FILTER CUTOFF FREQUENCY	-64...0...+63 40	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		19	1	00-7F	FILTER RESONANCE	-64...0...+63 40	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		1A	1	00-7F	EG ATTACK TIME	-64...0...+63 40	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		1B	1	00-7F	EG DECAY TIME	-64...0...+63 40	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		1C	1	00-7F	EG RELEASE TIME	-64...0...+63 40	○	○	×	×	○	×	○	○	×
		1D	1	28-58	MW PITCH CONTROL	-24...0...+24[semitones] 40	○	○	×	×	○	×	○	×	×
		1E	1	00-7F	MW LOW PASS FILTER CONTROL	-9600...0...+9450[cent] 40	○	○	×	×	○	×	○	×	×
		1F	1	00-7F	MW AMPLITUDE CONTROL	-100...0...+100[%] 40	○	○	×	×	○	×	○	×	×
		20	1	00-7F	MW LFO PMOD DEPTH	0...127 0A	○	○	×	×	○	×	○	×	×
		21	1	00-7F	MW LFO FMOD DEPTH	0...127 00	○	○	×	×	○	×	○	×	×
		22	1	00-7F	MW LFO AMOD DEPTH	0...127 00	○	○	×	×	○	×	○	×	×
		23	1	28-58	BEND PITCH CONTROL	-24...0...+24[semitones] 42	○	○	×	×	○	×	○	×	×
		24	1	00-7F	BEND LOW PASS FILTER CONTROL	-9600...0...+9450[cent] 40	○	○	×	×	○	×	○	×	×
		25	1	00-7F	BEND AMPLITUDE CONTROL	-100...0...+100[%] 40	○	○	×	×	○	×	○	×	×
		26	1	00-7F	BEND LFO PMOD DEPTH	0...127 00	○	○	×	×	○	×	○	×	×
		27	1	00-7F	BEND LFO FMOD DEPTH	0...127 00	○	○	×	×	○	×	○	×	×
		28	1	00-7F	BEND LFO AMOD DEPTH	0...127 00	○	○	×	×	○	×	○	×	×

TOTAL SIZE 29

		30	1	00-01	Rcv PITCH BEND	OFF, ON	01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		31	1	00-01	Rcv CH AFTER TOUCH (CAT)	OFF, ON	01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		32	1	00-01	Rcv PROGRAM CHANGE	OFF, ON	01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		33	1	00-01	Rcv CONTROL CHANGE	OFF, ON	01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		34	1	00-01	Rcv POLY AFTER TOUCH (PAT)	OFF, ON	01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		35	1	00-01	Rcv NOTE MESSAGE	OFF, ON	01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		36	1	00-01	Rcv RPN	OFF, ON	01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		37	1	00-01	Rcv NRPN	OFF, ON	XGmode=01, GMmode=00	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		38	1	00-01	Rcv MODULATION	OFF, ON	01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		39	1	00-01	Rcv VOLUME	OFF, ON	01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		3A	1	00-01	Rcv PAN	OFF, ON	01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		3B	1	00-01	Rcv EXPRESSION	OFF, ON	01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		3C	1	00-01	Rcv HOLD1	OFF, ON	01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		3D	1	00-01	Rcv PORTAMENTO	OFF, ON	01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		3E	1	00-01	Rcv SOSTENUTO	OFF, ON	01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		3F	1	00-01	Rcv SOFT PEDAL	OFF, ON	01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		40	1	00-01	Rcv BANK SELECT	OFF, ON	01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		41	1	00-7F	SCALE TUNING C	-63...0...+63[cent] 40	○	○	×	○ (Function)	○	×	○	○	○	○
		42	1	00-7F	SCALE TUNING C#	-63...0...+63[cent] 40	○	○	×	○ (Function)	○	×	○	○	○	○
		43	1	00-7F	SCALE TUNING D	-63...0...+63[cent] 40	○	○	×	○ (Function)	○	×	○	○	○	○
		44	1	00-7F	SCALE TUNING D#	-63...0...+63[cent] 40	○	○	×	○ (Function)	○	×	○	○	○	○
		45	1	00-7F	SCALE TUNING E	-63...0...+63[cent] 40	○	○	×	○ (Function)	○	×	○	○	○	○

付録

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter	Description	XG Default (H)	[MIDI (CLP)]			[本体シーケンサー]					
						MIDI受信(各PARTの発音への効果の有無)			MIDI送信(データ発生元)		PLAY		REC	
						Song	Main Layer Left Layer	Keyboard	Panel (主な出力方法)	Song	MIDI	PLAY	REW	Panelからの録音
	46	1	00-7F	SCALE TUNING F	-63...0...+63[cent]	40	○	○	×	○	×	○	○	○
	47	1	00-7F	SCALE TUNING F#	-63...0...+63[cent]	40	○	○	×	○	×	○	○	○
	48	1	00-7F	SCALE TUNING G	-63...0...+63[cent]	40	○	○	×	○	×	○	○	○
	49	1	00-7F	SCALE TUNING G#	-63...0...+63[cent]	40	○	○	×	○	×	○	○	○
	4A	1	00-7F	SCALE TUNING A	-63...0...+63[cent]	40	○	○	×	○	×	○	○	○
	4B	1	00-7F	SCALE TUNING A#	-63...0...+63[cent]	40	○	○	×	○	×	○	○	○
	4C	1	00-7F	SCALE TUNING B	-63...0...+63[cent]	40	○	○	×	○	×	○	○	○
	4D	1	28-58	CAT PITCH CONTROL	-24...0...+24[semitones]	40	○	×	×	×	○	×	○	×
	4E	1	00-7F	CAT LOW PASS FILTER CONTROL	-9600...0...+9450[cent]	40	○	×	×	×	○	×	○	×
	4F	1	00-7F	CAT AMPLITUDE CONTROL	-100...0...+100[%]	40	○	×	×	×	○	×	○	×
	50	1	00-7F	CAT LFO PMOD DEPTH	0...127	00	○	×	×	×	○	×	○	×
	51	1	00-7F	CAT LFO FMOD DEPTH	0...127	00	○	×	×	×	○	×	○	×
	52	1	00-7F	CAT LFO AMOD DEPTH	0...127	00	○	×	×	×	○	×	○	×
	53	1	28-58	PAT PITCH CONTROL	-24...0...+24[semitones]	40	○	×	×	×	○	×	○	×
	54	1	00-7F	PAT LOW PASS FILTER CONTROL	-9600...0...+9450[cent]	40	○	×	×	×	○	×	○	×
	55	1	00-7F	PAT AMPLITUDE CONTROL	-100...0...+100[%]	40	○	×	×	×	○	×	○	×
	56	1	00-7F	PAT LFO PMOD DEPTH	0...127	00	○	×	×	×	○	×	○	×
	57	1	00-7F	PAT LFO FMOD DEPTH	0...127	00	○	×	×	×	○	×	○	×
	58	1	00-7F	PAT LFO AMOD DEPTH	0...127	00	○	×	×	×	○	×	○	×
	59	1	00-5F	AC1 CONTROLLER NUMBER	0...95	10	○	×	×	×	○	×	○	×
	5A	1	28-58	AC1 PITCH CONTROL	-24...0...+24[semitones]	40	○	×	×	×	○	×	○	×
	5B	1	00-7F	AC1 LOW PASS FILTER CONTROL	-9600...0...+9450[cent]	40	○	×	×	×	○	×	○	×
	5C	1	00-7F	AC1 AMPLITUDE CONTROL	-100...0...+100[%]	40	○	×	×	×	○	×	○	×
	5D	1	00-7F	AC1 LFO PMOD DEPTH	0...127	00	○	×	×	×	○	×	○	×
	5E	1	00-7F	AC1 LFO FMOD DEPTH	0...127	00	○	×	×	×	○	×	○	×
	5F	1	00-7F	AC1 LFO AMOD DEPTH	0...127	00	○	×	×	×	○	×	○	×
	60	1	00-5F	AC2 CONTROLLER NUMBER	0...95	11	○	×	×	×	○	×	○	×
	61	2	28-58	AC2 PITCH CONTROL	-24...0...+24[semitones]	40	○	×	×	×	○	×	○	×
	62	1	00-7F	AC2 LOW PASS FILTER CONTROL	-9600...0...+9450[cent]	40	○	×	×	×	○	×	○	×
	63	1	00-7F	AC2 AMPLITUDE CONTROL	-100...0...+100[%]	40	○	×	×	×	○	×	○	×
	64	1	00-7F	AC2 LFO PMOD DEPTH	0...127	00	○	×	×	×	○	×	○	×
	65	1	00-7F	AC2 LFO FMOD DEPTH	0...127	00	○	×	×	×	○	×	○	×
	66	1	00-7F	AC2 LFO AMOD DEPTH	0...127	00	○	×	×	×	○	×	○	×
	67	1	00-01	PORTAMENTO SWITCH	OFF, ON	00	○	○	×	×	○	×	○	×
	68	1	00-7F	PORTAMENTO TIME	0...127	00	○	○	×	×	○	×	○	×
	69	1	00-7F	PITCH EG INITIAL LEVEL	-64...0...+63	40	○	×	×	×	○	×	○	×
	6A	1	00-7F	PITCH EG ATTACK TIME	-64...0...+63	40	○	×	×	×	○	×	○	×
	6B	1	00-7F	PITCH EG RELEASE LEVEL	-64...0...+63	40	○	×	×	×	○	×	○	×
	6C	1	00-7F	PITCH EG RELEASE TIME	-64...0...+63	40	○	×	×	×	○	×	○	×
	6D	1	00-7F	VELOCITY LIMIT LOW	1...127	01	○	×	×	×	○	×	○	×
	6E	1	00-7F	VELOCITY LIMIT HIGH	1...127	7F	○	×	×	×	○	×	○	×
TOTAL SIZE		3F												

	70	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	71	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	72	1	00-7F	EQ BASS GAIN	-12dB...+12dB	40	○	○	×	○	×	○	○	○
	73	1	00-7F	EQ TREBLE GAIN	-12dB...+12dB	40	○	○	×	○	×	○	○	○
TOTAL SIZE		04												

	74	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	76	1	04-28	EQ BASS FREQUENCY	32...2.0k[Hz]	0C	○	○	×	○	×	○	○	○
	77	1	1C-3A	EQ TREBLE FREQUENCY	500...16.0k[Hz]	36	○	○	×	○	×	○	○	○
	78	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	78	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7A	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7B	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7C	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7D	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7E	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7F	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-
TOTAL SIZE		0C												

0A	nn	40	1	00-7F	MW OFFSET LEVEL CONTROL	-100...0...+100[%]	40	○	×	×	×	○	×	○	○	×
		41	1	00-7F	BEND OFFSET LEVEL CONTROL	-100...0...+100[%]	40	○	×	×	×	○	×	○	○	×
		42	1	00-7F	CAT OFFSET LEVEL CONTROL	-100...0...+100[%]	40	○	×	×	×	○	×	○	○	×
		43	1	00-7F	PAT OFFSET LEVEL CONTROL	-100...0...+100[%]	40	○	×	×	×	○	×	○	○	×
		44	1	00-7F	AC1 OFFSET LEVEL CONTROL	-100...0...+100[%]	40	○	×	×	×	○	×	○	○	×
		45	1	00-7F	AC2 OFFSET LEVEL CONTROL	-100...0...+100[%]	40	○	×	×	×	○	×	○	○	×
TOTAL SIZE		06														

nn = PART NUMBER

DRUM PARTの場合、以下のパラメータは効果がからない。

- BANK SELECT LSB
- PORTAMENTO
- MONO/POLY
- SCALE TUNING
- POLY AFTER TOUCH
- PITCH EG

MIDI Parameter Change table (DRUM SETUP)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter	Description	XG Default (H)	[MIDI (CLP)]			[本体シーケンサー]							
						MIDI受信(各PARTの発音への効果の有無)			MIDI送信(データ発生元)			PLAY		REC		
						Song	Main Layer Left Left-layer	Keyboard	Panel (主な出力方法)	Song	MIDI	PLAY	REW	Panelからの録音		
3n	rr	00	1	00-7F	PITCH COARSE	-64...0...+63	40	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		01	1	00-7F	PITCH FINE	-64...0...+63[cent]	40	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		02	1	00-7F	LEVEL	0...127	ノードに依存します	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		03	1	00-7F	ALTERNATE GROUP	OF, 0...127	ノードに依存します	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		04	1	00-7F	PAN	RND, L63...C...R63	ノードに依存します	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		05	1	00-7F	REVERB SEND	0...127	ノードに依存します	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		06	1	00-7F	CHORUS SEND	0...127	ノードに依存します	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		07	1	00-7F	VARIATION SEND	0...127	7F	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		08	1	00-01	KEY ASSIGN	SINGLE, MULTI	00	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		09	1	00-01	Rcv NOTE OFF	OFF, ON	ノードに依存します	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		0A	1	00-01	Rcv NOTE ON	OFF, ON	01	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		0B	1	00-7F	LOW PASS FILTER CUTOFF FREQUENCY	-64...0...+63	40	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		0C	1	00-7F	LOW PASS FILTER RESONANCE	-64...0...+63	40	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		0D	1	00-7F	EG ATTACK RATE	-64...0...+63	40	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		0E	1	00-7F	EG DECAY1 RATE	-64...0...+63	40	○	×	×	×	○	×	○	×	×
		0F	1	00-7F	EG DECAY2 RATE	-64...0...+63	40	○	×	×	×	○	×	○	×	×
TOTAL SIZE				10												

		20	1	00-7F	EQ BASS GAIN	-12dB...+12dB	40	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		21	1	00-7F	EQ TREBLE GAIN	-12dB...+12dB	40	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		22	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		23	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		24	1	04-2B	EQ BASS FREQUENCY	32...2.0k[Hz]	0C	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		25	1	1C-3A	EQ TREBLE FREQUENCY	500...16.0k[Hz]	36	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		26	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		27	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		28	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		29	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2A	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2B	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2C	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2D	1		NOT USED		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

TOTAL SIZE 0E

n: Drum Setup Number (0-1)

rr: note number (0D-5B)

すべてのDrum Setupを以下の場合に初期化する。

- XG SYSTEM ON受信
- GM SYSTEM ON受信
- GM LEVEL2 SYSTEM ON受信
- GS RESET受信
- DRUM SETUP RESET受信 (XG mode時)

[注意]

Drum Setupをアサインされているパートのプログラムチェンジを受信すると、アサインされているDrum Setupは初期化される。複数のパートが同じDrum Setupをアサインされている場合、Drum Setupパラメーターの変更(プログラムチェンジを含む)は、アサインされているすべてのパートに反映する。

System Exclusive Messages (1)

*Receive System Exclusive Messageの設定がOFFのときには受信しません。

*Transmit System Exclusive Messageの設定がOFFのときには送信しません。

■ システムエクスクルーシブメッセージ (ユニバーサルリアルタイムメッセージ)

MIDI Event	データフォーマット	[MIDI (CLP)]			[本体シーケンサー]						
		MIDI受信(各PARTの発音への効果の有無)			MIDI受信 (パネルへの効果)	MIDI送信(データ発生元)			PLAY		REC
		Song	Main Layer Left Left-layer	Keyboard		Panel (主な出力方法)	Song	MIDI	PLAY	REW	Panelからの録音
Master Volume [GM2]	F0 7F XN 04 01 SS TT F7 11110000 F0 = Exclusive status 01111111 7F = Universal Real Time 0xxxxnnn XN = When N is received N=0-F, whichever is received. X=ignored 00000100 04 = Sub-ID #1=Device Control Message 00000001 01 = Sub-ID #2=Master Volume 0sssssss SS = Volume LSB 0ttttttt TT = Volume MSB 11110111 F7 = End of Exclusive	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×
Master Fine Tuning [GM2]	F0 7F XN 04 03 SS TT F7 11110000 F0 = Exclusive status 01111111 7F = Universal Real Time 0xxxxnnn XN = When N is received N=0-F, whichever is received. X=ignored 00000100 04 = Sub-ID #1=Device Control Message 00000011 03 = Sub-ID #2=Master Fine Tuning 0sssssss SS = Volume LSB 0ttttttt TT = Volume MSB 11110111 F7 = End of Exclusive	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×
Master Coarse Tuning [GM2]	F0 7F XN 04 04 00 TT F7 11110000 F0 = Exclusive status 01111111 7F = Universal Real Time 0xxxxnnn XN = When N is received N=0-F, whichever is received. X=ignored 00000100 04 = Sub-ID #1=Device Control Message 00000000 00 04 = Sub-ID #2=Master Fine Tuning 00000000 00 0ttttttt TT = Coarse Tuning MSB 11110111 F7 = End of Exclusive	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×

付録

MIDI Event	データフォーマット	[MIDI (CLP)]			[本体シーケンサー]						
		MIDI受信(各PARTの発音への効果の有無)			MIDI受信 (パネルへの効果)	MIDI送信(データ発生元)			PLAY		REC Panel からの 録音
		Song	Main Layer Left Left-layer	Keyboard		Panel (主な出力方法)	Song	MIDI	PLAY	REW	
Reverb Parameter [GM2]	FO 7F XN 04 05 01 01 01 01 01 PP VV ... F7 11110000 F0 = Exclusive status 01111111 7F = Universal Real Time 0xxxxnnn XN = When N is received N=0-F, whichever is received. X=ignored 00000100 04 = Sub-ID #1=Device Control Message 00000101 05 = Sub-ID #2=Global Parameter Control 00000001 01 = Slot path length = 1 00000001 01 = Parameter ID width = 1 00000001 01 = Value width = 1 00000001 01 = Slot path MSB = 1 (Reverb) 00000001 01 = Slot path LSB = 1 0ppppppp PP = Parameter to be controlled. 0vvvvvvv VV = Value for the Parameter. ... 11110111 F7 = End of Exclusive Parameter (pp) Value (vv) Display ----- pp=0 Reverb Type 0..8 0: RoomS 1: RoomM 2: RoomL 3: HallM 4: HallL (default) 8: GM Plate pp=1 Reverb Time 0..128 0..11.0s	○			○	×	○	×	○	○	×
Chorus Parameter [GM2]	FO 7F XN 04 05 01 01 01 01 02 PP VV ... F7 11110000 F0 = Exclusive status 01111111 7F = Universal Real Time 0xxxxnnn XN = When N is received N=0-F, whichever is received. X=ignored 00000100 04 = Sub-ID #1=Device Control Message 00000101 05 = Sub-ID #2=Global Parameter Control 00000001 01 = Slot path length = 1 00000001 01 = Parameter ID width = 1 00000001 01 = Value width = 1 00000001 01 = Slot path MSB = 1 (Chorus) 00000010 02 = Slot path LSB = 2 0ppppppp PP = Parameter to be controlled. 0vvvvvvv VV = Value for the Parameter. ... 11110111 F7 = End of Exclusive Parameter (pp) Value (vv) Display ----- pp=0 Chorus Type 0...5 0: GM Chorus1 1: GM Chorus2 2: GM Chorus3 (default) 3: GM Chorus4 4: FB Chorus 5: GM Flanger pp=1 Mod Rate 0..127 0...15.5Hz pp=2 Mod Depth 0..127 pp=3 Feedback 0..127 pp=4 Send to Reverb 0..127	○			○	×	○	×	○	○	×
Channel Pressure (Aftertouch) [GM2]	FO 7F XN 09 01 0M PP RR ... F7 11110000 F0 = Exclusive status 01111111 7F = Universal Real Time 0xxxxnnn XN = When N is received N=0-F, whichever is received. X=ignored 00001001 09 = Sub-ID #1=Controller Destination Setting 00000001 01 = Sub-ID #2=Controller Type: 01 (Channel Pressure) 0000mmmm 0M = MIDI Channel (00-0F) 0ppppppp PP = Controlled Parameter 0rrrrrrr RR = Data ... 11110111 F7 = End of Exclusive Control Parameter (pp) Data (RR) Description 初期値 ----- pp=00 Pitch Control 28H-58H -24...+24 semitones 40H pp=01 Filter Cutoff Control 00H-7FH -9600...+9450 cents 40H pp=02 Amplitude Control 00H-7FH -100...+100% 40H pp=03 LFO Pitch Depth 00H-7FH 0..127 00H pp=04 LFO Filter Depth 00H-7FH 0..127 00H pp=05 LFO Amplitude Depth 00H-7FH 0..127 00H	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×
Controller (Control Change) [GM2]	FO 7F XN 09 03 0M CC PP RR ... F7 11110000 F0 = Exclusive status 01111111 7F = Universal Real Time 0xxxxnnn XN = When N is received N=0-F, whichever is received. X=ignored 00001001 09 = Sub-ID #1=Controller Destination Setting 00000011 03 = Sub-ID #2=Controller Type: 03 (Control Change) 0000mmmm 0M = MIDI Channel (00-0F) 0ccccccc CC = Controller Number (01H-1FH, 40H-5FH) 0ppppppp PP = Controlled Parameter 0rrrrrrr RR = Data ... 11110111 F7 = End of Exclusive Controlled ParameterとRangeをペアで設定。 設定しなかったパラメータは初期化される。 Control Parameter (pp) Data (RR) Description 初期値 ----- pp=00 Pitch Control 28H-58H -24...+24 semitones 40H pp=01 Filter Cutoff Control 00H-7FH -9600...+9450 cents 40H pp=02 Amplitude Control 00H-7FH -100...+100% 40H pp=03 LFO Pitch Depth 00H-7FH 0..127 00H pp=04 LFO Filter Depth 00H-7FH 0..127 00H pp=05 LFO Amplitude Depth 00H-7FH 0..127 00H	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×

System Exclusive Messages (2)

*Receive System Exclusive Messageの設定がOFFのときには受信しません。

*Transmit System Exclusive Messageの設定がOFFのときには送信しません。

■ システムエクスクルーシブメッセージ (XG)

MIDI Event	データフォーマット	[MIDI (CLP)]			[本体シーケンサー]		
		MIDI受信(各PARTの発音への効果の有無)			MIDI受信 (パネルへの効果)	MIDI送信(データ発生元)	
		Song	Main Layer Left Left-layer	Keyboard		Panel (主な出力方法)	Song
XGパラメータチェンジ	F0 43 1n 4C hh mm ll dd ... F7 11110000 F0 = Exclusive status 01000011 43 = YAMAHA ID 0001nnnn 1n = Device Number n=always 0 (when transmit), n=0-F (when receive) 01001100 4C = Model ID 0hhhhhhh hh = Address High 0mmmmmmm mm = Address Mid 01111111 ll = Address Low 0ddddddd dd = Data ... 11110111 F7 = End of Exclusive		○		-		○ *Parameter Change Tableを参照のこと
XGバリュクタンプ	F0 43 0n 4C aa bb hh mm ll dd ... dd cc F7 11110000 F0 = Exclusive status 01000011 43 = YAMAHA ID 0001nnnn 1n = Device Number n=always 0 (when transmit), n=0-F (when receive) 01001100 4C = Model ID 0aaaaaaaa aa = Byte Count MSB 0bbbbbbb bb = Byte Count LSB 0hhhhhhh hh = Address High 0mmmmmmm mm = Address Mid 01111111 ll = Address Low 0ddddddd dd = Data : : 0ddddddd dd = Data 0ccccccc cc = Checksum 11110111 F7 = End of Exclusive		○		-		○ *Parameter Change Tableを参照のこと
XGパラメータリクエスト	F0 43 3n 4C hh mm ll F7 11110000 F0 = Exclusive status 01000011 43 = YAMAHA ID 0011nnnn 3n = Device Number n=always 0 (when transmit), n=0-F (when receive) 01001100 4C = Model ID 0hhhhhhh hh = Address High 0mmmmmmm mm = Address Mid 01111111 ll = Address Low 11110111 F7 = End of Exclusive		○		-		×
XGダンプリクエスト	F0 43 2n 4C hh mm ll F7 11110000 F0 = Exclusive status 01000011 43 = YAMAHA ID 0010nnnn 2n = Device Number n=always 0 (when transmit), n=0-F (when receive) 01001100 4C = Model ID 0hhhhhhh hh = Address High 0mmmmmmm mm = Address Mid 01111111 ll = Address Low 11110111 F7 = End of Exclusive		○		-		×

■ システムエクスクルーシブメッセージ (その他)

MIDI Event	データフォーマット	[MIDI (CLP)]			[本体シーケンサー]		
		MIDI受信(各PARTの発音への効果の有無)			MIDI受信 (パネルへの効果)	MIDI送信(データ発生元)	
		Song	Main Layer Left Left-layer	Keyboard		Panel (主な出力方法)	Song
IMIDI Master Tuning	F0 43 1n 27 30 00 00 0m 0l cc F7 11110000 F0 = Exclusive status 01000011 43 = YAMAHA ID 0001nnnn 1n = always 0 (when transmit), n=0-F (when receive) 00100111 27 = Model ID of TG100 00110000 30 = Address High 00000000 00 = Address Mid 00000000 00 = Address Low 00000000 0m = Master Tune MSB 00001111 0l = Master Tune LSB 0ccccccc cc = don't care 11110111 F7 = End of Exclusive		○		○ (Function)	×	×

■ システムエクスクルーシブメッセージ (パネル音色関連)

MIDI Event	データフォーマット	[MIDI (CLP)]			[本体シーケンサー]		
		MIDI受信(各PARTの発音への効果の有無)			MIDI受信 (パネルへの効果)	MIDI送信(データ発生元)	
		Song	Main Layer Left Left-layer	Keyboard		Panel (主な出力方法)	Song
String Resonance Depth	F0 43 73 01 50 11 0n 02 dd F7 11110000 F0 = Exclusive status 01000011 43 = YAMAHA ID 01110011 73 = Clavinova ID 00000001 01 = Model ID (Clavinova common ID) 01010000 51 = SubID 00010001 11 = SubID 0000nnnn 0n = Channel (00-0F) 00000101 02 = SubID (String Resonance Depth) 0ddddddd dd = Depth (00-48) 11110111 F7 = End of Exclusive	○	○	×	○ (Function)	○ (Function)	○
Sustain Sample Depth	F0 43 73 01 50 11 0n 03 dd F7 11110000 F0 = Exclusive status 01000011 43 = YAMAHA ID 01110011 73 = Clavinova ID 00000001 01 = Model ID (Clavinova common ID) 01010000 51 = SubID 00010001 11 = SubID 0000nnnn 0n = Channel (00-0F) 00000111 03 = SubID (Sustain Sample Depth) 0ddddddd dd = Depth (00-48) 11110111 F7 = End of Exclusive	○	○	×	○ (Function)	○ (Function)	○
Key Off Sampling Depth	F0 43 73 01 50 11 0n 04 dd F7 11110000 F0 = Exclusive status 01000011 43 = YAMAHA ID 01110011 73 = Clavinova ID 00000001 01 = Model ID (Clavinova common ID) 01010000 51 = SubID 00010001 11 = SubID 0000nnnn 0n = Channel (00-0F) 00000100 04 = SubID (Key Off Sampling Depth) 0ddddddd dd = Depth (00-50) 11110111 F7 = End of Exclusive	○	○	×	○ (Function)	○ (Function)	○
Soft Pedal Depth	F0 43 73 01 50 11 0n 05 dd F7 11110000 F0 = Exclusive status 01000011 43 = YAMAHA ID 01110011 73 = Clavinova ID 00000001 01 = Model ID (Clavinova common ID) 01010000 51 = SubID 00010001 11 = SubID 0000nnnn 0n = Channel (00-0F) 00000101 04 = SubID (Soft Pedal Depth) 0ddddddd dd = Depth (00-7F) 11110111 F7 = End of Exclusive	○	○	×	○ (Function)	○ (Function)	○

*各Depth値のリセット値は40H=音色パラメータとする

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 ~ 16 チャンネル 1 ~ 16 チャンネル	1 ~ 16 チャンネル 1 ~ 16 チャンネル	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード 3 × *****	モード 3 × ×	
ノートナンバー	音域	0 ~ 127 *****	0 ~ 127 0 ~ 127	
ベロシティ	ノートオン ノートオフ	○ 9nH, v=1 ~ 127 × 9nH, v=0	○ 9nH, v=1 ~ 127 × 9nH, v=0または8nH	
アフタータッチ	キー別 チャンネル別	× ×	○ ○	
ピッチベンド		○	○ 0 ~ 24 セミ	
コントロールチェンジ	0, 32 1, 5 7, 10, 11 6, 38 64, 66, 67 65 71, 74 72, 73 84, 94 91, 93 96 - 97 98 - 99 100 - 101	○ × ○ ○ ○ × ○ × × ○ ○ × × ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	バンクセレクト データエントリー ポルタメント サウンドコントローラー サウンドコントローラー RPNインクリメント、デクリメント NRPN LSB, MSB RPN LSB, MSB
プログラムチェンジ	設定可能範囲	○ 0 ~ 127 *****	○ 0 ~ 127	
システムエクスクルーシブ		○	○	
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアルタイム	クロック コマンド	○ ○	× ○	
Aux メッセージ	オールサウンドオフ リセットオールコントロール ローカルオン/オフ オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × × × ○ ×	○ (120, 126, 127) ○ (121) ○ (122) ○ (123 ~ 125) ○ ×	
備考				

モード1:オムニ・オン、ポリ
モード3:オムニ・オフ、ポリ

モード2:オムニ・オン、モノ
モード4:オムニ・オフ、モノ

○: あり
×: なし

CLP-280/270仕様

	CLP-280	CLP-270
鍵盤	ナチュラルウッド(NW)鍵盤 (白鍵に木材を使用)	GH3 鍵盤
音源	AWMダイナミックステレオサンプリング	
最大同時発音数	128	
音色数	手弾き用パネル音色：38、XG音色：480+12ドラムキット、GM2、GS音色 (GM2、GS曲再生用)	
効果	リバーブ、コーラス、プリリアンス、バリエーションエフェクト、インサージョンエフェクト×3、iAFC	
コントロール	デュアル、スプリット	
画面	液晶画面	
録音/再生	16パート録音/再生、テンポ調節	
記憶媒体	フラッシュメモリー (内蔵): 1.7MB 別売USB記憶装置接続可 (USB TO DEVICE端子使用)	
ペダル	ダンパー (ハーフペダル対応)、ソステヌート、ソフト	
デモ	音色デモ16曲、内蔵(プリセットソング) 50曲	
付属端子	MIDI端子(IN/OUT/THRU)、PHONES (ヘッドフォン)端子×2、AUX IN (L/L+R, R)端子、AUX OUT (L, R)端子、USB TO HOST端子、USB TO DEVICE端子、AUX PEDAL端子	
メインアンプ	60W×2 + 20W×2	
スピーカー	16cm×2、2.5cm (DOME)×2、8cm×4	
定格電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	125W	
寸法 [間口×奥行き×高さ] ()内は譜面立てを立てた場合	1418 mm×520 mm×915 mm *鏡面艶出し仕上げのモデルは1421 mm×520 mm×920 mm (1418 mm×520 mm×1010 mm)	
質量	91kg (鏡面艶出し仕上げのモデルは94kg)	
装備	キーカバー、譜面立て、譜面止め	
付属品	高低自在イス、ヘッドフォン、ピアノで弾く名曲50選(楽譜集)、取扱説明書(本書)、取扱説明書別冊「インストールガイド」、アクセサリー CD-ROM、保証書	

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

CLP-280/270の組み立て方

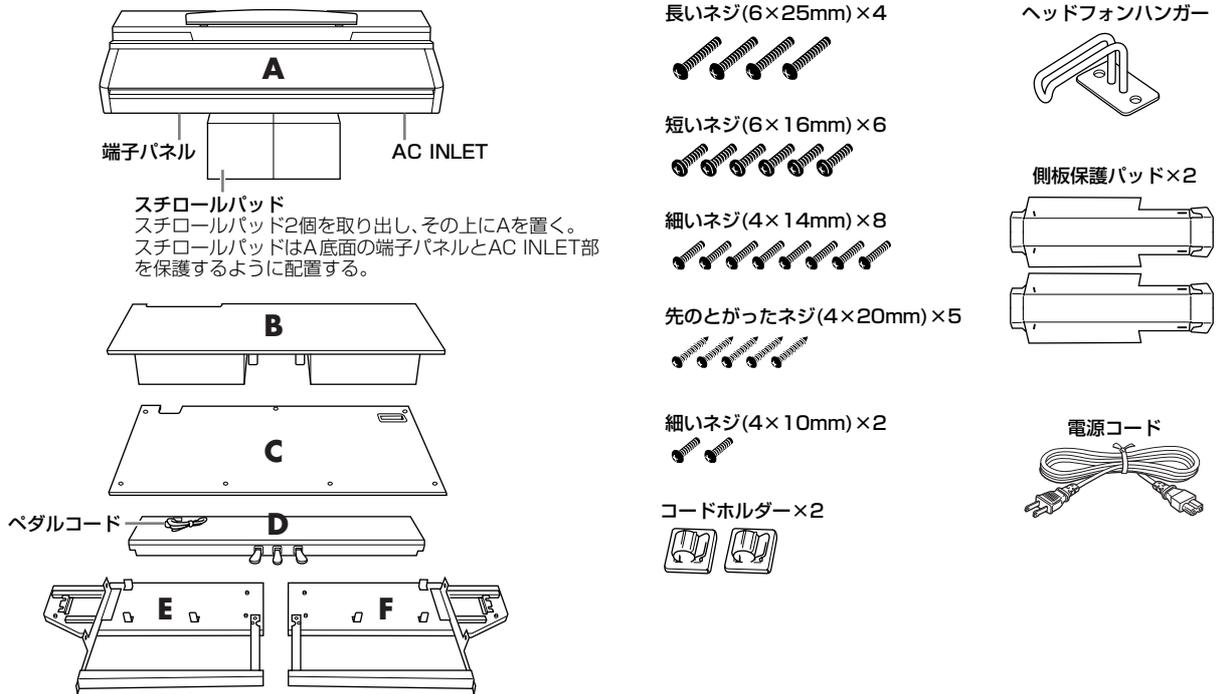
注意

- ❗ 部品をまちがえたり、向きをまちがえないように注意して、手順どおりに組み立ててください。
- ❗ 組み立ては、必ず2人以上で行なってください。
- ⊘ ネジは付属の指定サイズ以外のもは使用しないでください。サイズの違うネジを使用すると、製品の破損や故障の原因になることがあります。
- ❗ ネジは各ユニット固定後、ゆるみがないようきつく締め直してください。
- ❗ 解体するときは、組み立てと逆の手順で行なってください。

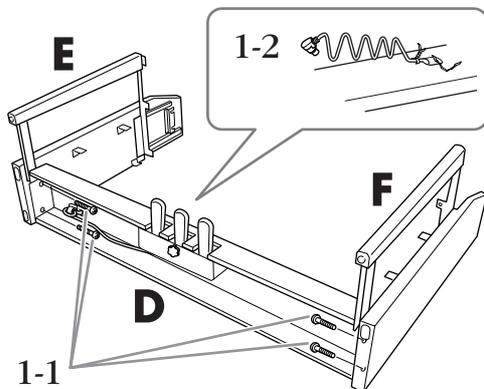
プラス(+)のドライバーを用意してください。



すべての部品を取り出し、部品がそろっているか確かめてください。



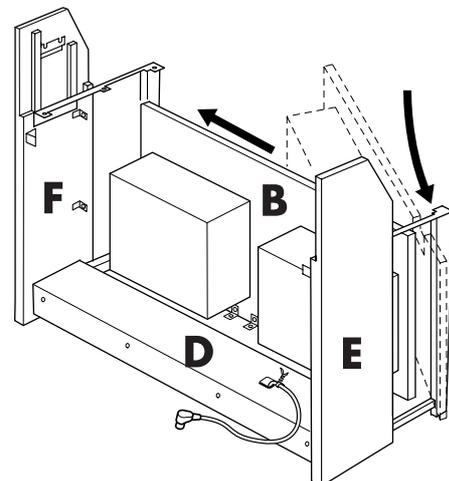
1. EとFをDに固定する。



- 1-1 長いネジ(6×25mm) 4本で固定する。
- 1-2 ペダルコードを束ねているビニールひもをほどく。穴のところでは留めてあるものはほどかない。外したビニールひもは、手順6で使用する。

2. Bを固定する。

2-1 Bを図のようにEとFのあいだに入れる。



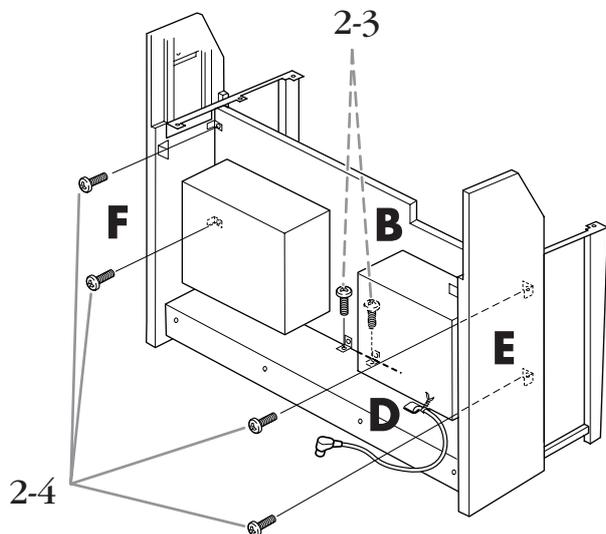
2-2 BをD/E/Fの前側に合わせてはめ込む。

2-3 細いネジ(4×14mm) 2本で固定する。

*金具の小さい方の穴にネジを差し込む(2か所とも)。

2-4 細いネジ(4×14mm) 4本で仮留めする。

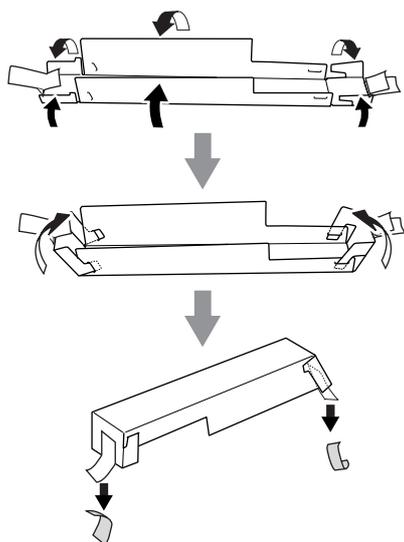
*金具の小さい方の穴にネジを差し込む(4か所とも)。



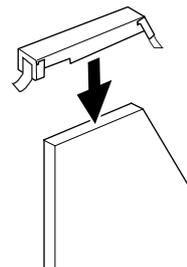
2-5 (平らでない場所で組み立てている場合)組み立てたスタンドを平らな場所に置く。

3. Aを取り付ける。

3-1 側板保護パッドを図のように組み立て、接着テープのはくり紙をはがす。



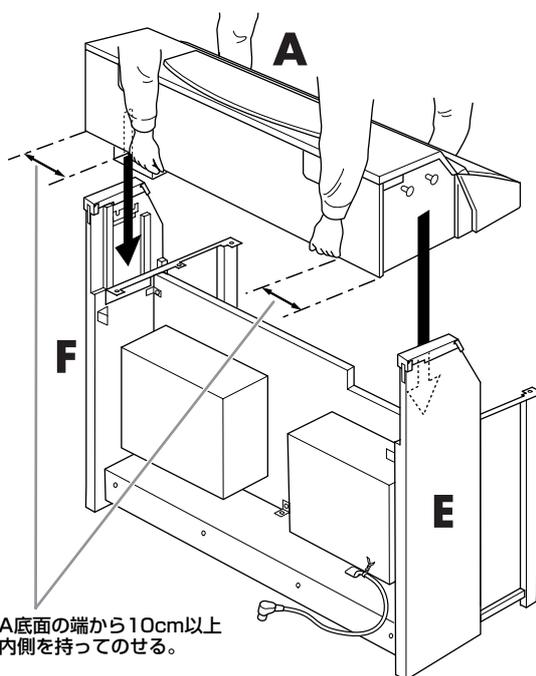
3-2 側板保護パッドをE、Fの上に被せ、接着テープで固定する。



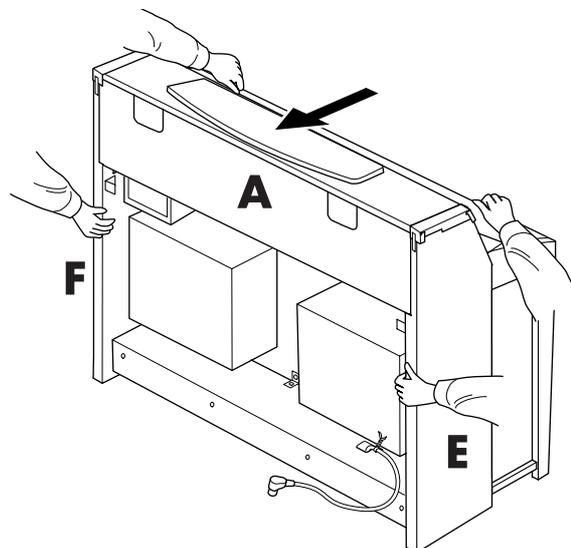
3-3 A側面のくぼみとE、Fの内側を合わせ、Aを左右同時に下ろしてE、Fにはめ込む。

❗ 指をはさんだり、本体を落としたりしないよう、十分ご注意ください。

⊘ 指定した位置以外を持たないでください。



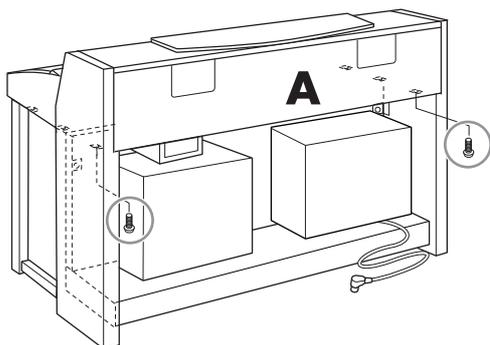
3-4 E、Fの背面を手で支えながら、Aを鍵盤側から奥側へ止まるまで押し込む。



3-5 側板保護パッドを外す。

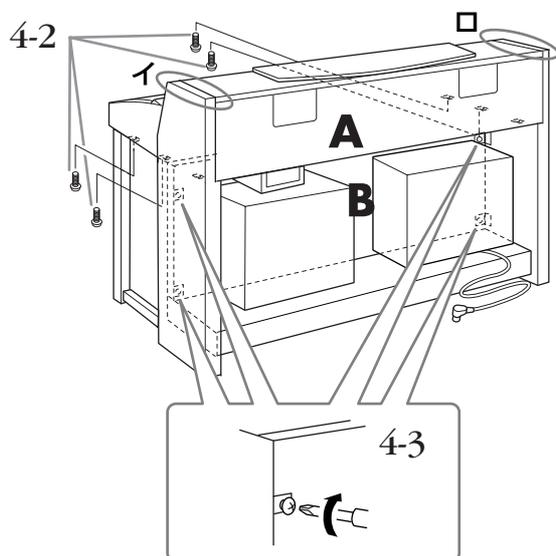
4. Aを固定する。

4-1 背面から、短いネジ(6×16mm) 2本で固定する。



4-2 前面から、短いネジ(6×16mm) 4本で固定する。

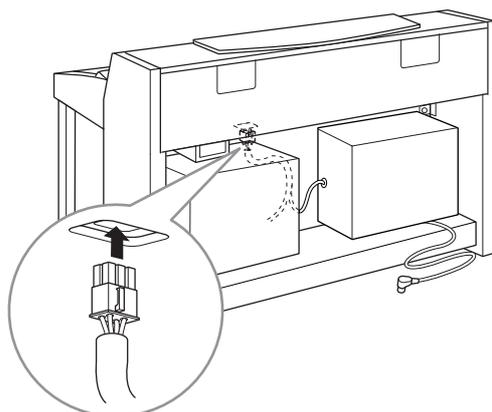
4-3 Bを仮留めしたネジ(手順 2-4)を左右側板(図イ、ロ)の隙間が均等になるように調整しながら、上側→下側の順にきつく締め直す。



5. スピーカーコードを接続する。

5-1 スピーカーコードをほどく。

5-2 スピーカーコードのプラグを、つめが背面から見て手前にくる向きで、端子に差し込む。

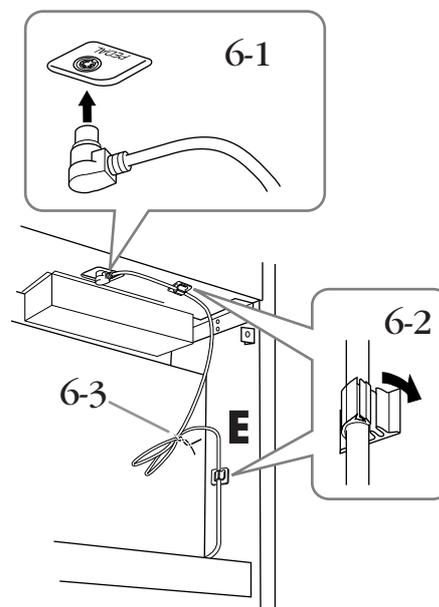


6. ペダルコードを接続する。

6-1 ペダルコードのプラグを[PEDAL]端子に差し込む。

6-2 コードホルダーを貼り付け、ペダルコードを固定する。このとき、プラグとコードホルダーの間でペダルコードがたるまないように注意する。

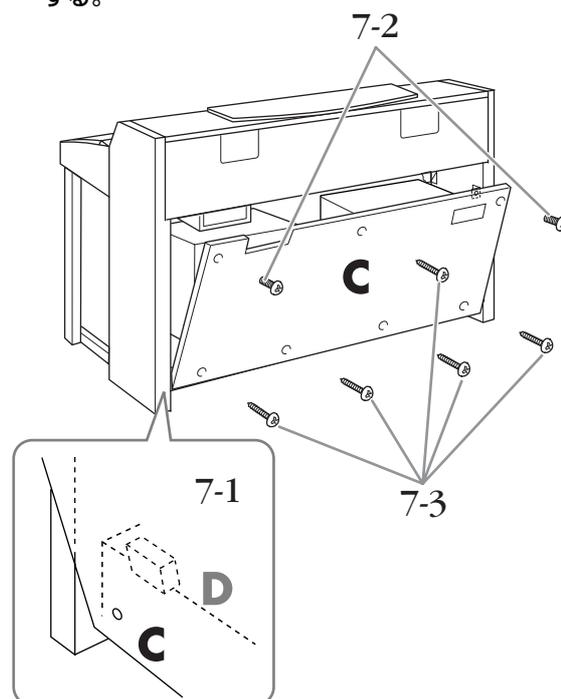
6-3 ペダルコードを、ビニールひもで束ねる。



7. Cを固定する。

7-1 Cの下側にある留め木をDにのせてから、上側をはめる。

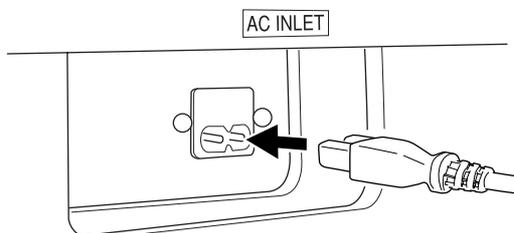
7-2 上側の左右を、細いネジ(4×14mm) 2本で固定する。



7-3 上側の中央と下側を、先のとがったネジ(4×20mm) 5本で固定する。

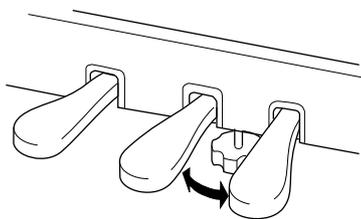
8. 電源コードを接続する。

電源コードのプラグを差し込む。



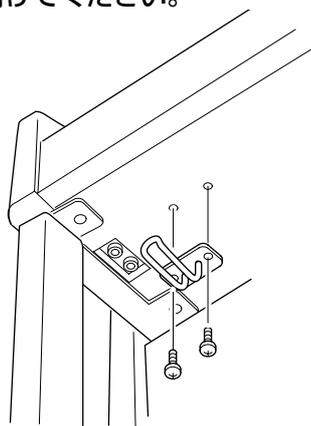
9. アジャスターを回す。

アジャスターを回して、床にぴったりつける。



10. ヘッドフォンハンガーを固定する。

付属のネジ(4×10mm) 2本で、図のように取り付けてください。

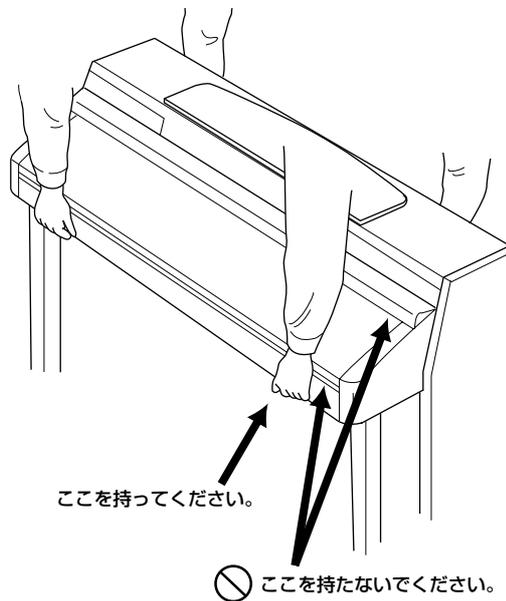


組み立て後、必ず以下の点をチェックしてください。

- 部品が余っていませんか？
→組み立て手順を再確認してください。
- 部屋のドアなどがクラビノーバにあたりませんか？
→クラビノーバを移動してください。
- クラビノーバがぐらぐらしませんか？
→ネジを確実に締めてください。
- ペダルを踏むと、ペダルボックスがガタガタしませんか？
→アジャスターを回して床にぴったりつけてください。
- 電源コードのプラグが、確実に本体に差し込まれていますか？
→確認してください。
- 使用中に本体がきしむ、横ゆれする、ぐらぐらするなどの症状がでたら、組み立て図に従って各部のネジを締め直してください。

❗ 組み立て後、本体を移動するときは、必ず本体の底面と裏板の取手を持ってください。

⊘ キーカバーを持たないでください。本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



クラビノーバを設置したときや移動したあとは、iAFC機能(72ページ)の効果を最適にするために、以下のことを行なってください。

- クラビノーバの背面を壁から10cm以上離してください。
- iAFCの自動調整を行なってください(73ページ)。

フロッピーディスクの取り扱いについて

別売のフロッピーディスクドライブを接続してフロッピーディスクを使用すると、本体で作ったデータをディスクに保存したり、ディスク内のデータを本体に読み込んだりできます。

フロッピーディスクをご使用いただく場合は、以下のことをお守りください。

■ 使用できるフロッピーディスクの種類

- ・ 3.5インチの2DD、または、2HDフロッピーディスクが使用できます。

■ フロッピーディスクのフォーマット

- ・ 新しいディスクや他の機器で使っていたディスクは、そのままでは使えない場合があります。この機器のドライブに入れてもディスクが読めない場合は、フォーマット(初期化)をする必要があります。フォーマットの方法は46ページをご覧ください。なお、フォーマットを行なうとディスク内のすべてのデータは消去されます。あらかじめ、データの有無をご確認ください。

NOTE

この機器でフォーマットしたフロッピーディスクは、そのままでは他の機器で使えない場合があります。

■ フロッピーディスクの挿入/取り出し

● フロッピーディスクの挿入

- ・ フロッピーディスクのシャッターに文字が書かれている方(表面)を上にして、ディスク挿入口にカチッと音がするまでいねいに差し込みます。

● フロッピーディスクの取り出し

- ・ あらかじめフロッピーディスクにアクセス中*でないことを確認した上で(ディスク挿入口左下のユーズランプが消えたことを確認した上で)、ディスク挿入口の右上にあるイジェクトボタンをしっかりと奥まで押します。フロッピーディスクが押し出されるので、取り出して(引き抜いて)ください。フロッピーディスクが途中で引っかかり取り出せなくなった場合は、無理に取り出そうとせず、もう一度イジェクトボタンを押しなおすか、またはフロッピーディスクをディスク挿入口に完全に押し込んでからやり直してください。

*アクセス中: 録音や再生、データ削除などの作業中を指します。また、電源が入っている状態でフロッピーディスクを挿入したときも、楽器本体がディスクの内容を確認するために自動的にアクセス中になります。



アクセス中にフロッピーディスクを取り出したり、楽器本体の電源を切ったりしないでください。ディスク内容がこわれるだけでなく、フロッピーディスクドライブの故障の原因になります。

- ・ 電源を切るときは、フロッピーディスクはあらかじめディスクドライブユニットから取り出してください。電源を切ったあと、フロッピーディスクを入れたまま長時間放置すると、ディスクが汚れ、データの読み書きにエラーが生じる原因になります。

■ 磁気ヘッドの定期的なクリーニング

- ・ ディスクドライブユニットは高精度の磁気ヘッドを使用しています。ディスクドライブユニットを長時間使用していくうちに、磁気ヘッドはフロッピーディスクの磁性粉で汚れてきます。磁気ヘッドが汚れると、録音や再生にエラーが生じることがあります。
- ・ ディスクドライブユニットを良好な状態でご使用いただくために、磁気ヘッドを定期的に(1か月に1回程度)クリーニングしていただくことをおすすめします。

NOTE

磁気ヘッドのクリーニングには、市販の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をご使用ください。なお、取扱説明書巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点で、弊社推奨の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をお求めいただくこともできます。

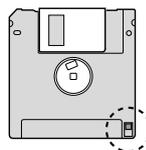
■ フロッピーディスクについてのご注意

● フロッピーディスクの取り扱いと保管

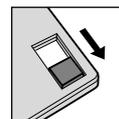
- ・ (持ち運び場合も含めて)必ず市販のケースに入れて保管し、落としたり、物をのせたり、折り曲げたりしないでください。また、ディスク内部に水やほこりなどが入らないようにしてください。
- ・ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところに置かないでください。
- ・ ディスクのシャッターを開けて、内部の磁性体に触れないでください。
- ・ 磁気を帯びたもの(テレビやスピーカーなど)には近づけないでください。
- ・ シャッターやディスク自体が変形しているようなディスクは、使用しないでください。
- ・ フロッピーディスクにはラベル以外のもの(メモなど)を貼らないでください。ラベルは所定の位置にはがれないようにしっかりと貼ってください。

● 誤消去防止

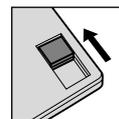
- ・ フロッピーディスクには、誤ってデータを消してしまわないようにライトプロテクトタブ(書き込み禁止タブ)が付いています。大切なデータが入っているディスクは、ライトプロテクトタブをオン(タブの窓が開いた状態)にして、書き込みができないようにしてください。逆に、データを保存する場合などは、ご使用前にディスクのライトプロテクトタブがオフになっていることをご確認ください。



フロッピーディスクの裏側



書き込み不可
(演奏を録音できません。)



書き込み可
(演奏を録音できます。)

NOTE

市販フロッピーディスクの中には粗悪品もございます。メーカー名をご確認の上、お求めください。

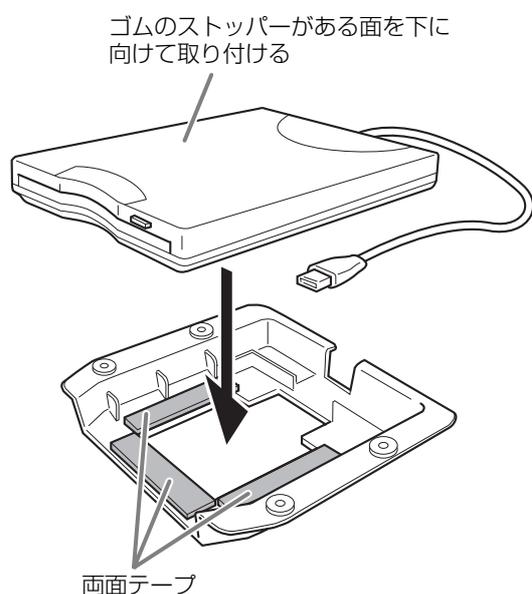
フロッピーディスクドライブ(別売)の 取り付け方

別売のフロッピーディスクドライブ UD-FD01は、付属のフロッピーディスクドライブケースとネジで楽器本体底面に
取り付けることができます。

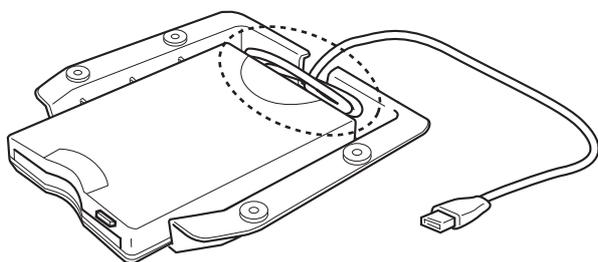
+(プラス)のドライバーを用意してください。



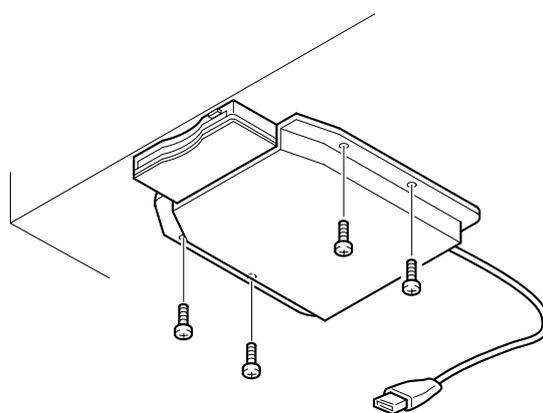
1. ケースの3か所の両面テープから、はくり紙をはがし、フロッピーディスクドライブをケースに取り付けます。



2. USBケーブルを、ケースに収まるように折りたたみます。



3. 付属のネジ(4×10 mm)4本で、本体底面の左側にフロッピーディスクドライブケースを固定します。



4. USBケーブルをUSB [TO DEVICE]端子に接続します。

用語集

以下の用語は、本文ページの欄外に用語として説明しているものです。

以下に掲載されていない用語については、目次または索引から検索し、該当する本文の説明をご覧ください。

用語		説明	ページ
B	BAR (バー)	小節	20
C	CONTRAST (コントラスト)	明るさ、明暗	12
	Completed (コンプリーテッド)	完了	41
D	Detune (デチューン)	チューニングをずらす	67
E	Execute? (エグゼキュート)	実行しますか?	41
L	Layer (レイヤー)	重ね	66
M	MASTER VOLUME (マスターボリューム)	全体の音量	13
P	Pan (パン)	左右に動かす	67
	POWER (パワー)	電源	12
Q	Quantize (クオンタイズ)	音符のタイミングを補正する機能	63
R	Rotor (ローター)	電動機などの回転子	69
S	Scale (スケール)	音階	75
	SONG (ソング)	クラビノーバでは演奏データを総称して「ソング(SONG)」と呼びます。デモ曲やピアノ曲もソングです。	20
	StringResonance (ストリングレゾナンス)	弦共鳴音	78
	Sure? (シュア)	いいですか?	41
T	TimeSignature (タイムシグネチャー)	拍子記号	65
	Transpose (トランスポーズ)	移調する	74
	VOICE (ボイス)	声、音	24
イ	イコライザー	音を2つの周波数帯域に分け、それぞれのバンドごとにゲイン値(増幅量)を上げ下げして好みの音質を作る機能です。	70
	移調	曲全体の音の高さを上げたり下げたりしてキー(調)を変えることです。	74
オ	音色配列フォーマット	音色を指定する番号の付け方の種類	50
カ	カレント	現在の	39
キ	基本画面	電源を入れた直後の画面のことで、音色を選択する画面のことで。	21
	基本設定	初めて電源を入れたときの設定(工場出荷時の設定)のことで。	26
	キャラクターコード	文字の種類	39
シ	シンクロ	同時の、同時に起こる	22
	シーケンスフォーマット	演奏データの記録方式の種類	50
	弱起の曲	小節の途中から始まる曲	63
ス	スプリット	分ける	28
セ	セーブ	保存する	39
テ	デュアル	2つの	27
	デリート	削除する	39

用語		説明	ページ
ト	ドライバー	コンピューターとそこに接続された機器との、データをやりとりするための仕組みを整えるソフトウェアのことです。コンピューターと楽器をUSBケーブルで接続する場合は、コンピューターにUSB-MIDIドライバーをインストールします。	55
フ	ファイル	あるデータのまとまりを1つの単位として保存したものです。曲データを曲番号単位で曲ファイルと言います。	39
	フォルダー	ファイルを種類別に分けて入れておく入れ物です。	48
	フォーマット(初期化)	USB記憶装置は、コンピューターなどのいろいろな機器で、いろいろなデータの収納場所として使われます。その際、データの収納方式にはいくつかの種類があるため、その機器で対応している収納方式に指定する必要があります。このことを「フォーマットする」と言います。(たとえば、白い紙に縦書きの線を入れるか横書きの線を入れるかというようなことです。)	50
	プリセット	あらかじめセットされた	39
メ	メモリー	クラビノーバ内部の、データを保存したり作業をしたりする場所のことです。	39
モ	モード	ある機能を実行できる状態を意味します。	18
リ	リネーム	名前を付け替えます。	39
ル	ルート	階層構造のいちばん上の部分を表します。フォルダーに入っていない領域のことです。	44
□	「録音」と「記録」	カセットテープに録音するのとクラビノーバの録音機能を使って録音(記録)するのでは、録音されるデータの形式が異なります。カセットテープでは音そのものが「録音」されますが、クラビノーバの録音機能では音そのものではなく、「どの音をどのタイミングで弾き、音色はこれで、テンポはいくつで」という情報が「記録」されます。再生の際は記録された情報どおりに「音源」部が鳴ります。クラビノーバの録音機能を使った「録音」は、本来「記録」というべきですが、広義に捉えて、本書では一般的に理解しやすい「録音」という言葉を使います。ただし、特に区別してご理解いただきたい場合は、「記録」という場合もあります。	31

索引

A

A [-][+]ボタン	16
ABリピート	23
AUX IN [L/L+R] [R]端子	52
AUX OUT [L][R]端子	52
[AUX PEDAL]端子	51

B

B [-][+]ボタン	16
BRILLIANCE [MELLOW][BRIGHT] (ブリリアンス メロー ブライト)ボタン	26

C

C [-][+]ボタン	16
CharacterCode (キャラクターコード)	47
[CHORUS] (コーラス)ボタン	27
[CONTRAST] (コントラスト)つまみ	12
Copy (コピー)	44

D

D [-][+]ボタン	16
Delete (デリート)	43
[DEMO] (デモ)ボタン	18
DOC (Disk Orchestra Collection)	91

E

ESEQ (イーシーク)	91
[EXIT] (エグジット)ボタン	17
[EXTRA PARTS] (エキストラパーツ)ボタン	31, 35

F

FactorySet (ファクトリーセット)	82
[FILE/SONG SETTING] (ファイル/ソングセッティング)ボタン	39, 57, 62
Format (フォーマット)	46
[FUNCTION] (ファンクション)ボタン	59, 74

G

GMシステムレベル1	91
GMシステムレベル2	91
GS	91

I

[iAFC SETTING] (iAFCセッティング)ボタン	58, 72
iAFCデモ	19
iAFCに関する詳細設定	72

L

[LEFT] (レフト)ボタン	21, 31, 35
-----------------	------------

M

MakeDir (メイクディレクトリ)	45
[MASTER VOLUME] (マスターボリューム)ダイヤル	13
METRONOME [SETTING] (メトロノームセッティング)ボタン	57, 65
METRONOME [ON/OFF] (メトロノームON/OFF)ボタン	30
MIDI [IN][OUT][THRU]端子	51
MIDIインプリメンテーションチャート	133
MIDIデータフォーマット	120
MIDIについて	51
MIDIの設定	80
Move (ムーブ)	45

P

[PHONES]端子	13
[PLAY/PAUSE] (プレイ/ポーズ)ボタン	20, 49
[POWER] (パワー)スイッチ	12

R

[REC] (レコード)ボタン	31
Rename (リネーム)	43
[REPEAT] (リピート)ボタン	22
[REVERB] (リバーブ)ボタン	26
[RIGHT] (ライト)ボタン	21, 31, 35

S

Save (セーブ)	42
SMF (スタンダードMIDIファイル)	91
[SONG BALANCE] (ソングバランス)スライダー	38
[SONG SELECT] (ソングセレクト)ボタン	20, 48
[SPLIT] (スプリット)ボタン	28
[STOP] (ストップ)ボタン	21, 49

T

TEMPO [DOWN][UP] (テンポ ダウン アップ)ボタン	30
-----------------------------------	----

U

USB [TO DEVICE]端子 (A/B)	51
USB [TO HOST]端子	51
USB記憶装置	53
USBソング	39

V

VOICE (ボイス)	24
[VOICE SETTING] (ボイスセッティング)ボタン	58, 66

X

XG	91
XGエフェクトタイプ一覧	106
XG音色一覧	100
XGドラムキット一覧	104

ア

安全上のご注意	2
---------	---

イ

移動	45
----	----

エ

エフェクト	26
エフェクトデータアサインテーブル	118
エフェクトパラメーター一覧	108

オ

音色	24
音色グループボタン	24
音色に関する詳細設定	66
音色の組み合わせ例(デュアルとスプリット)	99
音色の紹介	97
音色配列フォーマット	91
音律	75
音量	13

カ

片手練習	21
カット&ペースト	45
画面	16
画面の明るさ	12
カレントソング	39
カレントメモリー	39

キ

キーカバー	11
基本設定	26, 82
基本設定一覧	94

基本的な操作	16
キャリブレーション	73
曲データの種類	50
曲の録音/再生に関する詳細設定	62
曲名の変更	43

ク

組み立て方	135
繰り返し再生	22, 23

コ

工場出荷時の状態	82
コピー	44
困ったときは	89

サ

再生	48
削除	43

シ

シーケンスフォーマット	91
仕様	134
詳細設定の操作	60
初期設定	82
シンクロスタート	22

ス

スケール	75
スピーカーのOn/Off切り替え	79
スプリット	28
スプリットポイント	29

セ

接続(USB記憶装置)	53
接続(コンピューター)	55
設定項目一覧	57

ソ

ソステヌートペダル	25
その他の詳細設定	74
ソフトペダル	25

タ

タッチ	71, 74
ダンパーペダル	25

チ

チューニング	75
調律について	7

テ

ディスクオーケストラコレクション	91
データの互換性	91
デモ曲	18
デュアル	27
電源	12
テンポの調節	20

ト

ドライバーとは	55
トランスポート	74

ハ

バックアップ	81, 82
早送り	21

ヒ

ピアノ50曲	20
ピアノデモ	19

左手パート	21
左のペダル(ソフトペダル)	25
お引越しの際は	7
拍子	65
表示文字の種類を切り替える	47

フ

ファイル操作	39
ファクトリーリセット	82
フォーマット	46
フォルダーを作る	45
付属品	7
譜面立て	11
譜面止め	11
プリセットソング	20
プリセットソングメモリー	39
フレーズマーク	62
フロッピーディスクドライブ(別売)の取り付け方	140
フロッピーディスクの取り扱い	139

ヘ

ペダル	25
ペダルの機能設定	76, 77, 78
ヘッドフォン	13
ヘッドフォンハンガー	13

ホ

保存	42
保存用メモリー	39

マ

巻き戻し	21
まん中のペダル(ソステヌートペダル)	25

ミ

右手パート	21
右のペダル(ダンパーペダル)	25
ミュージックデータ(別売)	93

メ

メッセージ一覧	83
メトロノームに関する詳細設定	65
メモリー	39
メモリーソング	39

モ

目的別目次	9
文字の種類を切り替える	47

ヨ

用語集	141
-----	-----

リ

リセット	16
リネーム	43
リピート	22, 23

レ

連続再生	62
------	----

ロ

録音	31
録音(多重録音)	35
録音(上書き録音)	36
録音(記録)されるデータの種類	87
録音し直す	33
録音(デュアルやスプリットを使った録音)	38
録音パート	31
録音容量	87

メモ

メモ

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください

● 保証期間

お買い上げ日から本体は1年間、ヘッドフォンは6カ月です。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点など

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお申し付けください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

■ ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お持込み窓口)

◆ 修理のご依頼 / 修理についてのご相談窓口

ヤマハ電気音響製品修理受付センター

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00
土曜日 9:00～17:30
(祝祭日および弊社休業日を除く)

ナビダイヤル
(全国共通番号)  **0570-012-808**
市内通話料でOK
ナビダイヤル ※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

(IP電話、携帯電話からおかけになる場合 TEL 053-460-4830)
FAX (053) 463-1127

◆ 修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45
(浜松サービスステーションは 8:45～17:30)
(祝祭日および弊社休業日を除く)

*お電話は、電気音響製品修理受付センターでお受けします。

北海道サービスステーション

〒064-8543
札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内
FAX (011) 512-6109

首都圏サービスセンター

〒143-0006
東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

浜松サービスステーション

〒435-0016
浜松市東区和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
FAX (053) 462-9244

名古屋サービスセンター

〒454-0058
名古屋市中川区玉川町2丁目1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052) 652-0043

大阪サービスセンター

〒564-0052
吹田市広芝町10-28 オーク江坂ビルディング2F
FAX (06) 6330-5535

九州サービスステーション

〒812-8508
福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092) 472-2137

*名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社

国内営業本部

ピアノ企画部 企画グループ

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

TEL 03-5488-6795

PA・DMI事業部

EKBマーケティング部 CL・PKグループ

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

TEL 053-460-3275

クラビノーバ・ポータブル楽器 インフォメーションセンター

受付日: 月曜日～土曜日 (祝日およびセンターの休業日を除く)

受付時間: 10:00～18:00 (土曜日 10:00～17:00)

フリーダイヤル  **0120-834-808**

(IP電話、携帯電話からおかけになる場合 TEL 053-460-5272)

サポート: <http://www.yamaha.co.jp/support/>

電子ピアノ/キーボードのホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

あなたの音楽生活をフルサポート

ミュージックイークラブ

<http://www.music-eclub.com/>

お客様サポート&サービス

<http://www.yamaha.co.jp/support/>

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。